

タイタスヒル *Tasman Hills* 支那共和  
衆國東部、ペンシルヴァニア州クラウ  
フォードの都邑で、オイル河に沿ひ、オ  
イル・シチーの北方に在る(タイタスヴィ  
ルの部を見よ)。  
**タイ(大)・タスマンヒル** *Tasman Hills* 氷河  
*cat Tasman Glacier* 太平洋南部に横  
切れるニュージーランド、南島の最大氷河  
其の主帯はバブエルマンデブ海峡よりハ  
居る(東アフリカの火山を見よ)。  
洋に通じたものと想像せられる、當時我  
する。兩山列は共に東北東より西南西に  
向ひ、主帯と合す。又タンガンイカ湖の  
北部に於て、南西方ウベムバ湖 *Ubeuma*  
に至る一線がある。主帯は北方に進み、  
エドワード湖 *Edward Lake* 及びアルベル  
湖 *Alber Lake* を連ねて北方に消失する。  
本地溝帯に沿ひ多数の火山が噴起して  
居る(東アフリカの火山を見よ)。  
**タイテイ・タンデン** *Taitai Tanden* 大定炭田 *Great*  
*Coalfield* 支那共和國(中華民國)貴  
州省の西北部に在る炭田で、大定より威  
寧に至る間に分布し、雲貴炭田の一部で

ある(ウッキンタンデンの部を見よ)。  
**タイドウ** *Taidou* 大同 *Taitung* 支那共和國  
(中華民國)山西省の北方にあつて、五臺  
山の北西に位し、平綏鐵道と、白河の上  
流に沿ひ、大炭田の中心地に當る。其の  
西方雲岡に在る石佛寺は支那南北朝時代  
佛教の隆盛當時に成れるもので、佛教藝  
術を知るに足るべき傑作である。  
**タイドウ・コ** *Taidouko* 大同湖 *Taitung Hu*  
支那共和國(中華民國)の中部湖北省南部  
に横はる小湖沼で、岳州の北方に位し、  
揚子江の左岸に近く、南東方の洪湖と水  
路を通ずる。  
**タイトウ・コ** *Taitouko* 大東溝 *Taitungkan*  
亞細亞洲東部の新興國滿洲奉天省の南  
部、安東の南西、鴨綠江右岸に當り、同  
河の解氷季には著しく雑沓し、同江より  
搬出する木材の集散地に當る。沿海に於  
ける石首魚の漁獲も大である。  
**タイドウ・ホニチ** *Taidouhoni* 大同盆地 *Taitung Basin*  
支那共和國(中華民國)本部の山  
西省北部に位し、白河の上流に沿ひ、北  
東は大同府より南西方朔州の南西に至る  
間延長百四十軒、幅五十軒に達する沖積  
平野で、周圍は片麻岩其他古き地質時代  
の岩石に圍まれたる別天地で、大同には  
既に鐵道が北平より張家口を経て延長し  
て來た。元來湖沼の陸化した盆地である  
から、都邑は盆地の周邊に發達した、大  
同・懷仁・山陰・應等は其の一であるが、  
其の東方支流に沿ふ渾源に沖積平地が延  
び、其の東方支流に沿ふ渾源に沖積平地が延

長して居る。  
**タイトウ・カ** *Taitouka* 大渡河 *Taitouho* 支那共  
和國(中華民國)の中部に在る揚子江系の  
河川で、源を四川省北西部の岷山に發し  
て南流し、大雪山地を切開し、北緯二十  
九度附近より西方に向ひ、嘉定(榮山)に  
至りて珉江に會し、百軒の間舟運に適す  
る。  
**タイトセン** *Taitosen* 大肚川 *Taitu-chuan*  
亞細亞洲東部の新興國、滿洲奉天省に在  
る都邑で、開城に近き拘鹿の東に位し、  
縣城の所在地である。  
**タイ(大)・ドリファイルド** *Taito Dried*  
*Island* 英吉利國大ブリテン島、ヨークシ  
ア、イーストラインディングの都邑で、單にド  
リファイルドと呼ぶ(ドリファイルドの部  
を見よ)。  
**ダイト** *Daito* 亞米利加合衆國、  
マサチューセッツ州、プリストルの都邑  
で、ニューヨーク・ニューヘヴン・ハート  
フォード各鐵道に沿ひ、ボストン市の南  
方六十四軒にの地に位し、染色・スト  
ウ装置及び園藝等に著はれ、人口二千を  
有す。  
**ダイナンキ** *Dainan-ki* 大南瀾湖 *Dainan-ki*  
支那共和國(中華民國)の東部に在る  
湖沼で安徽省の南東隅に位し、一條の水  
路即ち長江が西方揚子江岸の蕪湖より通  
じ北東は大湖と連り、湖形が南西より北  
東に長く延長四十軒に及び、もと揚子江  
の流れが直接に此の地を過ぎて直ちに海

洋に通じたものと想像せられる、當時我  
する。兩山列は共に東北東より西南西に  
向ひ、主帯と合す。又タンガンイカ湖の  
北部に於て、南西方ウベムバ湖 *Ubeuma*  
に至る一線がある。主帯は北方に進み、  
エドワード湖 *Edward Lake* 及びアルベル  
湖 *Alber Lake* を連ねて北方に消失する。  
本地溝帯に沿ひ多数の火山が噴起して  
居る(東アフリカの火山を見よ)。  
**タイハク・サン** *Taihak-shan* 大白山 *Tai-pai shan*  
支那共和國(中華民國)本部の北部に在つ  
て、東西に横はる秦嶺山脈の東部、北緯三  
十四度、東經百七度に近い大山峰で、海  
抜三、三五〇米に達し、峻峻なる點に於  
ては秦嶺と共に秦嶺山脈中比類が無い。  
**タイハク・サン** *Taihak-shan* 大巴山脈 *Tai-pai*  
*Mountains* 單に巴山脈又は九龍山脈  
と呼び、支那本部の北に在る秦嶺山脈の  
南に位し、漢中盆地を隔て、同山脈と相  
對し、四川省と陝西省との境上を約東西  
走し、南は巴蜀盆地に向ひて緩斜し東は  
揚子江の北に沿ひて湖北省に出で、漢口  
に盡きる。其の高さ千米乃至二千米に達  
し、蜀の棧道が本山脈を横斷する、此の棧  
道は四川省の北方に在る廣元より陝西省  
の漢中に至る通路に當り、南北二條の山  
列を過ぎる、南列は廣元・寧羌間に位し、  
朝天關及び北盤關の二嶺が是に崛起し、  
共に千米の海拔を有す、北列は寧羌・沔  
谷間に位し、五十嶺(一、二〇〇米)が崛起  
部を見よ)。  
**ダイ(大)・プラスドル・ワン** *Great*  
*Plasdrul-wan* 灣 *Great*  
*Plasdrul Bay* 北亞米利加洲カナダ(加  
奈陀)ノヴァスコシア州、ケープブレトン  
島の中央に在る海灣で、東方に開口し、  
西方プラスドル湖と船舶を通ずる(プ  
ラスドル灣の部を見よ)。  
**ダイ・プンスクレイ・サンミヤク** *Great*  
*Dividing Range* 分水嶺山脈 *Great*  
*Dividing Range* オーストラリア(濠洲刺利)大陸の南東部  
に位するオーストラリアアルプスの支脈  
である(グレート・デヴァイディング山脈の  
部を見よ)。



**タイヘイ 太平** *Tai-pan* 支那共和國(中華民國)安徽省東部の都邑で、揚子江の右岸に沿ひ、南京の南々西六十料、蕪湖の北々東二十二料に位し、一に常陸と呼び、鐵山あるを以て知らる。

**タイヘイ・ウツガ** *Tai-pan* 支那共和國(中華民國)揚子江の中流に在る沙市の西方十二料の太平口より南方の湖南省界に至る七十料間の運河で、揚子江と洞庭湖との水路迂回の不便を避くるために設けたものである。

**タイヘイヤ** *Tai-ya* **大平野** *Great Plain* 亞米利加合衆國に在る廣大なる平野の一部で、北緯四十六度乃至同四十九度に於ては西經百四十二度まで擴がり、西經百四度のイェローストーン河口に於て海拔六百米に達し、土地によりて高度を異にし、其の領域も極めて廣い(グレート・プレーンの部を見よ)。

**タイヘイヨウ** *Tai-yei-yo* **太平洋** *Pacific Ocean* 東は南北兩亞米利加大陸に接し西は亞細亞大陸及び濠太刺利大陸に隣り、北は狹窄して其幅僅に六十料のベリリング海峡となつて北氷洋に連り、南は開放して南氷洋に續くも、大西洋との境は南亞米利加のホーン岬より南に向ふ子午線により、印度洋との境はタスマニア島のサウス岬より南に曳ける子午線による。

れたるはオホーツク(阿斯科)海、日本本土に圍まれたるは日本海、琉球列島に圍まれたるは黃海、東支那海(東海)及び北方に入込める渤海灣、フィリピン(比律賓)列島とボルネオ島とマレー(馬來)半島に圍まれたるは支那(南支那)海一名南海で、其の支海にシヤム(暹羅)灣と東京灣がある。

北亞米利加洲の沿岸は出入少なく、僅にヴァンクーヴァー島の南東にビュージェット・サウンドが入り込み、カリフォルニア半島の東にカリフォルニア灣とパナマ地頭にパナマ灣あるのみで出入少なく、南亞米利加洲に至りては殆ど出入の見べきなく、只智利の南半部に無数の小島が羅列すると、フェゴ島との間に有名なマジラン海峡あるに過ぎない。

〔島嶼〕 島嶼は上記のもの、外メラネシア・ミクロナネシア及びポリネシア・馬來各群島が散在し、特に馬來群島に大なる島が多い。

〔海深〕 太平洋の海底を見るに、我が東京灣より南米ホーン岬に至る一線によりて二分せられ、本線以南は島嶼の散布夥しく、一定の海底山脈上に配置せられ、其の間に四千五百米以上の窪地(海溝)多く、就中ニュージージーランド群島の北には八千三百米より九千四百二十七米に至る深海が、約南北二十餘度に互りて海溝となつて居る。

日本海溝とて一條の海溝が約南北に並び最深度は八千五百十三米に達する。明治七年米國の海洋探検船タスカローラ號の發見にかゝるもので、タスカローラ海床の名が與へられたが、後に海洋學の建設に功勞あるモナコ國王によりて現今の名に改められた。最近我が海軍の特務艦滿洲は房州布良の南東六十料の地を錘測して深さ九千九百五十米に達し針金が切斷した。蓋し世界最深の海底と考へられる。

比律賓第二海溝は實に九千七百八十八米に達し、今は過古に知られた世界の最深處であつたが、滿洲號の發見により第一に落ちた。其の北に九千五百米の深所がある、比律賓第一海溝は八千五百米に達す。此の第一海溝の北に深度七千五百米の琉球海溝がある。又マリアナ群島の東にネロ海溝とて九千六百三十六米の海溝があり、北太平洋のアレウト列島の南に深さ七千米のアレウト海溝がある。

中央亞米利加及び南亞米利加洲の西岸に沿ひ、南回歸線附近に至るまでの海底は陸地を離るゝこと百五十料ならずして五千米以上の深さに達するもの多く、其の最深所は七千六百米に達する。

太平洋は以上の如く深い、之に反して其の副洋たる阿斯科海・日本海・黃海・東支那海等は一般に淺い。若し天賦の力を借りて太平洋の水を退かしむること百尋ならしめんか、我が臺灣・朝鮮・津輕・宗谷・間宮各海峡は悉く涸渇し、東支

那海と黃海とは一大平原となり、樺太北海道本島・本州・四國・九州及び臺灣は亞細亞大陸の一部となり、支那海と日本海とは湖沼と化し、阿斯科海は千島の數陸塊と化し、豆南諸島は一の山脈となりて現るべく、其の間一二の缺所を認むるに過ぎない。

〔洋流〕 太平洋には次の寒暖兩洋流が流動して居る。

- 暖流
  - 北赤道海流—日本海流(黒潮)
  - 對馬海流—五島濟州海流
  - 赤道逆流
  - 南赤道海流—東濠洲海流
  - 千島海流(親潮)
  - 樺太海流
  - リマン海流
  - ペルー海流
- 寒流
  - 上記の北赤道海流は西に進み、比律賓群島に衝突して南北二派に分れ、南派は赤道逆流となるも、北派は日本海流、所謂黒潮となりて臺灣の南に進み、之より日本群島の南岸東岸、を洗ふ。
  - 日本海流 臺灣の南に進みし日本海流は一小支を臺灣海峡に派し、本流は茲に日本海流の名を得、同島の東岸を洗ひて東向し、沖繩群島の西方六十料邊を経て大隅海峡に向ふ。本海流は宮古島の北方北緯二十七度、東經百二十六度の邊に於て一小支流を東支那海に分派するが、臺灣南部より此の分岐點に至るまでを特

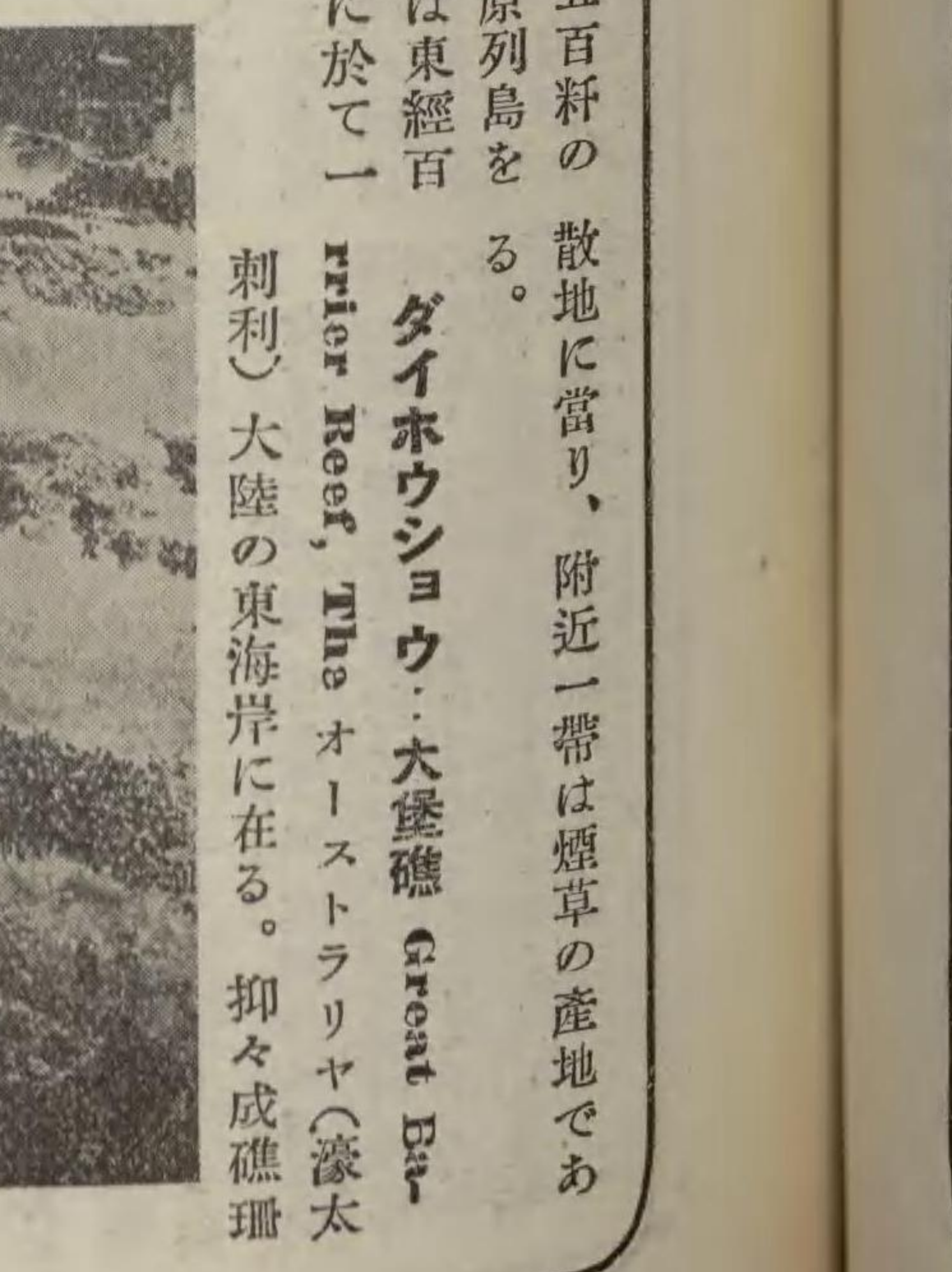
輕・宗谷・間宮各海峡は悉く涸渇し、東支に臺灣海流と稱することがある。

日本海流の本流は大隅海峡を過ぎし後東北東に向ひ、四國の沖合百六十料の邊を進みて殆ど紀伊の南端を衝き、之より正東に轉じ、やがて原方向に復し、八丈島の北方を過ぎ、房總半島の東方北緯三十五度に達す、此の間を黒瀨川と呼ぶ。之より其の方向が次第に北方に轉じ、之と共に幅員が大に増加して二百八十料以上に

失し、大部は宗谷海峡を過ぎ、南東に向ひて流るゝ海流で、同島の西方五百料の邊まで之感ずべく、殆ど小笠原列島を包圍するものゝ如く、其の速力は東經百四十一度、北緯二十七八度の間に於て一日九十料に及ぶ。

リマン海流及樺太海流 日本海流は阿斯科海の北西に接して流れ、樺太島の北に衝突し

**ダイホウシヨウ** *Great East* **大陸の東海岸に在る。抑々成礁珊瑚**





氷洋に續くも、大西洋との境は南亞米利  
加のホーン岬より南に向ふ子午線によ  
り、印度洋との境はタスマニア島のサウ  
ス岬より南に曳ける子午線による。  
〔沿岸の屈曲〕 ペーリング海峡の南に  
はペーリング海があつてアレウト列島に  
限られ、カムチャツカ半島と千島に圍ま  
れ、一定の海底山脈上に配せられ、  
其の間に四千五百米以上の窪地(海溝)多  
く、就中ニュージールランド群島の北には  
八千三百米より九千四百二十七米に至る  
深海が、約南北二十餘度に亘りて海溝と  
なつて居る。  
我が本州より千島に至る東方海上には  
の最深所は七千六百米に達する。  
太平洋は以上の如く深い、之に反し  
て其の副洋たる阿哥斯科海・日本海・黄  
海・東支那海等は一般に浅い。若し天  
の力を借りて太平洋の水を退かしむるこ  
と百尋ならしめんか、我が臺灣・朝鮮・津  
輕・宗谷・間宮各海峡は悉く潤濁し、東支  
那海に臺灣海流と稱することがある。

太平洋は以上の如く深い、之に反して其の副洋たる阿哥斯科海・日本海・黄海・東支那海等は一般に浅い。若し天の力を借りて太平洋の水を退かしむること百尋ならしめんか、我が臺灣・朝鮮・津輕・宗谷・間宮各海峡は悉く潤濁し、東支那海に臺灣海流と稱することがある。

日本海流の本流は大隅海峡を過ぎし後  
東北東に向ひ、四國の沖合百六十度  
進みて殆ど紀伊の南端を衝き、之より正  
東に轉じ、やがて原方向に復し、八丈島の  
北方を過ぎ、房總半島の東方北緯三十五  
度に達す、此の間を黒瀬川と呼ぶ。之よ  
り其の方向が次第に北方に轉じ、之と共  
に幅員が大に増加して二百八十度以上  
に達し、北緯四十度の邊より北東方に轉  
進み、次に東方北亞米利加の北西方に指  
ては一日五十度を示し、大隅海峡より黒  
瀬川の終端迄は一日約五十六度は達す  
ことがある。之より幅員の増加と共に速  
力が減少して三十七度以下となる。其の  
水溫は附近の海水よりも著しく高く、五  
月乃至九月迄は平均水溫が二十七度で、  
同緯度の海水よりも約四度高く、特に夏  
季南西季節風の吹奏する時季に於ては、  
最高水溫が三十度に達する。  
對馬海流 宮古島の北方、東經百二十  
六度、北緯二十七度附近の地に於て日本  
海流より分岐した海流は即ちシユレンク  
氏の命名せる對馬海流で、九州の西方を  
北上し、朝鮮海峡附近に至り、一部は五  
島濟州海流となりて黄海に入り、大部は  
朝鮮海峡を通過し、日本本土に接近して  
北東流し兩羽の沿岸を洗ひ、一支を津輕  
海峡に出し、大部は北上し宗谷海峡に至  
りて二分し、一は樺太の西岸を洗ひて消  
失し、大部は宗谷海峡を過ぎ、南東に向  
ひて網走附近を洗ひ、尙ほ千島の西方を  
北東に向ひて消失する。  
此の海流の速度は最初一日三十七度以  
下で、九州南岸の西に於ては速力緩く、  
且大に風に左右せられ、一時間一節内外  
となるが、朝鮮海峡に近づけば速力が増  
加し、時に三節となる。  
千島海流 勸察加半島の兩側を南下す  
る寒流が半島の先端附近で相合し、千島  
列島の東岸に沿ひて進み、新知島の東岸  
を経て根室水道口に達し、一部は根室灣  
に入り、他は根室・釧路の沿岸を洗ひ襟裳  
岬を迂回し、噴火(内浦)灣を過ぎ津輕海  
峽に一支を分派し、大部は同海峡より東  
に進み來る暖流を伴ひて三陸の沿岸を南  
下し、金華山沖に達し、時に犬吠岬に及  
ぶ。  
千島海流の速力は最初一日七十四度で  
千島列島の大部に於ては一日三十七度な  
るも、時として一時間五度に達すること  
がある。根室より津輕海峡に至る間は一  
日九度減少し、三陸の東岸に至りて十  
五度乃至二十度となる。  
平均水溫は五月には二度、水面上の大  
氣より低きこと十度に及び、又七月には  
海岸を距ること四十度内外の處で十八度  
を昇降する。此の海流の幅は平均三百七  
十度に及び、其の水が暗濁色を呈し、深  
藍色の黒潮と容易に區別し得る。  
小笠原逆流 小笠原群島の北を西に向  
ひて流る、海流で、同島の西方五百度の  
邊まで之感ずべく、殆ど小笠原列島を  
包圍するもの、如く、其の速力は東經百  
四十一度、北緯二十七八度の間に於て一  
日九十度に及ぶ。  
リマン海流及樺太海流 リマ  
ン海流は阿哥斯科海の北西に接  
して流れ、樺太島の北に衝突し  
て二分し、大部は間宮海峡を南  
下して日本海に入り、大陸に接  
近して朝鮮海峡に達し、時に東  
支那海に出で、臺灣海峡を過ぎ  
て南支那海に入る。  
樺太海流は樺太島の東岸を南  
下して多來加灣より亞庭灣に入  
り、尙ほ南方に進み北見に近く  
對馬海流の下に没する。  
南赤道海流 赤道の南を西に  
進み、東印度諸島に衝突して二  
派に分れ、其の一部は東濠洲海  
流となり、濠洲刺利の東を南下  
し、之より東流し、北東流し、ニ  
ーゼーランドの北に向ふ。  
ペルー海流 一にフンボルト  
海流と呼び、南亞米利加洲の西  
岸を南より北上し、秘露を経て還流とな  
り西に向ふ。寒流である。  
タイホ：大捕 (Tide) 支那共和國(中  
華民國) 廣東省の東部に在る都邑で、韓  
江に沿ひ、福建省に至る要地に當り、韓  
江小蒸氣船航路の終點を占め、物資の集  
積地に當り、附近一帶は煙草の産地であ  
る。日本海流の名を得、同島の東岸を洗ひて  
東向し、沖繩群島の西方百六十度邊を經  
て大隅海峡に向ふ。本海流は宮古島の北  
方北緯二十七度、東經百二十六度の邊に  
於て一小支流を東支那海に分派するが、  
臺灣南部より此の分岐點に至るまでを特  
に臺灣海流と稱することがある。

ダイホウシヨウ 大堡礁 Great Barrier Reef, The オーストラリア(濠洲刺利)大陸の東海岸に在る。抑々成礁珊瑚



大 堡 礁

珊瑚が暖海に於て各地に大岩礁を築くは  
到る處に之を認めるが、濠洲刺利の東岸  
に於ける大堡礁は規模の大なる點に於て  
世界其の比を見ざる處である。此の大堡  
礁は東岸クイーンズランド Queenstand  
の沿岸に在つて、南は南緯二十三度のホ  
ーランドの北に向ふ。  
タイヘイヨウ 大堡礁 Great Barrier Reef, The オーストラリア(濠洲刺利)大陸の東海岸に在る。抑々成礁珊瑚

タイヘイヨウ 大堡礁 Great Barrier Reef, The



ポート・ボウマン Port Bowen or Port Denison の沖に起り、北西方のトレス海峡に至る間、緯度十三度間、延長距離千九百軒に達し、其の幅平均六十四軒なるも、南端に近づき甚だ膨大して百十五軒に及び、海面を占領する事實に二十六萬方軒に達し、其の水上に出た部分が即ち島嶼で、これのみにても、七萬八千方軒の面積を占め、就中最大なるは南緯十八度餘なるヒンチンブルック島 Hinchinbrook で、島地以外の水底も悉く珊瑚礁が発達して居り、各種の魚類が其の間に游泳する等奇観名状すべからざる有様である。大堡礁の外縁は濠太刺利大陸の古代海岸線の位置を示すもの、如く、最初珊瑚礁が此の部に根底を築き、其の地盤の次第に沈降するに反し、珊瑚礁は次第に上部に礁を築き、以て今日見る如き偉大なる大堡礁を構成するに至つたもので、其の勢力の著大なるは眞に驚異に値する。

タイホク・テッドウー・太北鐵道 Northern Pacific Railway

亞米利加合衆國西部、コロラド高原 Colorado Plateau の西に在りて、ワサッチ山脈を東極とし、シェラネウアダ・カスケード山脈を西極とする大地域に互る平野で、北はコロムビア高原に接し、南は次第に縮りて、カリフォルニア州よりコロラド高原に連る。全土内地流域に屬し海拔千米乃至二千米に出入し、盆地内に數多の小山脈があつて、千五百米乃至三千米内外の高さを保つも毫も山脈の連鎖なく、多くは各處に孤立し、或は單に孤峰として存するものも甚だ多い。而して、嘗て何れよりか輸送せられたる岩碎が、平地・山麓の別なく到處に充満するを見れば、此等の山嶺孤峰は此等岩碎の爲めに埋められた山地の僅に高地點のみ島嶼的に残されしものに外ならない。此

タイボネチ・大盆地 Great Basin

此の大盆地は數多小盆地の集合より成り、各小盆地とも多少水流を有するものもあるも、何れも前記せし如く中途に於て消失し、或は湖澤に注ぐ。湖澤中或は流出あるものは淡水なるも、然らざるものは何れも鹹湖に屬し、其の盆地内の河川は、現今之を利用し、人工灌溉によりて次第に耕地を増加しつつあることが認められる。

等の高地は、水成岩のみならず變質岩・深成岩・火山岩等より成る。盆地内の平坦部は現今殆ど降雨なき爲め沙漠性と化し、只春季山地の融雪より來る水流を受くる處あるも、平野に達せんとするや乍ち蒸發し、或は地下に滲透し去るより、住民は僅に山麓地方にのみ湧出する泉水に水の供給を仰がねばならぬ。只處として多少流水ある地は豊沃比類なく、大鹽湖の西なるフムボルト河 Humboldt 及同湖の南なるセヴィール河 Sevier の如き此の類である。

タイシル・ハンタウ・半島 Taymyr Peninsula

アジヤ(亞細亞)洲の北部に在るシベリヤ(西比利亞)の北方に突出する半島で、東方のカタンガ灣 Khatanga と西方のバイシナ河 Paisana を頭部となし、其の北端をチェリユースキン岬、一名北東岬と呼ぶ(チェリユースキン岬を見よ)。

此の大堡礁は處々に切れ目があつて、十三軒乃至二十軒の深度を有し、大船の通路に當つて居る。珊瑚礁は淡水を好まざるより、河水の注入する部分即ち大河河口附近は沖合に至る迄之が発達を認むる事が出来ない。例へばクインズランドの主流たるバルドキン Burdikin、フィッツロイ Fitzroy、バルネー Burnett 各河口附近の如きは其の著しきものに屬す。大堡礁の内側則ち大陸の東岸との間は離陸

本地域内の湖沼は三群に分れ、一は大鹽湖を有する地域に當り、他はオレゴン州西部及びネヴァダ州西部に偏在する。是等の湖群はもと何れも大地域に互る一大湖であつたが、現今氣候悪化して降雨を欠き、給水なきより、縮小して數多に分裂したもので、各處に湖沼時代の沈積段丘を残して居る。大鹽湖の如きも、嘗て南方のユター湖其の他の結合せしものである。大盆地の西部に當りて海面以下

の兩低地がある。一はカリフォルニア東部の死の谷 Death Valley、東方アンゴサ山脈 Amargosa Range と西方パナミント山脈 Panamint Range の間に挟まり、全く乾燥して水なく植物も殆ど無い。他の一はカリフォルニア南部のコロラド沙漠で、其の最低地は海面下三十米乃至八十米に位す。所謂イムペリアルヴァリー Imperial Valley は其の南東部を占め、サルトン湖 Sarton を含み、沖積地によりてカリフォルニア灣と境するも、今はコロラド河の分流が是に注いで居る。

タイヤ・大冶 Tayeh

支那共和國(中華民國)湖北省東部に在る大冶湖の西岸に立ち、北部の獅子山其他は鐵礦の分布多く、所謂大冶鐵山の所在地に當る(タイヤテツザンの部を見よ)。

タイヤ・コ・大冶澤源湖 Tayeh Hu

支那共和國(中華民國)の中部、湖北省の南部に位し、石灰岩地に横はりて東西に長く、延長二十餘軒に及び、揚子江の水量の増減に従ひ、湖面に大小の差を生ず。大冶鐵山が其の西部に在る。

タイヤ・スウェーガチー河

本鐵山は宗時代に隆盛を極めた鐵山スウェーガチー河によりて灌溉せられ、人口が約二千ある。

タイヤ・サン・山 Dayabang Mo

英吉利領印度の北方に横はるヒマラヤ(喜馬拉耶)山系の一秀峰で、エヴェレスト山の北西方に位し、ネパール國とチベットとの國境上に立ち、海拔七、二四三米に達す。

タイリ・大理 Tai Li

支那共和國(中華民國)雲南省の西部に在る郡邑で、洱海の北方に沿ひ、北緯二十六度弱、東經百九度五分に位置し、大理石産地の中心に立ち、且英吉利領の緬甸に至る要地に當り、英吉利國經營の滇緬鐵道が早晚緬甸より猛印・騰越を経て此地を過ぎ、雲南に達すべく豫定である。此地はもと繁榮の都市



近路に當つて居る。珊瑚礁は淡水を好まざるより、河水の注入する部分即ち大河口附近は沖合に至る迄之が發達を認むる事が出来ない。例へばクインズランドの主流たるバルデキン Burdikin・フィツロイ Fitzroy・バルネット Burnett 各河口附近の如きは其の著しきものに屬す。大島嶼の内側則ち大陸の東岸との間は離陸

三千里内外の高さを保つも毫も山脈の連鎖なく、多くは各處に孤立し、或は單に孤峰として存するものも甚だ多い。而して、嘗て何れよりか輸送せられたる岩砕が、平地・山麓の別なく到る處に充満するを見れば、此等の山嶺孤峰は此等岩砕の爲めに埋められた山地の僅に高地點のみ爲めに残されしものに外ならない。此

州西部及びネヴダ州西部に偏在する。是等の湖群はもと何れも大地域に互る一

大湖であつたが、現今氣候悪化して降雨を欠き、給水なきより、縮小して數多に分裂したもので、各處に湖沼時代の沈積段丘を残して居る。大鹽湖の如きも、嘗て南方のユター湖其の他の結合せしものである。大盆地の西部に當りて海面以下

なし、其の北端をチェリユースキン岬、一名北東岬と呼ぶ(チェリユースキン岬を見よ)。

**タイヤ：大冶** *Tai-yeh* 支那共和國(中華民國)雲南省の西部に在る郡邑で、洱海の北方に沿ひ、北緯二十六度弱、東經百九度九分に位置し、大理石産地の中心に立ち、且英吉利領の緬甸に至る要地に當り、英吉利國經營の滇緬鐵道が早晚緬甸より猛印・騰越を経て此地を過ぎ、雲南に達すべき豫定である。此地はもと繁榮の都市であつたが、苗族及び回教徒の亂に住民が殺戮せられ、人口が僅に六千餘人となつた。附近には夷家並に民家兩民族の居住するものが多い。

**タイヤ・コ：大冶源湖** *Tai-yeh hu* 支那共和國(中華民國)の中部、湖北省の南部に位し、石灰岩地に横はりて東西に長く、延長二十餘里に及び、揚子江の水量の増減に従ひ、湖面に大小の差を生ず。大冶鐵山が其の西部に在る。

**ダイヤーズバーグ** *Dyersburg* 亞米利加合衆國テネッシー州ダイヤーの首府で、フックドギール河のノースフォーク河に沿ひ、イリノイ・セントラル鐵道通じ、メムフェイス市の北々東百二十二軒に位し、機械・綿布・煙草・綿子油等を産出し、人口が四千ある。

**ダイヤ・テツザン** *Tai-yeh* 支那共和國(中華民國)湖北省の大冶に在る鐵山で、石灰岩中に閃綠岩を迸發して偉大なる磁鐵鐵床を形成す

本鐵山は宗時代に隆盛を極めた鐵山で、現今漢冶萍公司が之を經營し、獅子山と鐵山の二個所に於て採掘するも鐵山區域は右兩山の外金山站・紀家峯(黨郷山)・象鼻山・砂帽山等約五百七十方軒に渉る大鐵床で、就中雌雄獅子山・象鼻山の如き、地上百米内外の丘陵は悉く鐵礦で、露天掘法を採用し、未だ地下に及ばない、鐵山と獅子山は既に八百五十萬噸を採掘し、其中我が製鐵所に供給せしもののみでも、四百五十萬噸に及んだ。尙ほ埋藏量が千五百萬噸乃至二千萬噸ある、象鼻山は千萬噸以上の鐵礦を藏し、大冶全山の鐵礦量は實に一億五千萬噸に達す。然し、實際同公司の權利を有するは現今採掘する區域に限る。鐵礦の品質は象鼻山は百分の五十八、七六に達す。鐵山と獅子山の鐵礦は主として我が製鐵所に之を供給し、象頭山の鐵礦は湖北省の所有で、漢冶萍公司と買鑛の約がある。

**ダイヤ・テツロ** *Tai-yeh* 支那共和國(中華民國)湖北省の大冶縣の短距離鐵道で、大冶の鐵礦を搬出するを目的として建設せしものに屬し揚子江岸の石灰窯から大冶の鐵山舖に至る二十九軒の主線の外、得道灣・獅子灣間三軒の支線を有し、一八九二年開通したもので、漢冶萍鐵礦公司が經營する。

**ダイヤナ** *Diana* 亞米利加合衆國、ニューヨーク州、レウイスの郡邑で、ウオータータウンの東北東四十八軒に位し、オ

スウェガチー河によりて灌漑せられ、人口が約二千ある。

**ダイヤバン・サン** *Dayabang Mo.* 英吉利領印度の北方に横はるヒマラヤ(喜馬拉耶)山系の一秀峰で、エヴェレスト山の北西方に位し、ネパール國とチベットとの國境上に立ち、海拔七、二四三米に達す。

**ダイヤモンド・サン** *Diamond Mountain* 亞米利加合衆國西部、カスケード山脈中の一峰で、オレゴン州ポートランド市の遙か南方に立ち、海拔二、六八四米に達す。

**ダイヤモンド・ハーバー** *Diamond Harbor* 英吉利領印度、ベンゴール省に在つて、ガンジス河の分流フーグリー河の河港に當り、カルカッタ市の南西五十軒に位し、船と汽車とが連絡し、カルカッタ市の外港に當る。

**タイウシュウ** *Taiyushu* 大洋洲 *Oceania* 太平洋中に立つオーストラリア(濠太刺利)大陸の外、太平洋に散在する數多の島嶼を含むものである(オセアニアの部を見よ)。

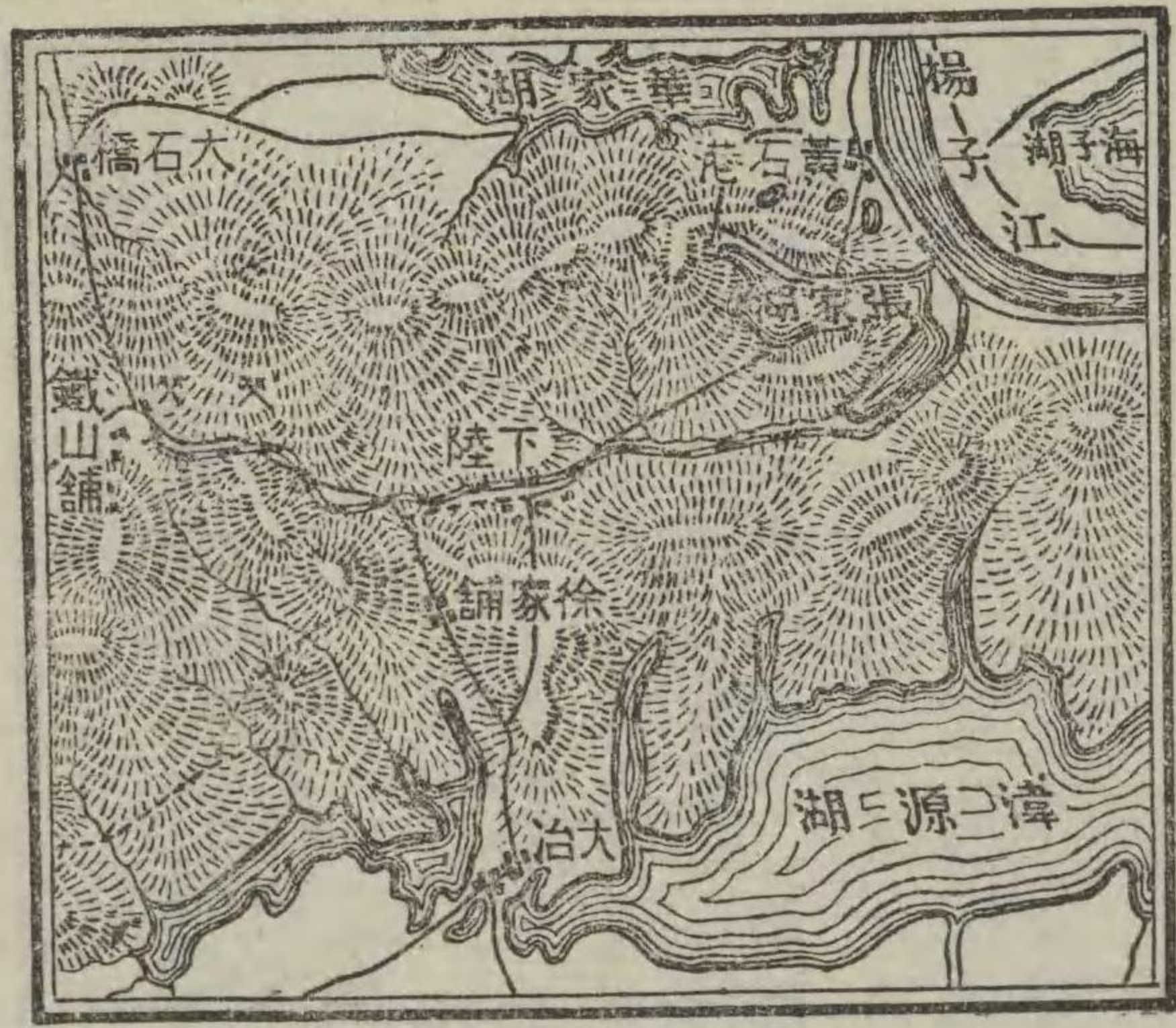
**タイラー** *Tyler* 亞米利加合衆國テキサス州スミスの郡邑で、ダラス市の東南東百六十九軒に位し、數多の鐵道通じ、タイラー及びテクサス兩カレッジの所在地に當り、棉花・果實・蔬菜等を産し、一八四四年初めて植民した地で、人口が一萬二千ある。

**タイリ** *Tali* 支那共和國(中華民國)雲南省の西部に在る郡邑で、洱海の北方に沿ひ、北緯二十六度弱、東經百九度九分に位置し、大理石産地の中心に立ち、且英吉利領の緬甸に至る要地に當り、英吉利國經營の滇緬鐵道が早晚緬甸より猛印・騰越を経て此地を過ぎ、雲南に達すべき豫定である。此地はもと繁榮の都市であつたが、苗族及び回教徒の亂に住民が殺戮せられ、人口が僅に六千餘人となつた。附近には夷家並に民家兩民族の居住するものが多い。

**タイリー・ジム** *Tiree of Tyree Island* 英吉利領印度、大ブリテン島北西部スコットランド西部、内へブリデス群島の一で、コール島の南西方、ムール大島の遙か西方に位し、南々西より東北東に長きこと二十軒、南北の幅最大九軒に達し、二小港を控え、生牛・家禽を輸出し人口が約二千ある。

**タイリウカ** *Tai-lung ho* 亞細亞洲の東方に在る滿洲國の奉天・熱河兩省に互る河川で、源を熱河省の南東部に發し、北流して朝陽・北票炭坑を過ぎて南東流し、錦州の南東に至りて遼東灣に注ぎ、下流は舟楫の便がある。

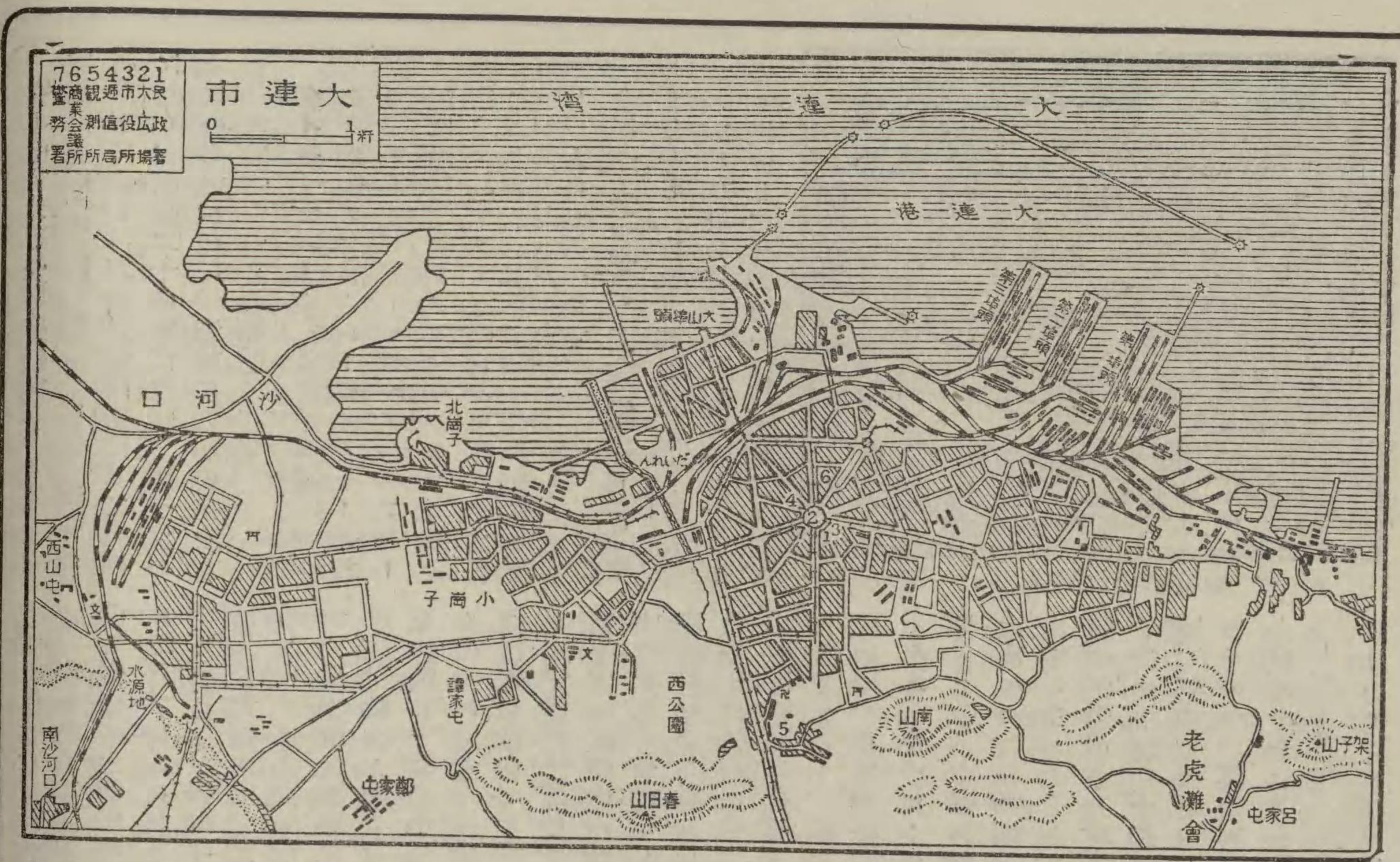
**タイレイ** *Tai-ley* 支那共和國(中華民國)陝西省の郡邑で、西安盆地の東方黄河の支流洛水の左岸に沿ひ、一同州と呼び、麥類及高粱産地の中心地に當る。



大冶附近圖

タイヤ・コ・ダイヤレイ





ダイレンシ：大連  
市 Dairen or Da-ryn City

（亞細亞）洲の東部、滿洲の遼東半島に在る我が租借地關東州の港で、金州地頭南部に在る大連灣に沿ひ、同灣の西部ウクトリヤ灣に面し市街は其の灣頭に立つ。同灣はよく各方面の風波を避け、水深も亦適度で良好な船地である。此の港はもと青泥窪と西青泥窪の二村に分れ、人煙稀なる漁村に當り、徒らに蘆荻の繁茂するに委せて居つたが、明國の嘉靖年間、支那が我が倭寇に備へん爲めに、青泥窪・沙河・平島臺等に倭寇臺を築いたことがある、降て一八六〇年英佛聯合軍が北京・天津を攻撃せし際に英國艦隊は此の地を海軍根據地となし、ウクトリヤ灣の名を命じた。次で清國の李鴻章が旅順・大連を経営するや、獨逸のハンネッケンを軍事顧問となし、柳樹屯に要塞を設けたるより大連の名が世に著はるゝに至つた。次でロシア國が此地を租借するや、クルベックの獻策により二千餘萬留を授じ、東青泥窪海岸を最新式設備により築港し、都市を設け、之をダルニーと命名し、一意之が完成に努めたが、中途にして日本とロシア國が干戈を交ふる大連灣たらしめた。其の設備は次の通り

海上設備

防波堤

東防波堤	三七一米
北防波堤	二、二四二米
西防波堤	一、三六三米
計	三、九七六米

港

東港口 (主港口)	幅 三六四米
北港口 (帆船及小蒸氣船用)	幅 一一一米
西港口 (同上)	幅 六〇米

防波堤内水面積 三一、三五〇方尺(實際使用し得べき面積は三〇六〇方尺)

繫船岸壁 第一埠頭 七六五米 甲埠頭 三七一米 第二埠頭 一、三三三米 乙埠頭 二七四米 第三埠頭 一、三三三米 計四、〇七六〇米

繫船區 各區長さ 一、二二米

危險物用棧橋 長さ 三四四米

港内水深 平均(最干潮百以下) 三四四米 潮升 二米四

目下第四埠頭も將に完成し、三萬噸級の船舶を繋留すべく、水深も十五米以上之を浚深し、一年間の貿易額一千五百萬噸を標準となして大擴張を行ひつゝを舗き詰め、車道はマカダム式舗道に建造せられ、兩側はアカシヤ・白楊等の街路樹並び立ち、眞に最新式文化の市街丘陵を自ひ、西方にも小丘を擁し、東西八軒、南北三軒餘に達し、東部は中央の之を改めて、兒玉町・大連通・奥町・山縣

市街は北方大連港に面し、南部一帯に街路樹並び立ち、眞に最新式文化の市街丘陵を自ひ、西方にも小丘を擁し、東西八軒、南北三軒餘に達し、東部は中央の之を改めて、兒玉町・大連通・奥町・山縣

通・寺内通等戦役に關係ある武將の名を如し。

附し、或は敷島町の如く雅名を用ふるも

あり、或は石見町・駿河町・近江町等内地

の地名を冠するもある。市の内外には東

公園・北公園・電氣公園を設け、東公園に

は日露役に殉せし軍人軍屬四千人の遺灰

を納めた表忠碑を建立し、西公園には數

男

女

計

大連

水上(大連灣内)

小島子

二七、〇〇九

三三、八四四

五〇、九三三

三二

四四

八、〇五三

1. ドネガル外三州に接し、三千三百十五

方尺の面積と十三萬三千の人口を有し、

主として丘陵地より成り、スベルリン其

他の山脈連り、デルグ及びブラックウオ

ーター其他の河川によりて灌漑せられ、

東はニール湖に沿ひ、燕麥・馬鈴薯・麻等を

年附近のシールド・Sheilds・カラコー

ン Cullercoats・プレストン Preston

及びチルトン Chilton を合併するに至

り、

十九世紀の初めには食鹽及び石炭取引の

中心地となり以て今日及び、一八四九





等に倭寇を築いた級の船舶を繋留すべく、水深も十五米以上を有し、一年間の貿易額一千五百萬噸を標準となして大擴張を行ひつゝ、北六〇年英佛聯合軍が北京・天津を攻撃せし際に英國艦隊は此の地を海軍根據地となし、グイクトリ

市街は北方大連港に面し、南部一帯に丘陵を自ひ、西方にも小丘を擁し、東西八軒、南北三軒餘に達し、東部は中央の之を改めて、兒玉町・大連通・奥町・山縣

街路樹並び立ち、眞に最新式文化の市街である。もとロシア人が附した街名は之を改めて、兒玉町・大連通・奥町・山縣

通・寺内通等戦役に關係ある武將の名を如し。

あり、或は敷島町の如く雅名を用ふるもの地名を冠するもある。市の内外には東公園・北公園・電氣公園を設け、東公園には日露役に殉せし軍人軍屬四千人の遺灰を納めた表忠碑を建立し、西公園には數多の茶園・音樂堂・運動場があり、電氣公園は市の中央伏見臺上に位し、南滿洲鐵道會社の經營に屬し、大連市街を瞰下すべく、灣を隔て、北方柳樹屯及び大和尙山に對し、形勝の位置を占む、電力を應用して諸般の設備をなせるより此の名がある。園内には温室・花園・演藝場・射撃場・喫茶店等を設けた。

市の内外には、南滿洲鐵道會社を初め數十の油房(搾油所)・製紙・燐寸・瓦斯・醸造・製材・鐵工・石鹼・硝子・化學・電氣・皮革・煉瓦・造船等の工場或は諸會社・銀行等分布し、工商業が隆盛を極めて居る。本市は人口二十三萬を有し、就中、内地在住民は五萬を超え、他は支那人を主とし、少數の外國人も居住する。尙ほ市の西方に小崗子街・聖德街等があり、伏見臺を隔て、舊本市と相對し、住民は共に支那人の居住者を主とし、屠牛場・油房・燐寸其他の工場ありしが、今は大連市に編入し、數多の新市街を設けた。沙河

河口は其の西方に位し、南滿洲鐵道會社の大工場がある。

男 女 計

大連 二七、〇〇九 三三、八四九 五〇、九三三  
水上(大連灣内) 三、七 二、九 六、六六  
小崙子 四、一四四 三、八五五 八、〇〇九  
沙河 七、二七 六、四一三 一三、六八六

大連市附近には二三の勝地がある。星ヶ浦は市の南西十餘軒の地に位し、黄海に面し海水浴場を設け、南滿洲鐵道會社の經營せるヤマトホテル其他の旅館もあり、又遊技場もあり、別荘もあつて、前方に小島點在し、風光良く大連と電車を通ず。其の南西方八軒の地にある小平島は一半島で懸崖屹立し、白波之に激し勝景比なく、老虎灘は市の南東四軒の地に位し、製鹽地として知られたる處で、此の地の西方に一岩礁突出し、恰も老虎の嘯くが如きより此の名がある。背後なる左右の丘陵には松柏類が翠を競ひ、前には海水灣入して白帆去來し、風光の美、星ヶ浦と相競ひ、釣魚・納涼・海水浴地として知られ、電車が大連と連る。

タイレン・ワン・大連灣 Dal-lien-wan or Darley Bay 我が租借地關東州の東岸に位し、遼東灣内の金州灣と東西相對して遼東半島を狹窄し、所謂金洲地頭を形成し、大連市が灣頭に在る(大連市を見よ)。

タイローン Tyrone 英吉利國北アイランドの州名で、アイランド(愛蘭)島北部ウルスターに屬し、ロンドン德里

1. ドネガル外三州に接し、三千三百十五方軒の面積と十三萬三千の人口を有し、主として丘陵地より成り、スベルリン其他の山脈連り、デルグ及びブラックウォータ其他の河川によりて灌溉せられ、東はニール湖に沿ひ、燕麥・馬鈴薯・麻等を産し、牧羊行はれ、ストラベーン・クックスタウン・ダンガンノン各市がある。

タイン・ガハ(ワ)河 Tyne River 英吉利國、大ブリテン島イングランド(英北東部の河川で、南北タインに分れ、北タイン河はチェヴィット地方に發し、南タイン河はクロウスマフェルの東方、ベニン山脈東部に發して北流し、次で東に向ひ、五十三軒間の流路を経てエクスハム市に近く北タイン河と合し、東流すること四十八軒に及びて北海に注ぎ、下流にタインマス・サウスシールズ・ジャロ

タインマス Tyne-mouth 英吉利國アイランド(英蘭)の中央東部に在るノールザムバーランド州の南東部、タイン河の河口左岸に位するよりタインマス

タインマス Tyne-mouth 英吉利國アイランド(英蘭)の中央東部に在るノールザムバーランド州の南東部、タイン河の河口左岸に位するよりタインマス

タインマス Tyne-mouth 英吉利國アイランド(英蘭)の中央東部に在るノールザムバーランド州の南東部、タイン河の河口左岸に位するよりタインマス

タインマス Tyne-mouth 英吉利國アイランド(英蘭)の中央東部に在るノールザムバーランド州の南東部、タイン河の河口左岸に位するよりタインマス

タインマス Tyne-mouth 英吉利國アイランド(英蘭)の中央東部に在るノールザムバーランド州の南東部、タイン河の河口左岸に位するよりタインマス

タインマス Tyne-mouth 英吉利國アイランド(英蘭)の中央東部に在るノールザムバーランド州の南東部、タイン河の河口左岸に位するよりタインマス

タインマス Tyne-mouth 英吉利國アイランド(英蘭)の中央東部に在るノールザムバーランド州の南東部、タイン河の河口左岸に位するよりタインマス

タイレン・ワン・ダヴァオ・サンミヤク



**Mountains** アジヤ(亞細亞)洲の東に在るフィリピン(比律賓)群島の南部に在るミンダナオ島 Mindanao の山脈で、同島の中部を南北に貫ぬき、南方テナカ岬に没し、タヴァオ山(三、三〇〇米)を盟主とする。

**タヴァオ・ワン** Davao Bay アジヤ(亞細亞)洲の東方に在るフィリピン(比律賓)群島の南部に在るミンダナオ島の一海湾で、同島の南より北に入り込むこと百五十料、灣澳にサトル島 Samal 横はり、其の西にダヴァオ港がある(ダヴァオの部を見よ)。

**タヴァステフス** Tavastehus フィンランド(芬蘭)共和国南西部、タヴァステフス州の首府で、同國にては之をハメーンリンナ Hamenlinna と呼び、オーボ市 Åbo の北東百二十料に位し、ヘルシングフォルス・レンングラード鐵道によりレニングラード市と連絡し、穀物・麻及家禽を産し、人口が六千五百ある。

**タウアタ・シム** Taunata Island オセアニア(阿西亜尼亞)洲、ポリネシア群島の東部に在るマルキーズ群島中の火山島で、山岳峙ち海岸には珊瑚礁を繞らす。本島のレンリウシエン灣 Resolihon Bay は本群島中の良港である。

**タウアラ** Tauala 亞米利加洲ギネヤ灣頭、カメルーンの海港で、一にツアラと呼ぶ(ツアラの部を見よ)。

**ダヴァンギール** Davao 英吉利領印度の都邑で、マイルの北部に位し、人口が七千ある。

**タヴィウニシマ** Tavuni Island オセアニア(阿西亜尼亞)洲フィジー群島中に在り、ヴァヌアレヴ島の南東に位し、サモ・サモ海峽 Samo-Samo を隔てて同島の南東に突出せる半島と相對し、島形が長楕圓を呈して北東より南西に向ひ、其の面積五百六十二方料に及び、全島山地より成り、最高點は千九百九十五米に達し、其の斜面はよく農耕に適し、住民が是に定着して耕作に徒事する。

**タウイス** Davis 亞細亞洲の東方、太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島バングラオ島北岸の都邑で、ボホル州に屬し、タグピララン市の南西二料に位し、人口が九千ある。

**タヴィストック** Tavistock 英吉利國大ブリテン島、イングリランド(英蘭)デヴォンシャの都邑で、タヴァー河 Tavay に沿ひ、プリマス市の北方二十四料に位し鐵道通じ、サンユースタチューズ寺、教育研究所、ケリーカレッジ等存し、鑛業地、農産地の中心に位し、又毛織物業に著はれ、水夫服を産し、定期市開かれ、人口が四千三百ある。

**タウイ・タウイ・グンタウ** Tawi Tawi 群島 Tawi Tawi Islands アジヤ(亞細亞)洲の東方に在るフィリピン(比律賓)群島の南部を占めるズールー群島 Sulu の一部

數多の珊瑚礁より成り、北緯五度十二分、東經百十八度に位し、タウイタウイ島が主島である。

**タヴィラ** Tavira ポルトガル(葡萄牙)共和国アルガルヴェ州の海港で、リスボン市の南東二百十九料に位し、ヒラ河 Gilia に沿ひ、回教寺院・ルネサンス式舊教寺院を有し、其の港は二要塞に守られ、小船の出入に適し、果實・鮪及び鰻を取引し、人口が一萬二千ある。

**ダーウエル・シム** D'Urville Island 太平洋南部に在るニュージーランド群島、南島の北方に位し、タスマン灣の東門に當り、西方フェャーウエル沙嘴 Fawell Spit と相對し、沿岸の屈曲著しく、附近に小島が甚だ多し。

**タウイ・ワン** Tawi Bay オホーック(阿哥斯科)海の北方、東經百五十度の子午線を中心として北に入込む小灣である。

**タウイーン** Tawun of Tawun 英吉利國大ブリテン島、ウエールズ(威勒士)メリオネスシャの都邑で、カーヂガン灣に沿ひ、アペリーストウイス市の北方十九料に位し、海水浴地として著はれ、人口が四千五百ある。

of Palmeston と呼び、製氷場及び優秀なる植物園を有し、南東方カゼリン Katherine に至るまで南北縱貫鐵道が通じ、南北陸上縱貫電線が南方のアデレード市より來り、此の地に於て海底線と連絡する。

**ダーウイン・サン** Darwin Mount 南亞米利加洲の南端なるフェル島 Tierra del Fuego の南岸に在つて、高さが二、一五〇米に達する。

**タヴェタ** Taveta 亞非利加洲東部、ケニヤ地方の一植民地で、ウエイ Voi と百六十料を隔て、ウガンダ鐵道に沿ひ、ウサンバラ鐵道驛のモシ Moshi と鐵路四十五料を隔て、タンガンイカの境上に立ち、キリマヌジャ山(北東麓)海拔七百七十米の地に在る、一八八四年九月サー・エーチ・ジ・マンストン Sir H. Johnston が、酋長と協約した地である。

**ダーウイン** Darwin 英吉利國(英吉利)國イングリランド(英蘭)ランカシャの都邑で、ダルウエン河に沿ひ、マンチェスター市の北西三十二料に位し、紙・綿布・鼓風爐等を産し、石炭及び石村を採掘し、定期市が開かれ、人口が四萬餘ある。

**ダーウエント・ウオーター** Derwent Water 英吉利國(英吉利)國、イングリランドのカムブリヤ山地に在る湖沼で、グルウエントウオーターは其の第一群即ちカムブリヤランド・西モールランド及び北ラン

カシヤ地方に互る湖群の一に位し、デルウエント河系に屬し、河川の運搬せる砂泥の沈積により分離せるもので、南より來るポロダルの水を容れ、南北に長く約五料に及び、其の幅二料に達し、其の東北に決して北西に向ひ、ダッセンスワイト湖に注ぐ。周圍に山地を繞らし風景極めて良く、湖の南方にロードル瀑布

カシヤ地方に互る湖群の一に位し、デルウエント河系に屬し、河川の運搬せる砂泥の沈積により分離せるもので、南より來るポロダルの水を容れ、南北に長く約五料に及び、其の幅二料に達し、其の東北に決して北西に向ひ、ダッセンスワイト湖に注ぐ。周圍に山地を繞らし風景極めて良く、湖の南方にロードル瀑布

カシヤ地方に互る湖群の一に位し、デルウエント河系に屬し、河川の運搬せる砂泥の沈積により分離せるもので、南より來るポロダルの水を容れ、南北に長く約五料に及び、其の幅二料に達し、其の東北に決して北西に向ひ、ダッセンスワイト湖に注ぐ。周圍に山地を繞らし風景極めて良く、湖の南方にロードル瀑布











タウボ盆地 盆地 Taupo Basin ニューゼーランド群島、北島の中部に位

を帯び、交運に便利である。

タウボ盆地 盆地 Taupo Basin

二十九度に起るが、之はクレテ島より脈

を曳くもので、之より東方に至り、東經

Atalia の西方、北緯三十六度半、東經

に起因し、セント・パトリック St. Patrick

の埋葬地と稱せられ、ダウンの宗教監督

に當り、モスリン・皮革・石鹼を産し、定

期市が開かれ、人口が三千二百ある。

タウンスビル Townsville オースト

ラヤ(濠太刺利)大陸クインズランド州

東岸の都邑である(タウンスヴィルの部

を見よ)。

タウンスビル Townsville

Mount オーストラリア(濠太刺利)大陸

ニューサウスウェールズ州南東部に在

り、アルプスの主峰コシユースコ山麓中

に聳え、本大陸の最高山で、海拔(二、二四

一米)に達す(コシユースコ山麓を見よ)。

タウンスビル Townsville

大ブリテン島、イングランド(英蘭)ノー

ザンプトンシヤの都邑で、同地方に於て

はデントリーと發音する(デントリー

の部を見よ)。

デントリー Denton

リテン島、イングランド(英蘭)ウイルト

シヤの都邑で、サリスベリー市の南々東

十三軒、アヴォン河に跨り、紙及び鞣革を

産し、農業カレッジを有す。市の東端に

アングロ・サクソン時代にムート Mount

と呼ばれし堤がある。市の人口は二千あ

タウルス・サンミヤク 山脈 Taurus

Mountains アジヤ(亞細亞)洲の西方に

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

殆ど百十軒の海岸線を有し、アイリッシュ

海に面し、北にベルファスト灣が入込

み、南にダンドラム灣、カリーングフォ

ード灣を控え、中央にストラングフォ

ード灣が湖水状をなして南より深く突入し

ラガン・パン及びニューリー三河通じ、

各處に湧出し、地表は丘陵性で、

人口が一萬四千ある。

タウルス・サンミヤク 山脈 Taurus

Mountains アジヤ(亞細亞)洲の西方に

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はリ、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

で、地中海沿岸に横はり、アダリヤ灣

に突出する小亞細亞半島の南部に在る山脈

タカセーガハ(ワ)河 Takaze or

Takase River 1)ナチート河 Enchiel

Setit と呼び、アフリカ(阿非利加)洲ア

ビシニヤに在る河で、アトバラ河の大支

流と言はんよりは寧ろ水量の大なる點に

於ては本流と認むべく、源をアビシニヤ

高原の北部海拔二千餘米のシメン高地

Siemenに發し、數多の諸支流を合せて北

西流し、次で西に向ふが、其の間大峽谷

を穿ち、水流矢の如く、彼岸への通過不

能なるのみならず、谷底より天空を仰望

する能はぬ恐ろしき地域が多く、雨季に

は著しく増水する。タカセー河は同季節

に水流矢の如きより恐怖の河の意により

與へられた名である。同河はアビシニヤ

を出で、西方メビヤのトマト Tomat

に至りてアトバラ河に合する。斯く雨季

に水量が多いが、乾季には全く涸渇する

(アトバラ河を見よ)。

タカセーガハ(ワ)河 Takaze or

Takase River 1)ナチート河 Enchiel

Setit と呼び、アフリカ(阿非利加)洲ア

ビシニヤに在る河で、アトバラ河の大支

流と言はんよりは寧ろ水量の大なる點に

於ては本流と認むべく、源をアビシニヤ

高原の北部海拔二千餘米のシメン高地

Siemenに發し、數多の諸支流を合せて北

西流し、次で西に向ふが、其の間大峽谷

を穿ち、水流矢の如く、彼岸への通過不

能なるのみならず、谷底より天空を仰望

する能はぬ恐ろしき地域が多く、雨季に

は著しく増水する。タカセー河は同季節

タカセーガハ(ワ)河 Takaze or

Takase River 1)ナチート河 Enchiel

Setit と呼び、アフリカ(阿非利加)洲ア

ビシニヤに在る河で、アトバラ河の大支

流と言はんよりは寧ろ水量の大なる點に

於ては本流と認むべく、源をアビシニヤ

高原の北部海拔二千餘米のシメン高地

Siemenに發し、數多の諸支流を合せて北

西流し、次で西に向ふが、其の間大峽谷

を穿ち、水流矢の如く、彼岸への通過不

能なるのみならず、谷底より天空を仰望

する能はぬ恐ろしき地域が多く、雨季に

は著しく増水する。タカセー河は同季節

に水流矢の如きより恐怖の河の意により

與へられた名である。同河はアビシニヤ

を出で、西方メビヤのトマト Tomat

に至りてアトバラ河に合する。斯く雨季

に水量が多いが、乾季には全く涸渇する

(アトバラ河を見よ)。

タカセーガハ(ワ)河 Takaze or

Takase River 1)ナチート河 Enchiel

Setit と呼び、アフリカ(阿非利加)洲ア

ビシニヤに在る河で、アトバラ河の大支

流と言はんよりは寧ろ水量の大なる點に

於ては本流と認むべく、源をアビシニヤ

高原の北部海拔二千餘米のシメン高地

Siemenに發し、數多の諸支流を合せて北

西流し、次で西に向ふが、其の間大峽谷

を穿ち、水流矢の如く、彼岸への通過不

能なるのみならず、谷底より天空を仰望

する能はぬ恐ろしき地域が多く、雨季に

は著しく増水する。タカセー河は同季節



當る。  
**タカナサン山 Tacana or Tacano** Mount 中央亞米利加のグアテマラ共和國西部に在る火山で、海拔三、五〇八米に達する。

**タガニツク・サンミヤク山脈 Tachanie Mountains** 亞米利加合衆國の山脈で、一にタコニツク山脈と呼ぶ(タコニツク山脈の部を見よ)。

**タガニツク・フォールス Tachanuck Falls** 亞米利加合衆國、ニューヨーク州の村落で、一にタウガノック・フォールスと呼ぶ(タウガノック・フォールスの部を見よ)。

**タカノサン山 Tacano Mount** 中央亞米利加、グアテマラ共和國西部の火山で、一にタカナ山と呼ぶ(タカナ山の部を見よ)。

**タガボ・サンミヤク山脈 Tagabo Jebel** 亞非利加洲のアンゴラ埃及スダンに在る火山質の山嶺で、一千百餘米に出入する。

**タガニ Dagami** 亞細亞洲の東方、太平洋西部に在るフィリピン(比律賓)群島、レーテ島の都邑で、マヤ河に沿ひ、同島の東岸に近く、手製更紗の産出に著はれ、人口が一萬三千ある。

**タカリグワ・コ湖 Tacarigua Lake** 南亞米利加洲ヴェネズエラ共和國の中央北部に在る小湖で、一にヴァレンシヤ湖と呼ぶ(ヴァレンシヤ湖を見よ)。

**ダカル Dakar** 亞非利加洲、西亞非利加の佛領セネガル植民地の西端、北緯十五度弱に突出せるヴェルデ岬の南東角に在り、佛國西亞非利加統治の中心地に當り、總督府・舊教監督所・無線電信所を置き、海底電線が本國のブレストと連る。

港は比較的良港で乾船渠を有し、佛國艦隊の根據地と貯炭港を兼ね、市内に師範學校・各種専門學校等備はり、又工業行はれ、人口が二萬六千に達し、其中佛國人が三千人居住する。其の前方一小島ゴレー(Goree)にゴレー市がある。

**ダカル・ハンタウ・半島 Dakar Peninsula of** 亞非利加洲の北部に在るチュニス北東に突出する半島で、チュニス灣 G. of Tunis とハムマメット灣 G. of Hammamet との間に突出し、其の先端をボン岬 G. Bon と呼び、伊太利と地中海を隔て、相對して居る。

**タガノク Taganrog** ソヴエト聯邦ロシア本國、ドンゴザックに屬し、アフ河の北東岸に在る有名な港で、リマンをなし、ドン河のタガノク灣西に沿つて、此の地は嘗て北清事變の際、聯合軍の敵前上陸の地に當り、我が服部海軍少佐が此處に戦死せられた。

**タグ・ガハ(ワ)河 Tag Wady** 亞非利加洲の東部ソマリランドに在つて、ハラル高原より來るウエビ河に合すと雖も、雨季以外には水なく、他の諸支流と共に砂土或は鹹盆地に消失する。

**タガノク・ワン・ワニ Taganrog, Wani** 亞非利加洲の東部ソマリランドに在つて、ハラル高原より來るウエビ河に合すと雖も、雨季以外には水なく、他の諸支流と共に砂土或は鹹盆地に消失する。

**ダクル Dakhla** 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。

**タギーグ Taguig** 亞細亞洲の東方、太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島のルソン(呂宋)島の屬島リサルの村落で、ラグナ島の北西岸に在り、人口が七千餘ある。

**ターキー・グンタウ・群島 Turkey Isles** 亞細亞洲の南東に在るマレー(馬來)群島の一で、ジャヴァ海上に横はり、一にカルクーン群島と呼ぶ(カルクーン群島の部を見よ)。

**ダキンシャハバズブル・ジブ・島 Dakinshahabazpur Island** 英吉利領印度ベングール省に在り、一にデカ島と呼ぶ(デカン島の部を見よ)。

**ターキー・太沽 Takau** 支那共和國(中華民國)河北省の開港で、渤海灣頭に注ぐ白河の口に近く、河口及び附近が遠淺の爲め船舶は遠く沖合に停船し、貨物はジャンクと淺吃水の汽船とに積み替へ之を天津に輸送す、されば天津の外港たる位置に在る。

**タクランデン Daxlanden** ドイツ國(中華人民國)山西省の都邑で、同省の南東部に近く、一に晉城と呼び、山西炭田の南部に在り、沁水流域に當り、石炭業の中心地を占め、同河方面より之を搬出する。

**タークス・グンタウ・群島 Turks Islands** 西印度諸島、バハマ群島の一で、カイコス島とも呼び、行政上ジャマイカ島に屬す(カイコス島の部を見よ)。

**ダグスブルヒ Dagsburg** ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ローレンの都邑で、プフルツブルヒ市の南方十八軒に在り、人口が三千餘ある。

**タクシコウ 澤州 Tse-chou** 支那共和國(中華人民國)山西省の都邑で、同省の南東部に近く、一に晉城と呼び、山西炭田の南部に在り、沁水流域に當り、石炭業の中心地を占め、同河方面より之を搬出する。

**タクランデン Daxlanden** ドイツ國(中華人民國)山西省の都邑で、同省の南東部に近く、一に晉城と呼び、山西炭田の南部に在り、沁水流域に當り、石炭業の中心地を占め、同河方面より之を搬出する。

**タクランデン Daxlanden** ドイツ國(中華人民國)山西省の都邑で、同省の南東部に近く、一に晉城と呼び、山西炭田の南部に在り、沁水流域に當り、石炭業の中心地を占め、同河方面より之を搬出する。

**タクランデン Daxlanden** ドイツ國(中華人民國)山西省の都邑で、同省の南東部に近く、一に晉城と呼び、山西炭田の南部に在り、沁水流域に當り、石炭業の中心地を占め、同河方面より之を搬出する。

**タクランデン Daxlanden** ドイツ國(中華人民國)山西省の都邑で、同省の南東部に近く、一に晉城と呼び、山西炭田の南部に在り、沁水流域に當り、石炭業の中心地を占め、同河方面より之を搬出する。

**タクランデン Daxlanden** ドイツ國(中華人民國)山西省の都邑で、同省の南東部に近く、一に晉城と呼び、山西炭田の南部に在り、沁水流域に當り、石炭業の中心地を占め、同河方面より之を搬出する。

**タクランデン Daxlanden** ドイツ國(中華人民國)山西省の都邑で、同省の南東部に近く、一に晉城と呼び、山西炭田の南部に在り、沁水流域に當り、石炭業の中心地を占め、同河方面より之を搬出する。

リガ灣北の島地で、一にダゲイ島又はダギー島と呼ぶ(ダゲイ島の部を見よ)。

**タクト・サン山 Takut Mount** 亞非利加洲の北部に在るトリポリリタニア地方に在るジェフアラ平野 Jefara の南に屹立し、八五四米の海拔を有する死火山である。

及ぶ太平洋戦に於て智利軍が之を占領し、今尙ほ還附せず、領土未決定の状態に在る。

**タクナ Tacna** 南亞米利加洲チリ(智利)博物館等を有し、人口が約二萬ある。

**タクララ Dakhla** 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。

**タクララ Dakhla** 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。

**ダグラス・シマ・島 Douglas Island** 北亞米利加洲北西部、アラスカに在る火山で、一にダゲイ島又はダギー島と呼ぶ(ダゲイ島の部を見よ)。

**ダグラス・シマ・島 Douglas Island** 北亞米利加洲北西部、アラスカに在る火山で、一にダゲイ島又はダギー島と呼ぶ(ダゲイ島の部を見よ)。



島、レーテ島の都邑で、マヤ河に沿ひ、同島の東岸に近く、手製更紗の産出に著はれ、人口が一萬三千ある。  
**タカリグワコ湖** Tacarigua Lake 南亞米利加洲ヴェネズエラ共和国の中央北部に在る小湖で、一にヴァレンシヤ湖と呼ぶ(ヴァレンシヤ湖を見よ)。  
この地は嘗て北清事變の際、聯合軍の敵前上陸の地に當り、我が服部海軍少佐が此處に戦死せられた。  
**タグガハ(ワ)河** Tagu Wady 亞非利加洲の東部ソマリランドに在つて、ハラル高原より來るウエビ河に合すと雖も、雨季以外には水なく、他の諸支流と共に砂土或は鹹盆地に消失する。  
**タクチスレーマン山** Takht Suleiman Mount 英吉利領印度の西境に在るスレーマン山脈の中央北部、北緯三十一度四十分、東經七十度位に、北方カイサンガル山と相對し、海拔三、三七五米に達する。  
**タグデン山** Tagden Island 歐羅巴洲北部に在るエヌストニヤ共和国、

リガ灣北の島地で、一にダゲイ島又はダギー島と呼ぶ(ダゲイ島の部を見よ)。  
**タクト・サン山** Takut Mount 亞非利加洲の北部に在るトリポリタニヤ地方に在るジェフアラ平野 Jefara の南に屹立し、八五四米の海拔を有する死火山である。  
及ぶ太平洋戦に於て智利軍が之を占領し、今尙ほ還附せず、領土未決定の状態に在る。  
**タククバヤ** Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タクナ Tacna 南亞米利加洲チリ(智利)共和国の最北部の一州に當り、全土が荒蕪地で、屢々地震があるが、銀・銅・硝石を主産物となし、羊とアルパカを飼ふ。もと秘露領であつたが、戦争のため一八八三年、十年の期限を以て智利が占領せしめ未だに還附しない、面積一萬五千餘方軒、人口三萬一千を有し、タクナを首府とする(タクナ市の部を見よ)。  
**タクナ** Tacna 南亞米利加洲チリ(智利)共和国の北部に在る同名の州の首府で、アンデス山地に近き沃野の中心に位す、アリカ港 Arica は南西六十四軒に在つて之が門戸となり、同港より本市を通じてボリウヤ國のラバスタ Paz 其他の都市に至る要地に當り、商業が盛んで、一八八〇年五月二十六日智利軍が大いに秘露・ボリウヤ兩軍を破つた處で、今尙ほ秘露領であるが、事實上智利國に占有せられ、人口が一萬五千ある。  
**タクナ・アリカ** Tacna and Arica 南亞米利加洲、チリ(智利)共和国の北部に在る地方で、兩州に分れ、秘露の領土であるが、一八七九年より一八八一年に

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タククバヤ Taqubaya 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国の都邑で、墨西哥市の南西八軒、海拔一、六四二米の高原上に立ち、鐵道の接續點に當り、天文臺、博物館等を有し、人口が約二萬ある。  
**ダグラー** Daghla 亞非利加洲北部、エジプト(埃及)王國西部、リビヤ沙漠の泉地で、アシウト市の南西二百五十七軒に在る。  
**タクラコ湖** Tucla Lake 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の太平洋斜面に在つて、スカンデナヴィヤ半島の山地に於けるが如く、氷河の侵蝕によれる遺跡に湛水せるものである。  
**ダグラス** Douglas 英吉利國の一地方たるマン島の首府で、アイリッシュ海同島東岸、北緯五十四度七分、西經四度三十分位に、同名の港頭に立ち、F. I. Dhoo. Glas. Gas 兩河の合流せる口立つつり此の名が出た。氣候が良好で、避暑に適し、之に對する設備が充分整ひ、人口が二萬二千ある。市はモナの古城を有し、アトール侯 Atholl の城地たりし處である。  
**ダグラス** Douglas イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ラナークシヤの都邑で、ダグラス・ウオーター(河)に沿ひ、ラナーク市の南西十七軒に位し、ダグラス古城を有し、石炭・石灰及び砂岩が附近より産出せられ、人口が二千弱ある。  
**ダグラス** Douglas 北亞米利加洲西部、アラスカ地方、ジュノー Juneau の前方、ダグラス島上に在る小都邑で、人口が一千ある。  
**ダグラス山** Douglas Mount (伯刺西爾)合衆國、マッドグロソ州の

タクト・サン山 Takut Mount







共和聯邦の一である(タジキスタンの部を見よ)。  
**タジ・タムジュルト・ミネ・峰** *Tamjurt Peak* モロッコに在る(タジ・タムジュルト峰を見よ)。  
**タシチオン** *Tashichong* 印度の北に在るブータン王國の都邑で、ブナカの南西に位し、夏季の首府に當る。  
**タシヤ** *Dacia* 古代ローマ(羅馬)帝國の一州で、北はカルパチヤ山脈に境し、南はダニエーブ河に、東はヒエラサス(タニス)河に接し、現今のルーマニヤ・トラシルヴァニア・ワラキヤ及びハンガリー(ハンガリー)に互つた地である。  
**タシヤ** *Tassia* イタリヤ(伊太利)王國、ポルト・マウリチヨ州の都邑で、サン・レモ市の北々東六軒半に位し、人口が約四千ある。  
**タシケン** *Tashkent or Tashkend* 中央亞細亞の南部に在るルダリヤ地方の都邑で、サマルカンドの北東に位し、シル河の支流チャトカル河 *Chakal R.* の泉地上に立ち、風光明媚にして、人口三十二萬四千を有し、中央亞細亞第一の大都會に當り、城壁四週し、緯度觀測所の設けがあり、交通上、中央亞細亞・外裏海兩鐵道の接續點に當り、歐亞物資取引の連絡地たる位置を占め、商業發達し、絹・羊毛・綿花・火藥等を集散し、且絹布・綿布・皮革・陶器を産す。其の露天街の廣潤整齊は驚くべき程である。  
**タシケンド** *Tashkend* 中央亞細亞南部の都邑である(タシケントの部を見よ)。  
**タシラ** *Tajura or Tadjura* 亞非利加洲東部、フランス(佛蘭西)領ソマリランドの港市で、アデン灣の一支、ダジュラ灣に沿ひ、北緯十一度四十七分に位し、人口が二千餘ある。  
**タシラフン** *Tajura Gulf or* 亞非利加洲フランス(佛蘭西)領ソマリランドの小港灣で、アデン灣の一支に當る(ダジュラ灣の部を見よ)。  
**タシリ・コウケン** *Tasili or* 亞非利加洲サハラ沙漠の中央北部に位し、北西より南東に走り、二部に分れ、一は北部に在つて、**タシリ・アジェル** *Tasili Ajer* と呼び、チベスチ高原を含み、一は**タシリ・アハガル** *Tasili Ahagar* と呼び、アハガル山脈 *Jebel Ahagar* の南西に横はつて居る。  
**タシリ・ダージン** *Tasili Darjine* 英吉利領印度ベングール省の北部に在る地方で、下ヒマラヤに位し、北はシキムに接し、西はネパール國に境し、北東はブータン國に隣り、土地高く、面積三千方料、人口二十萬六千を有し、域内の三分の一は森林に被られ、残りの四分の一は耕作に適し、茶・米・玉蜀黍・棉花及び麻を産し、首府を**ダージリン** と呼ぶ(ダージリンの部を見よ)。  
**タシリ** *Darjine* 英吉利領印度ベングール省の北境、シキムに近き都邑で、ブラムプトラ河の支流域に立ち、喜馬拉耶鐵道の終點に當り、シキム及西藏に至る要路に位し、海拔二、一八二米の高地に立ち、地形南北に長く土地高燥なる山上市で、千古不滅の雪を戴ける喜馬拉耶の連嶺が遠く前方に横はり、風景が雄大を極め、夏季の避暑地として最も著せられ、此の季節には雪と花とを一時に賞せんとする風流人又は療養者が雜沓を極め、往昔甲谷院政廳も夏季は此の地に移つた。市内には療養所・兵營等存し、市の北部にセントヨセフ大學の設けがある。人口が一萬九千あつて、二分の一はヒンズー族四分の一は佛教信者に屬する。  
**タシルムボ** *Tasilumbo* 支那共和國(中華民國)の西部、西藏の都邑で、其の南東部シガツの南に立ち、**タシルムボ** 寺院あるを以て著はる、寺は**タシルムボ**(榮勝山)の中腹に立ち、數百の僧舎、數重の大伽藍が相連り、層樓の屋蓋が相重りて、一市街の觀を呈し、七千の僧侶を有し、活佛**札什喇嘛**が居住す、**札什喇嘛**は、活佛として**達賴喇嘛**に次ぐ尊く、一部の領土權を有し、阿彌陀佛の化身と信ぜられてゐる。  
**タシゲ・ジブ** *Tasige Island* デンマルク(丁抹)王國の島地で、フェーネン島の南に位し、七千方料の面積と四千餘の人口を有し、果實を産出する。  
**タスカニー** *Tuscany or Toscana* イタリヤ(伊太利)王國の半島部北西端に位し、北はエミリア地方に、東はマルチエ地方に、南東はウムブリア地方及びラチウム地方に接し、西はリグリア海に面し、面積二萬三千方料、人口二百八十八萬六千を有し、次の八州に分れる。  
アレツツォ *Faienza*  
グロッセツト *Arezzo*  
ルッカ *Lucca*  
ピサ *Pisa*  
シエナ *Siena*  
此の地はもとイタリヤ大公領に屬し、東境にはエトラスカアベニン山脈とローマ・アペニン山脈が通じ、土地が西方地中海に向つて傾斜し、沿海は荒涼たる濕地で不健康地であつたが、現今は灌漑して耕地及び牧場となし、又鐵産に富み、就中鐵・銅・岩鹽及び大理石を産す。海岸以外の部には伊太利中最も豊沃の地を有し、小麦・玉蜀黍・オリヴ・葡萄を産し、葡萄酒を醸すことが多い。  
都邑は**フィレンツェ**を主とし、尙ほ**サ・ルッカ**・**レグホルン**・**シエナ**・**アレツツォ**等がある(各都邑の部を見よ)。  
**タズガハ** *Tazogaha* 河 *Tazogaha River* 亞細亞洲北部、シベリヤ(西比利亞)イニセイスクの河川で、ドボルスク・イニセイスク兩地方の境上に在る二小湖に發源して北西流し、オビ港と連る同名の港に注ぐ。毎年六月迄氷結し、長さが四百八十料ある。

タジ・タムジュルト・ミネ・タズ・ガハ

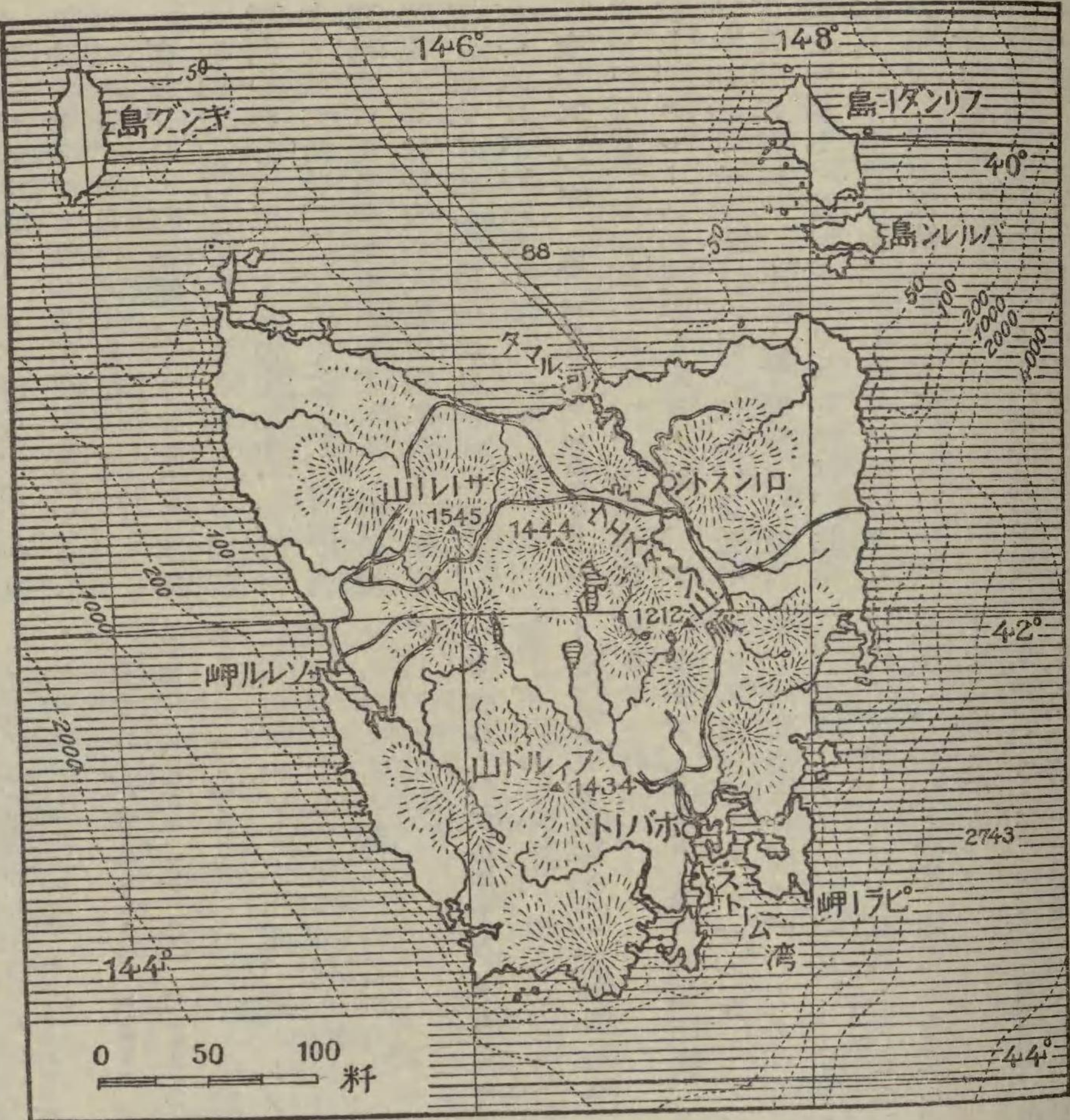






**タスカローラ・サン** Tuscaraora Mo. 出が多い。  
**タスキー・ワン** Dusky Bay 太平洋南部に在るニューギニア、南島北はもとオーストラリア大陸のヴィクトリア州と連接して、一帯の高原を形成し、現在のバス海峡は一の陸橋によりて結合して居たが、爾後分離して、現今の如く、四五米の海拔を有し、本島第一の高山に

ト群島より、南は南緯四十三度三十七分、東は東経一四四度、トライオニッパツ山等を起し、其の西は一帯の盆地で、數多の湖沼が散在して居る。  
 デルウェント河の西には島の北西端より南部の南東岬に至る迄山脈が連り、クアドル山・ヒューゲル山・フィールド山・ビクトン山等がある。クアドル山は一、五



島ヤニメスタ

がある。  
 (政治)本島は一六四二年タスマン氏が発見し、ヴァン・デーメンと命じ、一八〇三年英國の植民地となり、一八五六年自治制を布き、タスマニヤと改め、一九〇一年濠太刺利聯邦の一となつた。知事の下に上下兩院を置き、地方を二十餘に分けて統治する。

【産業】農業は各河に沿ふ平野を主とし、小麦・裸麥・青豌豆・馬鈴薯・ホップ・果實等を産し、果實は南部平野に多く、タスマニヤ苹果は聲價甚だ高く、他の生果と共に輸出品の主位を占める。  
 羊は中部平野に、牛は中部・北部に多く飼はれ、羊百六十萬頭、牛二十一萬頭の他に、豚・馬等があり、羊毛の年産額は千三百萬封度に達する。  
 森林は本島の大部を占め、西半部・北東部より用材を産し、五十四箇所の大製材所で置理して居る。  
 鑛産は同・錫・亜鉛・鉛・銀・石炭等で、年産千五百萬圓に達するが、銅はライエル山、錫はビスコット山、銀と鉛はジーハンを主産地とする。  
 輸入品は食料品・飲料・糧草・織物・金屬製品等年額千七百萬圓に達し、輸出品は牛酪及チーズ・果物・ホップ・羊毛等一千萬圓に達する。  
 (都邑) 都邑は比較的少なく、次を主たるものとする。  
 ホバート Devonport

ローンストン ダルリムブル  
**タスマニヤ・ジパ** Tasmania Is-land オーストラリア(濠太刺利)大陸の南東に在る小島で、濠太刺利聯邦の一州に屬す(タスマニヤの部を見よ)。  
**タスマン・カイ** Tasman Sea 太平洋の一支海で、オーストラリア(濠太刺利)大陸とニューギニア(新西蘭)群島との間に横はり、長さ千六百軒に達し、其の深さは四千米以上に及ぶ。  
**タスマン・グンタウ** 群島 Tasman Islands 大洋州、メラネシア群島中の一で、ソロモン群島の北西に位し、一にヌクマヌ群島と呼ぶ(ヌクマヌ群島の部を見よ)。  
**タスマン・ハンタウ** 半島 Tasman's Peninsula オーストラリア(濠太刺利)の南東方に在るタスマニヤ島の南東方に位し、屈曲更に屈曲して、ノーフォーク灣 Norfolk を囲み、恰も我が九州の半島の大村灣を圍むに似て、其、西方にはストーム灣 Storm がある。

**タスマン・ヒウガ** 氷河 Tasman of Great Tasman Glacier 一に大タスマン氷河と呼び、太平洋南部に横はるニューギニア(新西蘭)南島の最大氷河で、同島南アルプス、クック山の斜面に於けるホックステッター Mt. Hochstetter の積雪に養はれ、タスマン河を養ふ。其の長さ二十八軒、幅三軒に達し、其の深さは三百米に及ぶ。

當る。  
 北部の河川はマッカリー河が主で、下流はタマル河となり、北方に注入する。  
 【氣候】本島の空氣はオゾンを含む事多く、夏は十五度乃至二十度以下、冬も十度内外で、ホバートは年平均十二度を示す。されば濠洲人等の保養地として知られ、只高度六百米以上の地は氷點以下に降ることがある。雨量は比較的多いが、外に他のヨーロッパ人・印度人・支那人等

場所によりて異り、ホバートは年量五百十軒、ローンストンは七百六十軒である。が、西岸は三百五十軒乃至一千軒である。大陸地方の如く乾燥二季に分れない。  
 【住民】土人は英人の爲めに全く滅絶し、現在の住民はヨーロッパ人が主で、二十一萬に達し、一方軒の密度が三人程である。住民中九十二%餘はイギリス人で、外に他のヨーロッパ人・印度人・支那人等

タスマニヤ・ジマ・タスマン・ヒウガ



タスマン・ワン 灣 Tasman Bay 太にトチス又はドチスと呼ぶ(トチスの部  
平洋南部に在るニュージラランド、南島を見よ)。

壁に圍まれ、ビル・シン・デオ Bir Singh  
Dog と呼ぶ名城を有し、人口が一萬七千  
あつて、其の六分の五はヒンズー教徒で  
ある。

印度支那のシヤム(暹羅)王國に在るメ  
ナム河 Menam R. の分流で、チャイナ  
ト Chainator Tamat の北に於て本河と  
分れ、本流の西方を南に向つて直流し、シ  
ヤム灣に注ぐ、河口にタチン港がある。

角頂が南に向ひ、ダルヴィール D'Urville  
島を東門となし、糸の如きブーシュー・エ  
ンド岬 Bush End を西門となし、東西  
の幅最大百軒、南北八十軒に及ぶ。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

分れ、本流の西方を南に向つて直流し、シ  
ヤム灣に注ぐ、河口にタチン港がある。  
ダム灣に注ぐ、河口にタチン港がある。  
ダツウ・テッドウ 打通鐵道 Tattung  
Railway 亞細亞洲東部の新獨立國、滿  
洲に在る鐵道で、四洮鐵道支線の白音太  
拉即ち通達より西に向ひ、平奉鐵道の打  
虎山に達するものである。

タス・ワン 灣 Taz Gulf 北氷洋沿  
岸に在るヤルマル半島 Yalmal Pen.  
の東方に入り込み、オビ河 Obi R. の河  
口をなせるオビ灣の東に更に分派するも  
のである。同名の河川を容れる。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

タセンロ 打箭爐 Tashen-lu 支那

uzhis Tatar Bazarj Pazardzhik or  
Tatar Pajovzik バルカン半島の東方

ヤ共和国、モラヴィヤの都邑で、イグラウ  
市の南方四十軒に位し、タヤ河に沿ひ、  
古城存し、人口が約三千ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

共和國(中華民國)西康省の都市で、同省  
雅州の西方直距八十軒の山地中、大渡河  
の支流に沿ひ、一に康定と呼び、青海、西  
藏地方に至る要地を占めて居る。此の地  
の萬石坪は砂金の大集中點に當り、年額  
五十萬元に達し、砂金は金沙江に産す、  
市の人口が約三萬ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

タソス・ソト 島 Thasos Island ギ

リア(希臘)共和國の所有で、多島海に

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

位し、スレエスの南岸を距る六軒半、ア  
トス山の北々東四十八軒に位し、全島殆  
ど森林に被はれ、木材、麻、蜂蜜及び植物  
油を輸出し、首府をタソスと呼び、北岸  
に立つ。本島は紀元前七百年に植民され  
た地で、其の面積三十九方軒、人口一萬  
二千を有す。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

の都邑で、コモル市の南東に位し、一

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

利加合衆國デラウェア州ケントの都邑  
で、人口が四千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

ダック・サン 山 Duck Mount 北亞

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

米利加洲、カナダ(加奈院)、マニトバ州  
Manitoba の山で、ウィニペグ湖の南方

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

に位し、高さが七百九十米に達する。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

ダック・ジマ 島 Duck Island 北亞

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。

グチヘッド Gutch Head 英吉利國大ブリ  
テン島、バックingham シヤの村落で、テム  
ズ河に沿ひ、ウインゾル市の東方三軒に  
位し、鐵道通じ、サンマリー寺を有し、  
風光美しく、"Merry Wives Windsor"  
の地で、人口が二千餘ある。



トス山の北々東四十八軒に位し、全島殆ど森林に被はれ、木材・麻・蜂蜜及び植物油を輸出し、首府をタロスと呼び、北岸に立つ。本島は紀元前七百年に植民された地で、其の面積三十九万方軒、人口一萬二千を有す。

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

トス山の北々東四十八軒に位し、全島殆ど森林に被はれ、木材・麻・蜂蜜及び植物油を輸出し、首府をタロスと呼び、北岸に立つ。本島は紀元前七百年に植民された地で、其の面積三十九万方軒、人口一萬二千を有す。

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

タタ Tuta ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、コモル市の南東に位し、一

ダック・サンーダッチ・ハーバー

利加合衆國デラウェア州ケントの都邑で、人口が四千餘ある。

ダック・サンー Duck Mount 北亞米利加洲、カナダ(加奈陀)、マニトバ州 Manitoba の山で、ウィニペグ湖の南方に位し、高さが七百九十米に達する。

ダック・ジマ・島 Duck Island 北亞米利加洲カナダ(加奈陀) オンタリオ州 ヒューロン湖の小島で、グレート・マニトリン島の南方に横はる。

ダックス Dax, Ax or Aqs フランス(佛蘭西) 共和國ランド Landes の温泉地で、アジュール河に沿ひ、鐵道の接續地に當り、ボルドーの南西四百八十八軒に位し、ノートルダム寺院の所在地で、泥浴場を有し、リユーマチス・神經病に宜しく、又生牛馬及び家禽の取引行はれ、岩鹽を産し、コルク・石鹼を製出す。中世英吉利の有となつた地である。鐵道が此地より西班牙のアルヘシラスに直通す。人口が一萬一千四百ある。

ダックスベリー Duxbury 亞米利加合衆國、マサチューセツツ州ブリマスの夏季保養地に當り、大西洋に面し、ニューヨーク・ニューヘヴン・ハートフォード其他の鐵道通じ、ボストン市の南々東六十一軒に在つて、水産多く、市中にバルトリッチ・アカデミー其他の學校を有し、プレスト・フランス其他に至る海底電線の中繼所に當る。

タツーサック Tadoussac 北亞米利加州カナダ(加奈陀) 東部、ケベック州の都邑で、セントローレンス河に注ぐサゲネー河の口に近く、ケベック市よりも古く、保養地に當る。

タツタ Tuta or Tutch 英吉利領印度、シンド地方の都邑で、インドス河の三角洲上に立ち、主流の西に沿ひ、ハイデラバード市の南々西七十七軒に位し、人口が一萬ある。

タツタン・カイケフ 韃靼海峡 Tary, Strait of Karafut(樺太)島とシベリヤの沿海州の間に在る海峡で、其の北方を我國に於ては特に間宮海峡と呼ぶ露國の所謂ネヴェルスキー海峡 Nevelskii Strait で海底極めて淺く鹽分極めて少なく殆ど河川の感がある。これ黒龍江の淡水に養はるゝこと多く、露國のネヴェルスキー等が久しく同海峡の存在を否認し、我が間宮林藤をして恣に名を成さしめし處である。

タツタン・リン・灣 Tartary, Gulf of 日本海の北支で、シベリヤの沿海州と樺太島の間海峡南部に附せられた名である(ダツタン海峡を見よ)。

ダッチ・ギャップ・ウング 運河 Dutch Gap Canal 亞米利加合衆國ヴァージニア州ヘンリコに存し、もと主陸とフアラリス島地とを結びし海峡を切開せしもので、リチモンド市の下八軒に及び、一八六四年米國軍隊の力によりて成れるものである。

ダッチ・ギヤナ Dutch Guiana 一名「都邑」パラマリボが政廳の所在地で、スリナム Surinam と呼び、和蘭領ギヤナで、ミナミアメリカ(南亞米利加)洲の北岸に在つて、東はマロニ河により佛領ギヤナと境し、西はコレンチン河によりて英領ギヤナと接し、南はブラジル合衆國に隣り、總面積が十四萬方軒ある。

「地文」南境にはツマク・ウマク山脈 Tumac Humac が東西に走り、内地には中央より少しく西に偏してウィルヘルミナ山脈 Wilhelmina が弓状をなして南東より北西に走り、前記の山脈と共に分水背をなし、土地の大部は之より北東に傾斜する。海岸一帯はマングロウの密生する沼澤地或は沙丘が連る處で、其の直後は密林に屬し、内地は濕潤なる森林地より成り、南境の一部はサヴァンナである。

「人文」住民總數は百四十六萬に達し、密度は一方軒十人位で、其の種族は黑人及び印甸族が多く、主として森林地方に居住する。此の地は一六六七年北米に於ける和蘭植民地の代償として英國との條約によりて得たもので、二回英人に襲撃せられたが、二回とも和蘭に還附した。現今全土を六區に分ちて統治して居る。

住民は農を主生業とし、米・砂糖・珈琲・玉蜀黍・ラム酒・バナナ等を産し、鐵産には金がある。輸出品は砂糖と珈琲とである(各地の部を見よ)。

ダッチ・ハーバー Dutch Harbour



北亞米利加洲、アラスカ地方のアレウト列島の東部を占むるウナラスカ島の東部に位し、良港を有し、一時米國の海軍根據地とならんとし、我が國防上にも大關係を有するより、世の注目を惹いたことがある。

ダッチ・ヒガシインド：蘭領東印度

Dutch East Indies 太平洋の西に在るマレー(馬來)群島の七割を占め、オランダ本國に六十倍して居る。

〔區域〕 次の表中ニューギネヤは太平洋洲に屬すべきも便宜の爲めに記入する。

名	稱	面積(方料)	人口
ジャヴァ(マツラ共)		一三、四九七、四三三、七六〇	
スマトラ			
スマトラ西岸		四六、六九五	一、六三三、三九
タバエリ		三六、三三〇	九〇五、三〇〇
スマトラ東岸		九三、四九	一、三三七、八七
ベンクレーン		二五、八七	二八、二五
ランボン		二八、二六七	三二、八九
パレンバン		八五、九一八	八七、五五
ヂャムビ		四八、四八二	二〇一、七三
アチエー		五五、五五〇	八〇、六六
リヤウリンダ群島		三三、三六一	二二六、五九
バンカ		一一、七八二	一六九、二八
ピリトン		四八、五二	七二、二六
ボルネオ西區		一四七、三〇〇	七、七〇四
ボルネオ南及東區		三六八、四三七	一、一〇五、四三
セレベス		一四、四七六	二、五九、六〇
メナド		六三、七六一	九〇九、一六四

名	稱	面積(方料)	人口
モルッカ群島		四四、九三	三五九、一八
アムボイナ		三三、一四三	二八四、八八
テルナテ		四六、一九二	一、五、四二
ニューギネヤ		六、一〇一	一、一六、一四六
チモール群島		一〇、五七	一、八六、六五
バリ及ロムボク		二、一五九、一三三	五、八六、五九

〔政治〕 オランダ王の任命せる總督が統治の最高權を有し、五名の職員より成る參事會が之を輔佐して居る。一九一七年以來人民會議が開かれ、立法權は此の人民會議と總督とに兩屬して居る。

管内は直轄地屬地とに分れ、之を上記の各州に分つ、ジャヴァは直轄地である。

防備の爲め植民地軍を構成し步兵六個聯隊、輕步兵二個大隊、守備隊十三個大隊、機關銃隊七箇中隊、其他騎兵、砲兵、飛行隊等より成り、歐洲人と土人より組織せられて居るが、將校の大部と下士の一部は歐洲人である。其の兵員は將校千五百名、兵士三萬五千人に及ぶ。

海軍は將校三百四十名、下士卒四千名を有して、水上を警戒して居るが、之はオランダ海軍に直屬し、下士卒には二千餘の土人あるも、此の外に植民地海軍として軍事上價値なき十八隻の小船隊があつて、千人の軍人を有す。

〔沿革〕 オランダは國家の隆興と共に東洋に勢力を擴張し、最初香料交換の目的を以てマレー群島に入り、先づジャヴァ島のバンタムに來て事業に従事するに至つた、ポルトガル人と土人との三角關係が生ずるに至つたことは止むを得ない。然るにオランダ人が次第に優位に立ち、各處に店舗を設け、五會社が出来たが、一六〇二年合同して聯合東印度會社となり、數多の特權を有し、政府の名によつて東方の王公と條約を結び、要塞を築き總督其他の官吏を任命し、軍隊を備ふるを許された爲め、勢力が次第に大となりジャガトラ即ちバタヴィヤに要塞を築き次第に馬來群島各地を征服し、且ジャヴァ島の主權を掌握したが、十八世紀の後半に至り社運振はず損失相次ぎ、加之イギリスと戦ひたる結果、通商上の大打撃を受け、本國にも亦革命が起り、一七九九年遂に會社は瓦解するに至り、極東領土と貿易の權利とはバタヴィヤ共和国の手に移り、フランス皇帝ナポレオン治下の一王國となり、次でフランスに併合せられたが、英國印度總督の占領に歸し、一八一六年之を新興のオランダ王國に還附し、以て今日に至つた。

〔住民〕 土人・支那人及び歐洲人等、土人は回教を信じ未開人が多いが次第に耶蘇教信者が増加し、ジャヴァ族が最も進歩して居る(マレー群島の部を見よ)。

〔産業〕 ジャヴァ島が最も住民多く、文化も著しく従つて農産物の大部はジャヴァの産出である。農産が主要の産業で、特に砂糖を主とし産額が世界無比で、一九三二年には耕地四十八萬エーカー、産出額二百九十四萬噸に達し、古來未曾有であつた。之に次ぐ農産は次の通り。

珈琲	二五、八四九噸	ゴム	三三、四五噸
煙草	九、九〇噸	茶	七、八三噸
ココア	五、四噸	油椰子	七、〇三噸

此の外規那の産多く、世界總産額の七割を占めて居る。

礦産は石油・錫・石炭等で、石油はボルネオ・ジャヴァに多く、年産額四百三十萬噸に達し、錫はバンカ・ピリトン及びリアウに産し、バンカは官營、ピリトンは官民合同、リアウは民營で、年産五十七萬五千七百噸に達し、石炭はジャヴァ、スマトラ及びボルネオに達し、年産百七十萬噸に達して居る。

以上の外香料として胡椒・肉桂・肉豆蔻・丁子等が各地に出るが、モルッカ群島が特に著しい。

〔貿易〕 一九三一年の總輸入額六億七千八百九十九萬九千九百九十九ルダ、輸出總額八億七千九百九十九萬九千九百九十九ルダに達し、主要輸出品は砂糖二百二十四萬噸、ゴム二十八萬噸、珈琲六萬噸、茶七萬噸、煙草八萬噸、シンコナ皮十萬噸である。

輸入品は肥料たる硫酸アムモニヤ及び綿布・鐵及び鋼・機械・雜貨等である。之が取引國はイギリス・オランダ本國等である。日本との貿易 我國との取引は年々増加し、我國より綿織物及び其製品・絹布・メリヤス・陶磁器・硝子・鐵製品等の輸入

七千萬圓に達し、我國へは主として砂糖を輸し、外にゴム其他で一億一千萬圓に及ぶ。

〔交通〕 鐵道はジャヴァを主とし、スマトラ・セレベス等に多少發達するも、他は見るに足るべきなく、船舶はオランダ・イギリス・アメリカ・日本等のものが主として寄港し、我が船舶はジャヴァのバタ

ク等である(各都邑の部を見よ)。

南は蒙古高原に對し、東方はヤプロノイ山脈と呼應する。

ダッチ・ヒガシインド

Dutch East Indies

Daachstein

高原



七千萬圓に達し、我國へは主として砂糖を輸し、外にゴム其他で一億一千萬圓に及ぶ。

〔交通〕 鐵道はジャヴァを主とし、スマトラ・セレベス等に多少發達するも、他は見るに足るべきなく、船舶はオランダ・イギリス・アメリカ・日本等のものが主として寄港し、我が船舶はジャヴァのバタヴィヤ・スラバヤ・サマラン、セレベスのマカッサル・メナド、ボルネオのバリクパパン・サンダカン等に寄航する(都邑につきては各島の部を見よ)。

〔沿革〕 オランダは國家の隆興と共に東洋に勢力を擴張し、最初香料交換の目的を以てマレー群島に入り、先づジャヴァ島のバンタムに來て事業に従事するに至る。

〔土人〕 蘭の土人あるも、此の外に植民地海軍とて軍事上價值なき十八隻の小船隊があつて、千人の軍人を有す。

〔産業〕 ジャヴァ島が最も住民多く、文化も著しく従つて農産物の大部はジャヴァの産出である。

農産が主要の産業で、特に砂糖を主とし産額が世界無比で、一九三二年には耕

輸入品は肥料たる硫化アムモニヤ及び綿布・鐵及び鋼・機械・雜貨等である。之が取引國はイギリス・オランダ本國等である。

日本との貿易 我國との取引は年々増加し、我國より綿織物及び其製品・絹布・メリヤス・陶磁器・硝子・鐵製品等の輸入

ボルネオ西區	四八五二
ボルネオ南及東區	三六八四
セレベス	一、〇五、四三
メナド	二、五九、六〇
	六三、七六一

七千萬圓に達し、我國へは主として砂糖を輸し、外にゴム其他で一億一千萬圓に及ぶ。

〔交通〕 鐵道はジャヴァを主とし、スマトラ・セレベス等に多少發達するも、他は見るに足るべきなく、船舶はオランダ・イギリス・アメリカ・日本等のものが主として寄港し、我が船舶はジャヴァのバタヴィヤ・スラバヤ・サマラン、セレベスのマカッサル・メナド、ボルネオのバリクパパン・サンダカン等に寄航する(都邑につきては各島の部を見よ)。

〔沿革〕 オランダは國家の隆興と共に東洋に勢力を擴張し、最初香料交換の目的を以てマレー群島に入り、先づジャヴァ島のバンタムに來て事業に従事するに至る。

〔土人〕 蘭の土人あるも、此の外に植民地海軍とて軍事上價值なき十八隻の小船隊があつて、千人の軍人を有す。

〔産業〕 ジャヴァ島が最も住民多く、文化も著しく従つて農産物の大部はジャヴァの産出である。

農産が主要の産業で、特に砂糖を主とし産額が世界無比で、一九三二年には耕

〔土人〕 蘭の土人あるも、此の外に植民地海軍とて軍事上價值なき十八隻の小船隊があつて、千人の軍人を有す。

〔産業〕 ジャヴァ島が最も住民多く、文化も著しく従つて農産物の大部はジャヴァの産出である。

農産が主要の産業で、特に砂糖を主とし産額が世界無比で、一九三二年には耕

輸入品は肥料たる硫化アムモニヤ及び綿布・鐵及び鋼・機械・雜貨等である。之が取引國はイギリス・オランダ本國等である。

日本との貿易 我國との取引は年々増加し、我國より綿織物及び其製品・絹布・メリヤス・陶磁器・硝子・鐵製品等の輸入

輸入品は肥料たる硫化アムモニヤ及び綿布・鐵及び鋼・機械・雜貨等である。之が取引國はイギリス・オランダ本國等である。

日本との貿易 我國との取引は年々増加し、我國より綿織物及び其製品・絹布・メリヤス・陶磁器・硝子・鐵製品等の輸入

輸入品は肥料たる硫化アムモニヤ及び綿布・鐵及び鋼・機械・雜貨等である。之が取引國はイギリス・オランダ本國等である。

日本との貿易 我國との取引は年々増加し、我國より綿織物及び其製品・絹布・メリヤス・陶磁器・硝子・鐵製品等の輸入

ダッチ・ボルネオ・ダートフォード







其他の工場を有し、工業が盛で、人口が八千ある。  
タートムーア・ダイチ：高地 Dartmoor Table Land 英吉利國大ブリテン島の南西部を占むるコロンウェールデヴォン半島上に位する山地で、花崗岩より成り、最高點は六百十米に達する。

タートルサンシヤク：山脈 Turtle Mountains 亞米利加合衆國、北ダコタ州 North Dakota の北境に横はる丘陵性山地である。

タナノ・ガハ(ワ)：河 Tanano River 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナワンド Tanawanda 亞米利加合衆國ニューヨーク州イリー(ユリー)の都邑で、ナイヤガラ河の右岸に沿ひ、バフアロー市の北方、鐵路十六軒に位し、インターナショナル及ニューヨーク・セントラル鐵道と、イリー運河通じ、木材の取引が盛で、鐵・銅器・屋根用品を産す。一八〇八年初めて植民し、一九〇三年市となり、人口が一萬ある。ナイヤガラ河の對岸にノース・タナワンド市がある。

タナリボ Tanaribo 亞弗利加洲の東方マダガスカル島の首府である(タナリボの部を見よ)。

タナール Donaupul 英吉利領印度(マニンジユ湖を見よ)。

タニッチ Dunwich イギリス(英吉利)國大ブリテン島、イングランド(英蘭)サフフォーク州の一村で、北海に面し、サウスウオールド市の南西七軒に位し、一時イースト・アングリカの首府兼海港として大に榮えたが、海蝕の爲めに次第に破壊せられ、城地と家屋も洗ひ去られ、僅に十三世紀僧院の遺址存し、人口も百六十人に過ぎない。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

タナコボネチ：湖 Tanakobonechi Lake 州の首府で、奥深く細長きオタゴ港 Otago Harbour の頭部に立ち、ポート・チャルマーズ Port Chalmers の南西十三軒に位し、水運・鐵道の便良、周圍はタウン・ベルト Town Belt と呼ぶ森林を繞らし、市街が清潔で、毛織物其他各種の工場を有し、オタゴ大學・鐵山其他の諸學校を有し、教育上・宗教上の一中心地に當り、其の博物館はマオリ族の遺物及びニュージーランド島各鳥類の蒐集品多く、美術館もあり、又植物園 Garden of Acclimatization を以て著はれて居る。此の地は一八四八年プレスビテリアン派植民の建設に始まり、以て今日あるを得た。附近はオタゴ金産地として知られ、市は之が中心に位し、人口が八萬五千ある。

ターナス・フォールズ・ダニープ・ガハ



グ Waag・グラン Gran 其他の諸支流がある。

モラヴァ河 R. Morava は主要支流で、マルク March を通稱となし、モラヴァ地方の主流に當り、ステート山脈に發源し、主として南流し、其の西方に在つて之と併行するタヤ河 Thaya を併せオーストリア國との國境を南流して、プレスブルヒ市に近くダニユーブ河に會する。モラヴァ盆地の八十パーセントを灌漑し、流程三百四十軒に達する。其の支流たるタヤ河は數派に分れ、主流はオーストリア國より來り、モラヴァ地方に入りてイダラワ河 Idelawa R. 及びツワッタワ河 Zwitawa R. と會して南東流し、次で南流し、モラヴァ河と會す。

ワグ河はタトラ山地の西部を切開し來り、約半圓狀を畫き、コモルンに至りてダニユーブ河の左岸に注ぐ。ノイトラ河 Neutra R.・グラン河 Gran R. 等が其の東方に在つて之と併行し、ダニユーブ河と會す。

タイス河 Theiss or Tisza R. は源流に於てはカルパチヤ森 Carpathian Forest の内側に發する黒白兩タイス河を源とし、兩河相合してルーマニヤ國とハンガリー國とを境して西流し、ハンガリー國に入り、均しく之より北西部なる東スロヴァキヤの諸水を集め來れるボドログ河 Bodrog R. サモ河 Sajó とを容れる。

オーストリア國に於ては、西方一小部のフォーラルベルヒ州を除く外、全土ダニユーブ河系に屬し、バサウ Passau の峽谷を経て、オーストリア國に入り、此處にイン河を容れ、河幅が乍ち増大して二百三十餘米となり、アルプス山地を鑿ちて東方ハンガリー國に落つ。リントウインナとの間に於ては、兩岸の岸石迫り、特にグライングレイに於ては峽谷が河を壓し、舟行に甚だ物凄くある。グライン以下デュレンスタイン Dürrenstein に至る間も亦峽谷となり、其の間岸礁島嶼岬没散在して、舟行を妨ぐるものが少なくない、就中、グラインは最も危険であつたが、今や險岩を爆破して其の害を除くを得た。然し、其の河幅僅に八十米、水深三米に過ぎない。デュレンスタイン以下は豊沃な平野に出で、モラヴァ河を左岸に入れ、プレスブルヒ・ゲートを通れば、アルプス・カルパチヤ兩山地間のテューンヒージ Tünnen Gorge を形成す。

ダニユーブ河の支流ドラウ河は、ルーマニア國の入口迄、サヴ河はクルパ河の入口まで汽船を通じ、又グラン・イン等の河川も舟行し得る。

ハンガリー國に屬するダニユーブ河の部分は甚だ少なく、北西方プレスブルヒより來り、グラン河の下に至る迄モラヴィヤ地方との間を劃し、小アルフェルヴを貫ぬき、之よりバクス峽谷を経てダバースト市を貫通し、南流してユーゴスラヴィヤに向ふ。ダニユーブ河西部の支流には小アルフェルド地方にラバサ R. Rabasa・ラバ R. Raba or Raab 兩河がある。ラバ河はオーストリアのステリヤ地方より來り、南西より北東に向ひ、ラプ市に至りてラベサ河及小シュート河 R. Little Schut と會し、乍ちダニユーブ本流に合する。其の南方にツアラ河 Zala があつて、西境山地に發し、一且バラト湖に入り、出で、シオ河 R. Sio となり、南東流しカボス河 R. Kapos と會し、バヤバタ市の北方に至りてダニユーブ河に合するも、運河を通じて同湖の北東なるステュールワイゼンブルヒ Stuhlweissenburg (Szkessfehervar) 附近に通ず。

ルーマニヤ國に於ては、ダニユーブ河は黒海斜面をドラウ・サヴ兩支流と同一方向を取りて約西より東に流れ、ブルガリヤ及びセルヴィヤの排水を南より受け、ハンガリー國及びルーマニヤ國の排水を北より受ける。其の右岸なる主支流中ヤントラ Jantura・オスナ Osma・ウヰッド Vid・イスカー Isker・オーガスト Ogast 諸河はブルガリヤ國に、チモク Timok・モラヴァ Mlava 及びドリナ Dina 諸河はセルヴィヤに、ボスナ Bosna・フルバス Vrbas・ウナ Ura 等の諸河はダニユーブ大支流のサヴ河に注ぐ。

ルーマニヤ國に於ける支流は、何れも本流の左岸に在つて、ワラキヤ沖積平野無人の地域を潤色する。

を灌漑す、其の主たるものは、シル Shit・オルム Oltu or Alt (Aluta)・キチー Vedeia・アギス Arges or Arjesh・イサトタ Ialomita・シラ Siretu or Sereth・プル Puth 等の諸河川で、流勢が甚だ緩である。東流する同河が南に彎曲する所以のものは、カルパチヤ・トランシルヴァニア兩山脈より運搬する沖積沈澱物の結果で、南岸よりも北岸の沖積地が却て高起するによる。

ダニユーブ河三角洲は、其の發達の偉大なるを以て知られる。同河はガラツ市 Galatz 以東に屈し、河口に近きツルチ I Tulcea or Tulcha と、イスマイル I Izmait の間に於て分れて二流となる、北なるはキリヤ Kilia とて本流に當り、南なるはセントジョージ分流 St. George's Arm なるも、其の利用上の効果は本流に優り、分岐點の下小許にしてスリナ分流 Sulina Arm を本流との間に派す。同分流は運河を通じて汽船の通路に當り、四米七の水深を有す。

同三角洲は沼澤地を以て充たされ、其の間樹木密生し、スリナ河の北にはレテヤ島 Letea があり、南西にはカラ・オルマン島 Kara Orman があつて、共に樹木密生して晝尚ほ暗く、河畔の沼澤地には野牛・野鷄群り、或は蒼鷺・ペリカン鳥・鵝等無數に棲息し、群燕が時に大波の如く寄せ來り、其他の鳥類・爬虫類と共に無人の地域を潤色する。

支那共和國(中華民國)の西部に在る、チベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の水源に近く、一にダバ又はデバと呼ぶ(デバの部を見よ)。

支那共和國(中華民國)の西部に在る、チベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の水源に近く、一にダバ又はデバと呼ぶ(デバの部を見よ)。

ダニユーブ・ガハサンカクシヨウ・河三角洲 Danube Rivere, Delta of ルーマニヤ(羅馬尼亞)王國のガラツ以東の地で、ダニユーブ河に近きツルチ Tulcea or Tulcha と、イスマイル Izmait と

衆國、コネチカット州、ウインダムの小都邑で、キネバル河に沿ひ、ノルウィッチの北東四十軒、毛織物・綿布類・靴・刃物・メリヤスを産し、人口が三千ある。

タネンタウングー・サンニヤク 山脈 Tanen-Taunggyi Mountains インドシナ(印度支那)半島の一山嶺で、印度支那山系に屬し、北は遠く、メコン河上流の瀾滄江とサルウィン河の上流なる怒江との間を南走し、東方大雪山と並ひ、シナム國の北に至りて少しく南西に屈し、

支那共和國(中華民國)の西部に在る、チベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の水源に近く、一にダバ又はデバと呼ぶ(デバの部を見よ)。

タネンバ・グンタウ・群島 Taninba Islands ヲレー(馬來)群島の南東端に近く、チモール島の東北東に位し、一にチニンパー又はチモールラウト群島と呼

連綿しつゝ、以て今日に至つた。

支那共和國(中華民國)の西部に在る、チベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の水源に近く、一にダバ又はデバと呼ぶ(デバの部を見よ)。

支那共和國(中華民國)の西部に在る、チベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の水源に近く、一にダバ又はデバと呼ぶ(デバの部を見よ)。



Forest の内側に發する黑白兩タイス河 舟行し得る。  
を源とし、兩河相合してルーマニヤ國とハンガリー國とを境して西流し、ハンガリー國に入り、均しく之より北西部なる東スロヴァキヤの諸水を集め來れるボドログ河 Bodrog とサエ河 Sajó とを容れる。  
ハンガリー國に屬するダニューブ河の部分は甚だ少なく、北西方プレスブルヒより來り、グラン・グランドの下に至る迄モラヴィヤ地方との間を劃し、小アルプスドを貫ぬき、之よりバクス峽谷を経てダベスト市を貫通し、南流してユーゴスラヴィヤに注ぐ。  
諸河はブルガリヤ國に、チモク Timok、モラヴァ Mlava 及びドリナ Drina 諸河はセルヴィヤに、ボスナ Bosna、フルバス Vrbas、ウナウナ等の諸河はダニューブ大支流のサヴ河に注ぐ。  
ルーマニヤ國に於ける支流は、何れも本流の左岸に在りて、ワラキヤ沖積平野無人の地域を潤色する。

**ダニューブ・ガハサンカクシュウ** 河三 衆國、コネチカット州、ウインダムの小都邑で、キネバル河に沿ひ、ノルウイッチの北東四十軒、毛織物・綿布類・靴・刃物・メリヤスを産じ、人口が三千ある。  
**タニンバ・グンタウ** 群島 Taninba Islands ヲレー(馬來)群島の南東端に近く、チモール島の東北東に位し、一にチンバー又はチモールラウト群島と呼ぶ(チンバー群島の部を見よ)。  
**ダヌーン** Danoon イギリス(英吉利)國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の西岸中部、アルジールシヤの都邑で、フールス・オフ・クライドの西岸に沿ひ、グリーノック市の西方十三軒に位し、漁業の一中心地、且海水浴地に當り、人口が一萬ある。

**ダネット・ヘッド** Dunnet Head イギリス(英吉利)國大ブリテン島の最北端に突出する岬で、スコットランド(蘇格蘭)のカイネス州の北端、北緯五十八度四十分、西經三度二十二分の地に位し、其の南西にダネット入江を控え、北東は遠くオークニー群島に對す。

**タニエン・カイケフ** 海峡 Taton Strait 亞細亞洲の東方、太平洋西部に横はる(瑞典)國のウプサラ州の都邑で、ウプサラ市の北々東四十五軒に立ち、迂回せる鐵道が兩地を連ぬ。有名なるダネモラ鐵鑛床の中心に位す。該鐵床はスウェーデン國に於ける最良質の鐵を埋藏し、長さ三軒餘、幅六十米乃至三十五米、深さ百五十米に達し、十五世紀以降採掘を拔四千五百米の高地に立つ

**タネモラ** Dannemora スウェーデン(瑞典)國のウプサラ州の都邑で、ウプサラ市の北々東四十五軒に立ち、迂回せる鐵道が兩地を連ぬ。有名なるダネモラ鐵鑛床の中心に位す。該鐵床はスウェーデン國に於ける最良質の鐵を埋藏し、長さ三軒餘、幅六十米乃至三十五米、深さ百五十米に達し、十五世紀以降採掘を拔四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ

**ダバ** Daba 支那共和國(中華民國)の西部に在るチベット(西藏)の都邑で、サトレジ河の上流に位し、海抜四千五百米の高地に立つ



リピン(比律賓)群島、ミンタオ島の山である(タヴァオ山の部を見よ)。

**ダバオ・サンミヤク 山脈 Davao Mountains** アジャ(亞細亞洲)の東方海上に横はるフィリピン(比律賓)群島ミンダオ島の山脈である(タヴァオ山の部を見よ)。

**ダバオ・ワン・灣 Davao Bay** アジャ(亞細亞洲)の東方海上に横はるフィリピン(比律賓)群島、ミンダオ島の北に込む入江である(タヴァオ山の部を見よ)。

**タバコ Tabaco** 亞細亞洲の東方、太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島の大島、ルソン(呂宋)島アルバイ州の村落で、タバコ灣に沿ひ、アルバイ市の北方二十四軒に位し、人口が二萬二千ある。

**タバコ・ワン・灣 Tabaco Bay** 亞細亞洲の東方、太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島、アルバイ州 Albay の東岸に位し、三個の入口を有し、サン・ミゲル島 San Miguel とカクラライ島 Cacaray により保護せられる。

**タバゴン Tabagon** 亞細亞洲の東方、太平洋の西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、セブ島の村落で、同島の東岸北部に位し、人口が約一萬ある。

**タバハ・シヤ・島 Tabaha Island** オセアニア、阿西亜(亞細亞洲)の南東部に在る(ダバウ群島中の一で、之に隣れ

るライアチー島と共に瓢箪形をなし、タバスタフス州の首府で、オーボ市の北にチ主島に類するも、其の間が少しく隔離して居る(ソサイチー群島を見よ)。

**タバジェス・ガハ(ワ) 河 Tapajoz River** 南米ブラジル國に在るアマゾン河の大支流に當り、上流をラリノス河 Rarinos と呼び、マト・グロソ Mato Grosso 高原の北部なるドムバド山脈 Tombador に發して北西流し、西岸に大支流を受け、之より北流し、モレナ山脈 Serra Morena を横断してタバジェス河、一名アルト河 Alto となり、右岸に本流と双子河をなせるサン・マヌエル河 S. Manuel を容れ、乍ち大急流となりて北東に向ひ、サントレム Santarem に至りて本流に會す。交通の便は僅にイタイツ、Itaituba 以下と上流地とに限られ、流程が千七百七十軒ある。

**タバス Tabasco** 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和國の州名で、北は墨西哥灣の南部なるカンペーシヤ灣に接し、ウスマシタ河 Usumacinta とグリハラ河 Grijalva によりて灌漑せられ、面積二萬六千八百六十六方軒、人口十九萬を有し、農を主産業となし、米其他の穀物・砂糖・カカオ・麻等を産し、首府をサン・フアン・パウチスタ San Juan Bautista と呼ぶ。

**タバスタフス Tavastehus** フィンランド(芬蘭)共和國の南西部に在るタウ

に位し、長さ二十三軒、幅十二軒に達し、湖面は地中海面下二百七米に位し、湖畔に古代のチベリユース市其他の都址があるが、チベリユースの外は何れも荒廢するに至つた。

**タバリア Tabaria** 一にタヴァリア Tabaria と呼び、亞細亞洲の西部、パレスタインの都邑で、アクレ市の東南東四十三軒に位し、チベリヤス湖の西岸に沿ひ、古城壁に圍まれ、ガリリーの首府に當り、羅馬時代にはヘブライ文化の中心たりし地で、一一八七年サラヂン Saladin がイェルサレム救援の爲めに來つて十字軍を破りし處であるが、爾來大に衰へた。附近に温泉が出る。

**タバリーヤ Tabariyah** 亞細亞洲西部パレスタインの古代都市で、一にタバリア と呼ぶ(タバリアの部を見よ)。

**タバリーヤ Tabariyah** 亞細亞洲西部、パレスタインの湖沼で、通常ガリレー湖 Sea of Galilee 又はチベリヤス湖 Sea of Tiberias と呼び、ヨルダン河の上流に位し、長さ二十三軒、幅十二軒に達し、

湖面は地中海面下二百七米に位し、湖畔に古代のチベリユース市其他の都址があるが、チベリユースの外は何れも荒廢するに至つた。

**タバリア Tabaria** 亞細亞洲西部、パレスタインの都邑で、アクレ市の東南東四十三軒に位し、チベリヤス湖の西岸に沿ひ、古城壁に圍まれ、ガリリーの首府に當り、羅馬時代にはヘブライ文化の中心たりし地で、一一八七年サラヂン Saladin がイェルサレム救援の爲めに來つて十字軍を破りし處であるが、爾來大に衰へた。附近に温泉が出る。

**タバリーヤ Tabariyah** 亞細亞洲西部、パレスタインの湖沼で、通常ガリレー湖 Sea of Galilee 又はチベリヤス湖 Sea of Tiberias と呼び、ヨルダン河の上流に位し、長さ二十三軒、幅十二軒に達し、

湖面は地中海面下二百七米に位し、湖畔に古代のチベリユース市其他の都址があるが、チベリユースの外は何れも荒廢するに至つた。

**タバリア Tabaria** 一にタヴァリア Tabaria と呼び、亞細亞洲の西部、パレスタインの都邑で、アクレ市の東南東四十三軒に位し、チベリヤス湖の西岸に沿ひ、古城壁に圍まれ、ガリリーの首府に當り、羅馬時代にはヘブライ文化の中心たりし地で、一一八七年サラヂン Saladin がイェルサレム救援の爲めに來つて十字軍を破りし處であるが、爾來大に衰へた。附近に温泉が出る。

**タバリーヤ Tabariyah** 亞細亞洲西部、パレスタインの湖沼で、通常ガリレー湖 Sea of Galilee 又はチベリヤス湖 Sea of Tiberias と呼び、ヨルダン河の上流に位し、長さ二十三軒、幅十二軒に達し、

湖面は地中海面下二百七米に位し、湖畔に古代のチベリユース市其他の都址があるが、チベリユースの外は何れも荒廢するに至つた。

**タバリア Tabaria** 一にタヴァリア Tabaria と呼び、亞細亞洲の西部、パレスタインの都邑で、アクレ市の東南東四十三軒に位し、チベリヤス湖の西岸に沿ひ、古城壁に圍まれ、ガリリーの首府に當り、羅馬時代にはヘブライ文化の中心たりし地で、一一八七年サラヂン Saladin がイェルサレム救援の爲めに來つて十字軍を破りし處であるが、爾來大に衰へた。附近に温泉が出る。

**タバリーヤ Tabariyah** 亞細亞洲西部、パレスタインの湖沼で、通常ガリレー湖 Sea of Galilee 又はチベリヤス湖 Sea of Tiberias と呼び、ヨルダン河の上流に位し、長さ二十三軒、幅十二軒に達し、

湖面は地中海面下二百七米に位し、湖畔に古代のチベリユース市其他の都址があるが、チベリユースの外は何れも荒廢するに至つた。

**タバリア Tabaria** 一にタヴァリア Tabaria と呼び、亞細亞洲の西部、パレスタインの都邑で、アクレ市の東南東四十三軒に位し、チベリヤス湖の西岸に沿ひ、古城壁に圍まれ、ガリリーの首府に當り、羅馬時代にはヘブライ文化の中心たりし地で、一一八七年サラヂン Saladin がイェルサレム救援の爲めに來つて十字軍を破りし處であるが、爾來大に衰へた。附近に温泉が出る。

に及ぶ。  
**ダバンギール Davangero** 英吉利領印度の都邑で、マイソルの北部に在る(ダヴァンギールの部を見よ)。  
**ダービー Derby** 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の中央部に在るデルビー州の都市で、シェフィールドの南方五十軒、ロンドンの北西二百七軒(島の部を見よ)。

**タバピアウ Tapian** ドイツ(獨逸)聯邦東プロシヤの都邑で、ケーニヒスベルグ市の東南東八十八軒に位し、プレゲル河に沿ひ、古城存し、人口が四千餘ある。  
**タバウニ・シヤ・島 Tavuni Island** 太平洋中に横はるフィジー群島の一で、ヴァヌアツ島の南東に在る(ダバウ島の部を見よ)。

**タバリア Tabaria** 一にタヴァリア Tabaria と呼び、亞細亞洲の西部、パレスタインの都邑で、アクレ市の東南東四十三軒に位し、チベリヤス湖の西岸に沿ひ、古城壁に圍まれ、ガリリーの首府に當り、羅馬時代にはヘブライ文化の中心たりし地で、一一八七年サラヂン Saladin がイェルサレム救援の爲めに來つて十字軍を破りし處であるが、爾來大に衰へた。附近に温泉が出る。







化し、廣き帯狀の平地と化し、最も豊穡なる沃野となつてゐる。土地隆起せる爲め、島の周圍に廣き平野を繞らす。

本島は一七六九年クック氏が金星測定の爲め來島し、之に次で太平洋各島の發見を遂ぐるに至つた。

本島は熱帯に位するも、貿易風が發達するより、氣候が比較的良好で、健康に適し、氣温は二十一度乃至二十八度を出入し、香氣馥郁たる美花が地上を飾り、良果滴り、椰子其他の樹木繁茂し、風景の美比すべきなく、眞に太平洋の樂園たるに恥ぢない。

住民は八千六百人あつて、コブラ・砂糖・ラム酒・バナナ・オレンジ・ヴァニラ・燐鐵を産し、眞珠も出る。

パピートが本島の首府である(パピートの部を見よ)。

ダビッド David パナマ共和国の都邑で、チリカイ州に屬し、ダビッド河に沿ひ、パナマ市の南西遙に在る(ダビッドの部を見よ)。

タジテウエヤ Tabiteuea Island オセアニア(阿西亞尼亞)洲、ミクロネシアのジルベルト群島中に在る一小島の名である(ジルベルト群島の部を見よ)。

ダービー・ミサキ Darcy Cape 北亞米利加洲アラスカのノルトン水道の北岸、ゴロフィン灣とノルトン灣の間に立ち、北緯六十四度二十五分、西經百六

なし、人口が五千四百ある。

タフイルト・センチ 泉地 Tafelberg or Tafelberg Oasis 北亞非利加洲の泉地を經てアラビヤ海に注ぐ。流程が七百三十軒ある。

タフト Tafel 亞細亞洲西部、ベルン市(波斯)王國の都邑で、イニスド Yezil 市の南西二十一軒に位し、絨緞の産出に著はれ、人口が約五十軒ある。

タフトウイル Tafelville 亞米利加合衆國、コネチカット州ニューロンドンの村落で、シエタケット河に沿ひ、ノルウィック市の北々東六軒半に位し、絹綿布を産し、人口が約三千軒ある。

タフトビル Tafelville 亞米利加合衆國コネチカット州ニューロンドンの村落で、ノルウィック市の北々東に在る(タフトウイルの部を見よ)。

ダブ・ヒウガ 氷河 Dove Glacier 北氷洋中に横はるフランツヨセフ群島の大水河である(ダブ氷河の部を見よ)。

タムルコ・サン山 Tulumuco W. Tin Tarabin を容れ、荒涼たる沙漠を南走し、北緯十六度附近に至り、アイランド高原より來る水路と合し、ダルク・マウリ河 Dault Mauri の名によりてニジエルク河に注ぐ。流程は長大なる如きも平時は殆ど水が無い。

ダーフィールド Dardfeld 英吉利國大ブリテン島、ヨークシャー・ウエストライデンの村落で、バルンスリー市の南東八軒に位し、鐵道通じ、石炭を主産物として西流し、ガウイ

タフチ・ガハ(ワ)河 Tapti River 英吉利領印度、半島部のアラビヤ海斜面に注ぐ河川で、源を北緯二十一度、東經七十八度の山地に發して西流し、ガウイ

の創建に係り有名である。又ダブリン城には現今中央政府を置く。本市は酒精・ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出多く、人口が四十二萬ある。

ダブリン Dublin 亞米利加合衆國テキサス州エラスの都邑で、フォートウォース市の南西百四十五軒に位し、テクサス・セントラル其他の鐵道通じ、綿布・棉

ルガル Gawigarh・サトフラ Satpura. 兩山脈間の縦谷となり、スライ Surat を經てアラビヤ海に注ぐ。流程が七百三十軒ある。

タフト Tafel 亞細亞洲西部、ベルン市(波斯)王國の都邑で、イニスド Yezil 市の南西二十一軒に位し、絨緞の産出に著はれ、人口が約五十軒ある。

タフトウイル Tafelville 亞米利加合衆國、コネチカット州ニューロンドンの村落で、シエタケット河に沿ひ、ノルウィック市の北々東六軒半に位し、絹綿布を産し、人口が約三千軒ある。

タフトビル Tafelville 亞米利加合衆國コネチカット州ニューロンドンの村落で、ノルウィック市の北々東に在る(タフトウイルの部を見よ)。

ダブ・ヒウガ 氷河 Dove Glacier 北氷洋中に横はるフランツヨセフ群島の大水河である(ダブ氷河の部を見よ)。

タムルコ・サン山 Tulumuco W. Tin Tarabin を容れ、荒涼たる沙漠を南走し、北緯十六度附近に至り、アイランド高原より來る水路と合し、ダルク・マウリ河 Dault Mauri の名によりてニジエルク河に注ぐ。流程は長大なる如きも平時は殆ど水が無い。

ダーフィールド Dardfeld 英吉利國大ブリテン島、ヨークシャー・ウエストライデンの村落で、バルンスリー市の南東八軒に位し、鐵道通じ、石炭を主産物として西流し、ガウイ

タフチ・ガハ(ワ)河 Tapti River 英吉利領印度、半島部のアラビヤ海斜面に注ぐ河川で、源を北緯二十一度、東經七十八度の山地に發して西流し、ガウイ

の創建に係り有名である。又ダブリン城には現今中央政府を置く。本市は酒精・ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出多く、人口が四十二萬ある。

ダブリン Dublin 亞米利加合衆國テキサス州エラスの都邑で、フォートウォース市の南西百四十五軒に位し、テクサス・セントラル其他の鐵道通じ、綿布・棉

ニヤの一植民地で、キリマヌジャロ山の北東麓に在る(ダブチの部を見よ)。

de Tabias は七百四十米に達し、島の北端に當る。

タブリズ Tabriz Tebriz or Erân 北亞細亞洲の西部に在るベルンスタ州に屬し、百十六軒の海岸線を有し、ダブリン灣を最大となし、其の北に二三の小灣を控え、ダブリン灣にはリッティ河 Littley が注ぎ、同灣の北に拳

の創建に係り有名である。又ダブリン城には現今中央政府を置く。本市は酒精・ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出多く、人口が四十二萬ある。

の創建に係り有名である。又ダブリン城には現今中央政府を置く。本市は酒精・ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出多く、人口が四十二萬ある。



クロネシヤのジルベルト群島中に在る一  
小島の名である(ジルベルト群島の部を  
見よ)。

**ダービー・ミサキ・岬** Derby Cape

北亞米利加洲アラスカのノルトン水道の  
北岸、ゴロフィン灣とノルトン灣の間に  
立ち、北緯六十四度二十五分、西經百六

リ河 Daitui Mauri の名によりてニジ  
エル河に注ぐ。流程は長大なる如きも平  
時は殆ど水が無い。

**ダーフィールド** Darfield 英吉利國大

ブリテン島、ヨークシャ・ウエストライ  
デンクの村落で、バルンスリー市の南東  
八軒に位し、鐵道通じ、石炭を主産物と

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

**ダブリン** Dublin イギリス(英吉利)

アイランド(愛蘭)自由國の東部レ  
ンスター州に屬し、百十六軒の海岸線を  
有し、ダブリン灣を最大とし、其の北

タプス・シブ 島 Tabas Island  
亞細亞洲の東方太平洋西部に在るフィリ  
ピン(比律賓)群島の一小島で、同群島の  
中央なるウイサヤ群島に屬し、ミンダ

**タプチ・ガハ(ワ)・河** Tapti River

英吉利領印度、半島部のアラビヤ海斜面  
に注ぐ河川で、源を北緯二十一度、東經  
七十八度の山地に發して西流し、ガウイ

de Tabas は七百四十米に達し、島の  
が之を回復した。

**タブリス** Tabriz Tebriz or Er

北端に當る。  
タブリス(亞細亞洲)の西部に在るベル  
シヤ(波斯)王國北西部の都邑で、テヘラ  
ンの北西五百五十軒、ウルミヤ湖に近く

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

**タプチ・ガハ(ワ)・河** Tapti River

北緯六十四度二十五分、西經百六  
立ち、北緯六十四度二十五分、西經百六

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

度十二分在つて、サハンド山(三、五五  
〇米)の北麓、海拔千三百三十米の高地  
に立ち、アゼルバイジャン州の首府に當  
り。七九一年ラシッド王の妻によりて建

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

設せられた處で、伊兒汗國の首府とし  
て、著しく盛大を極め、當時の遺跡が極  
めて多く、爾後衰へたが、裏海沿岸の商

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

業と交通が發達するに従つて再び盛況を  
呈し、現今波斯國第二の大都會として人  
口十八萬を算し、コーカサス(高加索)地

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

方と鐵道を通じ、陸上貿易の盛大なるこ  
と他に比なく、絹・絨氈・乾葡萄・棉花等  
の取引地に當る。市の東方に屹立するサ

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

ヴアラン山は古昔聖火を點せし處で、拜  
火教の聖地に當り、參拜者が甚だ多く、  
人口が一萬二千ある。

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

本市はもと伊兒汗國の大都たりし地で  
大戦前迄は露西亞の勢力が大に伸び、鐵  
道も高加索のユルタ及びアレクサンドロ

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

ポール兩市と連り、同地方と貿易が盛で  
特に露西亞本國との取引多く、大戦中一  
九一五年一月土耳其軍に占領せられ、一

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

九一八年露西亞軍が之を奪ひ、一九二二  
年迄其の手に屬したが、同年二月波斯軍

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

の創建に係り有名である。又ダブリン城  
には現今中央政府を置く。本市は酒精・  
ウイスキー・ビールを産し、家畜の輸出  
多く、人口が四十二萬ある。

**ダブリン** Dublin



**ダボース** Davos スイス(瑞西)共和国の山地平野で、グリソン地方に属し、ダヴォースプラツ及びダヴォースドルブの二村がある(ダヴォースの部を見よ)。

**タホル** Tabor 東部亞弗利加英國委任統治地、タンガンイカ Tanganyika の都邑で、中央鐵道上の要驛に當り、ダ・エス・サラム Dar-es-Salaam の西北西八百五十三軒に位し、古代アラビヤ文化の中心地に當り、七大道路が是に會し、隊商貿易の大中心地を占め、現今に於ても内地第一の都會に當り、人口が二萬五千ある。

**ダホメー** Dahomey or Dahome 亞弗利加洲のギネヤ灣の北に接し、東は英領ニジェリヤ地方に境し、西は英領黄金海岸地方に隣り、北西は佛領上部ヴォルト地方に、北東は佛領西領ニジェル地方と境し、總面積十萬方軒、人口百萬弱に及ぶ。

北緯十度の緯線に沿ひて高地が東西に走り、北はニジェル河支流の排水區域に屬し、南部は直ちにギネヤ灣に傾き、潟湖が海岸に併行し、デンナム湖 Denham が最も大きく、ウヰム河 Weme のリチマン湖と水路を連ね、西境にはモノ河 Mono がある。

土人は純粹のニグロ族で、沿海地に於ては農業に従事し、玉蜀黍・マニオク・甘藷及び馬鈴薯を栽培し、又羊・牛・豚を牧し、森林は椰子に富み、同果實・椰子油を輸出し、中部に於ては棉花を栽培する。

鐵道は僅かであるが、沿岸東部のポルト・ノヴァ Porto Novo より八十軒北方

に延び、之より近時工事中のものがニジェル河に達せんとして居る。都邑はポルト・ノヴァを首府とし、此の外にコトス・アボメーがある。

**タボラ** Tabora 東部亞弗利加英國委任統治地、タンガンイカ Tanganyika の都邑で、中央鐵道上の要驛に當り、ダ・エス・サラム Dar-es-Salaam の西北西八百五十三軒に位し、古代アラビヤ文化の中心地に當り、七大道路が是に會し、隊商貿易の大中心地を占め、現今に於ても内地第一の都會に當り、人口が二萬五千ある。

**タボル** Tabor チェコスロヴァキヤ共和國、ボヘミヤの都邑で、ブラーグ市の南方、鐵路百五軒に位し、鐵道と航空路上の要路に當り、人口が一萬二千ある。

**タボル・サン・山** Tabor Mount 亞細亞洲の西部に在るパレスタインの山名で、テベリヤス(ガリレ)湖の南端に立ち、海拔は五百八十四米に過ぎないが、山頂よりの眺望壯觀を極め、希臘・羅典時代の僧院其他數多の遺跡がある。

**タマウリパス** Tamulipas もとメヒコ・サンタフェル Nuevo Santa Fe de Compostela 州の都邑で、ブラーグ市の南方、鐵路百五軒に位し、鐵道と航空路上の要路に當り、人口が一萬二千ある。

**タマク** Tamak マレー(馬來)群島、ジャヴァ(瓜哇)島の小都邑で、一にデマクと呼ぶ(デマクの部を見よ)。

**タマクワ** Tamakwa 亞米利加合衆國、ペンシルヴァニア州、シェイルキルの都邑で、タマクワ河に沿ひ、ポツヴイル市の東北東二十八軒に位し、數多の鐵道通じ、石炭を産し、鐵工業行はれ、人口が約八千ある。

**タマスケ** Damascus or Esh Sham アジヤ(亞細亞)洲の西部に在るシリヤの最大都市で、其の首府に當り、アンチ・レバノン山脈の東麓に位し、絹織物産地の中心地として著はれ、附近は

八十五方軒、人口三十四萬四千を有す。沿海地は低濕にして澤湖多く、沙嘴によりて墨西哥灣に境し、各河川が沙泥を輸送して沿海を埋設するより、舟行困難を極む。リオ・グランデが主流である。州の北部は平坦で、南部及南西部は山地に富む。内地の氣候は健康に適すも沿岸は温熱で流行病・風土病多く、土地は一般に肥沃で農業に適し、穀物・果實を産し、木材の産も多く、牧畜も行はれ、皮革・家畜・ゴム・熱帯果實を輸出す。タムピコとマタモロス为主要港となし、シウダード・ヴィクトリアが首府である。

**タマク** Tamak マレー(馬來)群島、ジャヴァ(瓜哇)島の小都邑で、一にデマクと呼ぶ(デマクの部を見よ)。

**タマクワ** Tamakwa 亞米利加合衆國、ペンシルヴァニア州、シェイルキルの都邑で、タマクワ河に沿ひ、ポツヴイル市の東北東二十八軒に位し、數多の鐵道通じ、石炭を産し、鐵工業行はれ、人口が約八千ある。

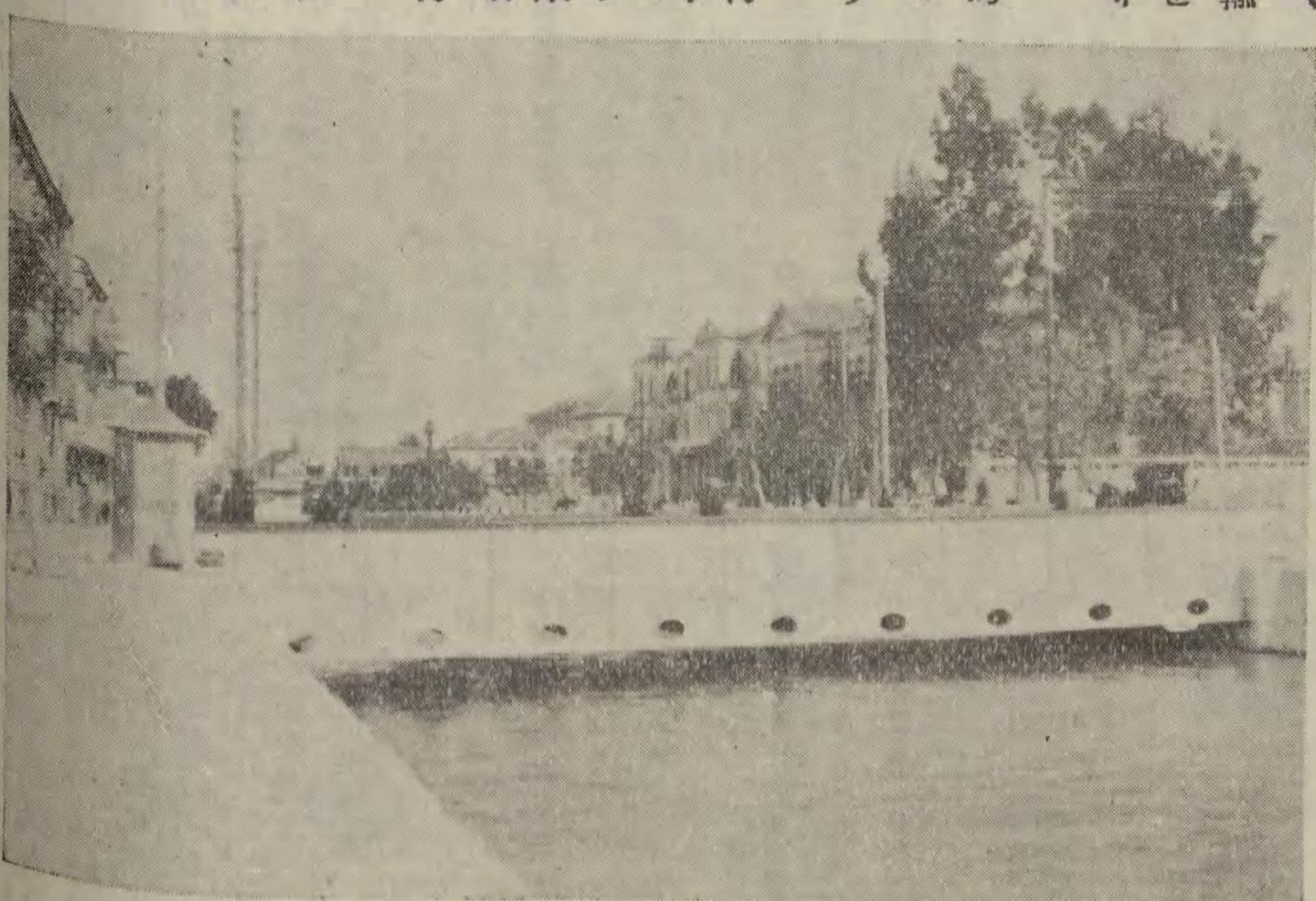
**タマスケ** Damascus or Esh Sham アジヤ(亞細亞)洲の西部に在るシリヤの最大都市で、其の首府に當り、アンチ・レバノン山脈の東麓に位し、絹織物産地の中心地として著はれ、附近は

乾燥なるもレバノン山積雪の恩恵を受け、四時豊富なる河水が市中を貫流し、各種の果樹が成熟し、天然の大公園である。乾燥無味なる沙漠にのみ生活する亞刺比亞人は之を呼ぶに沙漠の眞珠を以てす。本市はシリヤ及び亞刺比亞諸國に對する商取引の中心地に當り、且イラク・波斯方面に至る自動車の横斷通路に位し、甚だ重要な地位に在つて、人口十七萬を

州に在る首都で、クマシ Kumasi の北方三百八十一軒に在る。

**ダール** Dhar 阿ジヤ(亞細亞)洲の西部、アラビヤ(亞刺比亞)半島イェメン國の都邑で、同國の首府サナーの南方五十餘軒に位し、往昔亞刺比亞文化の中心地たりし處で、回教ザイデ派の本據に當る。

**ダン** Dan 英吉利領印度、半島部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和國の植民地で、二區より成り、一はダマ



(ス ク ス マ ダ) ク ス マ ダ

有し、アレツポ及びベールトと鐵路を通ずる。

**ダマスケ** Damascus 亞細亞洲西部シリヤの最大都市で、アンチ・レバノン山脈の東麓に立ち、ダマスケとも呼ぶ(ダマスケの部を見よ)。

**ダマスケ** Damascus 亞米利加合衆國ペンシルヴァニア州ウエーの都邑

**タマナ・ジマ** Tamana Island オセアニア(阿西亞尼亞)洲ミクロナシアに屬するシルベルト群島の小島である(シルベルト群島を見よ)。

**タマナ・ヤマ** Tamana Mount 西印度諸島の南部、トリニダード島の中央平野中に立つ山で、高さが三百四十米に達する。

州に在る首都で、クマシ Kumasi の北方三百八十一軒に在る。

**ダン** Dan 英吉利領印度、半島部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和國の植民地で、二區より成り、一はダマ

州に在る首都で、クマシ Kumasi の北方三百八十一軒に在る。



於ては農業に従事し、玉蜀黍・マニオク・  
甘藷及び馬鈴薯を栽培し、又羊・牛・豚を  
牧し、森林は椰子に富み、同果實・椰子  
油を輸出し、中部に於ては棉花を栽培す  
る。  
鐵道は僅かであるが、沿岸東部のボル  
ト・ノヴァ Porto Novo より八十軒北方  
に於ては棉花を栽培す



(ス ク ス)

有し、アレクサンドリアと鐵路を通  
ずる。

**ダマスカス** Damascus 亞細亞洲西部  
シリアの最大都市で、アンチ・レバノン山  
脈の東麓に立ち、ダマスカとも呼ぶ(ダ  
マスカの部を見よ)。

**ダマスカス** Damascus 亞米利加合  
衆國ペンシルヴァニア州ウエーの都邑  
で、デラウエーヤ河に沿ひ、ホーンズデ  
ール市の北東二十四軒に位し、橋梁を架  
してニューヨーク州のコチエクトン市と  
連絡し、人口が約二千五百ある。

**タマヌーラ** Tamazula 北亞米利加洲  
メキシコ(墨西哥)共和國、デュランゴ州  
の都邑で、タマヌーラ河に沿ひ、クリヤ  
カン市の北東百十軒に在る。

**タマヌーラ** Tamazula 北亞米利加  
洲メキシコ(墨西哥)共和國、ハリスコ州  
の都邑で、シウダード・グスマン市の東南  
東三十七軒に位し、人口が九千ある。

**タマターヴ** Tamatave アフリカ(亞  
弗利加)洲の東方印度洋上に在るマダガ  
スカル島 Madagascar の海港で、東岸  
に位し、首府アンタナリヴの東方三  
百六十八軒に位し、氣候不良なるも、良  
港を控え、貿易額が本島第一に位し、交  
通が甚だ便利で、人口一萬五千を有す。

**タマターヴ** Tamatave 亞弗利加洲の  
東方マダガスカル島の海港で、アンタナ  
リヴ市の東方に在る(タマターヴの  
部を見よ)。

**タマナ・ジマ** Tamana Island  
オセアニア(阿西尼亞)洲ミクロネシ  
ヤに屬するジルベルト群島の小島である  
(ジルベルト群島を見よ)。

**タマナ・ヤマ** Tamana Mount  
西印度諸島の南部、トリニダード島の中  
央平野中に立つ山で、高さが三百四十米  
に達する。

**タマラランド** Tamara Land or Da-  
mala Land 亞弗利加洲の南部に在る南西  
部、南亞弗利加の一部で、一にダマ  
ラランドとも呼ぶ(ダマラランドの部を  
見よ)。

**タマリダ** Tamarda 印度洋中にあ  
るソコトラ島の首邑で、同島の北岸に位  
す。

**タマリテ** Tamarite or Tamarite  
de Itiera 一にタマリ・デ・リテラ  
de Itiera 西班牙の都邑である(タマリ  
テを見よ)。

**タマリテ・デ・リテラ** Tamarite de  
Itiera 西班牙の都邑である(タマリ  
テを見よ)。

**タマル** Tamale 亞弗利加洲ギネヤ灣  
岸英領黄金海岸の内地、北部地方の南部  
州に在る首都で、クマシ Kumasi の北  
方三百八十一軒に在る。

**タマル** Tamale 亞細亞洲の西  
部の西部、アラビヤ(亞刺比亞)半島イ  
ーメン國の都邑で、同國の首府サナーの  
南方五十餘軒に位し、往昔亞刺比亞文化  
の中心地たりし處で、回教ザイデ派の本  
據に當る。

**タマル・ガハ** Tamal Gaha 河 Tamal River  
オーストラリア(濠太刺利)大陸の南東  
に在るタスマニア島の北東部の河川で、  
南北兩エスク河 Esqu River を源流となし、  
南エスク河はマッカーリー河 Macquarie  
が左岸より結合し、パースが同河岸に沿  
ひ、北エスク河にはロースター市が沿  
ひ、其の下に於て兩河が相合し、以下河  
幅が著しく増大して入江状をなし、下  
ること七十軒にして海に注ぐ。河口にポー  
ト・ダルリムプル市がある。

**ダマレスク・ガハ** Damal Gaha 河  
オーストラリア(濠太刺利)聯邦  
の最大河マールレー河の支流で、一にダマ  
レスク河と呼ぶ(ダマレスク河の部を見  
よ)。

**ダマレスク・ガハ** Damal Gaha 河  
que to Damal Gaha River にセヴァー  
ン河 Severn と呼び、或は其の上流のみ  
をセヴァーン河と呼ぶことがある。オー  
ストラリア(濠太刺利)大陸第一の大河マ  
ールレー河に注ぐ、ダーリング河 Darling  
の一流流で、南緯二十八度三十分、ニュー  
サウスウェールズ州とヴィクトリア州と  
の境上附近に於て南西に向ひ、次で北  
東に轉じ、東經百四十八度五十分に至り、  
マクドナルド河 Macdonald 河と合する(マ  
クドナルド河を見よ)。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。

**タマン** Tamam 英吉利領印度、半島  
部の西岸に在るポルトガル(葡萄牙)共和  
國の植民地で、二區より成り、一はダマ  
ン市でボムベイ(孟買)省のカムベール灣岸  
北緯二十度沿ひ、面積五十七方軒、人  
口三萬二千七百を有し、一は此に近きナ  
ガル・ハヴィリ Nagar Havili で、少し  
く南東に位し、百五十五方軒の面積を有  
し、チークが繁茂する。



ナユリヤ *Phanagoria* と呼ぶ希臘市街の遺址が此處に近い。

**タマンフルー** *Damanhur* 亞非利加洲エジプト(埃及)に在つてアレクサンドリアの南東六十一里に立ち、ベヘイラ州の首府で、カイロ・アレクサンドリア鐵道の中央に位し、マームヂエー運河に沿ひ、棉花・羊毛等の集散地に當り、古代埃及及び羅馬の都市として知られ、嘗て那翁一世の攻撃に抗したるを以て名高く、人口が四萬八千ある。

**タミアウワ** *Tamiahua* 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)灣沿海の裏に在る小都邑で、タムピコ市の南東百十里に位し、タミアウワ湖の南端に立つ。

**タニエッタ** *Danietta* or *Danyut* 亞非利加洲エジプト(埃及)に在つて、ナイル河ダミエッタ分流の右岸に立ち、メンザレー湖 *Menzaleh L.* に沿ひ、ダミエッタ河口を溯ること十三里、カイロ市より北々東鐵路百八十二里に位し、古ダミエッタ(タミアチス *Tamiatris*) に近く、一六〇〇年建設せられ、もと輸出貨易が盛であつたが、現在は港内に砂泥が沈積して船舶の出入を妨げ、一の見るべきものなく、只工業地として有名な綿布 (*dimity*) を産し、又製革業も盛で、人口が三萬餘ある。

**タニエッタガハ(ワ)** 河 *Danietta* or *Danyut River* 亞非利加洲、ナイル河二大分流の一で、エジプト(埃及)國

下埃及に在るカイロ市の北西少許の地に於てロセッタ分流と分れ、北東に向つて流走し、ロセッタの東方二百二十四里の地に於て地中海に注ぐ、流路の直距が二百九十里に過ぎないが、水路が著しく屈曲する爲め、延長四百四十里に達し、河口の上流十三里の右岸にダミエッタ市がある。

**タミーズ** *Tamize* ベルギー(白耳義)王國、東フランダーズ州の都邑で、シエルト河の左岸に立ち、ゲント市の東北東二十五里に位し、麻紡績業行はれ、尙ほ毛織其他の織物を産し、人口が一萬三千ある。

**タム** *Dam* 南亞米利加洲、ギヤナ地方に在る和蘭領ギヤナの小事である。

**タムウアース** *Tamworth* 英吉利國大ブリテン島イングランド(英蘭)ワルウィックシャーの都邑で、アンケル河とタメ河との會合點に立ち、リッチフィールド市の南西十里、ロンドン市と百七十七里を隔て、紙・衣服・皮革及びビールを産す。本市はもとマルシヤ王の堅塞として知られた地で、數多の史蹟を有し、人口が八千ある。

**タムウアース** *Tamworth* オーストラリア(濠太刺利)洲、ニュー・サウス・ウェールズ州の都邑で、ピール河とコックバイン河とに沿ひ、シドニー市の北方、鐵路四百五十四里に位し、人口が六千餘ある。

**タムニコガハ(ワ)** 河 *Tampico River* 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和國東岸、タムピコ市に接し、墨西哥灣に注ぐ河川である(タメシ河を見よ)。

**タムガン** *Damghan* or *Damgan* アジヤ(亞細亞)洲の西部に在るペルシヤ(波斯)王國北部の都邑で、テヘランの東微北方二百八十里、アストラバードの南西八十里に位し、エルブールズ山脈の南方、海拔千九百九十九米に立ち、テヘランよりアフガニスタンに至る陸商路に沿ひ、人口が一萬五千ある。

**タムジュルト・サン** 山 *Tamjurt* or *Tiz Tamjurt Mount* アフリカ(亞非利加)洲、マロッコ國の大アトラス山脈 *Great Atlas Mts.* 中の一支で、其の高さ四、四二二米に達し、實にアトラス各山脈中の最高峯に屬し、マロッコ市の南西八十里の地に屹立し、常に白雪を戴き、熱帶亞非利加の地に壯觀を呈して居る。

**タムパ** *Tampa* 亞米利加合衆國の南東部に在るフロリダ州、フロリダ半島の西方、メキシコ灣方面のタムパ灣に注ぐヒルスバロ河 *Hillsboro* の口に沿ひ、附近は燐礦を産すること多く、之と共に植物・果實・生牛・機械・車輛・自動車等を産し、人口が九萬五千ある。

**タムバッハ** *Tambach* ドイツ(獨逸)聯邦、ザクゼン・コブルグ・ゴタの都邑で、ゴタ市の南々西十九里に位し、人口が約三千ある。

**タムバツハ** *Dambach* ドイツ(獨逸)聯邦より大戰の結果、フランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス地方の都邑

**タムバートン** *Dumbarton* 英吉利國

で、シュレツタットの北方六里半の地に位し、古城門及び城壁を有し、人口が約三千ある。

**タムバートン** *Dumbarton* 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の西部に位し、殆ど水に圍まれ、東の北半部はロモンド湖に接し、西はロング湖、南西はクライド河及びクライド灣に接す、此のクライド灣には一小半島が出で同灣の一支ガル湖とロング湖の間に突出し、西部は山地多く、ベン・ヴォリック山は九百三十米に達し、其の他の地も山地多く、只南部のみは土地肥え農業行はる。山と湖沼とは著しく此の地の風光をして美ならしめる。河川の主たるはクライド河の外レブン河とケルヴィン河である。ロセニス半島のロセニス城はアルジュール公の城地である。工業は綿布・硝子・機械等の製作を主とし、又羊・牛を飼育し、鐵産は石炭・鐵及びスレートを主とする。交通機關は鐵道の外クライド河、フォース・クライド運河等がある。

**タムバートン** *Dumbarton* 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の地方で、ソルウェー灣に沿ひ、丘陵地より成立し、最高點ホワイト・クーム *White Comb* は九百二十四米に達し、北西東三面はローチャル・モット

其他の寺院を有し、定期市開かれ、人口が一萬六千ある。

**タムフリース** *Dumfriesshire* 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の地方で、ソルウェー灣に沿ひ、丘陵地より成立し、最高點ホワイト・クーム *White Comb* は九百二十四米に達し、北西東三面はローチャル・モット

其他の寺院を有し、定期市開かれ、人口が一萬六千ある。

都邑で、一にダムブールと呼ぶ(ダムブールの部を見よ)。

**ダムフリース** *Dumfriesshire* 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の地方で、ソルウェー灣に沿ひ、丘陵地より成立し、最高點ホワイト・クーム *White Comb* は九百二十四米に達し、北西東三面はローチャル・モット

其他の寺院を有し、定期市開かれ、人口が一萬六千ある。

**ダムフリース** *Dumfriesshire* 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の地方で、ソルウェー灣に沿ひ、丘陵地より成立し、最高點ホワイト・クーム *White Comb* は九百二十四米に達し、北西東三面はローチャル・モット

其他の寺院を有し、定期市開かれ、人口が一萬六千ある。



易が盛であつたが、現在は港内に砂泥が沈積して船舶の出入を妨げ、一の見るべきものなく、只工業地として有名な綿布 (dimity) を産し、又製革業も盛で、人口が三萬餘ある。

**ダムエッタガハ(ワ)河** Damietta or Damyat River 亞非利加洲、ナイル河二大分流の一で、エジプト(埃及)國

易が盛であつたが、現在は港内に砂泥が沈積して船舶の出入を妨げ、一の見るべきものなく、只工業地として有名な綿布 (dimity) を産し、又製革業も盛で、人口が三萬餘ある。

**ダムウアース** Tamworth オーストラリア(濠太刺利)洲、ニュー・サウス・ウェールズ州の都邑で、ビル河とコックバイン河とに沿ひ、シドニー市の北方、鐵路四百五十四軒に位し、人口が六千餘ある。

産し、人口が九萬五千ある。  
**ダムバッハ** Tambach ドイツ(獨逸)聯邦、ザクゼン・コブルグ・ゴタの都邑で、ゴタ市の南々西十九軒に位し、人口が約三千ある。

ある。  
ダムバートン・クライドバンク及びギルキンチロック等が首要の都邑である。本州の面積は六百九十九軒、人口が十四萬ある。  
**ダムバートン** Dumbarton 英吉利國聯邦より大戦の結果、フランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス地方の都邑

イドに注ぐレヴン河に沿ひ、グラスゴー市の北西二十五軒に位し、鐵道と水運の便によりて兩市を連ね、舊市街はレヴン河の左岸に位し、右岸の新しい街と橋梁によりて連絡し、造船業が主要の産業であるが、尙ほ機械工業・合金工業等も行はれる。市に舊城・市廳・デンニー記念碑・圖書館を有す。本市はセルト族とローマ人の植民地で、もとアルタライス丘として知られ、ストラスカライドの首府たりし處で、定期市が開かれ、人口が一萬七千ある。

**ダムバートン** Dumbarton 英吉利國イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)の地方名で、單にダムバートンと呼ぶ(ダムバートンの部を見よ)。

**ダムパ・ワン** Tampa Bay 亞米利加合衆國南東部に在るフロリダ半島の西部、北緯二十八度以南に横はる海灣で、メキシコ灣の一支に當り、其の北岸にタムパ市が横はる。

**タムコロ** Tampico or Tampic 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和國、ヴェラクルスの北々西三百六十二軒に在る海港で、一にタムコロ・プエブロ・ヌエボと呼び、又サンタ・アナ・デ・タムコロ・パス Santa Ana de Tamulipas として知られ、墨西哥灣岸に注ぐタメシ河の口に位し、タムコロ湖を控え、陸海軍病院がある。其の港は良好で、英米兩國と船舶の往復繁く、護

護、砂糖・玉蜀黍・アスファルト・石油・サイザル麻等を輸出し、附近に豊富なる油田ある爲めに最近に發達し、人口が三萬五千ある。

**タムピコ・ガハ(ワ)河** Tampico River 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和國東岸、タムピコ市に接し、墨西哥灣に注ぐ河川である(タメシ河を見よ)。

**タムピコ・プエブロ・ヌエボ** Tampico Nuevo 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和國に在る都邑で、ヴェラクルスの北々西三百六十二軒に位する(タムピコを見よ)。

**ダムピール** Dampier 海峽 Dampier Strait ヲレー(馬來)群島のパプア(ニューギネヤ)島とワイジュー島の間の海峡で、長さ百十軒、幅五十六軒に達す。

**ダムピール・アイランド** Dampier Island オーストラリア(濠太刺利)大陸の北方に在るパプア(ニューギネヤ)島の北岸、南緯四度四十分、東經百四十六度の小島である。

**ダムブドラーガハ(ワ)河** Dambudra or Tungabudra River 英吉利領印度(英吉利領印度)の南東部に在る河川で、源をマイソールに發して北東流し、カルナル市 Kurndi の北東二十四軒に位し、水路の一部はマドラス省とニザム領とを境し、長さが六百四十軒に及ぶ。

**ダムブーラ** Dambulla 英吉利領印度(英吉利領印度)の南方に横はるセーロン(錫蘭)島の小

都邑で、一にダムブールと呼ぶ(ダムブールの部を見よ)。

**ダムフリース** Dumfries or Dumfriesshire 英吉利國大ブリテン島北部スコットランド(蘇格蘭)の南西部に在る地方名で、南はソルウェー湾に沿ひ、三十四軒の海岸線を有し、北西東三面に丘陵横たわつて、最高點のホワイト・クーム山 White Coomb は九百二十四米に達し、南方一帯は低地である。州内はニスダル Nis-dale、アナンドル Annandale 及びエスキダール Eskdale の三區を含み、是等各地は谷間は沃地で、又牧場に適し、各河川は鮭・鱒の産多く、鉛鐵は北部のローテル丘陵より産し、此の外、砂岩・石灰及び石炭が出る、農産物は少ないが、家畜として牛と羊が多量に飼育せられる。

**ダムフリース** Dumfries 英吉利國、大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る都邑で、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る河川で、源をマイソールに發して北東流し、カルナル市 Kurndi の北東二十四軒に位し、水路の一部はマドラス省とニザム領とを境し、長さが六百四十軒に及ぶ。

**ダムブーラ** Dambulla 英吉利領印度(英吉利領印度)の南方に横はるセーロン(錫蘭)島の小

都邑で、一にダムブールと呼ぶ(ダムブールの部を見よ)。

**ダムフリース** Dumfries or Dumfriesshire 英吉利國大ブリテン島北部スコットランド(蘇格蘭)の南西部に在る地方名で、南はソルウェー湾に沿ひ、三十四軒の海岸線を有し、北西東三面に丘陵横たわつて、最高點のホワイト・クーム山 White Coomb は九百二十四米に達し、南方一帯は低地である。州内はニスダル Nis-dale、アナンドル Annandale 及びエスキダール Eskdale の三區を含み、是等各地は谷間は沃地で、又牧場に適し、各河川は鮭・鱒の産多く、鉛鐵は北部のローテル丘陵より産し、此の外、砂岩・石灰及び石炭が出る、農産物は少ないが、家畜として牛と羊が多量に飼育せられる。

**ダムフリース** Dumfries 英吉利國、大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る都邑で、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る河川で、源をマイソールに發して北東流し、カルナル市 Kurndi の北東二十四軒に位し、水路の一部はマドラス省とニザム領とを境し、長さが六百四十軒に及ぶ。

**ダムブーラ** Dambulla 英吉利領印度(英吉利領印度)の南方に横はるセーロン(錫蘭)島の小

都邑で、一にダムブールと呼ぶ(ダムブールの部を見よ)。

**ダムフリース** Dumfries or Dumfriesshire 英吉利國大ブリテン島北部スコットランド(蘇格蘭)の南西部に在る地方名で、南はソルウェー湾に沿ひ、三十四軒の海岸線を有し、北西東三面に丘陵横たわつて、最高點のホワイト・クーム山 White Coomb は九百二十四米に達し、南方一帯は低地である。州内はニスダル Nis-dale、アナンドル Annandale 及びエスキダール Eskdale の三區を含み、是等各地は谷間は沃地で、又牧場に適し、各河川は鮭・鱒の産多く、鉛鐵は北部のローテル丘陵より産し、此の外、砂岩・石灰及び石炭が出る、農産物は少ないが、家畜として牛と羊が多量に飼育せられる。

**ダムフリース** Dumfries 英吉利國、大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る都邑で、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る河川で、源をマイソールに發して北東流し、カルナル市 Kurndi の北東二十四軒に位し、水路の一部はマドラス省とニザム領とを境し、長さが六百四十軒に及ぶ。

**ダムブーラ** Dambulla 英吉利領印度(英吉利領印度)の南方に横はるセーロン(錫蘭)島の小

都邑で、一にダムブールと呼ぶ(ダムブールの部を見よ)。

**ダムフリース** Dumfries or Dumfriesshire 英吉利國大ブリテン島北部スコットランド(蘇格蘭)の南西部に在る地方名で、南はソルウェー湾に沿ひ、三十四軒の海岸線を有し、北西東三面に丘陵横たわつて、最高點のホワイト・クーム山 White Coomb は九百二十四米に達し、南方一帯は低地である。州内はニスダル Nis-dale、アナンドル Annandale 及びエスキダール Eskdale の三區を含み、是等各地は谷間は沃地で、又牧場に適し、各河川は鮭・鱒の産多く、鉛鐵は北部のローテル丘陵より産し、此の外、砂岩・石灰及び石炭が出る、農産物は少ないが、家畜として牛と羊が多量に飼育せられる。

**ダムフリース** Dumfries 英吉利國、大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る都邑で、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る河川で、源をマイソールに發して北東流し、カルナル市 Kurndi の北東二十四軒に位し、水路の一部はマドラス省とニザム領とを境し、長さが六百四十軒に及ぶ。

**ダムブーラ** Dambulla 英吉利領印度(英吉利領印度)の南方に横はるセーロン(錫蘭)島の小

都邑で、一にダムブールと呼ぶ(ダムブールの部を見よ)。

**ダムフリース** Dumfries or Dumfriesshire 英吉利國大ブリテン島北部スコットランド(蘇格蘭)の南西部に在る地方名で、南はソルウェー湾に沿ひ、三十四軒の海岸線を有し、北西東三面に丘陵横たわつて、最高點のホワイト・クーム山 White Coomb は九百二十四米に達し、南方一帯は低地である。州内はニスダル Nis-dale、アナンドル Annandale 及びエスキダール Eskdale の三區を含み、是等各地は谷間は沃地で、又牧場に適し、各河川は鮭・鱒の産多く、鉛鐵は北部のローテル丘陵より産し、此の外、砂岩・石灰及び石炭が出る、農産物は少ないが、家畜として牛と羊が多量に飼育せられる。

**ダムフリース** Dumfries 英吉利國、大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る都邑で、スコットランド(蘇格蘭)の南東部に在る河川で、源をマイソールに發して北東流し、カルナル市 Kurndi の北東二十四軒に位し、水路の一部はマドラス省とニザム領とを境し、長さが六百四十軒に及ぶ。

**ダムブーラ** Dambulla 英吉利領印度(英吉利領印度)の南方に横はるセーロン(錫蘭)島の小

ダムバートンシャータンペレ



フォルスのフィンランド名である(タメルフォルスを見よ)。

**ダムボヴィツァ・ガハ(ワ) 河 Danbo-vitza or Dimbovitza Riv.** ルーマニア(羅馬尼亞)王國の河川で、源をトランシルヴァニアアルプス中、トルスブルグ越の西方に發して北東流し、次で南に轉向し、ブカレスト市の南東に至りアルゲス河 Argesul に注ぎ、長さが百九十三軒ある。

**タムボ・ガハ(ワ) 河 Tambo River** 南亞米利加洲西部ペルー(秘露)共和國サント河の南方に位し、太平洋に注ぐ小河である。

**タムボ・グランヒ Tambo Grande** 南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國ピウラの都邑で、バイタ市の東北東八十軒に位し、人口が八千餘ある。

**タムボフ Tambov** ソヴィエト聯邦、露西亞本國の中部に位し、同名の州の首府で、モスコの南東四百八十軒、ツナ河に沿ひ、リヤザン・ウラルスク鐵道に沿ひ、黒土地方を占むるタムボフ州の中心地に當り、穀物・牛・獸脂及び羊毛等の取引行はれ、人口が七萬六千ある。

**タムマ・ジツ 島 Tamma Island** アジャ(亞細亞)洲の南東に在るマレー(馬來)群島の一島で、セラム島とチモール島の間、南緯七度十分、東經百二十八度四十分位に位し、全島火山より成り、北東部に活火山を有し、温泉も湧出する。

**タムマストック・シネ 峰 Tamma Stock Peak** スウイス(瑞西)共和國のベルネスアルプスのダムマ群峰の最高點に當り、ガレンストック峰とサステンホルンに連り、北緯四十六度三十六分、東經八度二十五分に立ち、ローヌ氷河を養ひ、最高點は海拔三千三百三十三米に達し、一八六四年ホフマン氏が登山した。

**タムラオン Damraon** 英吉利領印度のビハル・オリッサ州バトナ區のシハバードに屬する一地方で、マハラジャ王宮存し、面積千九百六十三方軒、人口一萬五千を有し、其の六分の五はヒンヅー教徒である。

**タメシガハ(ワ) 河 Tamesi River** 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國の墨西哥灣斜面に在る河で、シエラマドレの東側を流下して南東に向ひ、下流に至りてチャムパイヤン Champayan 其他の小湖と通じ、タムピコに至りてパヌーコ河と會す、一にタムピコ河と呼ぶ。

**タメーラー・シサキ 岬 Dinetrah Cap.** 亞弗利加洲、バブルマンデブ海峽に面し、北緯十二度四十二分に位す。

ランド共和國の都邑で、フィンランド人の所謂タムペレ Tampere に當り、オーボ市の北東百四十七軒の内地に位し、ネーシャルヴィ・ネグヤティ及びビハルヴィ Pajajavi 兩湖を接續するタメルコス急流 Tammerkoski rapido の兩側を占め、本地方中最も重要な工業市に當り水力の利用著しく、綿布・リンネル・紙・毛織物等の製作所と種々の鐵工場を有し、大戦中赤白兩派の激戦地となりし處で、人口五萬四千を有し、鐵路ヘルシンゲフォルス・オーボ・ニコライスタット・レニングレード等と相通じ、交通が極めて便利である。

**タモイ Danoh** 英吉利領印度の中央州に在るジャバルポールの地方名と其の都邑で、小麥・稷・米其他の穀物を産し、面積七千二百九十三方軒、人口三十三萬三千を有す。

**タモイ市** は人口が一萬七千ある。

**タモタルガハ(ワ) 河 Damodar River** 英吉利領印度の河川で、ガンジス河の分流、フーグリ河の支流に屬し、コタ・ナプールのバラマウ地方に發し、全長五百九十軒に達し、雨季には三百二十軒間航運に適す。一九一三年の大雨には千六百万軒に氾濫した。流域に多量の炭田を有す。

**タヤガハ(ワ) 河 Thaya River** チェコスロヴァキヤ共和國、モラヴィヤの河川で、源をイクラウ Igau の南に發

して南東流し、スナイムを過ぎてマルチ即ちモラヴァ河に合し、長さが二百四十軒ある。

**ダヤク・ガハ(ワ) 河 Dayak River** ボルネオ島、ジャヴァ(瓜哇)海斜面に在る河で、平野を灌漑し、瓜哇海に注ぎ、舟運の便がある。

**ダヤバン Dayabang** 喜馬拉耶山系の一秀峰(七、二四三米)である。

**ダラー Darah** アジャ(亞細亞)洲の西部に在るトランスヨルダニアの都邑でヘジャス鐵道の一驛に當り、シリヤの國境に近い。

**ダライ・ノル 達賴諾爾 Dalai Nor** 亞細亞洲の新獨立國、滿洲の黒龍江省西部に在る湖沼で、一にクローン湖と呼ぶ(クローン湖の部を見よ)。

北緯一度二十九分に在る。

**タラウエフ Talavera** スペイン(西班牙)共和國トレド州の都邑で、古へのカエサロブリガ市 Caesarbriga に當り、テীগス(タホ)河に沿ひ、マドリッド市の南西、鐵路百三十四軒に位し、古城壁の一部、羅馬古城門、十世紀の回教塔・古寺等があつて、陶器を産し、人口が一つ。

北島の小湖で、タラウエラ活火山より南はタウボ盆地迄、北はブレンチ灣に至る間一帯の火山地帯に屬し、温泉・噴氣孔・間歇泉が數多の湖沼と交はり、以て壯觀を呈す。タラウエラは此等湖沼中最も優れたもので、奇石之を圍み、綠樹四邊を閉じ幽邃を極め、東境にタラウエラ火山峙るマレー(馬來)群島の東部に位し、一にタク島を見よ)。

**タラウル・ケンタウ 群島 Talaur or Pahak or Pahak-ek-kohr Islan-**

紅海の中部以南に在つて、エリトリア Eritrea に近く、伊太利國に屬し、ダラタク主島の外、ノラゾラ 其他無數の島嶼を含み、珊瑚礁より成立し、總面積千八十八方軒、人口千五百人を有し、住民は主として漁業に従事して居る(ダラタク島を見よ)。



地に當り、穀物・牛・獸脂及び羊毛等の取引は、人口が七萬六千ある。  
タムボボン Tambobong 亞細亞洲の東方、太平洋の西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン島の都邑で、マニラ市の郊外住宅地に當り、マニラ灣の東岸に近く、魚類を産し、各種の工業行はれ、商業も盛で、人口が二萬餘ある。

の東側を流下して南東に向ひ、下流に至りてチャムバイヤン Champayan 其の他の小湖と通じ、タムビコに至りてバヌーコ河と會す、一にタムビコ河と呼ぶ。  
タメーラー・ミサキ岬 Dinetrah Cap. 亞弗利加洲、パペルマンデブ海峽に面し、北緯十二度四十二分に位す。  
タメルフォルス Tammerfors フィン

コタ・ナプールのバラマウ地方に發し、全長五百九十軒に達し、雨季には三百二十軒間航運に適す。一九一三年の大雨には千六百万方軒に氾濫した。流域に多量の炭田を有す。  
タヤ・ガハ(ワ)河 Thaya River チェコスロヴァキヤ共和國、モラヴィヤの河川で、源をイグラーウ Iglaun の南に發

シ湖の部を見よ。  
タライノル 達賴諾爾 Datal Nor 亞細亞洲の新獨立國、黒龍江省西部に在る湖沼で、一にクローン湖と呼ぶ(クローン湖の部を見よ)。  
タラウ・ハ・P 島 Taraway or Knoy Island 一にクノイ島 Knoy

北緯一度二十九分に在る。

タラウエラ Talavera スペイン(西班牙)共和國トレド州の都邑で、古へのカエサロブリガ市 Caesarobriga に當り、テীগス(タホ)河に沿ひ、マドリッド市の南西、鐵路百三十四軒に位し、古城壁の一部、羅馬古城門、十世紀の回教塔・古寺院等があつて、陶器を産し、人口が一萬二千ある。

タラウエラ湖 Tarawera Lake 太平洋南部に在るニュージーランド群島

北島の小湖で、タラウエラ活火山より南はタウボ盆地迄、北はブレンチ灣に至る間一帯の火山地帯に屬し、温泉・噴氣孔・間歇泉が數多の湖沼と交はり、以て壯觀を呈す。タラウエラは此等湖沼中最も優れたもので、奇石之を圍み、綠樹四邊を閉じ幽邃を極め、東境にタラウエラ火山峰一つ。もと本湖畔に温泉沈澱物で有名なホワイトテラス White Terrace を作つて居たが、之は一八八六年タラウエラ火山の爆發により、附近一帯の温泉・段丘跡なきに至つた。

其他の風景と共に破壊せられ、跡なきに至つた。

タラウエラ・サン・山 Tara Vera Mount 太平洋南部に在るニュージーランド群島、北島に在る活火山で、ブレンチ灣の南方、タウボ湖の北々東六十餘軒に位し、附近一帯は大小六十餘軒の湖沼を有し、長さ三十軒幅二十軒の地がもと一大湖沼であつたが、土地の發育と共に斯く數多の湖沼に分れた。タラウエラ・ロトルア等ば其の主要なものである。

タラウエラ・レアル Lake Vera In Real スペイン(西班牙)共和國の小都邑で、バタホ

市の東方十四軒半に位し、グワチャナ河に沿ひ、人口が三千ある。

タラウルク・ケビル・グンタウ Dabhalak or Dabhalak-ekhebr Island 紅海の中部以南に在つて、エリトリアに近く、伊太利國に屬し、ダ

ララク主島の外、ノラゾラ 其他無数の島嶼を含み、珊瑚礁より成立し、總面積千八十八方軒、人口千五百人を有し、住民は主として漁業に従事して居る(ダララク島を見よ)。

タラ・ガハ(ワ)河 Daras River 亞非利加洲の北西部、モロッコ國の河川で、一にドラ河と呼ぶ(ドラ河の部を見よ)。

タラガンジ Daraganje or Daraganje 英吉利領印度の都邑で、ガンジス河に沿ひ、同河を隔て、アラハバード市と相對し、同市の外廓に當り、人口が一萬五千ある。

タラゲエテ Dalgate 亞細亞洲の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、セブ島の都邑で、同島の東岸、ダラゲテ河の口に沿ひ、セブ市の南西七十七軒に位し、農産物特に穀物、マニラ麻・珈琲・ココナット等を取引し、人口が五千餘ある。

タラ・サン・山 Tara Mount 亞非利加洲、アビシニヤ高原中、ツァナ湖 Tsana の南東に在るシエック山脈 Shoke 中に在る山岳で、海拔四、一〇〇米に達する(シエック山脈を見よ)。

タラ・サン・山脈 Dabra Mountains 亞非利加洲のアルジェリヤ地方に在る海岸山脈の一部であるが、此の海岸山脈 Coast Range は數多の山塊に切斷せられ、本山脈も其の一に屬し、最高點は一、五八一米に達する。

タラス Talas 亞米利加合衆國、テクスサス州の一地方で、同州の北東部に位し、面積二千三百三十方軒、口十萬を有し、トリニチー河通じ、ダラスを首府



タラウエラ・ダラス



とする。

**ダラス Dallas** 亞米利加合衆國中央南部、テクサス州の都邑で、ハウストン市の北西方三百七十軒、トリニチー河の左岸、北緯三十三度餘、西經九十七度餘に位し、八鐵道が是に會し、トリニチー河舟運の終點、農牧業地の中心に當り、家畜・穀物・棉花を主要輸出品となし、絹布・毛織物・麥粉・リンネル・鐵器等を産し、人口二十六萬を有し、附近のオークリフに女子大學がある。

**タフスコン Tauscon** フランス(佛蘭西)共和國ボーシユ・デュ・ロヌ州の都邑で、ローヌ河の左岸に沿ひ、マルセーユ市と百軒を隔て、サンマルタ寺存し、硝子と硝子を産出し、中世に大に繁えし處で、附近にタラスカン山を控え、人口が九千ある。

**タラス・サンミヤク山脈 Talas Tau** 中央亞細亞に在つて、シル河の支流なるチャトカル河谷を隔て、南方のチャトカル山脈と相對し、東西に走ること二百五十軒に及ぶ。本山脈はアレクサンダー山脈の一支である。

**ダーラストン Darlaston** 英吉利國、大ブリテン島イングランド(英蘭)スタッフォードシャに位し、ウエンスベリーの北西二軒半、石炭及び鐵山を有し、製鐵所があつて、人口が一萬七千人ある。

**タラスプ Tarasp** 一にバッド・タラス Bad Tarasp と呼び、スウィース(瑞

西)共和國グリソン地方の村落で、イン河の右岸に沿ひ、カールスバードと比肩する鑛泉地に當り、海拔千二百米の高地に立ち、浴客が多い。

**タラソナ Tarazona** スペイン(西班牙)共和國サラゴサ州の都邑で、古へのツリアソ市 Turisio に當り、キレス河に沿ひ、鐵道通じ、もと宗教市として知られた地で、現今人口が九千ある。

**タラデーガ Tallatega** 亞米利加合衆國、アラバマ州、タラデガの首府で、沃野に立ち、バートンガム・太平洋其他の鐵道通じ、セルマ市の北々東百七十五軒に位し、タラデガカレッジの所在地に當り、棉花・綿子油の産出に富み、人口が三千ある。

**タラナキ Taranaki** 太平洋の南部に在るニュージールランド、北島の一地方で、其の大部は従來森林に被られたが、今は伐採せられて農田と化し、土地が肥沃で住民多く、又牧羊・牧羊行はれ、乾酪・牛酪・肉類・羊毛を輸出し、沿海には砂鐵の埋藏多く、面積九千六百六十六方軒、人口六萬を有し、首府をプリマスと呼ぶ。

**タラバカ Tarapaca** 南亞米利加洲、チリ(智利)共和國北部の一地方で、北のタクナと共に、秘露領であるが、戦争の結果一八八三年より十年の期間を以て智利國に占領せられ、今尙ほ未還附の状態に在る。此の地は智利硝石・鳥糞・銀・銅等の外、アルバカ羊毛を産し、尙ほ棉花・

果實を各河畔より産出し、面積四萬二千六百方軒、人口十一萬ある。イキケを首府とする(イキケを見よ)。

**タラバカ Tarapaca** 南亞米利加洲西部、チリ(智利)共和國に在つて、同名の州の都邑に當り、イキケ市の東方六十四軒に位し、イキケを門戸とする。

**タラハッシー Tallahassee** 亞米利加合衆國、フロリダ州の首府で、數多の鐵道通じ、ジャクソンヴィルの西方二百六十五軒、墨西哥灣を距る四十二軒、北緯三十度二十八分に位し、州立カレッジ、産業カレッジ、レオンカウスチーアカデミー及び數多の圖書館を有し、綿・棉子油・煙草・製氷を産し、人口三千を有す。附近一帯は棉花・煙草及甘蔗の耕作が盛である。

**タラハッチー・ガハ(ワ)河 Tallahatchie River** 亞米利加合衆國、ミシシッピ州の河川で、同州の北東に發して南西流し、グリーンウッドに於てイアラバシャ河に合し、イアズー河 Yazoo となり、ミシシッピ河に注ぎ、流程三百九十軒間中、百六十軒は汽船を通ず。

**ダラブ Darab** 一にダラブジェルダ Darabgerd or Darabjird と呼び、アジヤ(亞細亞)洲の西部に在るペルシヤ(波斯)王國、フアルシスタン州の都邑で、シルスの南東二百九軒、沃野の中心に立ち、棗椰子・オレンジ・レモン等の果樹園

を周圍に繞らし、南方五軒に古蹟として巨岩立ち、之に數多の彫刻があり、且風色の美なるを以て最も著はる。市の人口が六千ある。

**タラプーサ Tallapoosa** 亞米利加合衆國、ジョルジャ州ハラルソンの都邑で、アラプーサ河に沿ひ、アトランタ市の西方百三軒に位し、瓶類・氷等を産し、鐵工業も行はれ、人口が二千餘ある。

**タラプーサ・ガハ(ワ)河 Tallapoosa River** 亞米利加合衆國、墨西哥灣斜面に在る河川で、クーサ河と共にアパラチヤ山系南部の縱谷をなし、森林地と豊沃なる耕地間を流走し、クーサ河と結合してアラバマ河となる。流程が四百軒に及ぶ。

**ダラブジェルダ Darabgerd or Darabjird** アジヤ(亞細亞)洲の西部に在るペルシヤ(波斯)王國の都邑で、一にダラブとも呼ぶ(ダラブの部を見よ)。

**ダラブジルド Darabjird** 亞細亞洲西部、ペルシヤ(波斯)王國の都邑で、一にダラブ又はダラブジェルダと呼ぶ(ダラブの部を見よ)。

**タラブールズ Tarabulus** 亞弗利加洲北部、伊太利領トリポリタニヤの首府トリポリの土人名である(トリポリの部を見よ)。

**タラベラ Talavera** スペイン(西班牙)共和國トレド州の都邑で、マドリーダ市の南西に位す(タラウエラの部を見よ)。

**タラベラ・レヤル Talavera la Real** スペイン(西班牙)共和國の小都邑で、バタホス市の東方に位す(タラウエラ・レアルの部を見よ)。

**タラポト Tarapoto** 南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國、ロレトの都邑

に成り、舊街は丘陵上と河畔に、新市街は河の反對側に位し、中央大寺院を有し、河

中に突出せる半島上に宮城を控え、又大(緬甸)地方、下緬甸の地方名と都邑名で

る(各都邑の部を見よ)。

**ダラム Durham** 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)ダラム州の都邑で、ロンドン市の北西四百六十二軒に位し、ウイーヤ河に沿ひ、新舊兩街よ

である(シルベルト群島を見よ)。

**タラワデー Tharavaddy** 亞細亞洲南東部、印度支那半島西部に在るビルマ

ラント灣頭に在る北東入江の小島上に立ち、プリンヂシ市の西南西七十一軒の要塞地に當り、イタリヤ國中最も安全なる

港で、大戦中海軍の一根據地となれる處、海軍の造船所及び船渠を有し、サン・カ

タルド S. Catald 聖院・舊城・博物館等があり、又開港として小麦・化學製品・

果實等を輸出す。本市は紀元前八世紀、



ダーラーストン Darlaston 英吉利國、大ブリテン島イングランド(英蘭)スタックフォードに位し、ウエンスベリーの北西二軒半、石炭及び鐵山を有し、製鐵所があつて、人口が一萬七千人ある。

タラスプ Tarasp 一にバッド・タラス Bad Tarasp と呼び、スウィス(瑞)等の外、アルパカ羊毛を産し、尚ほ棉花、

タラバカ Tarapaca 南亞米利加洲、チリ(智利)共和國北部の一方で、北のタクナと共に、秘露領であるが、戦争の結果一八八三年より十年の期間を以て智利國に占領せられ、今尙ほ未還附の状態に在る。此の地は智利硝石・鳥糞・銀・銅シラスの南東二百九軒、沃野の中心に立ち、椰子・オレンジ・レモン等の果樹園、

タラバールズ Tarabulus 亞弗利加洲北部、伊太利領トリポリタニアの首府トリポリの土人名である(トリポリの部を見よ)。

タラベラ Talavera 西班牙(西班)共和國トレド州の都邑で、マドリ

タラベラ・ラ・レヤル Talavera la Real 西班牙(西班)共和國の小都邑で、バタホス市の東方に位す(タラヴェラ・ラ・レアルの部を見よ)。

タラポト Tarapoto 南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國、ロレトの都邑で、モヨバム市の南々東百十三軒に位し、人口が八千餘ある。

タラム Durham 英吉利國大ブリテン島イングランド(英蘭)の北東部に位し、北はノーザムバーランドに、南はヨーク州に接し、東方一帯は北海に沿ひ、面積二千五百九十方軒、人口百四十萬九千を有す。西はペンニン山脈を通じて居る爲め、次第に高起し、バーンホープ・シー Burnhope Seat は七百米以上となり土地が次第に東方に傾く、タイン(Tyne)ウイヤー Wear・チース Tees 各河は交通に適し、沿岸に耕作が行はれる。大炭田が中心地に位する爲め、石炭の産出が多く、又鉛・鐵・大理石・砥石・花崗岩・岩鹽等を産出する。

牧羊が盛で馬と短角牛・羊の飼育に著はれ、工業發達し、船舶・帆布を産し、尙ほ化學工業品・硝子・毛織物・陶器の産も多く、鐵鋼業も盛である。

都邑はタラムを首とし、港市としてサンダーランド・ストックトン・ジャロー・ハイトルプールス及びサウスシール等外にゲーツウー・ダーリントン等がある(各都邑の部を見よ)。

タラム Durham 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)タラム州の都邑で、ロンドン市の北西四百六十二軒に位し、ウイヤー河に沿ひ、新舊兩街より成り、舊街は丘陵上と河畔に、新市街は河の反対側に位し、中央大寺院を有し、河中に突出せる半島上に宮城を控え、又大學とカレッジ・圖書館等があり、鐵工場を有し、石炭の産地を近隣に控え、十一世紀以來市街地として知られ、定期市開け、人口が一萬七千五百ある。

タラム Durham 亞米利加合衆國の大西洋岸南部、北カロライナの都市で、州の中央より少しく北偏し、レイの北西四百四十二軒に位し、美術及び音楽に名あるトリニチ・カレッジの所在地、煙草製造業の大中心地に當り、人口が四萬七千五百ある。

タラル Tarareo フランス(佛蘭西)共和國、ローヌ州の都邑で、タルジン河に沿ひ、リヨンの西北西三十四軒に位し、絹其他織物の中心地に立ち、農産品の取引地に當り、古城址存し、タラル山を後方に控え、人口が一萬三千ある。

タラルア・サンニャク 山脈 Tararua Range 太平洋南部に横はるニューギニア島の北部分水嶺最南の山脈で、ウエリントン島の南西に於てクック海峡に没するが、南島の南アルプス北支たるインラン

ド・カイクーラス山脈とも連続したものである。

タラワ・ジマ・島 Tarawa Island オセアニア(阿西亞尼亞)洲に在る小島名である(ジルベルト群島を見よ)。

タラワデー Tharavaddy 亞細亞洲南部、印度支那半島西部に在るビルマ(緬甸)地方、下緬甸の地方名と都邑名で此の地方はペー山脈の南部、イラワヂー河の東方に位し、米が主産物で、面積の取引地として著はれ、後ローマの有となつた。世界大戰後急に發達し、人口が七千四百十六方軒、人口四十餘萬を有す。タラワデー市はプロメ・ラングーン鐵道に沿ひ、ラングーン市の北々西百十軒に位し、人口が六千ある。

タラン Tarans 亞細亞洲南部、印度支那半島、シヤム(暹羅)王國領馬來半島西岸の都邑で、クラ地峽の南に位し、一トランと呼ぶ(トランの部を見よ)。

タランコーン Tarankoon 西班牙(西班)共和國、ケンカ州の都邑で、ケシカ市の西方六十一軒に位し、人口が五千餘ある。

タランチ・チャネル Talanti Channel 時にアトランチ灣 Gulf of Atlantid 又はタランチとも呼ばれ、エウペヤ島の北西部と主陸との間に横はり、長さ三十二軒、幅五軒乃至八軒に達し、其の西側同名の都邑存し、アテネの北西約百軒に在る。

タラント Taranto イタリア(伊太利)王國半島部の離部、イオニヤ海斜面のタラント灣頭に在る北東入江の小島上に立ち、プリンヂシ市の西南西七十一軒の要塞地に當り、イタリヤ國中最も安全なる港で、大戦中海軍の一根據地となれる處、海軍の造船所及び船渠を有し、サン・カタルド S. Cataldo 聖院・舊城・博物館等があり、又開港として小麦・化學製品・果實等を輸出す。本市は紀元前八世紀、スバルタ人によりて建設せられ、毛織物の取引地として著はれ、後ローマの有となつた。世界大戰後急に發達し、人口が乍ち二倍し、今や十二萬二千を算するに至つた。

タラント Tharand or Tharand 獨逸(獨逸)聯邦、サクソニア(ザクゼン)共和國の都邑で、ドレスデン市の南西十四軒半に位し、最古の森林學校を有し、人口が三千ある。

タラント・ワン 灣 Tarantos Gulf 一ハンブシヤ州ロッキンガムの都邑で、ポストン・メイン鐵道通じ、マンチェスター市の南東十八軒に位し、ピンケルトンアカデミーの所在地、避暑地に當り、人口が四千ある。

タリー Derry 亞米利加合衆國、ダリー Derry とも呼び、亞米利加合

タラベラ・ラ・レヤル・ダーリー



衆國、ペンシルヴァニア州ドーフィンの都邑で、スワタラ河に沿ひハリスブルグと二十三州を隔て、人口が二千餘ある。

**タリクス** *Dallas* スペイン(西班) 共和國アルメリアの都邑で、アルメリア市の西南西三十二州に位し、地中海に近く、人口が七千餘ある。

**タリアメントガハ**(ワ) *Dahlia* *mento River* イタリヤ(伊太利)王國 ヴェネチヤ地方の河川で、源をカルニツクアルプスに發し、南流してウヂネを過ぎ、アドリヤ海のヴェニス灣に注ぐ、流程が百六十軒ある。

**タリエル** *Dariel Pass* 裏海と黒海の間を横はるコーカサス(高加索)山脈に於ける通路で、海拔二千五百米の高さを有す。同山脈には他に斯る低山地なきより軍事上、交通上極めて重要なものである。

**タリエン** *Darien Mount* 中央亞米利加のバナー共和国に在る山でバルボア氏 *Vasco Nunez de Balboa* が一五二三年初めて登山し、太平洋を遠望し、パナマ運河開鑿の件を従者サーベドゥラより聞きし處であるが、之は何れの地か明確に分らな。

**タリエン** *Darien Gulf of* 南亞米利加洲の北部、パナマ地嶺の北側に位し、カリブ海の支灣に當り、コロムビア共和国とパナマ共和国との間に當り、南東にウラバ灣 *G. of Uraba* を派

**タリー** *Tally* 亞細亞洲の東方

**タリーサイ** *Talisay* 亞細亞洲の東方 太平洋西部に横はるフィリピン(比列賓)群島、ルソン(呂宋)島、バタンガス州の村落で、ボムボン湖の北岸に沿ひ、人口が六千ある。

**タリーサイ** *Talsay* 亞細亞洲の東方 太平洋西部に横はるフィリピン(比列賓)群島、ルソン(呂宋)島、バタンガス州の村落で、ボムボン湖の北岸に沿ひ、人口が六千ある。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。

**タリー** *Tali* 西アジアのアルメニア高原に在る山で、海拔三千六百二十米に達する。



ラより聞きし處であるが、之は何れの地はれ、人口が二千餘ある。タリー・タウン Ferry town 亞米  
タリー・タウン Ferry town 亞米  
タリー・タウン Ferry town 亞米

タリエン・フン・フン Darian Gulf of 利加合衆國、ニューヨーク州、ウエスト  
南亞米利加洲の北部、パナマ地嶺の北側、チエスタの都邑で、ハドソン河の膨脹  
に位し、カリブ海の支灣に當り、コロム部、所謂ハドソン灣に沿ひ、ニューヨーク  
ビヤ共和国とパナマ共和国との間に當ク市の北方四十軒に位し、ニューヨーク  
り、南東にウラバ灣 G. of Uraba を派セントラル鐵道通じ、人口が五千八百あ

カラカシュ Karakashi を過ぎ、和蘭河とより千米に降り、タクラマカン沙漠 Takla-makan  
會し、タクラマカン沙漠を南北に横斷し、Ka Makan Desert となり、山地の斜  
羊爾羌河と會する。本河川は之より東流、面には數多の溪流があつて土地を潤すも  
南東流し、左岸より別に天山系より發一旦沙漠に出づるや乍ち涸渇し、僅に搭  
し、バグラチ湖 Bagrachi kul (九〇〇米) 里木河の本支流のみ残り、東してロブ湖  
の水を受け來る。ロブ湖 Konche Job Nor 及び其の附近に至りて消失す  
Daria を受け、ロブ湖に至りて、南方崑崙山系中のプルセルスキー山 P. S. K.  
walski (七、三六〇米) に發源し、アルチン山脈を横斷し、北東に向ひて流れ來れ  
る。チエルチェン河 Cherchen David を亦同様である。而して、盆地に於ては西  
合せ、北東流すること少許にしてロブ湖方のカシユガル地方は海拔僅に千三百米  
に注ぐ。流域千六百軒、河口は深さ四米幅四十軒に達する。

本河川の流域は古への西域で、嘗てローラン(樓蘭)の如き繁盛を極めた大都市があつたが、今は其の正確なる位置さえ不分明となつた、然し今尙ほ各地に數多の歴史的遺址を存し、ヘデン・スタイン或は我が西本願寺の僧侶諸氏によりて發掘せられたものには數多の貴重すべき諸材料が少なくない。

タリム・ボンチ 塔里木盆地 Tarim Basin 支那共和国(中華民國)の西部新疆省に位し、南は崑崙山系によりて西藏高原と境し、北は天山系によりて伊犁地方と腹背相對し、東西の經差二十度、南北の緯差約七度に達する大盆地に當り南方の崑崙山系は蠟々天を摩し、五六千米、時に七千米以上の峻峰を起すも、盆地の斜面は乍ち低下して五千米・二千米

より千米に降り、タクラマカン沙漠 Takla-makan の西部、北緯三十四度二十分乃至同三十五度、東經五十一度二十四分乃至同五十二度二分に位し、西よりカラカシュ河 Chai 河を容るゝ外、北方のエルブルズ山地より來る諸水をも受け、雨季には著しく増大するも蒸發甚だしき爲め鹹湖である。此の雨季には西北西の湖沼と連續し、乾季には分離する。

タリヤコツォ Tarikozzo イタリヤ(伊太利)王國の都邑で、アキラ市の南々西三十二軒に位し、人口が約四千ある。タリヤス Taries スペイン(西班牙)共和国アルメリヤの都邑で、アルメリヤ市の西南西に在る(ダリアスの部を見よ)。

タリヤメント・ガハ(ワ)河 Tashkent River イタリヤ(伊太利)王國ヴェネチヤの河川である(ダリアメント河の部を見よ)。

タリン Tallinn 北部歐羅巴に在るエストニア共和国の首府で、一にレヴァルと呼ぶ(レヴァルを見よ)。

タリーング・ガハ(ワ)河 Darling 陸第一の大河、マルレーの大支流で、其の源を東部大分水嶺中、シドニーの西方より、北緯二十五度に至る延長千二百軒間に互る山地に發する諸水を集めるが、其の上流はマシントール河で、其の源流をカニン河 Canning と呼び、プリズミー

の南西山地約南緯二十八度、東經百五十二度のビーラン山 Beemarran (一二五〇米) に發し、マシントール Mountain となり、別に其の南東に發するセヴァーン Severn (下流ダマレスク河 Damaresq) と會し、均しくマシントール河の名により南西流し、同名のマシントール河を左岸に、ウァーヤ河 Weira を右岸に受け、リヴァープール平原に入り、右岸にムーニー河 Moonie を、左岸にグライデル河 Gnydir、ナナイ河 Namoi、マッカーリー河 Macquarie を容れ、約南緯三十度線に併行し、西方東縁を限り來れるボガン河 Bogan を左岸に入れ、右岸より大支流カルゴア河 Cuthoga を合せ水量増大して南西に突進し、其の間ブルク市 Bourke を過ぎ、北方南緯二十五度以北に發して南流し來るワレゴ河 Warego 及び其の西方に在りて之と併行し來るパルー河 Paroo を受くるも、パルー河の如き雨季の外は下流が涸渇して本流との連絡を斷つ。タリーング河及びラクン河の下流には廣大なる乾燥平原があつて、常に密叢を以て被はれ、其の間處々に低き林野と裸地とを有し、ウエント・ウァース Went Worth に至りマルレー本流に會し、流域二千八百三十軒に達す。此の河は一八二八年キャプテン・チャールズ・スタート氏 Captain Charles Sturt の發見にかゝる。もとパルー河と別に海洋に注いだが、下流陸地の發育







タルカガハ(ワ)河 Tar River スベ  
ひ、同河とチース河との結合點に近く、  
ロンドン市の北西三百七十軒、タルハ  
ム市の南東三十五軒、鐵道の集中點に當  
り、ダラム炭田中に立ち、數多の寺院・  
學校、數多の公園を有し、工業市として  
知られ、鐵工場・機械工場・毛織物工場等  
を有し、人口が七萬四千ある。

タルヴァートン Duverton 英吉利  
國大ブリテン島、イングリランド(英蘭)サ  
部の部を見よ。

タルカガハ(ワ)河 Tar River スベ  
イン(西班牙)共和國の北東部、ジェノラ  
州の河川で、ピレネー山脈の南側に發し  
て南流し、次で東流してジェロナを過ぎ、  
數多に分れて地中海に注ぎ、長さが百八  
十軒ある。

タルカガハ(ワ)河 Tar River 亞米  
利加合衆國、北カラライナ州の河川で、

同州の北部に發して南東流し、下流湖沼  
谷となりて喇叭狀を呈し、大西洋面のバ  
ムリコ・サウンド Pamlico Sound に注  
ぎ、長さが三百五十軒に達し、下流はバ  
ムリコ河の名がある。

タルカガハ(ワ)河 Dal Eir or Dal  
River スウェーデン(瑞典)王國に在る  
河川で、東西兩ダール河の合流より成り、共  
にノルウェー國境のキオレン山脈中の小  
湖に發源して南東流し、東ダール河はシリ  
ヤン湖 Siljan L. を貫ぬき、西ダール河も  
數多の湖沼と連りて相合し、アヴェスタ  
Avesta の下に至りて河幅俄に増大し、  
北東に轉じて長き湖沼狀となり、河口に  
近づくと俄に狹窄してエルフ・カルレビ  
Elikarleby の瀑布となり、ゲールの  
東南東に至り、バルト海に注ぐ。流程が  
四百軒に達す。

タルカワノ Talcahuano or Talca-  
huano 南亞米利加洲西部、チリ(智利)  
共和國コンセプション州 Concepcion の  
首府で、コンセプション市の北西十三軒  
に位し、良鎔地として知られ、中央平野  
農産物の輸出地に當り、人口が二萬二千  
ある。

タルカン・シサキ 岬 Tarkhan Cape  
ソヴェエト聯邦、露西亞本國南部、クリ  
ム(クリミア)半島の西端に當り、黒海に  
沿ひ、北緯四十五度二十分、東經三十二  
度二十九分に在る。

タルキオ Tarkio 亞米利加合衆國、  
モンタナ州、アッチソンの都邑で、セン  
トジョセフ市の北々西百八軒に位し、人  
口が二千餘ある。

タルキオ・ガハ(ワ)河 Tarkio Ri-  
ver 亞米利加合衆國、アイオワ州の河川  
で、ミシシッピ河の支流に屬し、ミズ  
ーリ州に至り、オレゴン市の南東十六軒  
に於て本流に會し、長さが二百二十五軒  
ある。

タルキース Dalkeith 英吉利國大ブ  
リテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)  
の都邑で、エジンバラ市の南東百五軒に  
位し、南北エスク河の間に立ち、タルキ  
ース城が是に近く、バックリユーチ侯の  
城地であつた。人口が七千ある。

タルグーヴィステア Targuviseta  
ルーマニア(羅馬尼亞)王國、ジャロムニツ  
の都邑で、ブカレスト市の北西に位し、  
一にテルゴヴィストと呼ぶ(テルゴヴィ  
ストの部を見よ)。

タルク・ガハ(ワ)河 Tarku he 支  
那共和國(中華民國)の西部に在るチベッ  
ト(西藏)の河川で、四百軒流走の後テン  
グー湖に入る。

タルグーヴィステア Targuviseta  
ルーマニア(羅馬尼亞)王國、ジャロムニツ  
の都邑で、ブカレスト市の北西に在る  
(タルグーヴィステアの部を見よ)。

タルゲチー Dalgachy オーストラリア  
(濠太利)聯邦、ニューサウスウェール  
ズ州モナロ州の都邑で、スノーウワイー河  
に沿ひ、クーマに於ける鐵道起點と四十  
一軒を隔て、シドニー市の南々西百七十  
六軒に位し、小麥其他農産地の中心に立  
ち、人口が四千ある。

タルケイメン Darkheman ドイツ  
(獨逸)聯邦、プロシヤ(普魯西)共和國、  
東普魯西の都邑で、ガムピンネン市の南  
々東二十四軒に位し、人口が四千ある。

タルゴヴィスト Targoviste or Tar-  
goviste ルーマニア(羅馬尼亞)王國の  
都邑で、油田地の西境に立ち、ワラキヤ  
地方の、カルパチヤ山麓に位し、ブカレ  
スト市の北西八十軒に在りて、大戦前迄  
は大に榮えし地である。世界大戦に際し  
一九一六年十二月獨逸軍に占領せられた  
地で、人口が一萬ある。

タルコトヴィル Talootville 亞米  
利加合衆國コネチカット州トランドの  
村落で、ニューヨーク・ニューヘヴン其他  
と鐵道を通じ、ハートフォード市の東北  
東十八軒に位す。

タルゴヴィスト Targoviste ルーマニ  
ヤ(羅馬尼亞)王國の都邑で、ブカレスト  
市の北西に位す(タルゴヴィストの部を  
見よ)。

タルサ Tarsa 亞米利加合衆國中央南  
西部地区オクラホマ州の都邑で、オクラホ  
マ・シチーの北東百九十五軒に位し、アル  
カンサス河の左岸に立ち、アチソン・トバ  
カ・サンタフェ等諸鐵道の集中點に當り、  
煉瓦・玻璃・棉子油等の製造に著はれ、  
タルカンサス河を経て石炭及精油を輸出  
し、附近に天然瓦斯及び原油の大産出地  
がある。本市は一九二一年ニグロ族(黒  
人)の大暴動ありし處で、人口が七萬二  
千ある。

タルサス Tarsus 亞細亞洲の西部、  
小亞細亞半島、シレシヤの古代都市で、  
現今タルサス Tarsous と呼び、シド  
ヌス河口より十九軒を隔て、もと希臘文  
化の中心地たりし處である。

タル・サバク 沙漠 Thar or Thur  
Mare 英吉利領印度西部のインダス河  
平野に位し、西はインダス河に接し、北  
緯二十四度乃至同三十度、東經七十度乃  
至同七十六度に達し、ラン・オフ・カッ  
チよりパンジャブ及サトレジに擴り、ラ  
ジプタナの西部及びシンヅーの一部を占  
め、土地荒涼を極め、不毛の地域である。

タル・サン 山 Tsai Mount 亞細  
亞洲の東方、太平洋西部に横はるフィリ  
ッピン(比律賓)群島のルソン(呂宋)島、  
マニラの南東七十軒に峙ち、海拔二百  
三十四米に過ぎざる火山なるも、其の活  
動の盛なること比律賓群島中比すべきな  
く、其の山頂に在る偉大なる火山は土人  
が淨土 Purgatory と呼びて尊敬するも  
ので、數多の割目より水蒸氣を噴出し、  
二個の小碧潭を湛え、其の水が硫氣及び  
酸類を含有する。蓋し、ボムボン湖は第  
一火山で、タルル火山は其の中央火山丘  
たる位置を占む。同山は嘗て大小ピニン

タルカガハ・タール・サン



チャン Grati and Little Binintian の二火山をも有し、交互に火山灰を噴出せしが一七四九年以後、活動力は一にタルに集中せらるゝに至つた。

北方十三軒に位し、人口が三千ある。タルダネル・カイケフ 海峡 Dardanelles Strait 一にヘレスポント Hellespont 海峡と呼び、黒海・地中海の間の水道中、マルモラ海と地中海の間にあつてボスボロス海峡に通し、延長六十軒、幅一軒乃至七軒に及び、兩岸甚だしく高からざるも、地貌がボスボロス海峡に類し、最淺處と雖も五十米を下る處がない。これ海水の爲めに穿たれて深度を増加せるものである。同海峡は特に史上に著はれたる處で、紀元前四百八十年、ペルシア國のクセルクセス王 Xerxes が百八十萬の大軍を率ゐてギリシヤ國に進軍の途次、其の最狹部に兩橋を架して通過し、次で同三百三十四年、ギリシヤ國のアレクサンダー大王 Alexander the Great がペルシア國征伐の爲め同地點に近きアビドス Abydos に大軍を通過せしめ、十四世紀に至り、土耳其古軍が亦此の地を過ぎてバルカン半島に入り、遂に東ローマ國を亡ぼした。加之、ヒーロー Hero・リオン Lion 等、イイロン Byron 等の靈筆に上りて世に知られたる地である。

タルタル Tartar ソヴェエトロシア (勞農露西亞) 本國の一共和國に屬し、其の南東部ヴォルガ河岸に在つて東西に長く、西は自治州のマリ Man 及び自治共和國のチュヴアシ Chuvash に接し、北東は自治州のヴォチヤク Votyak に接し、勞農ロシアに屬して居るが、住民は三百ある。

タルナウト Turnhout ベルギー(白耳義) 王國アントワープの都邑ターンハウトの正音(ターンハウトを見よ)である。タルナテ Turnate マレー(馬來)群島の東部に在るジロロの西方に位するタルナテと呼ぶ一小島に位する港で、天然の良港をなし、セレベス・ニューギネヤ間交通の要路に當り、ジロロ各島物資の輸出地に當り、椰子・蠟・籐と香水原料のパラ等を輸出し、帆船貿易が盛である。

タルニー Durny アジャ(亞細亞) 洲の東部滿洲の我が租借地關東州の大港たる大連市のロシア名である(ダイレンシの部を見よ)。

タルニーワン・灣 Dalny Bay 遼東半島の東部の別名である(大連港の部を見よ)。

タルニーバ Dar Nuba 亞非利加洲のアンゴラ埃及スダンに在る丘地で、北緯十二度、東經三十度に位し、海拔六百米以上に立つ。

タルネタル Darnetal フランス(佛蘭西) 共和國セーヌ・アンリユールの都邑で、紡績業行はれ、キャラコ織・毛織等を産し、人口が約七千ある。

タルノウ Turnow ポーランド(波蘭) 共和國ガリチヤの都邑で、クラカウ市の東方に在る(タルノフを見よ)。

タルノウイツ Turnowitz ドイツ(獨逸) 聯邦、プロシヤ(普魯) 共和國南東部、シレシヤの都邑で、オッペルン市の南東

タルストン Dalston 英吉利國大ブリテン島イングランド(英蘭) ロンドンの郊外市で、カーリスルと六軒半を隔つ。

タルセルフ Dalsert 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭) ラナークシヤの村落で、クライド河に沿ひハミルトン市の南東十二軒に立ち、石炭採掘を主産業となし、ラークホル市の大部を含み、人口が一萬九千ある。

タルタル Tartar ソヴェエトロシア (勞農露西亞) 本國の一共和國に屬し、其の南東部ヴォルガ河岸に在つて東西に長く、西は自治州のマリ Man 及び自治共和國のチュヴアシ Chuvash に接し、北東は自治州のヴォチヤク Votyak に接し、勞農ロシアに屬して居るが、住民は三百ある。

タルナウト Turnhout ベルギー(白耳義) 王國アントワープの都邑ターンハウトの正音(ターンハウトを見よ)である。タルナテ Turnate マレー(馬來)群島の東部に在るジロロの西方に位するタルナテと呼ぶ一小島に位する港で、天然の良港をなし、セレベス・ニューギネヤ間交通の要路に當り、ジロロ各島物資の輸出地に當り、椰子・蠟・籐と香水原料のパラ等を輸出し、帆船貿易が盛である。

タルニー Durny アジャ(亞細亞) 洲の東部滿洲の我が租借地關東州の大港たる大連市のロシア名である(ダイレンシの部を見よ)。

タルニーワン・灣 Dalny Bay 遼東半島の東部の別名である(大連港の部を見よ)。

タルニーバ Dar Nuba 亞非利加洲のアンゴラ埃及スダンに在る丘地で、北緯十二度、東經三十度に位し、海拔六百米以上に立つ。

タルネタル Darnetal フランス(佛蘭西) 共和國セーヌ・アンリユールの都邑で、紡績業行はれ、キャラコ織・毛織等を産し、人口が約七千ある。

タルノウ Turnow ポーランド(波蘭) 共和國ガリチヤの都邑で、クラカウ市の東方に在る(タルノフを見よ)。

タルノウイツ Turnowitz ドイツ(獨逸) 聯邦、プロシヤ(普魯) 共和國南東部、シレシヤの都邑で、オッペルン市の南東

タルバート・イリエ入江 Tarnobert 湖 英吉利國、スコットランド(蘇格蘭) の西方に在るレイニス島 Lewis の南部に在る入江で、東西兩タルバート入江に分れ、同島の南西部に在るハリス

六三〇米に低下し、其の東端は蒙古に入りて消失する。本山脈は天山系の一に屬すべきものである。

タルバンガ Darbhanga 或 Durban 英吉利領印度の大平原中、ビハール州北部の都邑で、同名の州の首府に當り、パトナ市の北東百六軒に位し、カムラ河と鐵道とに沿ひ、商業發達の西に横はり、嘗て土人貿易の中心地た

タンコットに在る山地の一都邑で、僧院の所在地に當り、ヒマラヤ山地中、海拔二千三百餘米の高地に立ち、人口一千六百を有し、其の半分はヒンズー教に歸依して居る。

タルフル Darfur 亞非利加洲北部、埃及スダンの一地方名で、コルドフアン

の西に横はり、嘗て土人貿易の中心地た

七十二軒半に位し、鐵工場を有し、石炭・酒類・鐵産物等を産し、人口が一萬二千ある。

タルノフ Turnov or Turnow ポーランド(波蘭) 共和國、ガリチヤの都邑で、クラカウの東方八十軒に位し、ヂュナジエツ河とビアラ河に沿ひ、農具・硝子・皮革を産し、人口が三萬七千ある。

タルバート・イリエ入江 Tarnobert 湖 英吉利國、スコットランド(蘇格蘭) の西方に在るレイニス島 Lewis の南部に在る入江で、東西兩タルバート入江に分れ、同島の南西部に在るハリス

六三〇米に低下し、其の東端は蒙古に入りて消失する。本山脈は天山系の一に屬すべきものである。

タルバンガ Darbhanga 或 Durban 英吉利領印度の大平原中、ビハール州北部の都邑で、同名の州の首府に當り、パトナ市の北東百六軒に位し、カムラ河と鐵道とに沿ひ、商業發達の西に横はり、嘗て土人貿易の中心地た

タンコットに在る山地の一都邑で、僧院の所在地に當り、ヒマラヤ山地中、海拔二千三百餘米の高地に立ち、人口一千六百を有し、其の半分はヒンズー教に歸依して居る。

タルフル Darfur 亞非利加洲北部、埃及スダンの一地方名で、コルドフアン



探掘を主産業となし、ラクホル市の大部を含み、人口が一萬九千ある。

**タル・センナル** Dar Senaar 亞非利加洲、アングロ・エジプトスダンの都邑で、一にセンナルと呼ぶ(センナルの部を見よ)。

**タルダ** Darda ハンガリー(洪牙利)王国バラニヤ州の都邑で、エゼツク市の

に上りて世に知られたる地である。

**タルタル** Tartar ソヴィエトロシア(勞農露西亞)本國の共和國に屬し、其の南東部ヴォルガ河岸に在つて東西に長く、西は自治州のマリマリ及び自治共和國のチュヴァシ・Chuvash に接し、北東は自治州のヴォチヤク Votjak に境し、勞農露西亞に屬して居るが、住民は三百ある。

**タルト** Dorpat 或はユリフ Yurief と稱し、レヴァル市の南東に位し、大學都市として知られ、人口が六萬五千ある。

**タルトン** Tarton 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)ランカシャーの都邑で、ホルトン市の北方六軒半に位し、綿布工業地に當り、人口が一萬七千三百ある。

七十二軒半に位し、鐵工場を有し、石炭、酒類、鐵産物等を産し、人口が一萬二千ある。

六三〇米に低下し、其の東端は蒙古に入りて消失する。本山脈は天山系の一に屬すべきものである。

**タルノフ** Tarnov of Tarnow ポーランド(波蘭)共和國、ガリチヤの都邑でクラカウの東方八十軒に位し、ヂユナジエツツ河とビアラ河に沿ひ、農具・硝子・皮革を産し、人口が三萬七千ある。

**タルノポール** Tarnopol ポーランド(波蘭)共和國の舊オーストリア領ガリチヤの都邑で、スタニスラウ市の北東に位し、大戦同時ドイツ・ロシア兩軍の會戰地に當り、被服・リンネルを製出し、蜂蜜・蜜蠟・皮革・ブランドの取引が盛で、人口が三萬餘ある。

**タルハイム** Thalheim ドイツ(獨逸)聯邦、サクソニア(ザクセン)共和國の都邑で、ヘムニツ州に屬し、織物と莫大の産を産し、人口が六千ある。

**ダールハウゼン** Dahlhausen ドイツ(獨逸)聯邦、プロシヤ(普魯西)共和國ウエストファリアの都邑で、ルール河に沿ひ、エッセン市の東南東十軒に位し、石炭を採掘し、コーク・煉瓦等を産し、人口が約一萬ある。

**タルバカタイ・サンミヤク** 山脈 支那共和國(中華民族)の西部に在る新彊省の北西部を占むるタルバカタイ地方と、中亞細亞のセミバラチンスク地方との間の國境上を東西に走る山脈で、東部に至りて海拔三、

巴ト Dorpat 或はユリフ Yurief と稱し、レヴァル市の南東に位し、大學都市として知られ、人口が六萬五千ある。

**タルトン** Tarton 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)ランカシャーの都邑で、ホルトン市の北方六軒半に位し、綿布工業地に當り、人口が一萬七千三百ある。

**タルバンガ** Darbhanga or Durbunga 英吉利領印度の大平原中、ビハール・オリッサ州北部の都邑で、同名の州の首府に當り、パトナ市の北東百六軒に位し、カムラ河と鐵道とに沿ひ、商業發達の硝子・油種子及び各種の木材を取引し、マハラジャ宮殿及び美しき建築物を有す。然し民屋は低く、土地は低濕なるを缺點とす。人口が六萬六千ある。

**タルフ** Tarfus フランス(佛蘭西)共和國の南西部、オートピレネ地方の首府で、ツールーズ市の南西百五十八軒、アヅール河の左岸に立ち、有名なるノートルダム寺院があるが、其の一部は十二世紀の建築にかゝり、外にカルメリット寺院・博物館・圖書館等があり、産馬事業の中心地に當り、定期市場を有し、タニンをも産し、人口が三萬ある。

**ダルフージー** Dalhousie 亞米利加合衆國の東部に在るニューブランズウィック州レスチグーシユの首府に當り、海水浴地として知られ、レスチグーシユ河に沿ひ、シャリユール灣口に立ち、カムベルトン市の北東十九軒に在つて、水深九尋に及び、船舶の碇泊に便利で、廣く商業が營まれ、又牡蠣の養殖業が盛に行はれる。

**ダルフージー** Dalhousie 英吉利領印度、パンジャブ州ガルダスプールのバ

タンコットに在る山地の一都邑で、僧院の所在地に當り、ヒマラヤ山地中、海拔二千三百餘米の高地に立ち、人口一千六百を有し、其の半分はヒンズー教に歸依して居る。

**タルノウ** Tarnow ポーランド(波蘭)共和國ガリチヤの都邑で、クラカウ市の東方に在る(タルノフを見よ)。

**タルノウイツ** Tarnowitz ドイツ(獨逸)聯邦、プロシヤ(普魯西)共和國南東部、シレシヤの都邑で、オッパベルン市の南東

によりて灌漑せられ、ダルバンガが首府である。

**タルバンガ** Darbhanga or Durbunga 英吉利領印度の大平原中、ビハール・オリッサ州北部の都邑で、同名の州の首府に當り、パトナ市の北東百六軒に位し、カムラ河と鐵道とに沿ひ、商業發達の硝子・油種子及び各種の木材を取引し、マハラジャ宮殿及び美しき建築物を有す。然し民屋は低く、土地は低濕なるを缺點とす。人口が六萬六千ある。

**タルフ** Tarfus フランス(佛蘭西)共和國の南西部、オートピレネ地方の首府で、ツールーズ市の南西百五十八軒、アヅール河の左岸に立ち、有名なるノートルダム寺院があるが、其の一部は十二世紀の建築にかゝり、外にカルメリット寺院・博物館・圖書館等があり、産馬事業の中心地に當り、定期市場を有し、タニンをも産し、人口が三萬ある。

**ダルフージー** Dalhousie 亞米利加合衆國の東部に在るニューブランズウィック州レスチグーシユの首府に當り、海水浴地として知られ、レスチグーシユ河に沿ひ、シャリユール灣口に立ち、カムベルトン市の北東十九軒に在つて、水深九尋に及び、船舶の碇泊に便利で、廣く商業が營まれ、又牡蠣の養殖業が盛に行はれる。

**ダルフージー** Dalhousie 英吉利領印度、パンジャブ州ガルダスプールのバ

タンコットに在る山地の一都邑で、僧院の所在地に當り、ヒマラヤ山地中、海拔二千三百餘米の高地に立ち、人口一千六百を有し、其の半分はヒンズー教に歸依して居る。

**ダルフル** Darfur 高高原 亞非利加洲アングロ埃及スダンの西部に在る地方で、西はフランス領の赤道亞非利加に接する(ダルフルの部を見よ)。

**タルベト・イリエ** 入江 亞非利加洲北部、埃及スダンの一地方名で、コルドフアン

の西に横はり、嘗て土人貿易の中心地たりし處で、一八九八年よりスダン政府の治下に屬した、全土高原性を呈して、ジ

ebel・マアラ Jebel Marra の連嶺が南北に走り、延長百六十軒に達し、最高

點は千五百餘米に及ぶ。此の地域はチャ

ード湖盆地とナイル河流域との分水嶺に當り、象牙・ゴム・皮革・生牛・銅・鐵等を産し、其の面積三十九萬六千方軒に達し、人口七十五萬を占め、住民はアラブ族及びニグロ族より成り、其の數が兩者伯仲の間に在る。

**ダルフル** Darfur 高高原 亞非利加洲アングロ埃及スダンの西部に在る地方で、西はフランス領の赤道亞非利加に接する(ダルフルの部を見よ)。

タルノフータルボット・ジマ



亞米利加合衆國、フロリダ州ナッソウの北東岸に在る小島で、セントジョン河口とナッソウサウンドとの間に在り、アカリヤ島と對し、長さが十四軒半ある。

**タルマ** *Tarma* 南亞米利加洲西部、ペルー共和国の都邑で、アンデスの谷地に立ち、フニン市の南方四十軒に在り、オロヤ鐵道に沿ひ、人口が六千餘ある。

**タルマチア** *Dalmatia* ヨーロッパ(歐羅巴)洲ユーゴスラヴィヤ王國、アドリヤ海岸の一地方である(タルマチヤの部を見よ)。

**タルマチヤ** *Dalmatia* ヨーロッパ(歐羅巴)洲ユーゴスラヴィヤ王國の一地で、アドリヤ海に接し同斜面の細長き地を占め、北西より南東に長く、東はボスニヤ・ヘルゼゴヴィナに接し、尙ほ北西の島嶼を含み、面積一萬三千方軒、人口六十二萬一千人を有して居る。

デナルアルプスが東方境上に延長し、其の脈が本地方に横がり、主として石灰岩より成立するより、カルスト的地貌を呈し、土地瘦せ、裸地中・石灰穿・洞穴等が無數に分布し、河川の見るべきなく、交通も容易でない。これが從來鐵道の發達せざりし所以である。

此の大部は幅八軒で海に達し、中部は嘗てラダサ共和国を形成した地で、南部は其の幅が三軒餘に過ぎない。海岸は數多の小灣と自然の美しき港を有するが、良港と見るべきもの少なく、何れも水が

深い、之は海岸沈降の結果で、其の前方に無數に並べる島嶼は、何れもデナルアルプスの方向に従ひ北西より南西に向ひ細長くある。之も陸地沈降の爲め、同山脈の凸起部の頂點のみが水面に残つて居る事を諱する。

河川はナレンタ *Narenta* を主とし、延長二百二十八軒に及ぶも、舟運に適するは下流二十九軒に過ぎない。

氣候は海岸に接するに拘らず酷烈で、冬はボラ風が北方より吹き來る。

海岸附近の土地は森林に被はれ、オーク材等を産し、地中海岸は果樹生育し果實を産し、葡萄・オリウが多く、葡萄酒・オリウ油を製出し、水産物は甚だ多量で、鮪・石首魚・鰻・牡蠣・海綿及び珊瑚等を産し、食鹽は海水より之を製し、特に北部のアルビ *Arbe*・パロ *Palo* 兩島を最とする。

住民は南斯拉ヴ系で、イタリヤ領のザラ *Zara* のみは例外である。都邑はザラの外、セベニコ *Sebenico*・ブラト *Brat*・レシナ等である(各都邑を見よ)。

**タルマパタン** *Dharmapattan* 英吉利領印度の北方に在るネパール王國の都邑で、カトマンヅ市の南東方に在り、一にバトゴン市と呼ぶ(バトゴンの部を見よ)。

**タルムサラ** *Tulum Sara* 英吉利領印度バンジャラ州ガング *Gang* 河の南に在る都邑で、人口が九萬八千ある。本市はクライドバンク市の一部である。

**タルムズ** *Tarnez* 中央亞細亞ウズベキ共和国の南部に在る都邑で、ボハラより南東に分岐せる鐵道支線の終點に當り、アフガニスタンの國境を限るアム河に沿ひ、アフガニスタンとの貿易地である。

**タルメニー** *Dalmény* 英吉利國、大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の村落で、フォース *Foers* 群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルムスタット** *Darmstadt* ドイツ(獨逸)聯邦ヘッセ共和国の首府で、北方が豊沃なる平野に展開し、スタンケンブルヒ州の約中央に在り、マインツの南東三十四軒に當り、新舊の兩市街より成り、舊王宮尙ほ存し、鐵工場・化學工場等を有し、機械・毛布・ビール等を産出し、高等工業學校の所在地に當り、人口が九萬ある。

**タルムール** *Dalmuir* 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の村落で、クライド河と合するタルムール・バロン河に沿ひ、グラスゴウ市の北西方十五軒に在り、化學工業・印刷業・造船業が盛んで、人口が八千ある。本市はクライドバンク市の一部である。

**タルムズ** *Tarnez* 中央亞細亞ウズベキ共和国の南部に在る都邑で、ボハラより南東に分岐せる鐵道支線の終點に當り、アフガニスタンの國境を限るアム河に沿ひ、アフガニスタンとの貿易地である。

**タルメニー** *Dalmény* 英吉利國、大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の村落で、フォース *Foers* 群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルライ** *Daly* 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の村落で、フォース *Foers* 群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルラケ** *Taraka* 亞細亞の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルラケ** *Taraka* 亞細亞の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルラケ** *Taraka* 亞細亞の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルラケ** *Taraka* 亞細亞の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルラケ** *Taraka* 亞細亞の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルラケ** *Taraka* 亞細亞の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

**タルラケ** *Taraka* 亞細亞の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島タルラケ州の首府

河に於けるフォース橋に沿ひ、エヂンベラ市の北西十五軒に在り、ノルマン寺院を有し、附近のタルメニーハウスはローズベリー伯の城地であつた。附近に油頁岩工場を有し、人口が五千餘ある。

**タルメリントン** *Darmelinton* 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の村落で、ツーン河に沿ひ、エーヤ市の南東二十四軒、石炭坑の所在地に當り、製鐵所を有し、附近一帯は工業が盛んで、市の人口が六千二百ある。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

**タルヤンネヴェン** *Tarjannevesi* フィンランド(芬蘭)共和国の湖沼である(タルヤンネヴェン湖の部を見よ)。

で、タルラケ河に養はる、沃野上に立ちマニラ市の北々北百軒に在り、人口が一萬二千餘ある。

**タルラコ** *Taraco* スペイン(西班牙)王國の地中海に面する海港タルラゴナの古名である(タルラゴナを見よ)。

**タルラモア** *Taromora* 英吉利の物・牛・羊を産し、木材の産も多く、面積保護地に當り、鐵工其他の工業行はれ、アイランド(愛蘭)島、愛蘭自由國、五千七百七十八軒、人口三萬三千を有し、人口が約一萬ある。

**タルラン** *Darlan* 英吉利領印度、オット・ガロンヌ、タルン、アヴェーロン、の部を見よ)。

**タルン** *Darlan* 英吉利領印度、オット・ガロンヌ、タルン、アヴェーロン、の部を見よ)。

**タルン** *Darlan* 英吉利領印度、オット・ガロンヌ、タルン、アヴェーロン、の部を見よ)。

**タルン** *Darlan* 英吉利領印度、オット・ガロンヌ、タルン、アヴェーロン、の部を見よ)。

**タルン** *Darlan* 英吉利領印度、オット・ガロンヌ、タルン、アヴェーロン、の部を見よ)。

**タルン** *Darlan* 英吉利領印度、オット・ガロンヌ、タルン、アヴェーロン、の部を見よ)。

**タルン** *Darlan* 英吉利領印度、オット・ガロンヌ、タルン、アヴェーロン、の部を見よ)。







加合衆國ベンシルヴァニア州シユイキルの村落で、ウイリヤムヴァリー河に沿ひ、トレモント市の西南西十八軒に位し、人口が七千五百ある。

タワリーブリッチー塔橋 Tower Bridge 英吉利の首府ロンドン市の橋で、テムズ河に跨り、一八八八年起工し、百六十萬磅を投じ、九ヶ年の歳月を経て完成し、上下二重式となし、其の下橋は水面上八米八の處に在り、大船の出入に便じて閉式となし、船舶通過の際は跳ね上り、其の際は行人は二基の高塔に架せる高さ四十三米の歩道によりて對岸に至る。

タワラギリ・シネ・峯 Dhawalagiri Peak of Dhawalagiri Mount 英吉利領印度の北部に在るヒマラヤ山系の一峰で、ネパール國の中央西部、北緯二十八度半、東經八十三度二十七分に在つて海抜八、一七六米に達し、もと世界最高

の山と認められたが、エヴェレスト峰其他の高山が発見せらるゝに及び、遙かに下つたが、然し世界の高山たる點に於ては依然として優秀なものである、一にダウラギリ峰と呼ぶ。

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

タン・Tham 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

國、大西洋岸南部地方、ヴァーヂニア州を占め、前方ペムバ島と相對し、サイザルの都邑で、ダン河に沿ひ、リチモンド市の南西二百二十七軒に位し、女子カレージ其他の専門學校を有し、綿布其他の工場を控え、附近一帯に産する煙草の大取引地に當り、黄色煙草に著はれ、年産四千萬封度に達し、人口が二萬二千ある。

ダンヴィル Danville 亞米利加合衆國、中央北東部、イリノイ州の都邑で、シカゴの南方二百軒、ヴェルミリアン河の左岸に立ち、シカゴ・東イリノイ其他諸鐵道の集中點に當り、鐵道列車・麥粉・玻璃其他を産し、特に石炭の採掘に著はれ、人口三萬四千を有す。

ダンヴィル Danville 亞米利加合衆國、ケンタッキー州ボイルの首府で、セントルカレージ・ダンヴィル神學校の所在地に當り、人口が四千餘ある。

ダンヴィル Danville 亞米利加合衆國、ペンシルヴァニア州モントールの首府で、サスケハナ河の北東右岸に沿ひ、ハリスブルグの北東九十軒に位し、米國に於て最初に建設せし鐵橋が同河を横ぎり、鐵工場を有し各種の鐵に關する機械器具等を製出し、人口が八千ある。

タンガ Tangah 東亞弗利加に在る英國委任統治地タンガニカ Tanganyika の都市で、ダル・エス・サラム Dar es-Salaam の北方二百十九軒の海港に當り、岩盤上に座し、タンガ鐵道の起點

ダンカーク Dunkirk 亞米利加合衆國、ニューヨーク州、シャトウク地方の都邑で、イリ湖の口に當り、パファロ市の南西六十四軒に位し、鐵道進出、運動具・瓦斯機關・農具・襦袢等を産出す。本市は一八〇九年植民され、一八八〇年に市となつた。人口が二萬二千餘ある。

タンガジパ・島 Tanga Island オセアニア(阿西亜尼亞)洲、メラネシヤ、ニューアイランド島附近に在る小島である。

ダンガノン Dungenoon イギリス(英吉利)國北アイランド地方、チローン

土地の高低を見るに、海岸に沿ひて幅十七八軒乃至六十軒の平野横はり、之より西に向ひて次第に高起し、平均海拔千二百軒の高原を形成し、西方三大湖に向つて乍ら低下して地溝帯となり、各湖が盆地を形づく。ヌヤサ湖東にはリヴィングストーン山脈横はり、海抜二、七五〇米に達し、又ケニヤの境上にはキ

二、中間地帯 海岸と高原との間に在つて、海抜百米乃至六百米に高起し、海岸地帯に比して氣温稍低く、濕氣と雨量とは稍少ない。

三、中央高原帯 海抜六百米乃至千二百米の地で、雨量少なく、空氣乾燥し、日中は暑氣稍強きも夜間は涼爽快である。

の都邑で、ベルファスト市の西方六十四軒に位し、古代ウルスター王オネールの居住地に當り、同宮城址・僧院址等存し、穀物の取引地を占め、リンネル・モスリン等の製作行はれ、定期市開かれ、人口が四千ある。

ダン・ガハ(ワ)河 Dan River 亞米利加合衆國、ニューハンプシャー州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ

州、北カ



ウラギリ峰と呼ぶ。

イガン城が立つ。

**タン** Thann 大戦の結果ドイツ(獨逸)聯邦よりフランス(佛蘭西)共和國に還附せしアルサス・ロレーンの都市で、ツール河に沿ひ、コルマル市の南々西三十五軒に位し、一六二四年ハプスブルグ家に屬し、一六三二年瑞典の侵略を受け、ワイマール侯の手に歸する等屢々變遷し

**タンヴィル** Danville 北亞米利加洲カナダ(加奈院)オンタリオ州ハルチマンの小城で、グラント河に沿ひ、グラント・トランク鐵道通じ、ハミルトン市の南々東六十四軒に位し、木材と農産物を産し、人口が二千餘ある。  
**タンヴィル** Danville 亞米利加合衆

於て最初に建設せし鐵橋が同河を横ぎり、鐵工場を有し各種の鐵に關する機械・器具等を製出し、人口が八千ある。  
**タンガ** Tanga 東亞非利加に在る英國委任統治地タンガニカ Tanga-Yikaの都市で、ダル・エス・サラム Dar-es-Salaamの北方二百十九軒の海港に當り、岩盤上に座し、タンガ鐵道の起點

タンガニカ Tanga Island オセアニア(阿西亞尼亞)洲、メラネシヤ、ニューアイルランド島附近に在る小島である。  
**タンガニン** Tanganyika イギリス(英吉利)國北アイルランド地方、チローン

の都邑で、ベルファスト市の西方六十四軒に位し、古代ウルスター王オネールスの居住地に當り、同宮城址・僧院址等存し、穀物の取引地を占め、リンネル・モスリン等の製作行はれ、定期市開かれ、人口が四千ある。

**タン・ガハ(ワ)河** Dan River 亞米利加合衆國、ヴァージニア州と、北カロライナ州とに亘るブルー山脈に發源し、

兩州の境上より北カロライナ州を過ぎてヴァージニア州に入り、約東流し、クラークスヴィルに至りてスタウントン河と合し、ローノーク河となりて再び北カロライナ州に向ふ。タン河の流程は三百二十軒に及び、タンヴィルの上方百軒より既に舟運の便がある(タンヴィル及びローノーク河の部を見よ)。

**タンカラ** Dinkara, Dinkira Or 亞非利加洲の東岸に在る舊獨領東亞非利加の地

Dinkara 亞非利加洲の西岸ギネヤ灣に沿ふ黄金海岸の土人王國で、英國の保護を受け、域内に金鑛山を有し、同名の首府がある。

**タンガリロ・サン・山** Tangariro Mount 太平洋南部に横はるニューギニア

Land、北島の中部、タウポ湖の南西に在る山で、同島三大活火山の一である。

**タンガルヴァン** Dugarvan 英吉利のアイランド(愛蘭)自由國の南端に在るウオーターフォールド地方のタンガルヴァン灣頭、ユーリガン河の口に立ち、ウオーターフォールド市の南西四十六軒に在つ

て農産物を輸出し、毛織物を製し、水産多く、ジョン王によりて築かれたオーガステン僧院、マックグラス城・兩寺院を有し、定期市開かれ、人口が五千ある。  
**タンガルバン** Dugarvan 英吉利アイランド(愛蘭)自由國の都邑で、タンガルヴァン灣頭に立つ都邑である(タンガルヴァンの部を見よ)。

**タンガルプール** Dugampur 英吉利領印度の中央部、ラジプタナの土人州で、

北はウダイプールに境し、北部・東部は荒涼を極め、其他は藪澤・森林及び石礫地に屬し、河川はマヒ河とソム河を主となし、石材と木材が主産物である。其の面積二千四百六十五方軒、人口十六萬を有し、タンガルプールが首府で、外にサグワラ市とガリヤコット市がある。

**タンガニカ** Tanganyika 亞非利加洲の東岸に在る舊獨領東亞非利加の地

で、大戦の結果大部は英國、一小部は白耳義國の委任統治地となつた。英國側の面積は九十六萬七千餘方軒、人口四百八十六萬ある。北にケニヤ及びウガンダ、南に葡領東アフリカ及び北ローデシヤ、西に白耳義領コンゴがある。

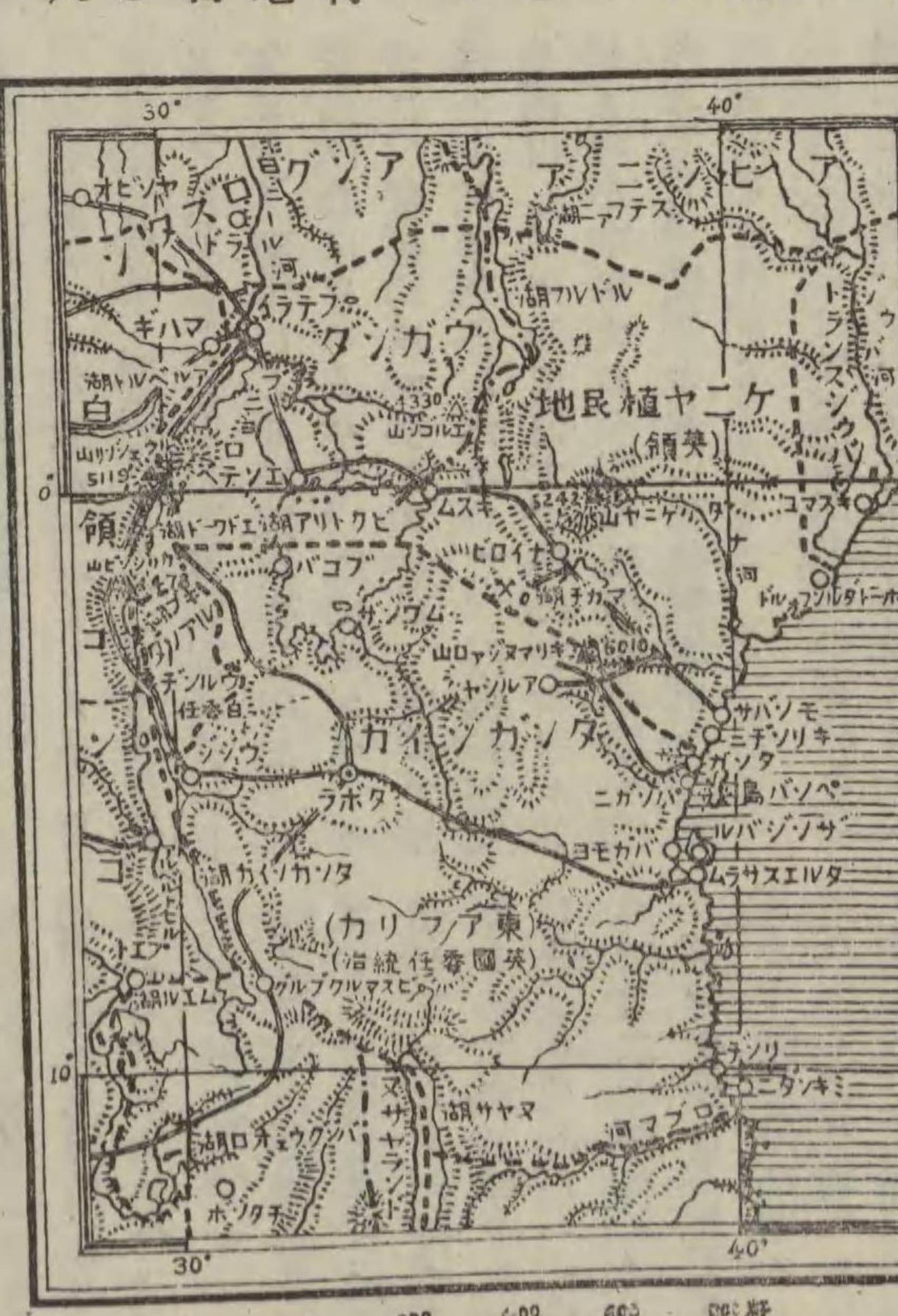
〔地勢〕 沿海は延長八百軒に及び、出入少き珊瑚礁の發達著しく、最大島マフィヤ Mafia 其他珊瑚島がある。國境にはヴィクトリア・タンガニカ及びマヤサの三湖が横はり、ヴィクトリア湖は

出入が著しい。

土地の高低を見るに、海岸に沿ひて幅二、中間地帯 海岸と高原との間に在つて、海抜百乃至六百米に高起し、海岸地帯に比して氣温稍低く、濕氣と雨量とは稍少ない。

二、中央高原帶 海抜六百米乃至千二百

米の地で、雨量少なく、空氣乾燥し、日中は暑氣稍強きも夜間は涼爽快である。



四、山岳帶 各山地及びヴィクトリア湖の東部より南走する高原地帯で、海抜千二百米乃至三千

米以上に達し、温帶氣候で、高度大なる地には霜雪を認め、タンガニカ地方中最も健康に適する。

〔氣候〕 雨季は毎年二回あつて、第一回は二月乃至三月に始まり、二三月間連續する長雨季と、十月と十一月頃に來る小雨季とに分れ、熱帯地は雨少なく、旱魃を見る事が少なくない。



二區、中部地方を四區、南西地方を五區に分け、各區に英人の行政官を駐在せしむるが、湖畔地方と中央のタボラには世襲の土人酋長があつて、土人の自治を行ひ、政府は只之を監督するのみであるが、他の地に於ても土人の自治を奨励しつつある。

〔産業〕 農牧を主産業となし、農産物はサイザル麻・珈琲・棉花・落花生・ココア・玉蜀黍の産多く、棉花は品種を改良し、年輸出額が一千万封度に達し、ヴィクトリア湖西とケニヤ國境附近を主とし、歐洲人の經營に屬し、品質が東亞弗利加第一である。サイザル麻は輸出品中の第一で、東岸の北半部に栽培せられ、落花生はヴィクトリア湖の南方に産出する。近時歐洲人の手により煙草も栽培せられつつある。

〔都市〕 首府ダル・エス・サラム其他次の都邑がある。  
ダル・エス・サラム  
モロゴ  
ムワンザ  
ウジジ  
キゴマ  
ミキンダニ  
リンヂー

牧畜は高原地方に發達し、牛四百五十萬頭、羊・山羊四百五十萬頭を飼ひ、比較的發達して居る。  
礦産物は石炭・鐵・金・金剛石・鉛・銅・雲母・石膏・岩鹽・瑪瑙・黃玉石・月長石等を産し、金剛石はムワンザに近きマブキに、金はムワンザ・ムベヤに産す。

〔商業〕 輸出品はサイザル麻・棉花・珈琲・落花生・皮革・コブラ・穀物等、主要輸入品は綿製品・銅鐵器・機械・建築材等で、英國との取引が多い。  
〔交通〕 鐵道はタンガ線と中央線とで、タンガ線は海岸のタンガよりモシに

至る三百五十二軒に及び、其の支線はモシよりアルシユに達する三十四軒とケニヤに在るウガンダ鐵道のグノイ支線に接続するモシ・グノイ間百四十八軒と他に二三の支線を有し、中央鐵道はダル・エス・サラムよりタンガンイカ湖畔のキゴマに至る千二百四十二軒の線に屬す。支線にはタボラより北方シニアンガに至る二百軒のものがあるが、數年ならずして北方のヴィクトリア湖畔に達する筈である。水運は三大湖の定期船が通じて居る。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンガンイカ・コ湖 Tanganyika Lake  
第二位の大湖で、東部の大地溝帯の凹地に湛水し、其の形状南北に長く、南緯三度二十分乃至同八度四十分及び、其の延長七百二十四軒に達するも、幅は僅に三十軒乃至六十軒に過ぎない。湖面は海拔七百三十米なるも、最深處は千四百三十五米故、海面以下に達し、西比利亞のバイカル湖に次で世界第二の最深湖に當る。

沿岸はウジジの南方を除く外何れも山地で、湖岸に斷崖屹立し、特に西方コンゴ側に著しく、北方よりはキウ湖の排水路なるルシジ河 Lukosi 河を容れ、東岸にはマタンガラ河 Matangara 河を容れ、西岸中部のアルベルドヴィルに於てルタガ河 Rutaga 河となりて西方に排水し、コンゴ河主要の支流となる。湖の水は淡水なるも少しく硬質を帶ぶ、之は嘗て大西洋より入り込みしコンゴ内海の一遺跡たるによるものである。

本湖沿は一八五八年バートン Burton 及びスベク Svek 兩氏によりて發見せられ、リヴィングストン Livingstone 及びスタンリー Stanley 兩氏によりて探検せられた。湖岸には北にウサムバラ、東にキゴマ・ウジジ、南にビスマルクアルヒ、西にアルベルトヴィル各市があつて、汽船が湖上を往復し、交運に便す、特にアルベルトヴィルとキゴマとの間には鐵道連絡の汽船を通じ、鐵道と共に亞弗利加東西横斷の要衝を占める。

世界大戦前は獨逸國が本湖の覇權を掌握して居たが、一九一五年以後は主として英國船が湖上に雄飛するに至つた。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。

〔各都邑の部を見よ〕。  
タンケラ Denger 亞弗利加洲西部、ギネヤ灣沿岸に在る土人王國で、一にダンカラ又ばデンキラとも呼ぶ(ダンカラの部を見よ)。  
タンケリー・ビーコン Denger Bay 英吉利國大ブリテン島、スコットランド(蘇格蘭)ソマーセットシャ、エキスマリアの丘陵地で、ポロツクの南方八軒に位し、其の最高點は海拔五百米、其の周圍は十九軒に達し、島の斜面は樹木に被はれ、山頂に大鐘標を立て、光芒四隣を照らす、ロルナ・ドーン Lorna Doone 地方に於て明らかである。







フォードシヤの商市で、ニューカッスル Newcastle-under-Lyme の北々東六軒半に位し、製陶業の中心に立ち、北ス タフス鐵道通じ、ヴィクトリア研究所、圖書館を有し、石炭と鐵の産地を控え、人口が二萬二千五百ある。

**ダンストン Dunston** 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)ダルハムの都邑で、タイン河に沿ひ、ゲーツヘッド市の南西三軒に位し、人口が九千餘ある。

**ダンズビル Danville** 亞米利加合衆國、ニューヨーク州リヴィングストンの都邑で、ロチェスター市の南方に在る(ダンスヴィルの部を見よ)。

**タンタ Tanta Or Tautah** 亞弗利加洲エジプト(埃及)王國下埃及に在る都邑で、ダミエッタ市の南西に位し、ガルビ州の首府に當り、カイロ市の北々西八十七軒、カイロ・アレクサンドリア鐵道の要衝に當り、ダミエッタに至る鐵道が是に分岐し、公會堂・宮殿・舊教寺院等がある。一月・四月及び八月大定期市が公開せられ、マホメット大祭が行はれ、無数の回教信者が雲集す、人口が七萬四千あつて、埃及第四の大都である。

**タンダ Tanda** 英吉利領印度、合併州の都邑で、コグラ河の右岸に立ち、ベナレス市より來る鐵道の終點に位し、綿布を産し、ヒンヅー教殿堂と四教寺院存し、人口が二萬ある。

**ダンダス Dundas** オーストラリア(濠洲)大陸西オーストラリア州の南部に在るダンダス産金地の中心地に當り、北方クルガルチーと鐵道を通ず。

**ダンダス・グンタウ・群島 Dundas Islands** アフリカ(亞弗利加)洲の東岸に近く、赤道と南緯一度半の間に横はり、約五百の珊瑚島が長さ四軒乃至六軒半の海面に散布し、ダルンフォード河の口に近く、小港を有す。

**タンタレム・シト・島 Tantalum Islands** 亞細亞洲東部に在るシャム灣中の一小島で、リゴル島の東方四十軒、北緯八度、東經百一度に位し、長さが百五軒に及ぶ。

所を有し、人口が十七萬餘ある。

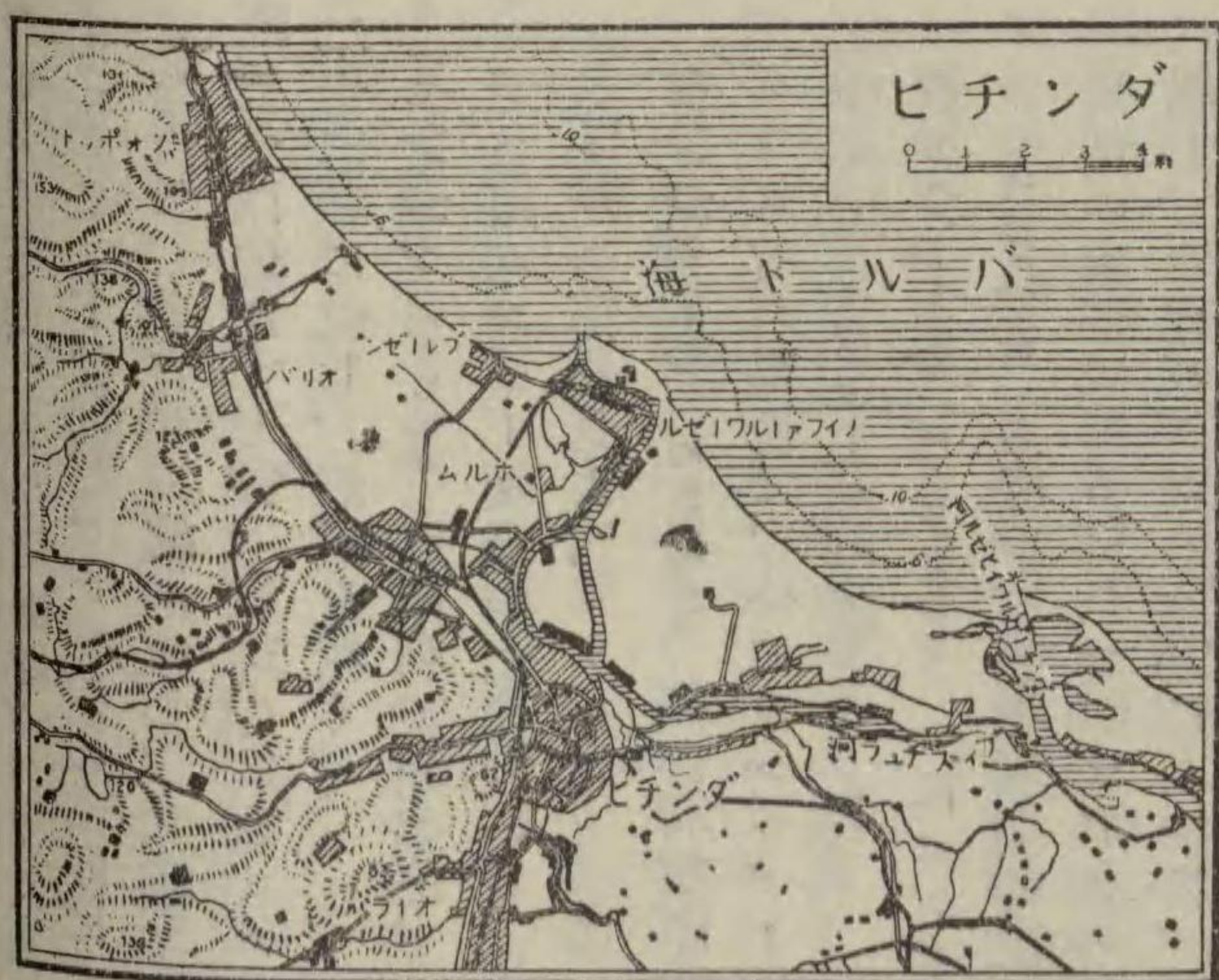
**ダンチー Dundee** 亞米利加合衆國イリノイ州ケートン Kane の都邑で、フォックス河に沿ひ、シカゴ北西鐵道通じ、エルクイン市の北方五軒に位し、煉瓦・タイ及び煉乳を産す。本市は東西ダンチーより成り、人口が二千餘ある。

**ダンチヒ Danzig** ポーランド(波蘭)名をグダンスク Gdansk と稱し、ダンチヒ中立地の中央よりも少しく北西に偏し、ヴィスツラ河口を溯ること六軒半の左岸に位し、もとドイツ國の要塞市に當り、北東南の三方に城濠を繞らし、ヴィスツラ河是に通じ、又ヴィスツラ河の支流たるモットラウ河 Motlau R. の本支流が市中を貫き、之が爲めに市は三分せ

らる。本市はポーランド共和國の門戸に當り、ロツの製作品、ガリチヤの石油、シレジアの礦物、其他穀物・甜菜糖の輸出地に當り、英吉利との取引多く又工業が盛んで、造船業を始め、製鐵・製糖・製粉の産出多く、其の人口が二十八萬ある。此の地は九七七年スラヴ族の植民せしに端を發し、一三〇九年同港以來次第に榮え、以て今日に至り、大戦後自由市となつた。

**ダンチヒ・ジュウシ 自由市 Danzig Free City of Poland** (波蘭)國の北西に位し、北はバルト海のダンチヒ灣に面し、ダンチヒ市を主要部となし、其の附近の地を含み、ヴィスツラ河が之を貫ぬき、東は同河の分流たるノガト河 Nogat 及びフリッシス湖 Frisches Haff によりてドイツ國の飛地たる東プロシヤと境し、西はドイツ本國との間にポーランド國の領土を挟み、全土がヴィスツラ河の三角洲より成立し、土地が低平で甚だ肥沃であるが、毎年春の融雪季に大氾濫の害を被る缺點がある。然し數多の運河とヴィスツラ河其他の河川は數多の鐵道と交錯して交通の便良く、農産が豊かである。

面積が千九百五十方軒、人口が三十九萬ある。此の地はもとドイツ聯邦プロシヤ王國の領土であつたが、大戦後一九二〇年ヴェルサイユ平和會議の結果、國際聯盟管理の下に獨立の自由市となり、大統領を



選みて行政權を統べしめ、議會は百二十人の議員より成り立法の任に當る。地方は三百十八區に分れ、外にダンチヒ・ツォツポト・ノイファールスセル及びチーゲンホフの四市がある。

此の中ノイファールスセル Neufahrwasser はダンチヒの外港に當り、人口

選みて行政權を統べしめ、議會は百二十人の議員より成り立法の任に當る。地方は三百十八區に分れ、外にダンチヒ・ツォツポト・ノイファールスセル及びチーゲンホフの四市がある。

選みて行政權を統べしめ、議會は百二十人の議員より成り立法の任に當る。地方は三百十八區に分れ、外にダンチヒ・ツォツポト・ノイファールスセル及びチーゲンホフの四市がある。

選みて行政權を統べしめ、議會は百二十人の議員より成り立法の任に當る。地方は三百十八區に分れ、外にダンチヒ・ツォツポト・ノイファールスセル及びチーゲンホフの四市がある。

選みて行政權を統べしめ、議會は百二十人の議員より成り立法の任に當る。地方は三百十八區に分れ、外にダンチヒ・ツォツポト・ノイファールスセル及びチーゲンホフの四市がある。

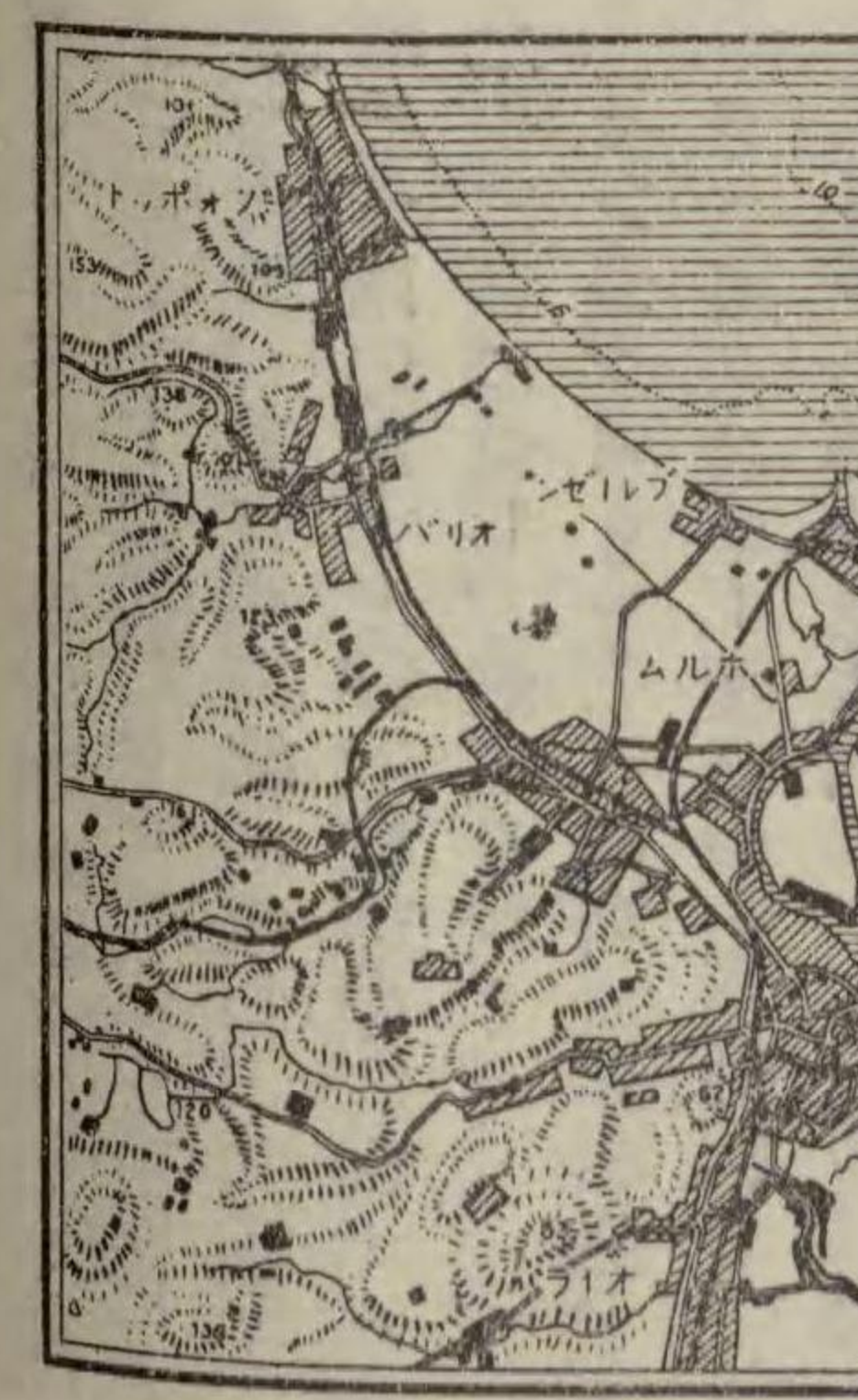


の回教信者が雲集す、人口が七萬四千あり、埃及第四の大都である。

**タンダ Tanda** 英吉利領印度、合併州の都邑で、コグラ河の右岸に立ち、ベナレス市より来る鐵道の終點に位し、綿布を産し、ヒンヅー教殿堂と四教寺院存し、人口が二萬ある。

織物は同市を中心として、附近一帯に製造せられ、産額世界第一に達す。同市は又漁業の中心地として知られ、且糖菓・魚網・帆布等を産す。

市は市廳・アルベルト研究所・美術研究所・自由圖書館・商業圖書館・ダンヂー大學カレッジ・數多の公園・大船渠・造船



と交錯して交通の便良く、農産が豊かである。

面積が千九百五十万平方尺、人口が三十九萬ある。

此の地はもとドイツ聯邦プロシヤ王國の領土であつたが、大戰後一九二〇年ヴェルサイユ和平會議の結果、國際聯盟管理の下に獨立の自由市となり、大統領を

選みて行政權を統べしめ、議會は百二十人の議員より成り立法の任に當る。地方は三百十八區に分れ、外にダンチヒ・ツォッポト・ノイファールワスセル及びビチゲンホフの四市がある。

此の中ノイファールワスセル Neufahrwasser はダンチヒの外港に當り、人口二萬九千を有し、ツォッポト Zoppot は其の北西に在つてバルト海に直面する小港で、人口二萬八千を有し、チーゲンホフ Tiegenhof はダンチヒの東南東に當り、フリッヂェス湖に近く、鐵道・水運の便がよく、人口が三千ある。

吉利)のアイランド(愛蘭)自由國ルーアの都邑で、ダンドーク灣に近きカッスルタウン河に沿ひ、ダブリン市の北方八十七軒、鐵道の中心に當り、船舶・製糖・鐵等の工業が盛に行はれ、農産物・乾酪の輸出地に當り、人口が一萬五千四百ある。此地は一三二五年エドワード・ブルース王 Edward Bruce が其の宣言書に發布し、一三一八年本市附近の戦に於ては、又一六四九年クロムウェルに對して開城せし處である。

ブア(ニューギネヤ)島の東方に在る島群で、濠太刺利聯邦に屬し、主島フェルグソン Ferguson とノルマンディー Normanby 及びグーデーノー Goodenough より成り、數多の入江を有し、全面積二千八百平方尺に及び、馬來系の火山に屬し、山地に富み、土地が高起し、最高二千米に達し、火山と温泉を有し、金を産す。フランス國の探險家ブルーニ・ダントルカストー氏が一七九九年之を發見せるより此の名を與へられた。

**ダンチヒ・ワン** Danzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

はシエラ・デル・ヴォルカン Sierra del Volcan の名ある處あるも火山ではない。

**ダンツィグ** Danzig ポーランド(波蘭)名をグダンスクと呼び、波蘭の中央より少しく北西に偏する都市である(ダンチヒの部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンチヒ・ワン** Dantzig, Gulf of Gdansk バルト海の一支灣で、ドイツ(獨逸)プロシヤ(普魯西)共和國の北岸に沿ひ、ダンチヒ港及びフリッヂェス沙嘴等を南に控え、プレーゲル河とヴィスツラ河を容れ、灣の廣さは八十軒に及ぶ。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。

**ダンツィグ** Danzig 自由市 Dantzig, Free City ポーランド(波蘭)國の北西に位する自由市である(ダンチヒ自由市の部を見よ)。



ク・ニューヘヴン其他と鐵道が連絡し、市内には機械店多く、綿布製品・銀器・印刷機・車輛・暖爐等を産し、人口が三萬九千ある。

**タンナ・シマール島 Tanna Island** オセアニア(阿西亜尼亞)洲、メラネシアのニューヘブリデス群島中に在る活火山島で、土地高起し、沿海には珊瑚礁が發達して居る。

**タンヌ・サンニャク山脈 Tannu Mountains** 支那のソトモロコ(外蒙古)の北方に在るウブサ盆地の北に位し、ウルケム河 Urtkem を隔て、北方サヤン山脈と相對し、其の東端はバイカル湖に排水するセレンガ河 Selenge R. によりて切斷せられる。

**ダンネヴィルケ Dannevirke** 太平洋南部に横はるニュージラランド群島北島の都邑で、ワイバワ地方に屬し、ホーク灣に沿ひ、ウエリントンの北西鐵路三百三十四軒に在つて、酪業及び製材業の中心に位す。一九一七年火災の爲め殆ど全滅し、現市は爾後の再建に屬するものである、市は一八七二年の植民に始まつたもので、市名はデンマルク當時の植民者(丁抹)人 Danish に起因し、人口が三千四百ある。

**ダンネビルケ Dannevirke** 太平洋南部に横はるニュージラランド、北島の都邑で、ホーク灣に沿ひ、ウエリントンの遙か北方に在る(タンネヴィルケの部

を見よ)。

**ダンノツタル Dannekar** イギリス(英吉利)國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の東岸中部、キンカルラズシャの都邑で、ストーンヘヴン市の南西一軒半に位し、カーロンウオーター(河)に沿ひ、一七九三年ウオルタースコットがロバート・バターソンと會合せし處で、人口が二千三百ある。

**タンパ Tampa** 亞米利加合衆國フロリダ州、フロリダ半島の西部に在る都邑で、ヒルスバロ河に沿ふ(タムパの部を見よ)。

**ダンバー Dunbar** イギリス(英吉利)國スコットランド(蘇格蘭)ハンヂントンシャの海港で、フリース・オブ・フオースの口に沿ひ、エジンバラ市の東北東四十七軒の保護地に當り、良港を控え、鯨漁の根據地を占め、尙ほ繩と農産物の取引地で、古城址を有し、定期市開かれ、人口が五千ある。

**タインハウト Tainhouit** ベルギー(白耳義)王國アントワープ州の都邑で、アントワープ市の東北東、鐵道五十三軒に位し、運河によりても連絡し、紙・トランプ其他の牌紙類及びレース・衣服類を産し、十五世紀にゲルダース公の築きし古城址有し、人口が二萬四千ある。此の市は白耳義國に於ては、タルナウスと發音する。

**ダンバース Durbars** 亞米利加合衆

國マサチューセツツ州エセックスの都邑で、ボストン市の北東に位す(ダンヴァースの部を見よ)。

**ダンバートン Dunbarton** 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の州名と、其の都邑名である(タムバートンの部を見よ)。

**タンパワン Tampa Bay** 亞米利加合衆國フロリダ半島西部の海灣である(タムパ灣の部を見よ)。

**ダン・バンタヤン Daan Bantayan** アジャ(亞細亞)洲の東方、太平洋西部に有るフィリピン(比律賓)群島に屬するバンタヤン島の都邑で、同島の西岸に位し、人口が九千ある。

**ダンビガン Davaigan** 英吉利國大ブリテン島北部、スコットランド(蘇格蘭)の北西岸インヴァーネスの西岸、スカイ島の入江である。(タンヴィガンの部を見よ)。

**タンピコ Pueblo Nuevo** 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國の都邑で、タメシ河口に沿ふ(タムピコの部を見よ)。

**タンピコガハ(ワ)河 Tampico River** 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國の東岸に在る河川で、タンピコ市に至りてメキシコ灣に注ぎ、一にタメシ河と呼ぶ(タムピコ河又はタメシ河の部を見よ)。

**タンピコ湖 Tampico Lake**

北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和國ヴェラ・クルス州北部の湖沼で、長さが三十二軒、幅が十六軒に達し、其の北部はバヌーコ及タメシ河の口に連り、東方はタキアウワ湖と連りメキシコ灣と續く。

**タンピコ・フンロ・ヌエボ Tampico Pueblo Nuevo** 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國の都邑である(タムピコ又はタムピコ・フンロ・ヌエボの部を見よ)。

**ダンビル Danville** 北亞米利加洲カナダ(加奈陀)の中部オンタリオ州ハルチマンドに在る小都邑で、ハミルトン市の南々東に在る(ダンヴィルの部を見よ)。

**ダンビル Danville** 亞米利加合衆國東部ヴァージニア州の都邑で、リチモンド市の南西に在る(ダンヴィルの部を見よ)。

**ダンビル Danville** 亞米利加合衆國イリノイ州に在る都邑に當り、シカゴ市の南方に在る(ダンヴィルの部を見よ)。

**ダンビル Danville** 亞米利加合衆國ケンタッキー州ボイルの首府で、レキシントン市の南々西に在る(ダンヴィルの部を見よ)。

**ダンビル Danville** 亞米利加合衆國ペンシルヴァニア州モントールの首府で、ハリスブルグ市の北東に在る(ダン

ヴィルの部を見よ)。

**ダンピール・ナイケフ海峡 Danne Pier Strait** ヲレー(馬來)群島の東方に在る太平洋中の大島、バプア島とワイジー島との間の海峡である(タムピール海峡の部を見よ)。

**ダンピール・ダンタウ群島 Dampier Archipelago** オーストラリア(濠洲)を占むるスコットランド(蘇格蘭)フアイ

し、約三角形を呈し、北方に鋭くなつて居る。本半島は一六九九年、船長として此の地を探検したウイリヤム・ダムピール氏 William Dampier の名に因んで命名したものである。

**ダンファームリン Dunfermline** イギリス(英吉利)國大ブリテン島の北部

度、スコットランド(蘇格蘭)フアイ

**タンブーラ Dambulla** 英吉利領印

度の南方に在るセーロン島の小都邑で、一にダムブーラと呼ぶ(ダムブーラの部を見よ)。

ンニ・アルプスの一山峰で、マッテルホ

クスの境上に立ち、避暑地として知られ、玩具・箱類其他を産し、人口が三萬六千ある。

**ダンブール Dambul** 英吉利領印度の南方に在るセーロン島の小都邑で、カンデー市の北西にある(ダムブールの部を見よ)。

**ダンブレイン Dumblane** 英吉利國大







國、コネチカット州の都邑で、フニャー  
ファイールド地方に屬し、ハウサトニク  
河の口に沿ひ、ニューヨークの北東百五  
十に位し、ニューヨーク・ニューヘヴン  
ハートフォード等と鐵道を通じ、帽子・  
絹布を産す。本市は一六八四年初めて植  
民せられし地で、一八八九年市制を施行  
した。

露西亞本國中部の一地方で、北はニジニ  
ノヴゴロトに、西はリヤザン・チュラ及  
びオレルに接し、南はボロネシ及びド  
ンに隣り、東はサラトフ及びペンザ地方に  
境し、土地は一帯に有名な黒土層に屬し、  
著しく肥え、肥料を要せず、穀物の産は  
勿論、麻類・甘蔗・煙草の産にも富み、工  
業品には酒類・衣服・砂糖・煙草・獸脂皮  
革等がある、其の面積六萬七千三百四十  
方呎、人口三百五十萬を有し、同名の都  
邑がある。

ストック・パーク スイス(瑞西)共和國、ベ  
ルネスアルプス中に在るダムマ群峰の最  
高點である(ダムマストック峰の部を見  
よ)。

ロートリー市の西方十三軒に位し、古代  
羅馬の遺跡が發掘された地で、定期市が  
開かれ、人口が三千ある。

露西亞本國中部の一地方で、北はニジニ  
ノヴゴロトに、西はリヤザン・チュラ及  
びオレルに接し、南はボロネシ及びド  
ンに隣り、東はサラトフ及びペンザ地方に  
境し、土地は一帯に有名な黒土層に屬し、  
著しく肥え、肥料を要せず、穀物の産は  
勿論、麻類・甘蔗・煙草の産にも富み、工  
業品には酒類・衣服・砂糖・煙草・獸脂皮  
革等がある、其の面積六萬七千三百四十  
方呎、人口三百五十萬を有し、同名の都  
邑がある。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

ダムムシエル・コ・湖 Dammscher  
See ドイツ(獨逸)聯邦プロシヤ(普露  
西)共和國の湖沼で、オーデル河により  
て形成せられ、同河の口に近く、其の長  
さ十六軒、幅八軒に達し、湖中悉く航運  
に適する。

小ダンモウ Little Dunmow は大ダ  
ンモウの南東三軒に位し、結婚の贈物に  
鹽豚を以てする習慣あるより知られた市  
で、人口が三百ある。

此の地は獨立戰爭に際し、一七七七年英  
吉利軍の爲めに焼かれた。人口が二萬六  
千ある。

吉利國大ブリテン島、スコットランド  
(蘇格蘭)のテール流域に位し、湖面の海  
拔百三十九米、長さ四軒四に達し、幅一  
軒、深度三十九米に達し、其の面積二方  
軒五に達し、湖盆の面積が七百九十三方  
軒ある。

タンメル・コ・湖 Trummel Loch 英  
吉利國大ブリテン島、スコットランド  
(蘇格蘭)のテール流域に位し、湖面の海  
拔百三十九米、長さ四軒四に達し、幅一  
軒、深度三十九米に達し、其の面積二方  
軒五に達し、湖盆の面積が七百九十三方  
軒ある。

タンラ・サンニャク・山脈 Tanala  
Mountains 亞細亞洲の支那共和國(中  
華民國)に在る崑崙山系南部の山脈で、  
青海山脈に並行する數多の山脈中最も著  
はれたもので、東部に至りて印度支那山  
系と呼應す。

州の南東に突出する印度支那のフランス  
領安南の北部に位し、東京に近き都邑で、  
九軒の地に赤鐵礦の大鐵山がある。本市  
は支那海沿岸に近く、東京に至る要地に  
位し、鐵道が通じて居る。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

タンメル・コ・湖 Trummel Loch 英  
吉利國大ブリテン島、スコットランド  
(蘇格蘭)のテール流域に位し、湖面の海  
拔百三十九米、長さ四軒四に達し、幅一  
軒、深度三十九米に達し、其の面積二方  
軒五に達し、湖盆の面積が七百九十三方  
軒ある。

タンラ・サンニャク・山脈 Tanala  
Mountains 亞細亞洲の支那共和國(中  
華民國)に在る崑崙山系南部の山脈で、  
青海山脈に並行する數多の山脈中最も著  
はれたもので、東部に至りて印度支那山  
系と呼應す。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

タンメル・コ・湖 Trummel Loch 英  
吉利國大ブリテン島、スコットランド  
(蘇格蘭)のテール流域に位し、湖面の海  
拔百三十九米、長さ四軒四に達し、幅一  
軒、深度三十九米に達し、其の面積二方  
軒五に達し、湖盆の面積が七百九十三方  
軒ある。

タンラ・サンニャク・山脈 Tanala  
Mountains 亞細亞洲の支那共和國(中  
華民國)に在る崑崙山系南部の山脈で、  
青海山脈に並行する數多の山脈中最も著  
はれたもので、東部に至りて印度支那山  
系と呼應す。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

タンメル・コ・湖 Trummel Loch 英  
吉利國大ブリテン島、スコットランド  
(蘇格蘭)のテール流域に位し、湖面の海  
拔百三十九米、長さ四軒四に達し、幅一  
軒、深度三十九米に達し、其の面積二方  
軒五に達し、湖盆の面積が七百九十三方  
軒ある。

タンラ・サンニャク・山脈 Tanala  
Mountains 亞細亞洲の支那共和國(中  
華民國)に在る崑崙山系南部の山脈で、  
青海山脈に並行する數多の山脈中最も著  
はれたもので、東部に至りて印度支那山  
系と呼應す。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

タンメル・コ・湖 Trummel Loch 英  
吉利國大ブリテン島、スコットランド  
(蘇格蘭)のテール流域に位し、湖面の海  
拔百三十九米、長さ四軒四に達し、幅一  
軒、深度三十九米に達し、其の面積二方  
軒五に達し、湖盆の面積が七百九十三方  
軒ある。

タンラ・サンニャク・山脈 Tanala  
Mountains 亞細亞洲の支那共和國(中  
華民國)に在る崑崙山系南部の山脈で、  
青海山脈に並行する數多の山脈中最も著  
はれたもので、東部に至りて印度支那山  
系と呼應す。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

露西亞本國中部、ダムボフ州の首府で、  
露西亞地方に位し、モスコ市の南東に在  
る(ダムボフの部を見よ)。

タンメル・コ・湖 Trummel Loch 英  
吉利國大ブリテン島、スコットランド  
(蘇格蘭)のテール流域に位し、湖面の海  
拔百三十九米、長さ四軒四に達し、幅一  
軒、深度三十九米に達し、其の面積二方  
軒五に達し、湖盆の面積が七百九十三方  
軒ある。

タンラ・サンニャク・山脈 Tanala  
Mountains 亞細亞洲の支那共和國(中  
華民國)に在る崑崙山系南部の山脈で、  
青海山脈に並行する數多の山脈中最も著  
はれたもので、東部に至りて印度支那山  
系と呼應す。



チー・ディア・フランス(佛蘭西)共和國  
市の北方五十三軒、コネチカット河に沿

系の兩側及び山頂に位し、荒蕪の地多き  
も河谷は土地が肥沃であるが、開發が充  
分でない、然し礦物が豊富で、金・銅の  
採掘に従事して居る。首府をアナコンダ  
と呼び、世界著名の銅山を有す。

チヴィタ・オヴィタ Civita 伊太利(伊太利)王  
國コセンザ州の都邑で、カッサノ市の北  
方六軒に位し、人口が約二千ある。

チヴィタ・オヴィタ Civita 伊太利(伊太利)王  
國コセンザ州の都邑で、カッサノ市の北  
方六軒に位し、人口が約二千ある。

チー・ディア・フランス(佛蘭西)共和國  
市の北方五十三軒、コネチカット河に沿

系の兩側及び山頂に位し、荒蕪の地多き  
も河谷は土地が肥沃であるが、開發が充  
分でない、然し礦物が豊富で、金・銅の  
採掘に従事して居る。首府をアナコンダ  
と呼び、世界著名の銅山を有す。

チヴィタ・オヴィタ Civita 伊太利(伊太利)王  
國コセンザ州の都邑で、カッサノ市の北  
方六軒に位し、人口が約二千ある。

チヴィタ・オヴィタ Civita 伊太利(伊太利)王  
國コセンザ州の都邑で、カッサノ市の北  
方六軒に位し、人口が約二千ある。



の河川で、サンタ河の南にある(ダムボ

河の部を見よ)。

に在り、マニラ灣頭に近い(ダムボボン

の部を見よ)。

せられ、一八六二年市となつた、人口が

二萬ある。

こと六十軒に及び、北と南より河川を容

タンボ・グランデ *Tambo Grande*

南亞米利加洲の西部、ペルー(秘露)共

和國ピウラの都邑で、バイタ市の東北東

の部を見よ)。

タンボ・グランデ *Tambo Grande*

の部を見よ)。

の部を見よ)。

の部を見よ)。

タンボ・グランデ *Tambo Grande*

の部を見よ)。

の部を見よ)。

の部を見よ)。

タンボ・グランデ *Tambo Grande*

の部を見よ)。

の部を見よ)。

の部を見よ)。



チー Die フランス(佛蘭西) 共和國

ドロームの都邑で、羅馬時代の遺蹟を有し、ヴァランス市の東南東三十三軒に位し、ドローム河に沿ひ、人口が四千ある。

チー Die フランス(佛蘭西) 共和國

合衆國メイン州ハンコックの都邑で、ベノブスコット灣内に位し、ロックランドの東北東四十軒に在つて、市街は長さ十六軒の島上に立ち、人口が二千餘ある。

チアタルプール *Chatarpur* 英吉

利領印度の中央部、バンドルカンドに在るチアタルプール藩の首府に當り、カウンポール市の南西百九十三軒に位し、高等學校を有し、双物と紙を産し、人口が一萬四百ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米利加

合衆國メイン州ハンコックの都邑で、ベノブスコット灣内に位し、ロックランドの東北東四十軒に在つて、市街は長さ十六軒の島上に立ち、人口が二千餘ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米利加

合衆國メリーランド州ガレットの村落で

チアアパイル *Deer Isle* 亞米利加

ボルチモア・オハイオ鐵道通じ、カンパ

系の兩側及び山頂に位し、荒蕪の地多き

も河谷は土地が肥沃であるが、開發が充

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

利加合衆國、マサチューセツツ州フラン

クワンの都邑で、スプリングフィールド

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

市の北方五十三軒、コネチカット河に沿

ひ、一七〇四年フランス軍及び印甸族に

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壞せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。

チアアパイル *Deer Isle* 亞米

破壊せられた地で、人口が二千ある。

破壊せられた地で、人口が二千ある。



ponarano イタリヤ(伊太利)王國の都  
邑で、カムボバツ市の北方二十六軒に位  
し、人口が約三千ある。

チブイタ・チ・ペンネ Civita di Pen-  
ne イタリヤ(伊太利)王國の都邑で、一  
にペンネと呼ぶ(ペンネの部を見よ)。

チブイタ・ツーカー Civita Ducale  
イタリヤ(伊太利)王國アキラ州の都邑で  
一にチッタツーカーと呼ぶ(チッタツ  
カレの部を見よ)。

チブイタノヴァ Civitanova イタリ  
ヤ(伊太利)王國、マテラ州の都邑で  
マテラ市の東方十九軒に位し、アド  
リヤ海に近く、ポート・チブイタノヴァと  
呼ばれる、港を五軒の外に控えて、之を門  
戸となし、人口が約二千ある。

チブイタノヴァ Civitanova イタリ  
ヤ(伊太利)王國、カムボバツ州の都邑で  
イセルニヤ市の東北東十六軒に位し、人  
口が約三千ある。

チブイタレ Civitate or Civitate  
del Friuli 一にチブイタレ・ゲル・フリ  
ウリと呼び、イタリヤ(伊太利)王國の北  
部ウヂネ州に在る國境都市で、ジュリヤ  
アルプス山下のナチソネ河に沿ひ、ウヂ  
ネ市の東方鐵路十六軒に位し、數世紀間  
ロムバルド侯の城地に當り、中世大に榮  
え、十五世紀の舊教本山、八世紀の諸舊  
跡を有し、其の博物館は羅馬時代及びロ  
ムバルドの遺物等を有す。本市は一九一  
七年十月二十七日獨逸軍に占領せられた

地、人口が一萬ある。  
チブイタレ・デル・フリウリ Civitate  
del Friuli イタリヤ(伊太利)王國

の北部ウヂネ州に在る國境市で、單にチ  
ブイタレとも呼ぶ(チブイタレの部を見  
よ)。

チブイルコイ Chivico 南亞米利加

洲アルヘンチナ(亞爾然丁)共和國ブエ  
ノス・アイレス州 Buenos Aires の都邑で  
ブエノス・アイレス市の西方百七十七軒、  
西經六十度にて鐵道によりて連絡

し、ブランドー・鐵器等を産し、人口が二  
萬三千ある。

チブエッタ・サン・山 Civetta Monte  
イタリヤ(伊太利)王國の北部に在るドロ  
マイトアルプスの高山で、ベルノ州に屬  
し、アレゲ湖に近く、高さが三、四六二米

ある。

チブオリ Tivoli イタリヤ(伊太利)王  
國半島部のチレニヤ海斜面、ローマ州の  
都市でローマ市の東北東四十軒に位し、  
海拔二百三十米のサピネ丘陵 Sabine  
Hills の上に立ち、チベル河  
Tiber の支流アニオ河 Anio  
(Teverone) が脚下を洗ひ、  
古來有名な避暑地に當り、ピ  
ウス三世 Pius III. の居城及  
び壯麗なる寺院あり、有名な  
アンニオ瀑布は直下百七米に  
達して壯觀を呈し、現今水力  
發電に資す。人口が一萬ある。

ケムン・ピ・湖 Chiusi, Ia  
Ke of イタリヤ(伊太利)半  
島の小火山湖で、チウシ市の  
東方一軒半に位し、長さが六  
軒半ある。

チウス Diunze ドイツ  
(獨逸)聯邦よりフランス(佛  
蘭西)共和國に還附せるコレ  
インの都邑で、シャトー・サ  
ラン市の東方十四軒半に位し  
附近に大岩鹽坑ありし地で、

曹達及び化學工業品を産出し、人口が六  
千ある。

チーヴ・スール・メール Divonne-  
Mar フランス(佛蘭西)共和國、ノルマン  
ディーの海港で、カルヴァドス地方に位し、  
カン市 Caen と二十四軒を隔て、チーヴ  
河の口に當り、風景好く、長くノルマン  
人の港市となり、ウイリヤムが一〇六六  
年、此地より英國に進撃せし處と想像  
せられる、現今海水浴地として知られ、  
人口が四千ある。

チウレフー・ディエレディ フランス(佛  
蘭西)共和國、ロームの都邑で、モン  
リール市の東方二十七軒に位し、人口  
三千五百を有し、附近に鐵泉が湧出し、  
又石灰洞窟がある。

チエ・チニス Chiusi 亞弗利加洲西部、佛蘭西  
領セネガルの都邑で、ダカル市の東方に  
位し、サン・ルイス市よりダカル市に至る  
鐵道とガムビヤ線との接続點に當り、人  
口が二千五百ある。

ケ・エ・ア・ブ・ゼス・ニヤ・ケオ・オ  
Keo Island ギリシ(希臘)國の東  
方多島海に在る希臘領キラダス群島の  
一に屬し、アツチカの南端コロナ岬の  
南東二十一軒に位し、北東より南西に長  
きこと二十一軒、幅最大十二軒に達し、  
エリアス山(五六七米)が屹立し、島より  
葡萄酒・無花果・レモン・絹布・絹布等を産  
す。面積百一方軒、人口四千を有し、チ  
ニア市が首都で、人口は多く此の地に集



チウレフー・ディエレディ

大西洋面に在る海港で、サスケハナ河下  
流地盤の溺没によりて成れるもので、無  
数の支溝と共に鋸齒状を呈し、ボトマツ  
ク河其他數多の諸河を容る、各河は何れ  
も開きて狭長なる入江となり、チエサビ  
一ク灣の支溝を形成するもので、屈曲極  
めて著るしき湖れ谷を形成する。沿岸に  
ボルチモア・リチモンド・ポーツマス・ノ  
ブ

約五千ある。  
チエサンクック・コック湖 Chesuncook  
Lake 亞米利加合衆國メイン州ビスカ  
タキスの湖沼で、ベノプスコット河の膨  
脹部に屬し、同河が湖の北西部に注ぎ、  
南東部より排水す、湖は長さ約三十二軒、  
幅三軒に及ぶ。  
チエジー・トリスィイタリヤ(伊太利)王

する。

チエフイオット・キウリウ・丘陵 Chi-  
vot Hills 英吉利國大ブリテン島北部

スコットランドとイングランドとの境上  
に位し、ペンニン山脈と共に、フォース  
河・ハムパー河支流・トレント河 Trent  
の間に横はる中央山地 Central Upland  
の一部を構成し、北東より南西に走り、

Alvean Island 大西洋南部の小島で  
ある(チエーゴ・アルヴアレス又はゴ  
フス島の部を見よ)。  
チエーゴ・ガルシヤ・ジマ Diego  
Garcia Island 亞弗利加洲、印度洋の  
島で、南緯七度二十分、東經七十二度二  
十六分に位し、長徑二十軒、短徑十軒に  
過ぎざる小島なるも、オイル群島中重要

大西洋面に在る海港で、サスケハナ河下  
流地盤の溺没によりて成れるもので、無  
数の支溝と共に鋸齒状を呈し、ボトマツ  
ク河其他數多の諸河を容る、各河は何れ  
も開きて狭長なる入江となり、チエサビ  
一ク灣の支溝を形成するもので、屈曲極  
めて著るしき湖れ谷を形成する。沿岸に  
ボルチモア・リチモンド・ポーツマス・ノ

約五千ある。  
チエサンクック・コック湖 Chesuncook  
Lake 亞米利加合衆國メイン州ビスカ  
タキスの湖沼で、ベノプスコット河の膨  
脹部に屬し、同河が湖の北西部に注ぎ、  
南東部より排水す、湖は長さ約三十二軒、  
幅三軒に及ぶ。  
チエジー・トリスィイタリヤ(伊太利)王



アルプス山下のナチソネ河に沿ひ、ウヂネ市の東方鐵路十六軒に位し、數世紀間ロムバルド侯の城地に當り、中世大に榮え、十五世紀の舊教本山、八世紀の諸舊跡を有し、其の博物館は羅馬時代及びロムバルドの遺物等を有す。本市は一九一七年十月二十七日獨逸軍に占領せられた



布瀑

布瀑  
一に屬し、アツチカの南端コロンナ岬の南東二十一軒に位し、北東より南西に長きこと二十一軒、幅最大十二軒に達し、エリアス山(五六七米)が屹立し、島より葡萄酒・無花果・レモン・綿布・絹布等を産す。面積百一方軒、人口四千を有し、チニア市が首都で、人口は多く此の地に集

する。

**チエフイオット・キウリヒウ** 丘陵 **Chieff** **viot hills** 英吉利國大ブリテン島北部スコットランドとイングリランドとの境上に位し、ベンニン山脈と共に、フォース河・ハムパー河支流・トレント河 Trent の間に横はる中央山地 Central Upland の一部を構成し、北東より南西に走り、北アイルランドのシルリヤ紀岩石と相呼應し、一般に鈍形を呈し、峻峰の見るべきなく、北アンバーランド Northumberland のチエフイオット山(八一六米)を最高點となし、カイルン Cairn(七七六米)・オーコブカイルン Auchinpeckirn(七二七米)・ヘデホープ Hedehope Hill(七二六米)・ウィンダーゲート Windygate(六二〇米)等の諸山がある。

**チエカノフ** **Ciechanow** ポーランド(波蘭)共和國プロシヤの都邑で、リヂニヤ河に沿ひ、プロシヤ市の北東百五十三軒に位し、釀酒業が甚だ盛大に行はれ、人口が一萬ある。

**チエム・ガハ(ワ)河** **Tschegem River** 西亞細亞のコーカサス(高加索)に在るテレク河 Terek R. の支流である(テレク河の部を見よ)。

**チエーゴ・アルヴァレス** **Jizma** 島 **Diego Alvarez Island** 大西洋南部の小島で、一にゴーフスと呼ぶ(ゴーフス島の部を見よ)。

**チエーゴ・アルバレス** **Jizma** 島 **Diego Ibe Bay** アメリカ(亞米利加)合衆國、

**チエーゴ・ガルシヤ** **Jizma** 島 **Diego Garcia Island** 亞弗利加洲、印度洋の島で、南緯七度二十分、東經七十二度二十六分に位し、長徑二十軒、短徑十軒に過ぎざる小島なるも、オイル群島中重要なるもので、人口四百五十人を有し、コナット・コブラ・グアノ・鹽魚を産し、椰子油を轉出する。

**チエーゴ・スアレス** **Diego Suarez** 亞弗利加洲の東方印度洋に在るマダガスカル島 Madagascar の北端に近き港市で、アントムボカ灣 Antomboka Bay に面し、良港を控え、一八八五年より佛國艦隊の根據地となり、又軍隊の駐屯地に當り、人口が九千ある。一にアンチラス Antsirane と呼ぶ。

**チエサン・マデルノ** **Oesano Maderno** イタリア(伊太利)王國の小都邑で、ミラノ市の北西十六軒に位し、セヴェッソ河に沿ひ、人口が五千五百ある。

**チエサビーク・シチー** **Chesapeake City** 亞米利加合衆國メリーランド州セシルの都邑で、チエサビーク灣に近く、ボルチモア市の東北八十軒に位し、チエサビーク・デラウエーヤ運河の終點に當り、デラウエーヤシチーと連る。

**チエサビーク・ワン** **Chesapeake Bay** アメリカ(亞米利加)合衆國、

大西洋面に在る海港で、サスケハナ河下流地盤の溺没によりて成れるもので、無数の支灣と共に鋸齒状を呈し、ボトマツク河其他數多の諸河を容る、各河は何れも開きて狭長なる入江となり、チエサビーク灣の支灣を形成するもので、屈曲極めて著るしき湖れ谷を形成する。沿岸にボルチモア・リチモンド・ポートマス・ノール・フォーク等の都邑を有し、灣内は牡蠣の養殖業が盛である。

**チエサム** **Chesham** 英吉利國大ブリテン島、イングリランド(英蘭)バッキンガムシヤの都邑で、チエス河谷に沿ひ一にチエシャムと呼ぶ(チエシャムの部を見よ)。

**チエサレウッチ・ワン** **Usarevich Bay** (亞細亞) **Chor Usarevich Bay** アジヤ(亞細亞)洲とヨーロッパ(歐羅巴)洲との間に横はる裏海の北東部に在る灣で、同湖の東岸北部にサチ半島 Busachi Pen. が突出せる爲めに入江を形成して南東に屈し、南西に河川状をなして延長し、更に一名カイダク灣 Kaidak or Karasu B. とする。

**チエザレビチ・ワン** **Oesarevich Bay** 歐亞兩洲の間に横はる裏海の北東部に在る灣で、一の入江をなす(チエザレヴィッチ灣の部を見よ)。

**チエサロ** **Osaro** イタリア(伊太利)王國領シチリヤ(シシリ)島の都邑で、ブロンテ市の北西十二軒に位し、人口が

約五千ある。  
**チエサンクック** **Cook** 湖 **Chesuncook Lake** 亞米利加合衆國メイン州ピスカタキスの湖沼で、ベノブスコット河の膨脹部に屬し、同河が湖の北西部に注ぎ、南東部より排水す、湖は長さ約三十二軒、幅三軒に及ぶ。

**チエジー** **Trisi** イタリア(伊太利)王國サルデニヤ島の都邑で、サッサリ市の南々東二十六軒に位し、人口が約四千ある。

**チエフン** **Cheshm** アジヤ(亞細亞)洲の西部に在るメソポタミヤの首都で、チグリス河の東岸に立ち、バグダードの南東四十軒に位し、もとアッシリヤの都市で、次でバルチヤの都市となつたが、紀元一六六年及一九九九年に羅馬人によりて破壊せられ、六世紀にはサッサニド・チエスロエス一世 Sassanid Chosro の下に再び榮え、六三七年オマール王の下にアラビヤ人の有となつた處で、大戦中一九一五年十一月に英土兩軍の會戦地となり、一九一七年英軍に占領せられた。

**チエシャ** **Cheshire** イギリス(英吉利)國大ブリテン島、イングリランド(英蘭)の西部に在る地方で、西はウェールズに接し、南はシュロプシヤとスタッフスに接し、東はデルベールシヤに、北はマージー河によりてランカシヤに接し、面積二千六百六十三方軒、人口百二萬三



千人を有し、密度が比較的大である。

人口が約二千ある。

一九二〇年四月一日のランカシャとの協定によりチェシャーの市街地たるパーチントン・ワルバートン及びカーリントン各一部をランカシャに與へ、同州よりイラムの市街地を得て、之をパーリントンに加へ、尙ほ他の部を得てカーリントンに附加した。

州の北西はアイリッシュ海に面し、デール河Deeの三角江とマーシー河Merseyのリン江との間にウィラル半島 Wirral Pen. が突出し、全土低平であるが、東方は次第に高起し、西方も亦同様で、一部は森林に被はれ、南部には數多の小湖がある。南東部のアルダーリー山地は英吉利國最美の森林を形成し、世の模範と稱せられる。

本州は牧畜が盛に行はれ酪業が著しく發達し、チースの産多く、花卉の産にも富み、岩鹽はノースウィッチ・ナントウィッチ及びミドルウィッチより採掘せられる。

河川と數多の運河とにより交通の便が極めて良く、チェスターを州の首府となし、尙ほビルケンヘッド・ストックポーツ・コングルトン・クリュー・マックスフィールド・ハイド及びスタリーブリッジ等がある。

チェシャー Cheshire 亞米利加合衆國コネチカット州、ニューヘヴンの村落でニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

西岸に沿ひ、クリントンヴィルとキースヴィルを含み、人口が約二千五百ある。

船を通じ、一七七〇年エルフィンストリー Epistone が土耳軍に大捷し、土耳の南東八十八軒に位し、海拔三千六百米

イリノイ州、ランドルフの首府で、ミシシッピ河に注ぐカスカスキヤ河の口に立ち風光宜しく、セントルイス市の下流百二十軒に在つて鐵道通じ、石炭と鐵を産し、人口が三千ある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

州の北西はアイリッシュ海に面し、デール河Deeの三角江とマーシー河Merseyのリン江との間にウィラル半島 Wirral Pen. が突出し、全土低平であるが、東方は次第に高起し、西方も亦同様で、一部は森林に被はれ、南部には數多の小湖がある。南東部のアルダーリー山地は英吉利國最美の森林を形成し、世の模範と稱せられる。

本州は牧畜が盛に行はれ酪業が著しく發達し、チースの産多く、花卉の産にも富み、岩鹽はノースウィッチ・ナントウィッチ及びミドルウィッチより採掘せられる。

河川と數多の運河とにより交通の便が極めて良く、チェスターを州の首府となし、尙ほビルケンヘッド・ストックポーツ・コングルトン・クリュー・マックスフィールド・ハイド及びスタリーブリッジ等がある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

州の北西はアイリッシュ海に面し、デール河Deeの三角江とマーシー河Merseyのリン江との間にウィラル半島 Wirral Pen. が突出し、全土低平であるが、東方は次第に高起し、西方も亦同様で、一部は森林に被はれ、南部には數多の小湖がある。南東部のアルダーリー山地は英吉利國最美の森林を形成し、世の模範と稱せられる。

本州は牧畜が盛に行はれ酪業が著しく發達し、チースの産多く、花卉の産にも富み、岩鹽はノースウィッチ・ナントウィッチ及びミドルウィッチより採掘せられる。

河川と數多の運河とにより交通の便が極めて良く、チェスターを州の首府となし、尙ほビルケンヘッド・ストックポーツ・コングルトン・クリュー・マックスフィールド・ハイド及びスタリーブリッジ等がある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

州の北西はアイリッシュ海に面し、デール河Deeの三角江とマーシー河Merseyのリン江との間にウィラル半島 Wirral Pen. が突出し、全土低平であるが、東方は次第に高起し、西方も亦同様で、一部は森林に被はれ、南部には數多の小湖がある。南東部のアルダーリー山地は英吉利國最美の森林を形成し、世の模範と稱せられる。

本州は牧畜が盛に行はれ酪業が著しく發達し、チースの産多く、花卉の産にも富み、岩鹽はノースウィッチ・ナントウィッチ及びミドルウィッチより採掘せられる。

河川と數多の運河とにより交通の便が極めて良く、チェスターを州の首府となし、尙ほビルケンヘッド・ストックポーツ・コングルトン・クリュー・マックスフィールド・ハイド及びスタリーブリッジ等がある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

州の北西はアイリッシュ海に面し、デール河Deeの三角江とマーシー河Merseyのリン江との間にウィラル半島 Wirral Pen. が突出し、全土低平であるが、東方は次第に高起し、西方も亦同様で、一部は森林に被はれ、南部には數多の小湖がある。南東部のアルダーリー山地は英吉利國最美の森林を形成し、世の模範と稱せられる。

本州は牧畜が盛に行はれ酪業が著しく發達し、チースの産多く、花卉の産にも富み、岩鹽はノースウィッチ・ナントウィッチ及びミドルウィッチより採掘せられる。

河川と數多の運河とにより交通の便が極めて良く、チェスターを州の首府となし、尙ほビルケンヘッド・ストックポーツ・コングルトン・クリュー・マックスフィールド・ハイド及びスタリーブリッジ等がある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

州の北西はアイリッシュ海に面し、デール河Deeの三角江とマーシー河Merseyのリン江との間にウィラル半島 Wirral Pen. が突出し、全土低平であるが、東方は次第に高起し、西方も亦同様で、一部は森林に被はれ、南部には數多の小湖がある。南東部のアルダーリー山地は英吉利國最美の森林を形成し、世の模範と稱せられる。

本州は牧畜が盛に行はれ酪業が著しく發達し、チースの産多く、花卉の産にも富み、岩鹽はノースウィッチ・ナントウィッチ及びミドルウィッチより採掘せられる。

河川と數多の運河とにより交通の便が極めて良く、チェスターを州の首府となし、尙ほビルケンヘッド・ストックポーツ・コングルトン・クリュー・マックスフィールド・ハイド及びスタリーブリッジ等がある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

州の北西はアイリッシュ海に面し、デール河Deeの三角江とマーシー河Merseyのリン江との間にウィラル半島 Wirral Pen. が突出し、全土低平であるが、東方は次第に高起し、西方も亦同様で、一部は森林に被はれ、南部には數多の小湖がある。南東部のアルダーリー山地は英吉利國最美の森林を形成し、世の模範と稱せられる。

本州は牧畜が盛に行はれ酪業が著しく發達し、チースの産多く、花卉の産にも富み、岩鹽はノースウィッチ・ナントウィッチ及びミドルウィッチより採掘せられる。

河川と數多の運河とにより交通の便が極めて良く、チェスターを州の首府となし、尙ほビルケンヘッド・ストックポーツ・コングルトン・クリュー・マックスフィールド・ハイド及びスタリーブリッジ等がある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。

チェスターフィールド Chesterfield 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の都邑で、ゴシップクチャーチ・大學及びカレッジの艇庫を控え、造船所・タイル工場を有し、人口が一萬一千三百ある。



西岸に沿ひ、クリントンヴィルとキース  
ヴィルを含み、人口が約二千五百ある。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國北部、ミシガン州マコム  
の都邑で、セントクレイヤ湖の南東に沿  
ひ、グランドトランク鐵道通じ、デトロ  
イト市の北々東四十七軒に位し、人口が  
二千餘ある。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國大西洋岸、南カロライナ  
州の北東部を占め、面積二千三百三十二方  
軒、人口二萬を有し、首府をチエスター  
フィールドと呼ぶ。  
**チエスターフィールド・グンタウ：群島**  
Osterid Islands 南太平洋の小島  
群で、ニューカレドニアの北西六百軒に  
位し、無人島であるが、鳥糞の堆積が甚  
だ多い。  
**チエスター・レ・ストリート Chester-**  
Le-Street 英吉利國大ブリテン島、イン  
グランド(英蘭)の都邑で、グラム市の北  
方十軒に位し、大寺を有し、石炭を産し  
鐵工場を築き、人口が一萬四千七百あ  
る。  
**チエスタコワ Cestochova** ポーラ  
ンド(波蘭)共和國、ピオトルコウ州の都  
邑で、一にチエスタコワとも呼ぶ(チ  
エスタコワの部を見よ)。  
**チエスメ Teshme** 亞細亞洲西部、小  
亞細亞の海港で、スミルナ市の西南西六  
十四軒、キオス島に對し、スミルナと船

船を通じ、一七七〇年エルフィンスト  
ン Ephysione が土耳其軍に大捷し、土耳  
其艦隊は次で燒却せられた地で、人口が  
約六千ある。  
**チエシュント Cheshunt** 英吉利國、大  
ブリテン島、イングランド(英蘭)ハート  
フォードシヤの都邑で、ロンドン市の北  
方、鐵道二十二軒半に位し、園藝・煉瓦・  
製材等行はれ、もと羅馬人が植民せし  
處で、人口が一萬三千ある。  
**チエセナ Cesena** イタリア(伊太利)  
王國、フォリーリ州の都市で、古へのカエ  
ナ Caesena に當り、アベニン山脈の麓  
リミニ市の北西鐵道三十軒半に立ち、古  
寺多く、カプチン寺はゲルチノ名畫を藏  
すること多く、又マラテスタ圖書館を有  
す。古來葡萄酒の醸造に著はれ、又麻布・  
絹綿布及び硫黄を取引し、羅馬法王ピ  
ー六世及び七世が此の地に生れた。人  
口が四萬六千ある。  
**チエセナチコ Cesenatico** イタリア  
(伊太利)王國の都邑で、ナポリ(ネーブルス)市の  
南東方に在るサレルノ灣に沿ひ、サレル  
ノ市の南西方五軒に位し、人口が約二千  
約三千ある。  
**チエタラ Cetara** イタリア(伊太利)  
王國の都邑で、ナポリ(ネーブルス)市の  
南東方に在るサレルノ灣に沿ひ、サレル  
ノ市の南西方五軒に位し、人口が約二千  
約三千ある。  
**チエタン Cheung** 支那共和國(中華  
民國)チベット(西藏)の小都邑で、サン

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

船を通じ、一七七〇年エルフィンスト  
ン Ephysione が土耳其軍に大捷し、土耳  
其艦隊は次で燒却せられた地で、人口が  
約六千ある。  
**チエシュント Cheshunt** 英吉利國、大  
ブリテン島、イングランド(英蘭)ハート  
フォードシヤの都邑で、ロンドン市の北  
方、鐵道二十二軒半に位し、園藝・煉瓦・  
製材等行はれ、もと羅馬人が植民せし  
處で、人口が一萬三千ある。  
**チエセナ Cesena** イタリア(伊太利)  
王國、フォリーリ州の都市で、古へのカエ  
ナ Caesena に當り、アベニン山脈の麓  
リミニ市の北西鐵道三十軒半に立ち、古  
寺多く、カプチン寺はゲルチノ名畫を藏  
すること多く、又マラテスタ圖書館を有  
す。古來葡萄酒の醸造に著はれ、又麻布・  
絹綿布及び硫黄を取引し、羅馬法王ピ  
ー六世及び七世が此の地に生れた。人  
口が四萬六千ある。  
**チエセナチコ Cesenatico** イタリア  
(伊太利)王國の都邑で、ナポリ(ネーブルス)市の  
南東方に在るサレルノ灣に沿ひ、サレル  
ノ市の南西方五軒に位し、人口が約二千  
約三千ある。  
**チエタラ Cetara** イタリア(伊太利)  
王國の都邑で、ナポリ(ネーブルス)市の  
南東方に在るサレルノ灣に沿ひ、サレル  
ノ市の南西方五軒に位し、人口が約二千  
約三千ある。  
**チエタン Cheung** 支那共和國(中華  
民國)チベット(西藏)の小都邑で、サン

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

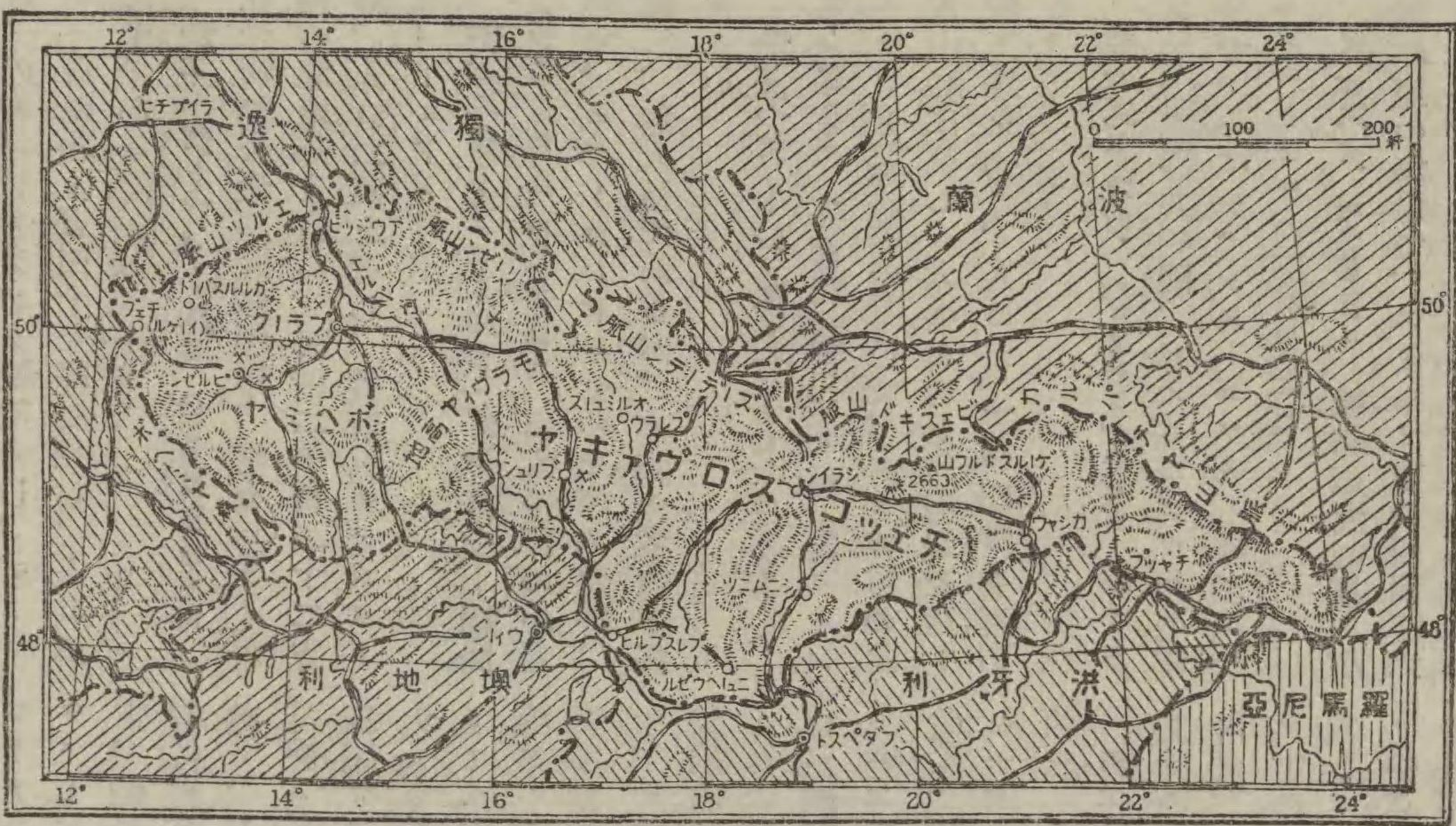
河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

河に圍まれ、南はアボマトツクス河に境  
し、其の面積千二百五十四方軒、人口二  
萬九千を有し、附近は石炭を埋藏するこ  
とが多い。チエスターフィールドが首府  
である。  
**チエスターフィールド Chesterfield**  
亞米利加合衆國東部、ニューヨーク州  
セントカッツ州、ニューヘヴンの村落で  
ニューヘヴン市の北方二十六軒に位し、

チエスターフィールド・チエッコスロヴァキヤ





山岳四周して事實上盆地となれるより、一にボヘミア盆地の名を有し、其の南西にボヘミア森の山脈横はりてドイツ國バヴァリア高原と境し、北西はエルツ山脈によりてサクソニアと境し、北東にはリゼン山脈、或はグレーヤン山脈があつて、ドイツ國のシレジア地方と接し、南東モラヴィヤとの境にはモラヴィヤ丘陵があつて、本丘陵より北方に土地が低下すること三百米に及び、エルベ河によりて排水せられる。

ルパチヤ山地の最高部を占めて居る。同山脈以南は地勢上ハンガリー平野の地で、ダニュープ河斜面に屬す。

河川はエルベ、オーダー、ダニュープ三河系に屬し、エルベ河はボヘミア盆地の諸水を集めて、北方ドイツ國に向ひ、オーダー河はスデッド山脈以北シレジアの水を集めて北方ドイツ國領シレジアに向ひ、ダニュープ河はマルク(モラヴィヤ)・タイス兩河と其の間に在るワグ、グラ、ン其他の支流を合せて南流する(エルベ、ダニュープ、オーダー各河の部を見よ)。

ク族が最も多く、スロヴァキヤ族と共にスラヴ系である。

宗教は全國民の七六、四%は舊教、七、三%は舊教、三、九%はギリシヤ及びアルメニヤ舊教、二、六%はユダヤ教に屬して居る。

教育上の缺點は、人種が異なる爲め同種の學校を數個設立する必要があるが、之は國家の統治上にも支障がある、大學はブラーグ(チェック、獨逸各一)、ブルノ(チェック)、プラチスラヴァ(スロヴァック)に計四校ある。

チエッコスロヴァキヤ

モラヴィヤ丘陵の南東に當り、東方にはスデット山脈があつて、北西より南東に進み、南方は洪牙利王國に接し、マルク河 March の本支流によりて南方に排水せられる。

【シレジア地方】 北方斜面に屬し、スロヴァキヤ地方は其の西端に小カルパチヤ山脈があつて、プレスブルヒの北方に起り、白カルパチヤ及び西ベスキデン山脈に連り、其の東に東ベスキデン山脈があつて、ガリチヤの境上に横はり、所謂カルパチヤ山脈を構成し、スロヴァキヤ・ルテニヤ兩地方を包括し、北部カ

山地が著しく氣候を左右し、各河川は冬季數週間は何れも結氷し、エルベ河の如きも毎年十一週間は舟運を絶つ、南東部ルテニヤの森林地方に於ては氷雪期を利用して、木材を運搬する。ブラーグの氣温を見るに、最低は一月で同月平均氣温は氷點下一度六、最高の平均は七月の十度八で、此の地に於ては冬季三箇月間は毎月平均が氷點である。モラヴィヤのブリューン市はブラーグ市よりも少し寒い。降水量は何れも少量で、六百耗内外である。

ボヘミア族は我が鎌倉時代よりボヘミア國を建て二百年間續き、次でオーストリア國に併合せられ、スロヴァック族はハンガリー國の一部に屬して居たが、大戰の結果、民族自決の趣意より獨立してスラヴ國を建てた、政體は立憲共和制で上下兩院を有し、大統領は兩院より公選せられ、七年の任期を有し、中央政府は總理大臣以下、外務、大藏、商務、労働、道、健康、食糧、農業、司法、國防、郵電、スロヴァキヤ各大臣があつて之を統治する。

國土の小なるに比しヨーロッパ洲中最も富な國で、農産・鑛産に富み、且水力の利用大なる爲、工業も發達して居る。

農業はボヘミア・モラヴィヤに發達し、又スロヴァキヤの小アルプス地方は從來ハンガリー國の穀倉と呼ばれた。農

地勢

此の國はボヘミア高原・モラヴィヤ盆地及びカルパチヤ山地より成立する。

【ボヘミア高原】 名は高原であるが、

方に起り、白カルパチヤ及び西ベスキデン山脈に連り、其の東に東ベスキデン山脈があつて、ガリチヤの境上に横はり、所謂カルパチヤ山脈を構成し、スロヴァキヤ・ルテニヤ兩地方を包括し、北部カ

住民

民族の比を見るにチエッコスロヴァキヤ族が主で、六十四、四%、ドイツ族が二、三%、マジヤール族が五、五%、ルテニヤ族が三、四%である。前者の中チエッコ

も富有な國で、農産・鑛産に富み、且水力の利用大なる爲、工業も發達して居る。

農業はボヘミア・モラヴィヤに發達し、又スロヴァキヤの小アルプス地方は從來ハンガリー國の穀倉と呼ばれた。農

産物は裸麥・大麥及び燕麥の産多く、馬鈴薯・玉蜀黍・ホップ・甜菜等に次ぎ、大麥はビール原料となし、ボヘミアとスロヴァキヤより之が原料を得、ピルセンビールの名高く、ホップはモラヴィヤに、玉蜀黍はスロヴァキヤに、小麥はボヘミア・スロヴァキヤの一部に、甜菜は各地より産し、尙ほ苹果・梨子等が出る。

由は石炭と鐵の多きこと、チエック人とドイツ人が特殊の技能を有すること、水力利用の大なること、ドイツ國の主要産業地に接近する爲め等である。ブラーグの硝子、ピルセン及びブドワイスのビール等は最も有名である。

リベレック、オパヴァ、プロステヨフ、テプリス(各都邑の部を見よ)。

チエッコスロバキヤ Czechoslovakia

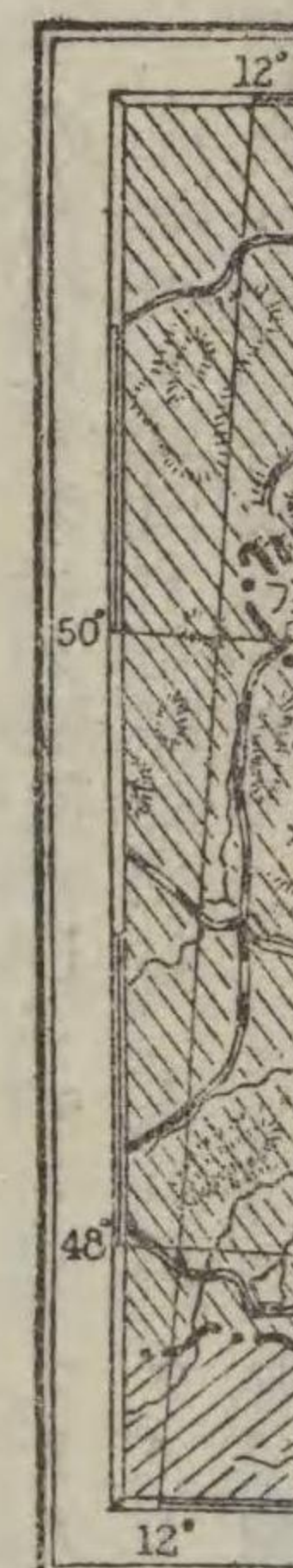
ヨーロッパ(歐羅巴)洲中部の新國である(チエッコスロヴァキヤの部を見よ)。

チエック Chekian 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南西に在るサマーセットシャ Somersetshire

時代に重要地となり、次で英吉利に歸し要塞地となり、爾來屢英佛兩軍の戦役地と化し、又佛蘭西の數多の海人が出た。

ナントの勅令以後、住民はヒューゲノットと稱せられ、一九四年英軍の爲めに焼かれた、今回の大戰中本市とニューヘヴンの交通は全く停止し、本市は同盟軍の根據地となつて居たが、一九一九年七月





地勢

此の國はボヘミヤ高原・モラヴィヤ盆地及びカルパチヤ山地より成立する。「ボヘミヤ高原」名は高原であるが、

に屬し、スロヴァキヤ地方は其の西端に小カルパチヤ山脈があつて、プレスブルヒの北方に起り、白カルパチヤ及び西ベスキデ

住民

民族の比を見るにチェッコスロヴァキヤ族が主で、六十四、四%、ドイツ族が二

産業

國土の小なるに比しヨーロッパ中最も富有な國で、農産・鑛産に富み、且水力の利用大なる爲、工業も發達して居る。

産物は裸麥・大麥及び燕麥の産多く、馬鈴薯・玉蜀黍・ホップ・甜菜等に次ぎ、大麥はビール原料となし、ボヘミヤとスロヴァキヤより之が原料を得、ピルゼン

貿易

由は石炭と鐵の多きこと、チェック人とドイツ人が特殊の技能を有すること、水力利用の大なること、ドイツ國の主要産業地に接近する爲め等である。プラゲの硝子、ピルゼン及びブドワイスのビール等は最も有名である。

輸出品は綿布・砂糖・木材・石炭・毛織物・硝子・鐵及び鐵器・穀物等で、年額二千萬クランに達し、輸入品は穀物・綿布及び其の製品・毛織物・鐵器・機械等で、年額千九百萬クランに達し、之が取引國はドイツ・オーストリア・ハンガリー・イギリス・ポーランド等で、ドイツ・ポーランドよりは輸入が多く、オーストリア・イギリスへは輸出が多い。

交通

鐵道は延長一萬三千八百軒に達し、其の七千軒は國有である。河川航路は三大河の利用が充分で、エルベ河はモルタヴィヤを連ね、プラゲ以下は國際河川となり、下流に在るドイツ國のハムブルヒ港の一部を租借して貿易に便し、オーデル河も國境以下は國際河となり、下流ステツチン港の一部を租借し、ダニューブ河も下流の國境迄之を利用し得る。

都邑

次の通りである。プラゲ、ブルノ、オストラヴァ、ピルゼン、ブラチスラヴァ、オロモウタ、コシス、プデヨヴィス、ウスチン、

リベック、オパヴァ、プロステヨフ、テプリス(各都邑の部を見よ)。  
チェッコスロバキヤ Czechoslovakia  
ヨーロッパ(歐羅巴)洲中部の新興國である(チェッコスロヴァキヤの部を見よ)。  
チエター Cheater 英吉利國、大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南西に在るサマーセットシャー Somersetshire に位し、メンチプ丘陵 Mendip Hills の南に在るアクスブリッジ Axbridge の南東三軒に在つて、チェッダル河谷の絶壁中に有名なる大鐘乳洞窟横はる、丘陵に沿ひて右に進めば多數の鐘乳石懸り地下には無數の石筍樹立し、奇觀名狀すべからざる有様である、古代イギリス人及びローマ人の遺跡が附近に發見された。此の地はバリッシュ市 Parish と村落とより成り、バリッシュは人口が二千あつて五月四日と十月二十九日に市が開かれる。

チエツバ・島 Chetuba Isla

英吉利領印度、ベンゴール灣内の島地で、アラカン地方の一部に當り、面積六百五十平方軒、チエツバ海峽によりてラムリ島と境し、土地が豊沃で農産多く且石油を産し、人口二萬五千を有し、一にマナウン島 Mannans の名がある。

チエツプ Dieppe

フランス(佛蘭西)共和國の港市で、英吉利海峡に面し、アルケー瀑布 Argues Falls に沿ひ、パリ市の北西百六十九軒に位し、造船業と魚類の大商業地に當り、もとノルマンディー

時代に重要地となり、次で英吉利に歸し要塞地となり、爾來屢英佛兩軍の戦役地と化し、又佛蘭西の數多の海人が出た。ナントの勅令以後、住民はヒューゲノットと稱せられ、一九四年英軍の爲めに焼かれた、今回の大戦中本市とニューヘヴンの交通は全く停止し、本市は同盟軍の根據地となつて居たが、一九一九年七月之を奪回した。人口が二萬四千ある。  
チエテ・ガハ(ワ)河 Tete Rio 南亞米利加洲、ブラジル(伯刺西爾)合衆國の河でグランデ河の南に位し、パラナ河の支流に當り、大西洋岸に近き海岸山脈に發し、北西に向ひて本流に會す、流程八百軒に達するも、河身の各處に急流・瀑布を有するより全く舟航の餘地なく、支流も亦甚だ少ない(パラナ河を見よ)。  
チエトロ Okrano イタリヤ(伊太利)王國の都邑で、地中海面の小漁港に當り、コセンザ市の北西三十九軒に位し人口が約二千五百ある。

チエナウブ・ガハ(ワ)河 Chenab River

英吉利領印度の河川で、カシミールとパンジャブ兩地方に屬し、源をヒマラヤ山系に發し、インダス河に會す、一にトリマブ河と呼ぶ(トリマブ河の部を見よ)。  
チエナフ・ガハ(ワ)河 Chnab or Chenab River 英吉利領印度の大河たるインダス河の支流で、一にチエナウブ河と呼ぶ(チエナウブ河の部を見よ)。

チエッコスロバキヤ・チエナフ・ガハ



チナンゴ・ガハ(ワ) 河 Chenango 人口が三萬ある。

River 亞米利加合衆國、ニューヨーク州の河川で、マヂソン及びオネーダ兩地方を境して南流し、ビンガムトンに至りてサスケハナ河に合す。長さ百六十料に達し、深き溪谷を穿ち、チナンゴ運河が上流に通じ、ウチカ市とビンガムトン市とを連ねる。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

チエネ Thiene of Tiene イタリア(伊太利)王國の都邑で、ヴィセンザ市の北々西十九料に位し、古くより知られ、人口が八千ある。

セント市の北に在る(チムケントの部を見よ)。

チムバースバーグ Chamberburg 亞米利加合衆國、ペンシルヴァニア州の都邑で、フランクリン地方に屬し、ハリ

スバーグ市の南西八十五料に位し、チムバール河谷とウエスタンメリーランド

鐵道に沿ひ、ウイロンプレスビテリヤ女子カレッジの所在地に當り、數多の寺院を有し、毛織物・靴・家具・煉乳・機械及び絹織物を産し、人口が一萬一千ある。

チエラサン山 Chela Mount 南亞米利加州西部、チリ(智利)共和國とボ

リヴィヤ共和國との境上に立つ山である(チャロ山の部を見よ)。

チエラ・デル・フエ Tierra del Fue go ミナミアメリカ(南亞米利加)州アル

ヘンチナ(亞爾然丁)共和國の最南部、マゼラン海峡の南に横はる大島で、亞

爾然丁領は約三角形を呈し、角頂が東に突出し、尖端をサン・サエロ岬 San Die

go と呼び、南方のスターケン島 Staten 島を含み、面積が二萬一千五百料、人口が

二千五百あつて、亞爾然丁國中最も人口の稀薄な地方である(フエゴ島を見よ)。

チエラノ Orano イタリア(伊太利)王國ビードモントの都邑で、ノヴァラ市の

東南東十四料に位し、人口が六千餘ある。

チエラ・プンジー Cherra Punji 英吉利領印度、アッサムの村落で、カシヒ

ル・ヒルス Khasi Hills の中、海拔千四

百八十米の高地に立ち、シロンの南西四十料に位し、世界最多の雨量を有すと稱せられ、年量一萬六千餘に達し、一八六

一年には實に二萬六千四百料に達した。毎年七月に最も多く、同月のみにて一萬餘耗に及ぶことがある。

チエラニ Cerani イタリア(伊太利)王國領シチリア(シシリ)島、カタ

ニヤ州の都邑で、ブロンテ市の西方二十

七料に位し、人口が約四千五百ある。

チエラ・C. 湖 Chelan Lake 亞米利加合衆國、ウォシントン州の湖沼で

カスケード山脈の東斜面に横はり、海拔千二四米乃至千五百米の山地之を挟み、湖形が河川の膨大せるもの、如く、北々西より南々東に長く、西經百二十度の子午線に近くコロンビヤ河に排水し、北緯四十八度の緯線によりて東西に貫かれ、氷河湖に屬し、北部伊太利及びニュージランド南島のものに類似する。



(英吉利)國イングラランドの南西部マンモ  
ースシャの河港市で、セヴァーン河の右  
岸に注ぐワイ河口の上流三軒餘、マンモ  
ース市より南方にワイ河を下ること二十  
四軒に位し、石材・石炭・鐵・木材・樹皮等  
の商取引が盛に行はれ、造船業發達す。  
此の地は潮汐現象著しく、時として潮昇  
十六米に高起し、平均高度七米を算す。

ガ河の右岸に沿ふ小都である。  
チエボクサリ Cheboksary ソヴィ  
エト聯邦、露西亞本國の都邑で、チュヴ  
シユ共和国に屬し、一にチュボクサラと  
呼ぶ(チュボクサラの部を見よ)。  
チエムケンテ Chebarkent 中央亞細  
亞、ソヴィエト聯邦領の都邑で、タシュ  
クエンタウの南に在る。

二千五百あつて、亞爾然丁國中最も人口  
の稀薄な地方である(フェゴ島を見よ)。  
チエノ Orano イタリヤ(伊太利)王  
國ビードモントの都邑で、ノヴァラ市の  
東南東十四軒に位し、人口が六千餘ある。  
チエラ Punggi Cherra Punggi 英  
吉利領印度、アッサムの村落で、カシヒ  
ル・ヒルヒル Khasi Hills の中、海拔千四  
百五十に在る。

チエリムメイ 哲里木盟 Chirim  
cheng 亞細亞洲内蒙古東部に在る  
四盟の一で、支那共和国(中華民國)に屬  
したが、最近滿州國の一部となつた、元  
來此の地はコルチン(科爾沁 Khorchin)  
六旗・ゴルラス(郭爾羅斯 Gortos)二旗・  
チャライド(札賚特 Djalaïd)一旗即ち  
三部九旗より組織せられて居たが、次第  
に發達し、滿州に屬し、今回同國の獨立  
と共に其の一部となり、行政上奉天省の  
北西部、吉林省西部、黑龍江省南部に分  
屬して居る。蒙古との境界は例然たるも  
のでなく、古來遊牧地であつたが、漢人の  
移住が次第に増加して農耕地を増し、鐵  
道すら次第に布設せられ、長春の如き今  
や滿州國の首府となり新京と改名せられ  
た、尙ほ洮南・昌圖・安廣・四平街・鄭家  
屯・通遼(白音太拉)・通江等の都邑を有  
するに至つた(各都邑の部を見よ)。

チエリヤビンスク Chelyabinsk, Che-  
habinsk or Tchelyabinsk ロシヤ  
本國の都で、オレムブルグの北東五百七  
十九軒を隔て、北はスヴェルトロフスク  
に、南西はウファに鐵道を通じ、又東方  
に至る西比利亞鐵道の基點に當り、其の  
位置がオレンブルグ州に屬し、ウラル山  
地の工業地、酒精及び製革工業が盛に  
行はれ、僞貨石をひきぐを以て知られ、  
人口が五萬九千ある。

チエリウスキン・ミサキ・岬 Chelyu-  
skin Cape アジヤ(亞細亞)洲の北部  
北氷洋沿岸に突出するタイミル半島 Tai-  
myr Peninsula の尖端で、北緯七十七  
度四十三分に位し、其の名は嘗て同地方  
の探險に従事し、夫妻其の職に殉じたる  
勇士、チエリウスキン大尉の名を永遠  
に紀念せんが爲めに命令せるもので、一  
に北東岬の名がある。

チエール Thiers フランス(佛蘭西)  
共和國ピュイ・ド・ドーム州の都邑で、上  
下兩市より成立し、下市は幽谷中に立ち  
暗黒市 Black City として知られ、奇景  
を呈し、花崗岩の丘陵、ベッセー山 M. Be-  
ssey を負ひ其の麓にデュロール河流れ、  
其の水力を利用して製紙其他の工業を營  
み、人口が一萬八千ある。

チエルヴィニヤノ Cervignano エー  
ラスラヴィヤ王國の都邑で、アドリヤ海  
に注ぐ小河オーサ河 Aussa に沿ひ、人  
口が約二千五百ある。

及び鐵物製鍊所を有し、附近より煉瓦を  
産し、人口が三千五百ある。

チエリヒ Oetlie イタリヤ(伊太利)  
王國レッツェ州の都邑で、プリンジシ市  
の西方四十三軒半に位し、葡萄酒・オリ  
ヴ・其他の果實・穀物を産し、附近に石材  
の産地を有し、人口が一萬八千ある。

チエリヒ Oetlie 伊太利王國バリー  
州の都邑で、人口が約三千ある。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國ニューヨーク州オツツ  
都邑で、アルバニー市の北西に在る(チ  
エリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國メイン州ウオシントン  
都邑で、ナラケーガス河に沿ひ、大西洋を  
距る十九軒、ウオシントンカントリー鐵  
道通じ、マチャス市の西方四十八軒に位  
し、製材業が盛で、人口が約二千ある。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

及び鐵物製鍊所を有し、附近より煉瓦を  
産し、人口が三千五百ある。

チエリヒ Oetlie イタリヤ(伊太利)  
王國レッツェ州の都邑で、プリンジシ市  
の西方四十三軒半に位し、葡萄酒・オリ  
ヴ・其他の果實・穀物を産し、附近に石材  
の産地を有し、人口が一萬八千ある。

チエリヒ Oetlie 伊太利王國バリー  
州の都邑で、人口が約三千ある。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國ニューヨーク州オツツ  
都邑で、アルバニー市の北西に在る(チ  
エリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國メイン州ウオシントン  
都邑で、ナラケーガス河に沿ひ、大西洋を  
距る十九軒、ウオシントンカントリー鐵  
道通じ、マチャス市の西方四十八軒に位  
し、製材業が盛で、人口が約二千ある。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

及び鐵物製鍊所を有し、附近より煉瓦を  
産し、人口が三千五百ある。

チエリヒ Oetlie イタリヤ(伊太利)  
王國レッツェ州の都邑で、プリンジシ市  
の西方四十三軒半に位し、葡萄酒・オリ  
ヴ・其他の果實・穀物を産し、附近に石材  
の産地を有し、人口が一萬八千ある。

チエリヒ Oetlie 伊太利王國バリー  
州の都邑で、人口が約三千ある。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國ニューヨーク州オツツ  
都邑で、アルバニー市の北西に在る(チ  
エリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國メイン州ウオシントン  
都邑で、ナラケーガス河に沿ひ、大西洋を  
距る十九軒、ウオシントンカントリー鐵  
道通じ、マチャス市の西方四十八軒に位  
し、製材業が盛で、人口が約二千ある。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

及び鐵物製鍊所を有し、附近より煉瓦を  
産し、人口が三千五百ある。

チエリヒ Oetlie イタリヤ(伊太利)  
王國レッツェ州の都邑で、プリンジシ市  
の西方四十三軒半に位し、葡萄酒・オリ  
ヴ・其他の果實・穀物を産し、附近に石材  
の産地を有し、人口が一萬八千ある。

チエリヒ Oetlie 伊太利王國バリー  
州の都邑で、人口が約三千ある。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國ニューヨーク州オツツ  
都邑で、アルバニー市の北西に在る(チ  
エリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國メイン州ウオシントン  
都邑で、ナラケーガス河に沿ひ、大西洋を  
距る十九軒、ウオシントンカントリー鐵  
道通じ、マチャス市の西方四十八軒に位  
し、製材業が盛で、人口が約二千ある。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

及び鐵物製鍊所を有し、附近より煉瓦を  
産し、人口が三千五百ある。

チエリヒ Oetlie イタリヤ(伊太利)  
王國レッツェ州の都邑で、プリンジシ市  
の西方四十三軒半に位し、葡萄酒・オリ  
ヴ・其他の果實・穀物を産し、附近に石材  
の産地を有し、人口が一萬八千ある。

チエリヒ Oetlie 伊太利王國バリー  
州の都邑で、人口が約三千ある。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國ニューヨーク州オツツ  
都邑で、アルバニー市の北西に在る(チ  
エリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國メイン州ウオシントン  
都邑で、ナラケーガス河に沿ひ、大西洋を  
距る十九軒、ウオシントンカントリー鐵  
道通じ、マチャス市の西方四十八軒に位  
し、製材業が盛で、人口が約二千ある。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

及び鐵物製鍊所を有し、附近より煉瓦を  
産し、人口が三千五百ある。

チエリヒ Oetlie イタリヤ(伊太利)  
王國レッツェ州の都邑で、プリンジシ市  
の西方四十三軒半に位し、葡萄酒・オリ  
ヴ・其他の果實・穀物を産し、附近に石材  
の産地を有し、人口が一萬八千ある。

チエリヒ Oetlie 伊太利王國バリー  
州の都邑で、人口が約三千ある。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國ニューヨーク州オツツ  
都邑で、アルバニー市の北西に在る(チ  
エリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國メイン州ウオシントン  
都邑で、ナラケーガス河に沿ひ、大西洋を  
距る十九軒、ウオシントンカントリー鐵  
道通じ、マチャス市の西方四十八軒に位  
し、製材業が盛で、人口が約二千ある。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

及び鐵物製鍊所を有し、附近より煉瓦を  
産し、人口が三千五百ある。

チエリヒ Oetlie イタリヤ(伊太利)  
王國レッツェ州の都邑で、プリンジシ市  
の西方四十三軒半に位し、葡萄酒・オリ  
ヴ・其他の果實・穀物を産し、附近に石材  
の産地を有し、人口が一萬八千ある。

チエリヒ Oetlie 伊太利王國バリー  
州の都邑で、人口が約三千ある。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國ニューヨーク州オツツ  
都邑で、アルバニー市の北西に在る(チ  
エリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國メイン州ウオシントン  
都邑で、ナラケーガス河に沿ひ、大西洋を  
距る十九軒、ウオシントンカントリー鐵  
道通じ、マチャス市の西方四十八軒に位  
し、製材業が盛で、人口が約二千ある。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

及び鐵物製鍊所を有し、附近より煉瓦を  
産し、人口が三千五百ある。

チエリヒ Oetlie イタリヤ(伊太利)  
王國レッツェ州の都邑で、プリンジシ市  
の西方四十三軒半に位し、葡萄酒・オリ  
ヴ・其他の果實・穀物を産し、附近に石材  
の産地を有し、人口が一萬八千ある。

チエリヒ Oetlie 伊太利王國バリー  
州の都邑で、人口が約三千ある。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國ニューヨーク州オツツ  
都邑で、アルバニー市の北西に在る(チ  
エリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Chery Valley 亞  
米利加合衆國メイン州ウオシントン  
都邑で、ナラケーガス河に沿ひ、大西洋を  
距る十九軒、ウオシントンカントリー鐵  
道通じ、マチャス市の西方四十八軒に位  
し、製材業が盛で、人口が約二千ある。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ・バリー Cheryvale 亞米利  
加合衆國、カンサス州、モンゴメリ  
都邑で、インデペンデンス市の東北東に  
在る(チエリヒ・バリーの部を見よ)。

チエリヒ Oetlie



し、古へはケール *Quere* とてエトルリマサチュールセツツ州に在つて、ボストン市州廳より北西五軒、ボストン市とチエルニゴフ河を隔て、相對し、南西方チエルスタウンと連り、ボストンの住宅區に當り、アメリカ合衆國海軍病院、海兵館等があり、靴・ゴム・電氣器具等を産し人口が四萬七千ある。チエルニゴフ河は南北戰爭當時兩軍第一會戰の地である。

チエルヴェンカ *Chervenka* ハンガリ

一(洪牙利)王國、バクスボトグの都邑でツォンボル市と十六軒を隔て、人口が七千六百ある。

チエルカシー *Tcherkassy or Cher-*

*Kassy* ソヴェエト聯邦、ウクライナ共和國の都邑で、キエフに屬し、ドニエプル河に沿ひ、キエフ市の南東百五十四軒に位し、精糖・煙草・酒類を産し、穀物・木材・食鹽及び金屬を取引し、人口が三萬ある。

チエルカシヤ *Tcherkassia* コーカ

サスのシルカシヤの古名である。

チエルキアラ *Cerchiara* イタリア(伊

太利)王國コセンザ州の都邑で、カストロヴェラリ州の東北東十四軒半に位し、人口が約三千ある。

チエルシー *Chelsea* 英吉利國大ブリ

テン島、イングランド(英蘭)ロンドン市の郊外地、軍隊の駐屯地に當り、テムズ河の北岸に立ち、ケンシントン市の北東に位し、人口が約七萬四千ある。

チエルシー *Chelsea* 亞米利加合衆國

大西洋岸北部、ニューイングランド地方、

チエルチエンガハ(ワ)河 *Cherchen*

支那共和國(中華民國)の西部にあるタリム(塔里木)盆地にあるタリム河の支流で、源をコンロン(崑崙)山系中のブルセワルススキー山系に發し、アルチン山脈を横斷して北東に向ひ、ヤルカンド(羊爾羌)河に合する。

チエルヂン *Tcherdyn* ソヴェエト聯

邦、露西亞本國東部、ベルムの都邑で、ベルム市の北方二百六十軒に位し、人口が四千餘ある。

チエルトナム *Cheltenham* 英吉利國

大ブリテン島、イングランド(英蘭)の西部、セヴァーン河に跨るグロースタットの都邑で、グロースタットの東北東十軒、コッツウォルド丘陵の西方河谷に三軒、コッツウォルド丘陵の西方河谷に横はり、温泉地に當り、三泉より鹽類泉が湧出し、風光亦極めて良く、男女兩カレッジを有し、人口が五萬六千ある。

チエルトナム *Cheltenham* 亞米利

加合衆國ペンシルヴァニア州モントゴメリーの都邑で、タコニー河に沿ひ、フィラデルフィヤ市の北方十三軒に位し、數多の部落より成り、フィラデルフィヤ市に當り、人口が六千餘ある。

チエルナヴダ *Cernavoda* Rumania

部ルーマニヤ(羅馬尼亞)王國第三位の都市で、ドブルチャ地方に屬し、ダニュープ河の右岸に立ち、コロール大橋を架し

チエルニフ *Tchernigov or Cherr-*

*nigov* ソヴェエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都市で、キエフ市の北々東百三十軒に位し、デスナ河畔に立ち、同名の州の首府に當り、十一世紀に成りしギリシヤ教の大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は豊沃なる黒土地を擁す

チエルチエンガハ(ワ)河 *Cherchen*

て左岸との交通に便じ、南東のステンジヤと鐵道を通ず、大戰中マッケンゼン將軍の率ゐた獨逸・ブルガリヤ軍に占領せられたる地で、人口が八萬七千ある。

チエルナウチ *Cernauti* バルカン半

島の北部に在るルーマニヤ(羅馬尼亞)王國の都市で、一にチエルナヴダと呼ぶ(チエルナヴダを見よ)。

チエルナウチ *Cernautzi* ルーマニヤ

(羅馬尼亞)共和國、ブコウイナ州の都邑で、プルト河に沿ふ。從來呼べるチエルノウイツツの新名稱である(チエルノウイツツの部を見よ)。

チエルナボダ *Cernavodda* バルカ

ン半島、ルーマニヤ(羅馬尼亞)王國の都邑である(チエルナヴダの部を見よ)。

チエルニエウ *Cherniyevo* 中央亞細

亞、サマルカンド地方に在つて、タシケント市の南方に位し、鐵道アンヂジャン支線の分岐點に當る。

チエルニエボ *Cherniyevo* 中央亞細

亞、サマルカンドの都邑で、タシケント市の南方に在る(チエルニエウの部を見よ)。

チエルニフ *Tchernigov or Cherr-*

*nigov* ソヴェエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都市で、キエフ市の北々東百三十軒に位し、デスナ河畔に立ち、同名の州の首府に當り、十一世紀に成りしギリシヤ教の大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は豊沃なる黒土地を擁す

るを以て、小麦・馬鈴薯・煙草及び亞麻等の集散地となつた、人口が四萬ある。

チエルニーヤル *Tcherny-Yar* 一に

チエルノヤルスク *Tchernoyarsk* と呼び、ソヴェエト聯邦露西亞本國の都邑で、ヴォルガ河に沿ひ、アストラハン市の北々西二百四十軒に位し、人口が五千餘ある。

チエルノウイツツ *Cernovitsa* チェッコ

位置し、數多の橋梁を架し、農産物を取引もので、決して火山の意味ではない。

チエルノエボ *Cernobila* イタリア

スロヴァキヤ王國ボヘミヤの都邑で、タボル市の東南東二十二軒に位し、人口が二千餘ある。

チエルラ・デル・フ *Hierredal* Rumania

部ルーマニヤ(羅馬尼亞)王國第三位の都市で、ドブルチャ地方に屬し、ダニュープ河の右岸に立ち、コロール大橋を架し

チエルノヤルスク *Tchernoyarsk*

呼び、ソヴェエト聯邦露西亞本國の都邑で、ヴォルガ河に沿ひ、アストラハン市の北々西二百四十軒に位し、人口が五千餘ある。



人口が約三千ある。

五千ある。

多の部落より成り、フィラデルフヤ・を

チヘルニフ Fehernigov or Cherrigov ソヴィエト聯邦の一たるウクライ

**チエルシー Chelsea** 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)ロンドン市の郊外地、軍隊の駐屯地に當り、テムズ河の北岸に立ち、ケンシントン市の北東に位し、人口が約七萬四千ある。

**チエルシー Chelsea** 亞米利加合衆國大西洋岸北部、ニューイングランド地方、

**チエルタルド Cerdado** イタリア(伊太利)王国、フロレンス州の都邑で、エルサレムを瞰下する高地(百三十九米)に立ち、フロレンス市の南西鐵路五十六軒の地に立ち、人口一萬四百を有し、ボカチヨ王の死地に當り、其の宮殿が尙ほ存し、知事官邸に使用せられつゝある。

**チエルナヴオダ Chernavoda** バルカン半島の北部ルーマニア(羅馬尼亞)王國第三位の都府に當り、十一世紀に成りしギリシアの大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は肥沃なる黒土地を擁す。

**チエルニフ Fehernigov or Cherrigov** ソヴィエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都府で、キエフ市の北々東部の首府に當り、十三世紀に成りしギリシアの大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は肥沃なる黒土地を擁す。

るを以て、小麦・馬鈴薯・煙草及び亞麻等の集散地となつた、人口が四萬ある。

**チエルノウイツツ Chernovits** チェッコ位置し、數多の橋梁を架し、農産物を取引するもので、決して火山の意味ではない。

**チエルラ・デル・フ・ヒエラダル En elgo** 火の陸 Sand of fire を意味し、南亞米利加洲南端、南緯五十二度四十分乃至五十六度、西經六十五度乃至七十二度十分に位し、主島の外數多の屬島を有し、其の面積五千八百六十六方尺、人口一千を有し、主島の西經六十八度半の子午線以東は亞爾然丁國、以南は智利國の有に屬す、亞爾然丁領は屈曲は少ないが智利國領は沿岸線が著しく出入し、北部はマジラン海峡によりて主陸と境し、南部に數多の小島横はり、南方ホーン岬に達し、西はマジラン海峡以南の小島嶼を含み、陸上は山岳峙ち、西岸のタルウィン山 Darwin Mt. (11,150米)のサルミエント峰 Sarmiente (11,336米)が最も著しく、氣候は一月の夏は十一度餘、冬の七月は〇下一度を示し、雨量甚だ多く、島中金・木材及羊を産し、海よりは海獣を獲べく、住民はフェエ族である。智利領の主邑はプンタ・アレナス Punta Arenas である、マジラン海峡の北側の大陸部に屬し、亞爾然丁國側の主邑は南岸のウシヤイヤ Ushaja である。

**チエルニフ Fehernigov or Cherrigov** ソヴィエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都府で、キエフ市の北々東部の首府に當り、十三世紀に成りしギリシアの大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は肥沃なる黒土地を擁す。

**チエルニールヤル Tcherny-Yar** 一にチエルノヤルスク Tchernoyarsk と呼び、ソヴィエト聯邦露西亞本國の都邑で、ヴォルガ河に沿ひ、アストラハン市の北々西二百四十軒に位し、人口が五千餘ある。

**チエルノビゴ Chernobila** イタリア(伊太利)王国北部の都邑で、コモ湖の南西端に近く、コモ市と四軒を隔つ。

**チエルラ・デル・フ・ヒエラダル En elgo** 火の陸 Sand of fire を意味し、南亞米利加洲南端、南緯五十二度四十分乃至五十六度、西經六十五度乃至七十二度十分に位し、主島の外數多の屬島を有し、其の面積五千八百六十六方尺、人口一千を有し、主島の西經六十八度半の子午線以東は亞爾然丁國、以南は智利國の有に屬す、亞爾然丁領は屈曲は少ないが智利國領は沿岸線が著しく出入し、北部はマジラン海峡によりて主陸と境し、南部に數多の小島横はり、南方ホーン岬に達し、西はマジラン海峡以南の小島嶼を含み、陸上は山岳峙ち、西岸のタルウィン山 Darwin Mt. (11,150米)のサルミエント峰 Sarmiente (11,336米)が最も著しく、氣候は一月の夏は十一度餘、冬の七月は〇下一度を示し、雨量甚だ多く、島中金・木材及羊を産し、海よりは海獣を獲べく、住民はフェエ族である。智利領の主邑はプンタ・アレナス Punta Arenas である、マジラン海峡の北側の大陸部に屬し、亞爾然丁國側の主邑は南岸のウシヤイヤ Ushaja である。

**チエルニフ Fehernigov or Cherrigov** ソヴィエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都府で、キエフ市の北々東部の首府に當り、十三世紀に成りしギリシアの大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は肥沃なる黒土地を擁す。

**チエルヌスコ・スール・ナヴィリヨ Chernysko sur Navilio** イタリア(伊太利)王国の都邑で、ミラン市の北東十一軒に位し、マルテサナ運河に沿ひ、人口が三千餘ある。

**チエルビニャノ Cervignano** ユーゴスラヴィヤ王国の都邑で、アドリア海に注ぐオーサ河に沿ふ(チエルヴィニャノの部を見よ)。

**チエルレク・ガハ(ワ)河 Tscherek River** 西亞細亞コーカサス(高加索)のテレク河 Terek R. の支流である(テレク河の部を見よ)。

**チエルニフ Fehernigov or Cherrigov** ソヴィエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都府で、キエフ市の北々東部の首府に當り、十三世紀に成りしギリシアの大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は肥沃なる黒土地を擁す。

**チエルヌスコ・スール・ナヴィリヨ Chernysko sur Navilio** イタリア(伊太利)王国の都邑で、ミラン市の北東十一軒に位し、マルテサナ運河に沿ひ、人口が三千餘ある。

**チエルビニャノ Cervignano** ユーゴスラヴィヤ王国の都邑で、アドリア海に注ぐオーサ河に沿ふ(チエルヴィニャノの部を見よ)。

**チエルレク・ガハ(ワ)河 Tscherek River** 西亞細亞コーカサス(高加索)のテレク河 Terek R. の支流である(テレク河の部を見よ)。

**チエルニフ Fehernigov or Cherrigov** ソヴィエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都府で、キエフ市の北々東部の首府に當り、十三世紀に成りしギリシアの大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は肥沃なる黒土地を擁す。

**チエルノウイツツ Chernovits or Chernavits** ルーマニア(羅馬尼亞)王國プロヴィナ州の都邑で、北部の國境に近きブルト河に近くレンベルヒ市の南東二百三十五軒に位し、獨逸人・羅馬尼亞人・ルーマニア人・ユダヤ人等居住するより、家は同教・ビザンチン・ゴジック各様式を有し、寺院・大學・博物館等存し、木材・酒類・機械等を産し、家畜・穀物等を取引す、世界大戰に際し、露軍と獨逸軍との激戦地に當り、著しく荒廢するに至つたが、現今人口が十一萬人ある。

**チエルベトリ Carvetri** イタリア(伊太利)王国ローマ州の都邑で、ローマ市の北西に在る(チエルヴィトリの部を見よ)。

**チエルレク・ガハ(ワ)河 Tscherek River** 西亞細亞コーカサス(高加索)のテレク河 Terek R. の支流である(テレク河の部を見よ)。

**チエルニフ Fehernigov or Cherrigov** ソヴィエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都府で、キエフ市の北々東部の首府に當り、十三世紀に成りしギリシアの大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は肥沃なる黒土地を擁す。

**チエルベトリ Carvetri** イタリア(伊太利)王国ローマ州の都邑で、ローマ市の北西に在る(チエルヴィトリの部を見よ)。

**チエルベトリ Carvetri** イタリア(伊太利)王国ローマ州の都邑で、ローマ市の北西に在る(チエルヴィトリの部を見よ)。

**チエルレク・ガハ(ワ)河 Tscherek River** 西亞細亞コーカサス(高加索)のテレク河 Terek R. の支流である(テレク河の部を見よ)。

**チエルニフ Fehernigov or Cherrigov** ソヴィエト聯邦の一たるウクライナ共和國の都府で、キエフ市の北々東部の首府に當り、十三世紀に成りしギリシアの大寺院及びタルノフスキー博物館を有し、附近は肥沃なる黒土地を擁す。

チエルニールヤル―チエロキ



國アイオワ州チエロキーの首府で、小シ  
オー河とアイオワ・セントラル鐵道に沿  
ひ、シオー・シチーの東北東九十五軒に位  
し、工業市として知られ、鑛泉湧出し、  
州立病院の所在地に當り、人口が約四千  
ある。

チエンガルバト Chengahpat or Chi-

engapat 印度半島の東岸ベンゴール灣  
に横はるマドラス省の都邑で、同名の地  
方の首府に當り、マドラス市の南西鐵路  
五十八軒に位し、十六世紀に於ける要塞  
地で、十七八世紀には植民地戰の行はれ  
た地であるが、現今は單に鐵道驛たるに  
過ぎない。

チエンストロフ Ozenstochova

ボド  
ランド(波蘭)共和國ピオトルコウ州の都  
邑で、ワルテ河に沿ひ、ピオトルコウ市  
の南西八十軒に在る巡禮參拜地に當り、  
綿布・紙・衣服等を産し、人口が十一萬五  
千あつて、猶太人が多い。本地は一にチ  
エストコウスとも呼ぶ。

チエンテリペ Centuripe

イタリヤ  
(伊太利)王國、シチリヤ(シシリ)島カ  
タニヤの都邑で、海拔七百八十七米の高  
地に立ち、カタニヤ市の北西、鐵路四十八  
軒に位し、古へのチエントルビ市に Cava-

teau ヲレー(馬來) 群島南部に横はる  
ジャバ島 Java 東部の高原で、チエン  
火山(チエン火山を見よ) 附近一帯を合  
み、小火山甚だ多く、土地が豊沃で瓜哇最  
高の村落が是に發達し、且有名なる煙草  
の産地に屬して居るが、又火山の火口よ  
り熔岩を流し、之が爲めに熱湖を湛え、硫  
氣孔・熱泉・水蒸氣孔等が各處に分布し、  
壯絶他に比すべきものがない。其の一部  
にパカラバン Pakaraman or Upas と  
呼ぶ地があるが、之は兩河谷間の陥没地  
に當り、死の谷 Valley of Death とも  
稱し、此處に一の炭酸氣孔存し、生物が  
悉く窒息死滅するより此の名が與へられ  
た、本邦の地獄谷の類である。

チエン・コウゲン 高原 Dieng Pia-

ラント(波蘭)共和國ピオトルコウ州の都  
邑で、ワルテ河に沿ひ、ピオトルコウ市  
の南西八十軒に在る巡禮參拜地に當り、  
綿布・紙・衣服等を産し、人口が十一萬五  
千あつて、猶太人が多い。本地は一にチ  
エストコウスとも呼ぶ。

チエンストロフ Ozenstochova

ボド  
ランド(波蘭)共和國ピオトルコウ州の都  
邑で、ワルテ河に沿ひ、ピオトルコウ市  
の南西八十軒に在る巡禮參拜地に當り、  
綿布・紙・衣服等を産し、人口が十一萬五  
千あつて、猶太人が多い。本地は一にチ  
エストコウスとも呼ぶ。

チエンテリペ Centuripe

イタリヤ  
(伊太利)王國、シチリヤ(シシリ)島カ  
タニヤの都邑で、海拔七百八十七米の高  
地に立ち、カタニヤ市の北西、鐵路四十八  
軒に位し、古へのチエントルビ市に Cava-

teau ヲレー(馬來) 群島南部に横はる  
ジャバ島 Java 東部の高原で、チエン  
火山(チエン火山を見よ) 附近一帯を合  
み、小火山甚だ多く、土地が豊沃で瓜哇最  
高の村落が是に發達し、且有名なる煙草  
の産地に屬して居るが、又火山の火口よ  
り熔岩を流し、之が爲めに熱湖を湛え、硫  
氣孔・熱泉・水蒸氣孔等が各處に分布し、  
壯絶他に比すべきものがない。其の一部  
にパカラバン Pakaraman or Upas と  
呼ぶ地があるが、之は兩河谷間の陥没地  
に當り、死の谷 Valley of Death とも  
稱し、此處に一の炭酸氣孔存し、生物が  
悉く窒息死滅するより此の名が與へられ  
た、本邦の地獄谷の類である。

チエン・サン 山 Dieng Mount

チオゲ・ガハ(ワ) 河 Tjoga River

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チカサワ・ガハ(ワ) 河 Chikasawa

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho

チク・コ 湖 Chiku Cho







互る河川で、西方に在るエウフラト河と  
双子河をなし、小亞細亞のアルメニヤ高  
原中、ムラド河の南方山地との分水嶺な  
るアルメニヤタウルス山脈の南側に發す  
る數多の河水を集め、ヂャルベリル平野  
に出で東流するシャト河を水源となし、  
同平野を東流し、東より均しく同平野を  
過ぐるボータン河 B. Jiban Sur or Shat  
即ちシャト河と會し、チグリス河となり  
てメソポタミヤ地方に入り、南東に向  
ひ、バグダードに至りて、ジャララ河  
R. Jalia と合し、エウフラト河に近づ  
き再び遠ざかり、クルナに至りて相會し、  
シャト・エル・アラブ河となり、ベルシヤ  
灣に注ぎ、長さが千八百六十軒ある。

チーグレル・サン・山 Tigre Mount

中央亞米利加、ホンヂュラス共和國のフ  
ンセカ火山灣頭に立つ火山で、高さが  
八〇三米に達する。

チーグレル・サン・島 Tigre or Ama-  
pala Island 中央亞米利加、ホンヂュラ

ス共和国の北方、カリブ海の一支部  
セカ灣内に横はる小火山島で、アマバラ  
村落あるより、一にアマバラ島と呼ぶ。  
チゲヘルトカハ(ワ)河 Tighelhart  
Wady 亞弗利加洲、サハラの涸川で、  
アハガル高原に發し、ウエッド・サウラ  
河 Wadi Saura に會する。

チーゲンハイム Ziegenhain ドイ

ツ(獨逸)聯邦、プロシヤ(普魯西)共和國  
ヘッセン州の都邑で、シュワルム河  
に沿ひ、マルブル市の東北東三十七軒  
に位し、古要塞に當り、七年戦役に知ら  
れ、一八〇七年武備を解除した、人口が  
約二千ある。

チーゲンハルス Ziegenhals ドイツ

(獨逸)聯邦、プロシヤ(普魯西)共和國シ  
レジャの都邑で、オッペル市の南西五  
十五軒に位し、織物・手袋及び紙器等を  
産し、人口が八千餘ある。

チーゲンホフ Tiegenhof バルト海

に沿ふダンチヒ自由市に屬し、ダンチヒ  
港の東南東に當り、フリッシエ湖に近  
く鐵道・水運の便よく、人口が三千ある。  
チーコチコ 亞米利加合衆國、カリ

チーコチコ Chico 南亞米利加洲、ガラバゴ

ス群島の首府で、同群島中のサン・クリス  
トバル島に在る(ガラバゴス島を見よ)。  
チコア Chioa アフリカ(亞弗利加)洲  
サハラ沙漠内チャード湖の南方四十二軒  
に在る都邑で、もとボルヌー Bornu の  
土人國を形成せし部分で、ドイツのチャ  
ードジェレンデル Tschadseeänder と  
呼ばれ、現今英吉利領ニジェリヤに屬す。  
チーコガハ(ワ)河 Chiko River  
亞細亞洲北部、シベリヤ(西比利亞)のト  
ランスバイカリヤに在る河川で、ヤプロ  
ノイ山脈上に峙つソコンド山の北斜面に  
發源して北に向ひ、二百七十四軒間流走  
してセレンガ河に注ぐ。

チコピー Chiopee 亞米利加合衆國

大西洋岸北部ニューイングランド地方、  
マサチューセツ州に在つて、スプリン  
グフィールドの北方、鐵路六軒半、チコ  
ピー河がコネチカット河に注ぐ河口の左  
岸に立ち、綿布・自動車・機械・銃砲・刃物  
等を産し、人口が四萬二千ある。  
チコールガハ(ワ)河 Chioal River  
チジ・タムジュルト・サン 山 Tishit Or

チーグレル・サン・山 Tigre Mount

五百八十軒に及ぶ、  
チーグレル・サン・山 Tigre Mount  
中央亞米利加、ホンヂュラス共和國のフ  
ンセカ火山灣頭に立つ火山で、高さが  
八〇三米に達する。

チーグレル・サン・島 Tigre or Ama-  
pala Island 中央亞米利加、ホンヂュラ

-11 187 34 533" data-label="Text">

ス共和国の北方、カリブ海の一支部  
セカ灣内に横はる小火山島で、アマバラ  
村落あるより、一にアマバラ島と呼ぶ。  
チゲヘルトカハ(ワ)河 Tighelhart  
Wady 亞弗利加洲、サハラの涸川で、  
アハガル高原に發し、ウエッド・サウラ  
河 Wadi Saura に會する。

チーグレル・サン・山 Tigre Mount  
中央亞米利加、ホンヂュラス共和國のフ  
ンセカ火山灣頭に立つ火山で、高さが  
八〇三米に達する。

チーグレル・サン・島 Tigre or Ama-  
pala Island 中央亞米利加、ホンヂュラ

ス共和国の北方、カリブ海の一支部  
セカ灣内に横はる小火山島で、アマバラ  
村落あるより、一にアマバラ島と呼ぶ。  
チゲヘルトカハ(ワ)河 Tighelhart  
Wady 亞弗利加洲、サハラの涸川で、  
アハガル高原に發し、ウエッド・サウラ  
河 Wadi Saura に會する。

チーゲンハイム Ziegenhain ドイ

ツ(獨逸)聯邦、プロシヤ(普魯西)共和國  
ヘッセン州の都邑で、シュワルム河  
に沿ひ、マルブル市の東北東三十七軒  
に位し、古要塞に當り、七年戦役に知ら  
れ、一八〇七年武備を解除した、人口が  
約二千ある。

チーゲンハルス Ziegenhals ドイツ

(獨逸)聯邦、プロシヤ(普魯西)共和國シ  
レジャの都邑で、オッペル市の南西五  
十五軒に位し、織物・手袋及び紙器等を  
産し、人口が八千餘ある。

チーゲンホフ Tiegenhof バルト海

に沿ふダンチヒ自由市に屬し、ダンチヒ  
港の東南東に當り、フリッシエ湖に近  
く鐵道・水運の便よく、人口が三千ある。  
チーコチコ 亞米利加合衆國、カリ

チーコチコ Chico 南亞米利加洲、ガラバゴ

ス群島の首府で、同群島中のサン・クリス  
トバル島に在る(ガラバゴス島を見よ)。  
チコア Chioa アフリカ(亞弗利加)洲  
サハラ沙漠内チャード湖の南方四十二軒  
に在る都邑で、もとボルヌー Bornu の  
土人國を形成せし部分で、ドイツのチャ  
ードジェレンデル Tschadseeänder と  
呼ばれ、現今英吉利領ニジェリヤに屬す。  
チーコガハ(ワ)河 Chiko River  
亞細亞洲北部、シベリヤ(西比利亞)のト  
ランスバイカリヤに在る河川で、ヤプロ  
ノイ山脈上に峙つソコンド山の北斜面に  
發源して北に向ひ、二百七十四軒間流走  
してセレンガ河に注ぐ。

チコピー Chiopee 亞米利加合衆國

大西洋岸北部ニューイングランド地方、  
マサチューセツ州に在つて、スプリン  
グフィールドの北方、鐵路六軒半、チコ  
ピー河がコネチカット河に注ぐ河口の左  
岸に立ち、綿布・自動車・機械・銃砲・刃物  
等を産し、人口が四萬二千ある。  
チコールガハ(ワ)河 Chioal River  
チジ・タムジュルト・サン 山 Tishit Or

チーグレル・サン・山 Tigre Mount

五百八十軒に及ぶ、  
チーグレル・サン・山 Tigre Mount  
中央亞米利加、ホンヂュラス共和國のフ  
ンセカ火山灣頭に立つ火山で、高さが  
八〇三米に達する。

チーグレル・サン・島 Tigre or Ama-  
pala Island 中央亞米利加、ホンヂュラ

-11 537 106 883" data-label="Text">

ス共和国の北方、カリブ海の一支部  
セカ灣内に横はる小火山島で、アマバラ  
村落あるより、一にアマバラ島と呼ぶ。  
チゲヘルトカハ(ワ)河 Tighelhart  
Wady 亞弗利加洲、サハラの涸川で、  
アハガル高原に發し、ウエッド・サウラ  
河 Wadi Saura に會する。



近く、人口が六千ある。

**チーグレイ・ガハ**(ワ)河 **Tigre or**

一に **Pequeto River** ペケニヤ河と呼

び、南亞米利加洲西部、エクワドル共和国

の河川で、同國の東コーデレラ山脈の東

側に發して東南東流し、ペルー(秘露)共

和國に入り、アマゾン河に合し、長さが

十五軒に位し、織物・手袋及び紙器等を

産し、人口が八千餘ある。

**チーゲンホフ** **Tiegenhof** バルト海

に沿ふダンチヒ自由市に屬し、ダンチヒ

港の東南東に當り、フリッシエス湖に近

く鐵道・水運の便よく、人口が三千ある。

**チーコ** **Chico** 亞米利加合衆國、カリ

**チコビー** **Chicopee** 亞米利加合衆國

大西洋岸北部ニューイングランド地方、

マサチューセツ州に在つて、スプリン

グフィールドの北方、鐵路六軒半、チコ

ビー河がコネチカット河に注ぐ河口の左

岸に立ち、綿布・自動車・機械・銃砲・刃物

等を産し、人口が四萬二千ある。

**チゴール・ガハ**(ワ)河 **Digout River**

チン・タムジルト・サン 山 **Tsai Tsai**

て主島と隔離し、海拔七百六十米乃至九

百米に達し、石材・石炭を産し、水産多く、

南岸のゴドヘヴン **Godhaven** が主港で

ある。島の面積は七千七百八十三方尺に

及ぶ。

**チスコ・ワン** 灣 **Disko Bay** 北亞

米利加洲北東部、グリーンランド(綠蘭)

島の西岸に在る海峡で、北方にチスコ島

が横はる。

**チステッド** **Ensted** デンマーク(丁

抹)王國の港市で、ユトランド半島の北

西部に位し、リム峡灣に沿ひ、ニユケー

ピン市 **Nyckebing** の北々西十九軒に位

し、鐵道によりてアルボルグ市と連絡

が七千ある。

**チースト** **Diest** ベルギー(白耳義王

國ブラバント州の都邑で、デメル河に沿

ひ、ルーヴァン市 **Louvain** の北東、鐵路三

十二軒に位し、サン・サルビス寺其他

の建物を有し、古要塞の遺跡存し、鐵道

の接續點に當り、酒類を産出す。此地は

一九一四年八月獨白兩軍の戦地に當

り、市街は一九一八年迄獨軍に占領せら

れて居たが、同年十一月休戦後白耳義に

復歸した。人口が九千ある。

**チストポール** **Fehistpol** ソヴィエト

聯邦、露西亞本國の都邑で、カザン市の

南東百二十軒に位し、カマ河に沿ひ、人

口が二萬餘ある。

**チスナ** **Dizna** ポーランド(波蘭)共

和國の北東部、ヴァルナの北東境に位す

る小都邑で、同名の河が本流ドヴィナ河

に注ぐ地に位し、古城址を有し、人口が

七千ある。此の地はもと露西亞に屬して

居たが、大戦の結果、波蘭國の獨立する

と共に其の領土となつた。

**チズフル** **Dizful** 亞細亞洲の西部

ペルシャ(波斯)王國アラビスタ州の都

邑で、チズ河に沿ひ、シュースター市の

北西五十一軒半に位し、回教寺院を有し、

二十二眼鏡の橋がチズ河に架る。藍の取

引が盛で、州の大市場に當り、人口が二

萬五千ある。

**チスマル・タツチ** 濕地 **Dismal Swa**

mp. アメリカ(亞米利加)合衆國の大沼

澤地で、主としてヴァージニヤ州と北カ

ロライナ州に横はり、長さ五十軒、幅十

六軒に及び、もと五千方軒の大面積を有

して居たが、次第に縮少するに至つた。

其の中央部にはドラムモンド湖 **Drum-**

**mond** が横はり、其他の部分には水草生

じ、或は樹木が樹立する。運河がアルベ

マルより此の地を過ぎ、チエサビーク

灣に通過し、舟運に便する。

**チズワード** **Dixward** ベルギー(白

耳義)王國、西フランダーズ州の都邑で、

アイゼル河に沿ひ、一にチミュードと呼

ぶ(チミュードの部を見よ)。

**チズルハースト** **Chislehurst** 英吉

利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)

ケントの都邑で、一にチゼルハルストと

呼ぶ。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

チエーシート・センチ・チズルハースト

**Injurt Mount** 亞弗利加洲北部、モロ

コ王国大アトラス山脈の一支で、單に

タムジルト山脈と呼ぶ(タムジルト

山脈の部を見よ)。

**チーシート・センチ** 泉地 **Tisht Oa**

sis 亞弗利加洲北部、サハラ沙漠の西

部中、北緯十九度十分、西經八度四十分

に位し、地中海岸とスダンとの間の隙商

宿泊地に當り、イギル **Ighil** のシムブカ

湖 **Shekha** より多量の食鹽を供給す

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和

國(中華民國)安徽省の都邑で、安慶の北

東五十軒、揚子江の右岸に位し、一に貴

池と呼び、附近一帯は製茶業が盛であ

る。

**チシユウ** 池州 **Chi-chou** 支那共和



呼ぶ(チゼルハルストの部を見よ)。  
**チース・ワン** Dease Bay 北亞  
米利加洲カナダ(加奈陀)のグレート・ベ  
ーヤ湖 Great Bear Lake の北東支溝の  
名である。

**チセブン・エン・ジヤ** Deception  
Island 南氷洋上南シエットランドに近  
き南緯六十二度五十五分の地に位し、火  
山島で、周囲八軒の深き湖沼を有し、温  
泉が湧出する。

**チゼルハースト** Chiselmhurst or Chi  
selhurst 英吉利國大ブリテン島、イン  
グランド(英蘭)ケントの都邑で、ロンド  
ン市の南東十八軒の高地に立ち、眺望宜  
しく、ウイリヤムカムデンの居住せし處  
で、一六二三年頃死亡し、其の居住は後  
世ナポレオン三世の有となつた。又嘗て  
チズルハースト王も居住し、之が市名と  
なつた。市にチヨーク洞窟存し、人口が  
八千七百ある。

**チーセンチス** Disants スイス(瑞  
西)共和國グリゾン州の都邑で、ヘンテ  
ルライン河と中央ライン河との會合點に  
近く、海拔千五百五十米の地に立ち、コワ  
ル市の西南西五十五軒に位し、ベネヂク  
チン僧院が特に著しいが、一七九九年フ  
ランスの爲めに破壊せられた。附近一帯の  
アルプスの風色が壯觀を呈す。人口は千  
五百に過ぎない。  
**チゾン** Disson バルギー(白耳義)王  
國リエージュ地方の村落で、ヴェルヴィ  
で、バングワール湖 Bangweulu L. の

エール市の北々西三軒の地に位し、毛織  
物の製造を以て著はれ、人口が一萬三千  
ある。

**チタ** Chita シベリヤ(西比利亚)の  
外バイカル地方の都邑で、カリムスカヤ  
の西に位し、チタ河の左岸に立ち、他の  
諸市と異り建設極めて古く、一八二五年  
十二月革命による國事犯人を此地に追放  
したるに始まり、一八五一年、外バイカ  
ル州を設置し、此の地を其の主都と定め  
たるより今日あるに至つた。人口六萬に  
達す。今後新鐵道が此の地に起り、ヤク  
ーツクを経てベリリング海に達する豫定  
である。

**チタガル** Titegarh 英吉利領印度ベ  
ンゴール省の都邑で、ガンジス河の分流  
フーグリー河に沿ひ、三角洲上に立ち、カ  
ルカタ市と二十三軒を隔て、紙及び麻  
の工業が盛で、工夫三萬人を使用すると  
稱せらる。人口が四萬五千ある。

**チダホルム** Tidaholm スウェーデ  
ン(瑞典)王國のイェンケーピング市の北方  
ウニツテル湖の西に位し、小都邑なるも  
隣寸工業の中心地に當り、盛況イェン  
ケーピング市に次ぐ。

**チータム** Cheetham 英吉利國イン  
グランド(英蘭)マンチェスター市北部の  
郊外地で、人口が四萬三千四百ある。

**チタムボ** Chitambo 亞非利加洲の南  
部に在るチエスタターとの間に延長三軒  
の運河を通ず。人口が一萬餘ある。

南東十六軒(汎濫時の水位)に位し、有  
名なる探検家兼宗教家リヴィングストー  
ン氏 Livingstone が此の地に永眠せられ  
た。樹下に同氏の記念碑が立つ。

**チタル・サン** Tidal Mount マ  
レー(馬來)群島の南部に横はるジャヴァ  
島 Java の中央に位し、デエン火山に  
隣り、高さは五百米に過ぎないが、土人  
の尊信すること深く、之を地球に固着す  
る釘 "nail" と呼んで居る。

**チタルドルグ** Chitadrug 英吉利  
領印度マイクールのチタルドルグ地方  
名と都邑名で、數多の丘陵が東西に通じ、  
高さ一千米乃至一千二百米に及ぶ高原  
で、裸出する處多く、棉花、鐵、麻を産し、  
面積一万七百七十四方軒、人口五十六萬  
四千に達し、都邑の人口は六千ある。

**チタンボ** Chitambo 亞非利加洲南部、  
ノース・ローデシヤのバングウェウル湖  
の南東に在る土地で、リヴィングストンの  
逝去の地である(チタムボの部を見よ)。

**チチエスター** Chichester 英吉利國  
大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南  
部に在る西サセックス州の都市で、イギ  
リス海峡とダウンズとの間の平野に立ち  
ロンドンとの南西百十二軒、周囲二軒半の  
城廓を繞らし、古寺院の尖塔高く聳え、  
舊城存し、生牛、穀物、石炭等を取引し、  
酒類・タンニン・毛織物を産し、本市と南  
西に在るチエスタターとの間に延長三軒

の運河を通ず。人口が一萬餘ある。

**チチカカ** オーリヤガス・ポンチ 盆地  
Titicaca-Aullagas Basin 單にチチ  
カカ高原或はチチカ盆地と呼び、秘露・ボ  
リヴィヤ兩國に互り、東コーデレラ山脈  
と西コーデレラ山脈の間に横はり、南緯  
十五度乃至同二十二度に及び、東西百三  
十軒、南北八百三十軒に及ぶ廣大の地域  
を占め、チチカカ・プーボー其他の湖沼、  
横はる内地流域の地である(チチカカ高  
原を見よ)。

**チチカカ湖** Titicaca Lake (南  
亞米利加)洲西部に在るペルー(秘露)國  
とボリヴィヤ國とに跨り、南米最大の湖  
沼で、東西兩山地間の高原盆地に位し、北  
東より南西に向ひ、長さ二百九軒幅最大  
五十六軒、面積八千二百九十六軒、海拔  
三千八百二十米に位し、湖岸の屈曲著し  
く、半島・入江に富み、西より突出せるコ  
パカバナ半島 Copacabana 最も著れ、  
兩國に分屬し、湖中大小二十五箇の島嶼  
を擁し、沿岸と共にインカ時代の古跡多  
く、最大の太陽島はインカ帝國宮殿の廢  
址を有し、太陰島はインカ土人が月を拜  
せし處で、島中數多の遺跡を有す。湖上の  
交通には古來草舟を使用す。蓋し木材な  
きより湖邊に生ずる一種の蒲(土人名ト  
トラ)を乾燥せしめて蓆を造り、之を圓柱  
形に巻き固め、數軒柱を束ねて筏狀の船  
となし、其の水を吸收して没する迄の數  
時間、湖上及びデサグワデロ河を航行す。  
近時は此の外數百艘の汽船を湖上に浮べ

て居る。本湖はもと廣大なる地域を占め  
其の水位も今より數百米の高さを有し、  
東方アマゾン河支流に排水せしものゝ如  
く、又一時は西方モリエントに達して太  
平洋に注ぎしことありとも稱せられる。  
然れ共、現今はデサグワデロ河によりて  
南方プーボー河に注ぐ。

ジエリヤ最南部の泉地で、北緯二十七度、等の都邑がある(各都市の部を見よ)。  
東經二度に立ち、ツアット Tuat の東方  
に位し、アカカ Akabi:アオウフ Aou-  
f.チト Tit:イン・サラ In Sah 各  
部落を含み、イン・サラが首邑で、チン  
ブクツ・モガドール・タンジール・アルジ  
エー及びトリポリより殆ど等距離に位し  
チエ河に限られ、約三角形を畫き、高度  
は哈爾賓其他と舟運及び鐵道の便を有し  
交通が極めて便利である。此地は康熙帝  
の世に北滿洲防備の爲め建設せられ、城  
地で、内外二城より成り、内城は煉瓦壁  
を繞らし、六門を設けて出入に便し、城  
内に省長・督軍・龍江道尹及び龍江縣各公  
署を有し、第二十九師團が營成し、北滿  
洲軍事の大中心地に當るのみならず、人



近く、海拔千五百米の地に立ち、コッ  
ル市の西南西五十五軒に位し、ベネチク  
ン僧院が特に著しいが、一七九九年フ  
ランスの爲めに破壊せられた。附近一帯の  
アルプスの風色が壯觀を呈す。人口は千  
五百に過ぎない。

**チゾン** **Dison** ベルギー(白耳義)王  
國リネージュ地方の村落で、ヴェルヴィ  
で、バングワール湖 **Bangwenlu L.** の

隣工工業の中心地に當り、盛況イエン  
ケーピン市に次ぐ。  
**チータム** **Chieatham** 英吉利國イン  
グランド(英蘭)マンチエスタ市北部の  
郊外地で、人口が四萬三千四百ある。

**チタムボ** **Chitambob** 亞非利加洲の南  
部に在るノース・ローデシア地方の土地  
で、バングワール湖 **Bangwenlu L.** の

ナフリテン島 イングランド(英蘭)の南  
部に在る西サセックス州の都市で、イギ  
リス海峡とダウンスとの間の平野に立ち  
ロンドンの南西百二十軒、周圍二軒半の  
城廓を繞らし、古寺院の尖塔高く聳え、  
舊城存し、生牛・穀物・石炭等を取引し、  
酒類・タンニン・毛織物を産し、本市と南  
西に在るチエスタ市との間に延長三軒  
の運河を通ず。人口が一萬餘ある。

は哈爾濱其他と舟運及び鐵道の便を有し  
交通が極めて便利である。此地は康熙帝  
の世に北滿洲防備の爲め建設せられた城  
地で、内外二城より成り、内城は煉瓦壁  
を繞らし、六門を設けて出入に便し、城  
内に省長・督軍・龍江道尹及び龍江縣各公  
署を有し、第二十九師團が管成し、北滿  
洲軍事の中心地に當るのみならず、人  
口七萬に達し、商工業發達し、物資の大  
集散地として毎年秋季大市が開かれ、我  
が領事館がある。滿洲國獨立當初、我が  
軍が馬占山軍を撃退して之を占領せし土  
地として知られた。

て居る。本湖はもと廣大なる地域を占め  
其の水位も今より數百米の高さを有し、  
東方アマゾン河支流に排水せしもの、如  
く、又一時は西方モリエントに達して太  
平洋に注ぎしことありとも稱せられる。  
然れ共、現今はデサグワデロ河によりて  
南方プーポー河に注ぐ。

**チチカカ・コウゲン** 高原 **Titicaca**

**Plateau** 南亞米利加洲のペルー(秘露)

ボリヴィヤ兩國に跨れる高原で、南緯十  
五度より南の方、同二十二度に互り、南  
北八百三十軒に及び、東は東コーデレラ  
山脈に、西は西コーデレラ山脈によりて  
境せられ、廣大なる盆地に當り、チチカ  
カ湖、プーポー湖 **Poopo**、コイバサ沼澤  
**Coipasa** 等が横はり、南緯二十一度に於  
てサリナス山脈 **Salinus Mts.** が東西に  
横はり、自ら二區に分れ、北區にはチチ  
カカ湖と之に連るプーポー湖及びコイバ  
サ沼澤が横はり、數多の河川が此等の湖  
沼に注ぎ、南區には鹽分に富める高原が  
あつて、ウニニ鹹盆地 **Uyuni** の領域に  
屬し、南方と北方プーポー湖とより河川  
を容れるが流出口を持たない。此のプー  
ポー湖とコイバサ沼澤地とウニニ湖とを  
連ねたる地はオーリヤガス **Aullagas**  
湖沼と總稱し、北方よりデサグワデロ河  
**De agnadero R.** によりてチチカカ湖の  
水をプーポー湖に受ける。

**チチケルト・センチ** 泉地 **Tidikeot**

**Oasis** 亞非利加洲北部、フランス嶺アル

**チチカカ・コウゲン** 一チチウカイ

一五五

ジェリヤ最南部の泉地で、北緯二十七度、  
東經二度に立ち、ツアト **Tuat** の東方  
に位し、アカビ **Akabi**、アオウレフ **Aou-**  
**let**、チト **Tit**、イン・サラ **In Salah** 各  
部落を含み、イン・サラが首邑で、チン  
ブクツ・モガドール・タンジール・アルジ  
エー及びトリポリより殆ど等距離に位し  
約三十萬本の棗椰子を有す。一九〇二年  
佛國の手に歸した。

**チーチ・サン** 山 **Dyeh Tan** 裏海と

黒海の間にあるコーカサス(高加索)山脈

の一秀峰で、四時白雪を戴き海拔五千百

九十七米に達し、氷河が發達して居る。

**チヂック** **Chiswick** イギリス(英吉)

利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)

ミッドルセックスの都邑で、ハイドパー

クノールの西方八軒、ハメルスミスと

プレントフォードの間なるテムズ河の大

狹窄部に當り、デヴォンシャ侯の居住地

であつた。人口が三萬九千ある。

**チチノ** **Ticino** スイス(瑞西)共和

國南部の縣名で、イタリヤ國に楔狀に突

入し、南にマジール湖及びルガノ湖を

控え、土地が南方イタリヤ斜面に位し、チ

チノ河其他の河川によりて灌漑せられ、

面積二千百十軒、人口一萬五千を有し、住

民はイタリヤ系でローマ舊教に歸依し、

イタリヤ語行はれ、北部は牧牛を主生業

となし、酪業が發達し、南部は葡萄酒・オ

リーヴ油と果實・穀物を産し、ベリンツ

オナを首府となし、尙ほルガノ・ロカルノ

の都邑がある(各都市の部を見よ)。

**チチノ・アルプス** **Ticino Alps** スウ

イス(瑞西)國の南部チチノ州に在る山嶺

で、アルプス大山系中レポニンチン・アルプ

s **Leponine Alps** の支流に當り、サン

ゴタル山嶺の南方に位し、チチノ河・ト

チエ河に限られ、約三角形を畫き、高度

低く著名の山も無し。

**チチノ・ガハ**(ワ) 河 **Ticino River**

スイス(瑞西)共和國マジール湖の排

水路に屬し、同湖を發し、河川中瑞西に屬

するものが三ある。其中レヴェンチナ

河 **R. Leventina** を主とし、源をサン

タールの南西なるネフネン越 **Nefenen**

**Pass** に發して東流し、アイロロ以下サン

ゴタル鐵道が之と併行して南東に向ひ

ピヤスカ **Basca** に至りてプレー河 **R.**

**Mesocco** と會し、南西に向ひ、マジール

湖に注ぐ。河口は其の西方に於て同湖

に注げるマジヤ河 **R. Maggia** と相對

す、マジヤ河はネフネン越の東方に

發源し、ブリグナスコ **Brigiasco** に至

りて支流を併せ、南東に向ひ、マジヤ

を過ぎてマジール湖に注ぐ。

**チチハル** 齊々哈爾 **Tsi-tsi-har** 亞細

亞洲東部の新興國滿洲黑龍江省の首府で

一に龍江又はト魁と呼び、ハルビン(哈

爾賓)の北東八十軒弱、嫩江の左岸に位し、

東支鐵道の支線が通じ、嫩江を溯りて北

はメルゲン(墨爾根)に舟を通ずべく、南

七萬方軒に達し、西は一輩水のジブラル

チチウカイ 地中海 **Mediterrane-**

**an Sea** 亞細亞・歐羅巴及亞非利加三大

陸間に挟まれる大内海で、面積二百九十

七萬方軒に達し、西は一輩水のジブラル

チチウカイ 地中海 **Mediterrane-**

**an Sea** 亞細亞・歐羅巴及亞非利加三大











同河の水力を利用して工業を営み、人口九千を有す。

**チツペカヌーガハ(ワ)河** *Hippocano River* 亞米利加合衆國、インデヤナ州の河川で、同州の北部に發源し、南流、南流してラファエット市の上流十六州の地に至り、ワバッシュ河に合し、長さ三百二十マイルに達し、嘗てハリソン將軍 *General Harrison* が同河に近く印甸を破りし處である。

**チツペカヌーシチー** *Hippocanoe City*

亞米利加合衆國、オハイオ州、マイヤミの村落で、マイヤミ河の西岸に立ち、シンシチナチ・ハミルトン及び、デイトン鐵道に沿ひ、デイトン市の北方二十二軒半に位し、車輛・麥粉等を産し、人口が約二千ある。

**チツペラ** *Hippera*

英吉利領印度、ベンゴール省チッタゴンの一地方で、スルマ河の東に横はり、ガンジス河三角洲上に立ち、面積六千四百七十二方尺、人口二百五十萬を有し、全土の五分の四はよく耕作せられ、主として米と麻を産し、人口がベンゴール省中最も稠密で、住民の十分の七は回教徒である。

**チツペラリー** *Hipperry*

英吉利のアイランド(愛蘭)に在る地方名で、愛蘭自由國中部に屬し、キングスカントリー、キルケンニー・ウォータール・ド・リメリック各地方に圍まれ、北西の一部はシンノン河と之に連れる湖沼に接し、土地が豊沃であるが、南西部にはノックミールダウ山脈 *Knock na Town Mts.* 横はり、西にはキーパー丘陵 *Keiper Hills* 北にはデヴァルズ山 *Devils Head* 南東にはスリーヴァイルダグ丘陵 *Three-eveardagh Hills* がある。主要河川はスイル河 *Suir* である、農を主産業となし、石炭と銅を産し、クロンメルとチツペラリーを都邑となし、其の面積四千三百方尺、人口が十五萬餘ある。

**チツペラリー** *Hipperry*

愛蘭自由國の中部、チツペラリーの都邑で、ダブリン市の南西八十方尺、リメリック市と三十七方尺を隔て、鐵道通じ、新舊兩教會堂存し、農田・牧場の中心に立ち、農産物・家畜・煉乳を産し、人口が六千二百ある。

**チツボルチスワルテ** *Dippoldswalde*

ドイツ(獨逸)聯邦、サクソニー共和國の都邑で、ドレスデン市の南方十八方に位し、人口が約四千ある。

**チテンデン・サン・山** *Chittenden Mount*

亞米利加合衆國、ワイオミング州の山名で、イエローストーン國立公園中に存し、高さ三千三百四十米に及ぶ。

**チートガハ(ワ)河** *Cheat River*

亞米利加合衆國東部の河で、アレガニー山脈西斜面に發するモノンガヘラ河 *Monongahela* の支流である。

**チトマルシ** *Dimarsh*

ドイツ(獨逸)聯邦、北スタッフホルツ地方に屬する都邑で、北スタッフホルツ地方に屬する

逸)聯邦の一地區で、ホルスタインの西部を形成し、南はエルベ河に接し、北はアイデル河に隣り、西は北海に面し、土地低平なる濕地であるが、數多の溝渠を設けて排水に努めて居る。

**チトラル** *Chitral*

英吉利領印度の北西部、北西國境州の最北部に在る藩部で、三個の豊沃なる河平野を含み、ヒンヅークシユ山脈中に横はり、小麥・大麥・玉蜀黍及び米を産し、面積一萬一千六百六十方尺、人口七萬五千を有し、チトラルを首邑となし、人口が二千五百ある。

**チトリス・サン・山** *Thitis Mount*

スウイス(瑞西)共和國、ベルン・ウンテルワルデン及びウリン三縣に跨る山名で、エンゲルベルグの南東六軒半に位し、海拔三千二百四十一米に達し、登山者多く山頂よりの遠望が歐羅巴洲第一と稱せられる。

**チトル** *Chitor*

英吉利領印度ラジャスターンの都邑で、メワール州に屬し、人口が七千餘ある。

**チードル** *Chiedle*

英吉利國大ブリティッシュ・インド(英領)スタッフホルツ島の都邑で、北スタッフホルツ地方に屬する

**チナクラー** *Chinakla*

オセアニア(阿西亜尼亞)洲、メラネシア、サンタクルース群島中に在る火山島で、現今活動して居る(サンタクルース群島の部を見よ)。

**チナジュブール** *Chinjool*

英吉利領印度ベンゴール省ラジシヤヒ地方に屬する

同河の水力を利用して工業を営み、人口九千を有す。

**チツペカヌーガハ(ワ)河** *Hippocano River* 亞米利加合衆國、インデヤナ州の河川で、同州の北部に發源し、南流、南流してラファエット市の上流十六州の地に至り、ワバッシュ河に合し、長さ三百二十マイルに達し、嘗てハリソン將軍 *General Harrison* が同河に近く印甸を破りし處である。

**チツペカヌーシチー** *Hippocanoe City*

亞米利加合衆國、オハイオ州、マイヤミの村落で、マイヤミ河の西岸に立ち、シンシチナチ・ハミルトン及び、デイトン鐵道に沿ひ、デイトン市の北方二十二軒半に位し、車輛・麥粉等を産し、人口が約二千ある。

**チツペラ** *Hippera*

英吉利領印度、ベンゴール省チッタゴンの一地方で、スルマ河の東に横はり、ガンジス河三角洲上に立ち、面積六千四百七十二方尺、人口二百五十萬を有し、全土の五分の四はよく耕作せられ、主として米と麻を産し、人口がベンゴール省中最も稠密で、住民の十分の七は回教徒である。

**チツペラリー** *Hipperry*

英吉利のアイランド(愛蘭)に在る地方名で、愛蘭自由國中部に屬し、キングスカントリー、キルケンニー・ウォータール・ド・リメリック各地方に圍まれ、北西の一部はシンノン河と之に連れる湖沼に接し、土地が豊沃であるが、南西部にはノックミールダウ山脈 *Knock na Town Mts.* 横はり、西にはキーパー丘陵 *Keiper Hills* 北にはデヴァルズ山 *Devils Head* 南東にはスリーヴァイルダグ丘陵 *Three-eveardagh Hills* がある。主要河川はスイル河 *Suir* である、農を主産業となし、石炭と銅を産し、クロンメルとチツペラリーを都邑となし、其の面積四千三百方尺、人口が十五萬餘ある。

**チツボルチスワルテ** *Dippoldswalde*

ドイツ(獨逸)聯邦、サクソニー共和國の都邑で、ドレスデン市の南方十八方に位し、人口が約四千ある。

**チテンデン・サン・山** *Chittenden Mount*

亞米利加合衆國、ワイオミング州の山名で、イエローストーン國立公園中に存し、高さ三千三百四十米に及ぶ。



人口がヘルゴール省中最も稠密で、住民の十分の七は回教徒である。  
**チツペラリー** Tipperary 英吉利のアイルランド(愛蘭)に在る地方名で、愛蘭自由國中部に屬し、キングスカントリー、キルケンニー、ウォータールド、リメリック各地方に圍まれ、北西の一部はシヤンノン河と之に連れる湖沼に接し、土

州の山名で、イネローストーン國立公園中に存し、高さか三千三百四十米に及ぶ。  
**チートガハ** (ワ) Chaut River 亞米利加合衆國東部の河で、アレガニー山脈西斜面に發するモノンガヘラ河 Monongahela の支流である。  
**チトマル** Tumul ドイツ(獨逸)の都邑で、北スタツフォードシヤ

者多く山頂よりの遠望が歐羅巴洲第一と稱せられる。  
**チトル** Titor 英吉利領印度ラジプタナの都邑で、メワル州に屬し、人口が七千餘ある。  
**チードル** Chiodle 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)スタツフォードシヤの都邑で、北スタツフォードシヤ

千餘ある。  
**チナクラ** Chinakra 島 Rinakula Island オセアニア(阿西亞尼亞)洲、メラネシヤ、サンタクルース群島中に在る火山島で、現今活動して居る(サンタクルース群島の部を見よ)。  
**チナジュプール** Dinajpur 英吉利領

印度ベンゴール省ラジシヤヒ地方に屬する二區で、面積一萬二百三十方呎、人口百六十九萬を有し、數多の史跡に富み、九世紀以降の考古學的遺物多く、又十八世紀に成りし堂塔存す。土地は不健康であるが、東部ベンゴールの米産地として知

部を見よ)。  
**チナルアルプス** Dinaric Alps チナルアルプスはヨーロッパ(歐羅巴)洲の大山系アルプスの一支で、北東方オーストリア國より來り、バルカン半島の南東端に及び、ボスニヤ及ヘルゼゴヴィナとダルマチヤとの分水界を限り、カルスト的地貌を特色となし、數多のドリネ

谷特殊の盆地たるポリエを形成する。  
**チナベリ** Tinavelly 英吉利領印度、半島南部の都邑である(チナヴェリ一の部を見よ)。  
**チナメカサン** Chinameca Mountain 中央亞米利加のサルワドル共和國に在る火山で、高さか千五百二十五米に達する。

**チナラアルプス** Dinaric Alps バルカン半島西部に位し、アルプスの一支で、一にチナルアルプスと呼ぶ(アルプス又はチナルアルプスの部を見よ)。  
**チナジュプール** Dinajpur 英吉利領

印度のベンゴール省北部、チナジュプールの都邑で、ガンジス河系のバルナババ河 Purna Taba の東岸に沿ひ、人口一萬六千を有す。  
**チナプール** Dinapur 一にダナプールの都邑と呼び、英吉利領印度のピハル・オリッサ州、パトナ地方の都邑で、軍隊の駐屯地に當り、ガンジス河に沿ひ、パトナ市の西徴北方八軒の地に在り、市街の延長二十四軒に達し、人口が三萬一千あるが、三分の二はヒンズー教徒、他は回教徒である。

排水の小地域多く、カルスト高原 Karst Plateau カペラ山脈 Kapella Range ヴェレック高原 Vellebic Pl. クリエヴィー高原 Crjevice Pl. クルナラ Crnagora ユオロヴ高原 Bjokovo Pl. グラデナ高原 Gradina Pl. S 如く、谷特殊の盆地たるポリエを形成する。  
**チナルアルプス** 中の最高點は、チナラ山 Dinara (一、八三三米)の南西に位するトログラヴ Troglav (一、九一五米)で、南ヨーロッパの白亞系に屬する石灰岩の山塊である。

本半島中部の特色は、モラヴァ河とヴァルダル河との流域に存し、東セルヴィヤはモラヴァ河東に在り、トランシルヴァニアアルプス・バルカン・ロードプヴァニヤアルプス・バルカン・ロードプ各山脈相會す、就中、ミツール Midzur Mitur, Falkan (一、一六七米) ストレザ

より吃立し、峯々たる絶壁となり、尖塔と殆ど一地點に集會す、西セルビヤに於ける此等の山地は森林に被はれ、且牧場に富む。又地貌上特に著しきは、ドリネ河(アドリヤ海斜面)とヴァルダル河(多島海斜面)と、ダニューヴ河に會するモラヴァ河及びバル河との分水嶺、シャル山脈 Shar Mount の地、リウベタン Lyubetan or Lyubetin (一、五一一米)、バズニカ Babasnica (一、四九一米) 各山峰を有す。モラヴァ河系八十軒間は下刻作用が著しく、此の山峯が此の深溪より吃立し、峯々たる絶壁となり、尖塔と

なり、モミナクリツスラ峯 Monina Crisura の如きは水面上一千米以上に崛起し、車道・鐵路が山腹に懸り、奇觀名狀する能はず、又ヴァルダル河系は數多の細流を有し、山地を無數の地塊に切開する。マケドニヤ・アルパニヤの北東部及び南西部山地は、以上の山地と共に北西より南東に向ひ、北緯四十五度附近よりギリシヤ國の最南端に達し、山勢甚だ長きも、其の幅狭くアドリヤ海方面よりの大側壓力によりて押し上げられしもの、如く、地表は並行斷層及び褶曲作用が著しく、多島海と黒海との分水嶺に比して甚だ峻しく、且西方に接近するより、アドリヤ海に注ぐ河川は、水源地との間が極めて短距離なるに拘らず傾斜が著しく、例へばオリジエン河 Orjen は流程十三

千八百九十七米の落差を有し、流程十軒のロウツェン河 Lovtzen は千七百九十七米の落差がある。流程が僅かに六軒のルミヤ河は千五百九十八米の落差を有し、全河殆ど瀑布の觀がある。  
アルパニヤに於ては、シャル山脈の直南に至りて山勢が南北の方向を採り、高起して千五百米乃至二千五百米の峻峯となる。ジャナラニカ Jabanica (一、二一五八米)、トールモル Tonor (一、四一十米) ネレッカ Nerecka or Narechka Piana (一、三六一米) の如きが之で、此等山脈間に恰も井の如きオクリダ Okrida、プレズバ Prespa、マッキ Maliki、



ヴォデナ Vodena 其他多數の小湖が横はり注目に する。プレスバ湖はオクリダ湖よりも百六十米高く、其の水が伏流となつてオクリダ湖に落ち、オクリダ湖はドリン河によりて北方に排水す。而してヤブラニカ山 Jablanica or Yab'ani'ca はピンダス山脈中に在つて南方に續き、北ギリシヤの凸元たる山峯である。

チーナンチビタノバ 工業地であるが中世には有名なるプレトンの地で、要塞を以て知られた。人口が一萬一千ある。

チナンデガ Chinandega or Chinen. Isand 中央亞米利加、ニカラグヅ共和国の太平洋斜面に在る都邑で、コリントの北方に位し、鐵道によりてコリントと連絡す、人口が一萬ある。

チニヤ Dhuia or Digne フランス(佛蘭西)共和国バスク地方の都邑で、一にチニヤと呼ぶ(チニヤの部を見よ)。

チニヤン Tinian 島 Tinian Island オセアニア(阿西亜尼亞)洲中我が南洋群島委任統治地の一たるマリヤナ列島中に在つて、サイパン島の南西方、南緯十五度二分、東經百四十五度三十六分に位し、面積二十五方呎に及び、在留民が三百七十人ある。

チニエ Digne フランス(佛蘭西)共和国バスク地方の首府で、ブレナンに近き丘陵斜面に立ち、エークス・メヌの北東八十八呎に位し、城壁を市外に繞らし、科學及び考古學博物館を有し、附近に硫黄泉が湧出し、人口七千餘を有す。

チネンデガ Chinandega 中央亞米利加洲ニカラグヅ共和国の都邑で、一にチナンデガと呼ぶ(チナンデカの部を見よ)。

チノシマ 島 Tino or Tinos ギリシヤ(希臘)共和国の島地

チノス 島 Tinos or Tino ギリシヤ(希臘)共和国領で、同國の東部多島海に在るキクラデス群島の一に當り、狭水道によりて北西方アンドロス島と相對し、長さ二十七呎、幅平均八呎に達し、山地に富み、スキオニヤ山 Skionia (七一三米)峙ち、此處に沃野を控え、大理石・葡萄酒・穀物・無花果等を産し、首邑をハジオス・ニコラオス Hagios Nikolaos (S. Nicholas) と呼ぶ、古へのチノスの地に築かれ、有名な殿堂存し、面積二十一方呎、人口一萬二千を有す。

チバイチング サンニャク 山脈 Div. Range オーストラリア(濠太刺)大陸南部の分水嶺である(チヴァイチング山脈の部を見よ)。

チバートン Tiverton 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)デヴォン郡の都邑で、エクスター市の北東に在る(チヴァートンの部を見よ)。

チビティオ Tivi 亞細亞洲の東方太平洋西部に横はるフィリピン(比律賓)群島、ルソン(呂宋)島の都邑で、ラゴノレの部を見よ。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。

チビツァーカ Civita Ducale (伊太利)王國の都邑で、マテラ市の東方に在る(チヴィタノヴァの部を見よ)。



南方二十四軒にあつて、市街はランラ河の左岸に位し、右岸にはランヴァリー Lanvallier の郊外市横は、同河は小流であるが、北方のサン・マロと小蒸氣船を通過し、風景極めて宜しく、一部に城壁を繞らし、其處に三門を設け、出入に使じ、サン・マロ其他の寺院を有す。現今は

チネンデガ Chinendega 中央亞米利加洲ニカラグア共和国の都邑で、一にチナンデカと呼ぶ(チナンデカの部を見る)。

チノシマ島 Tino or Tinos 直隸海峡に面し、旅順・大連と相對す、支那人は之を煙臺と呼ぶ。蓋し、往昔倭寇の襲來に際し、烽火を擧げしを以て此の名がある、山丘が東南西の三方を圍み、良港を控え、港内が廣濶で水深大なれば大船の出入に適するも、冬期風浪高く、且結水の憂がある。然し、安東・大東溝其他遼東半島各地とジャンクの往來繁く、柞蠶絲・繭・大豆・豆粕・豆油・麥稈・眞田・落花生等を輸出し、我が領事館の所在地に當る。此の地は亦山東苦力の主要出發點に當り、人口が七萬餘ある。

チフア 迪化(テキク) Tihua 支那共和国(中華民國)新疆省北部ツンガリヤの中部に位し、蒙古人は之をウルムチ(烏魯木齊) Urumtsi と呼ぶ、又紅兒廟の名を有し、新疆省城の所在地に當り、土地が北方に開き、街衢清潔且端正で商賈の要衝に當る、人口が三萬ある。

チフガハ(ワ) 河 Daep River 亞米利加合衆國、北カラライナ州の河川で、印甸は之をサボナー河 Saponah と呼び、源をギルトフルド地方に發し、約東流し、カナム地方のヘーウッドに至りてハウ河 Haw に合し、ケーブ・フィーヤ河 Cape Fear R. となり、長さが約二百十料ある。

チフチル Diphonth or Tibi 亞弗蘭西共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チフエー Thiviers フランス(佛蘭西)共和国、ドルドニエの都邑で、ペリーグ市の北東に在る(チフチエー(伊太利)王國カムボハリ州の都邑で、イ

チビタバ・ガハ(ワ)チフリリス



チープリバーとチベット

ラヂカフカス市に通ずるより、交通上の要地を占め、又工業地として、綿布・絨氈・石鹼・兵器・煙草等の製作が盛で、人口二十九萬三千を有す。

チープリバー Deedriya 亞米利加合衆國、コネチカット州、ミッドルセツクスの都邑で、コネチカット河の西岸に近い(チープリヴァーの部を見よ)。

チブルール Dibrugarh 英吉利領印度アッサム州ラキムプールの都邑で、チブルール河の左岸に立ち、同河とブラマプトラの會合點に當り、カルカッタ市より湖上する汽船航路の終點に當り、茶産出地の中心を占め、人口が一萬五千あるが、其の四分の三はヒンヅー教徒、他は回教徒である。

チーブルヒ Dieburg ドイツ(獨逸)聯邦ヘッセ共和國の都邑で、ダルムシュット市の東北北十四軒半に位し、古城と古城壁を有し、羅馬時代の遺跡も此處に發見せられた。人口か五千ある。

チフレイ・サンニャク 山脈 Chifre. Serra do 南亞米利加洲ブラジル(伯刺西爾)合衆國のドーセ Doca. ジュキチナ Jucuitina 兩河谷間に横はり、エスピナソ山脈の一支で、ミナスジェラエス州の北東部に於て、南西より北東に走る。

チフロン・シブ 島 Tiburon Island 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國カリフォルニア灣内に横はり、墨西哥の最大島で形が南北に長く、長徑四十八軒

に達する。

チフロン・ハンタウ 半島 Tiburon Peninsula 西印度諸島、ハイチ島の西部より、長く西方に突出してジャマイカ島と相對し、延長二百三十軒、幅二十軒乃至四十軒に及び、同半島の北に、ゴナウ島とゴナイウ灣とを擁し、半島上にはホット山脈 Morne de la Hotte が島軸に沿ひて東西に走り、半島の基點北側にハイチ國の首府ポート・オー・プリンス市が立つ。

チフロン・ミサキ 岬 Tiburon Cape 西印度諸島ハイチ島西部のチフロン半島の西端に立ち、同島の西極に當る。

チベスチ・サンニャク 山脈 Tibesti Mountains 亞非利加洲、サハラ沙漠の東に在る山脈で、チャード湖 Chad の北東五百八十軒に位し、北西より南東に走り、延長緯度五度に亙る、同山脈の北西部をタルソ山脈 Tarsa と呼び、脈中のタシッテ山 Tasside は二千七百七十米の海拔を有す。此の山脈は雨量が比較的

多く、沃地に富み、各處に土人部落を有し、隊商路が通じて居る。其の北西はタンリ高原 Tassili Plateau に、南東は埃及スダンのダルフル地方に横はるマリヤ山脈 Jebel Maria と呼應して居る。

チベッタサン 山 Civetta Mount 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國カリフォルニア灣内に横はり、墨西哥の最大島で形が南北に長く、長徑四十八軒

を見よ)。

チベット Tibet Or Thibet 支那の西部に横はり、北は蒙古及び青海省に接し、東は支那本部(西藏高原の部を見よ)、世界第一の高原を西康省に境し、南は印度及びネパール。なすも、南にはヒマラヤ(喜馬拉耶)山系が大障壁となり、印度境上に走り、西にはカラコラム(喀喇崑崙)山脈が蟠り、北にはコンロン(崑崙)山系が長蛇の如く東西に連りて新疆省との間を限り、喜馬拉耶山系と崑崙山系との間にはトランシヒマラヤ山脈が東西に走りて域内に蟠り、平均高度四千米以上に及び一大盆地を形成し其の面積我國に二倍す、此の大地域中無數の鹹湖横はり嘗て大水域たりしを示す。ブラマプトラ・インダス・ガンジスの印度三大河が此處に發して印度に向ひ、本盆地の大湖水を



探らんとするものが多いが、多くは失敗に歸し、僅に我が青木文教、川口慧海、多田等觀、寺本婉雅、矢島泰次郎、印度のナインシンゲ・クリスナ・ガラチャンドラダス各氏が首府のラッサ(拉薩)に入るを得たが、瑞典のスヴェン・ヘデン・米國のワックヒル兩氏の如きは遂に同市に足跡を

排水して斯く乾燥せしめた。

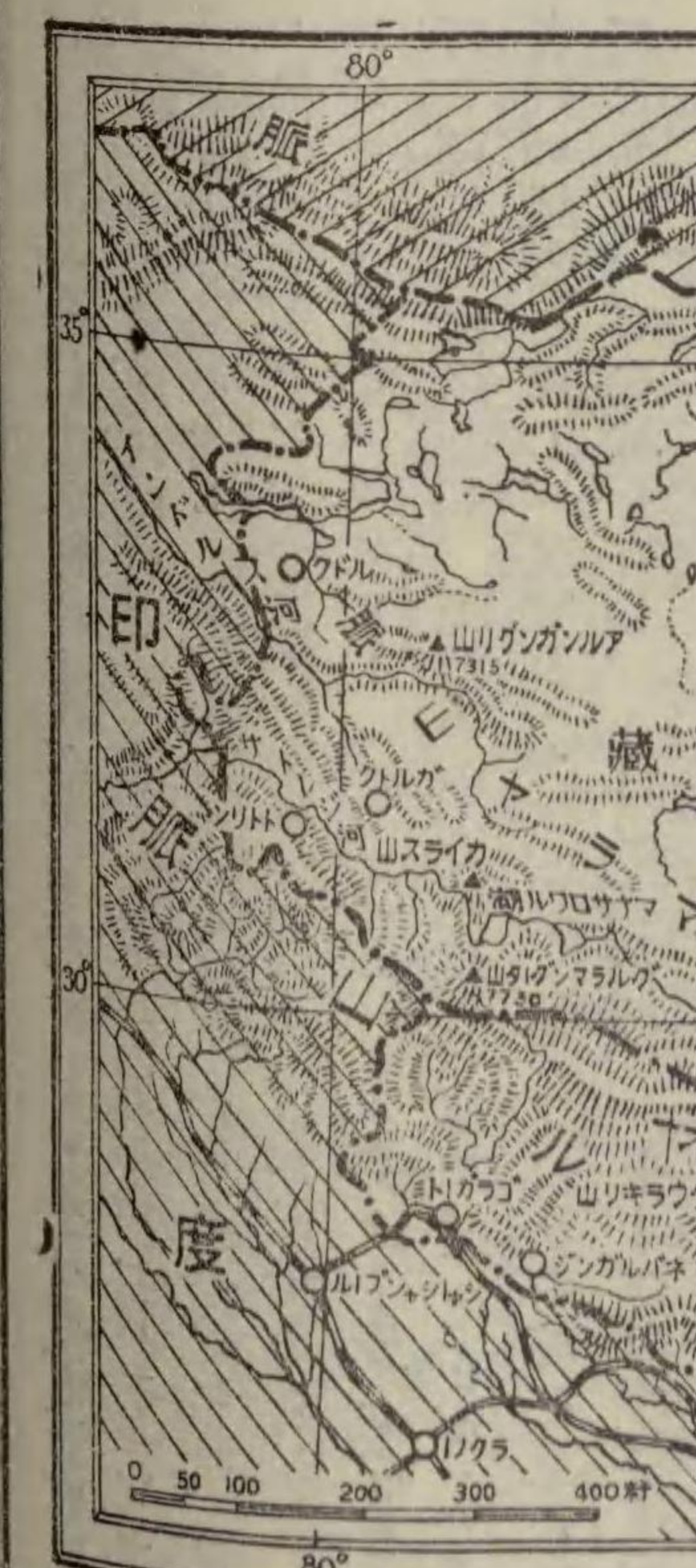
【氣候】 著しく大陸的で、冬寒特に甚だしく、空氣乾燥するより雨量少なきも、水銀寒暖計の如き全く凍結して使用に適せず、河湖も悉く氷結す。夏季の日中は著しく氣温高きも、夜半は寒氣膚に撤し、時に降雪を見ることがある。

支那の際に支那が敗軍し、駐藏大臣も去り、爾後支那の國狀一定せず、力を西藏の統治に注ぐ能はずして全く之を閑却せるに反し、英吉利國は既に西藏に兵を送りて西藏軍を破り、一九〇四年九月英藏條約を締結した、其の九條に

西藏ハ英國ノ同意ヲ經ズシテ其ノ領土ヲ擴張スル事、實スル事、並ニ



西爾)合衆國のドーセ Dose、ジュキチナ  
Tuguiha 兩河谷間に横はり、エスピ  
ナソ山脈の一支で、ミナソエラエス州  
の北東部に於て、南西より北東に走る。  
チンロンシブ島 Tiburon Island  
北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國カ  
リフォルニア灣内に横はり、墨西哥の最  
大島で形が南北に長く、長徑四十八軒  
アルプスの高山である(チツエッタ山の部



中無數の鹹湖横は  
り嘗て大水域たり  
しを示す。プラマ  
プトラインダス。  
ガンジスの印度  
三大河が此處に發  
して印度に向ひ、  
本盆地の大湖水を

排水して斯く乾陸せしめた。

〔氣候〕 著しく大陸的で、冬寒特に甚  
だし、空氣乾燥するより雨雪量少なき  
も、水銀寒暖計の如き全く凍結して使用  
に適せず、河湖も悉く氷結す。夏季の日  
中は著しく氣温高きも、夜半は寒氣膚に  
撤し、時に降雪を見ることがある。

〔住民〕 所謂西藏族であるが四種に大  
別すべく、中央部のプバ、東部のカンバ、  
西部のトゥバで、プバ中前藏に住するを  
ウユバ、後藏に住するをツァンバと呼び、  
何れも類骨秀で、眼黒く鼻平かに口廣く  
唇薄く、鬚鬚が疎である。性柔順で慈愛  
に富むも戦に勇に迷信が極めて深い。衣  
服は我が筒袖より一層寛濶なるを用ひ、  
又支那服を着し、不潔を意としない。古  
來早婚で、十四五歳で既に母となるもの  
がある、民族中新婦を迎ふるや、二弟三  
弟を假の夫とするものもあるが、之は夫  
が同兄弟たるを要す。通常一夫一婦の制  
で七等親内の血族結婚を禁ず。

一般にラマ(喇嘛)教を信じ、僧侶が極  
めて多く、其の位置が極めて高い。  
住民は農耕に従事し、麥・粟・大豆・菜  
種等を産するも需用不足し、牧畜は比較  
的盛で、羊・羴牛・山羊等を飼ひ其の肉を  
食ひ、羊毛は各種の毛織物及び絨氈の原  
料となり、獸皮は細工用に供し、又麝香  
金等も出る。

〔政治〕 西藏は名義上支那の領土で、  
駐藏大臣を置き之を統治したが、先年藏  
支戰の際に支那が敗軍し、駐藏大臣も去  
り、爾後支那の國狀一定せず、力を西藏  
の統治に注ぐ能はずして全く之を閉却せ  
るに反し、英吉利國は既に西藏に兵を送  
りて西藏軍を破り、一九〇四年九月英藏  
條約を締結した、其の九條に  
西藏ハ英國ノ同意ヲ經テ其ノ領土  
ヲ外國に賣渡ス事、貸與スル事、並ニ  
擔保トナス事ヲ得ズ  
如何ナル外國タリト雖モ西藏の政治又  
ハ政務ニ關係スルコトヲ許サズ、官吏  
タルト非官吏タルトヲ問ハズ之を西藏  
ニ派遣スルコトヲ得ズ、西藏の公務を  
指導援助スル爲ニ外人ヲシテ西藏政府  
ニ奉職セシム可ラズ、道路ヲ開キ鐵道  
ヲ通ジ電信ヲ敷設シ鐵山を發掘スルヲ  
許サズ(以下略)

又英露協約、英清協約にも同様の意味を  
規定するを見れば、西藏に於ける優越權  
は支那にあらざりて英國に在る事が分る  
ダライラマ(達賴喇嘛)は宗教王たる  
共に政治上の主權者で、其の下に三首相  
三大臣があつて、僧官を以て之に充て、  
中央政府を組織し、地方行政は西藏本部  
を五十三縣に區分し、多くは知事を派し  
之を治めしめ、遠隔せる北西二州には總  
督を派遣し、兵馬の權をも委任する、南  
部の數縣は後藏のタシルンボに在るタシ  
ラマ(札什喇嘛)の私領で、中央政府とは  
關係がない。  
西藏は世界の秘密國と稱せられ、之を

探らんとするものが多いが、多くは失敗  
に歸し、僅に我が青木文教、川口慧海・多  
田等觀・寺本婉雅・矢島泰次郎、印度のナ  
インシン・クリスナ・ガラチャンドラダ  
イス各氏が首府のラッサ(拉薩)に入るを  
得たが、瑞典のスヴェンヘデン・米國のロ  
ックヒル兩氏の如きは遂に同市に足跡を  
印することが出来なかつた。  
都邑、首府のラッサの外に次の各市が  
ある。  
シゲツェ ユ タシルムボ ギヤンツェ  
アツン カンマー サマダ  
パリ ガトク  
(各都邑の部を見よ)。

### チベット・コウゲン 西藏高原 Tibet Plateau

支那共和國(中華民國)の西部  
に在り、單に西藏高原と稱するも、正確  
なる意味に於ては、之をチャンタン高原  
Chang Tang Plateau と言ふを可とす  
る、チャンは北、タンは平地を意味し、拉  
薩の北に在るより此の名がある。其の位  
置は、西藏のツァンポー Tsampo River  
河谷と青海のツァイダム(柴塔木)盆地  
Tsaidam Basin との間に在り、西は  
パミル高原に入り、東經七十度より百二  
度に達し、南は北緯三十二度より北は三  
十七八度に擴り、東部に至るに従ひ幅廣  
きも高度稍低くして四千米乃至五千米に  
降り、西方印度のカシムール Kashmir  
及びパミル地方は幅狭きも著しく昂起し  
て五千五百米以上に達す。揚子江の發源  
地は此の東部に在る。本高原は土地が不  
毛で、短き夏季の間、僅に草原地となる  
も、長き冬季には乾燥し、且寒氣激烈な  
るより動植物の生存に適せず、只僅に羴  
牛降商又は牧羊者の通過往來するのみで  
ある。同高原は南東二面には三千米乃至  
四千米の高原があつて、共に濕氣を帶び  
動植物生育するより定住民が農業・牧畜  
に従事する、ツァンポー河・揚子江・黄河  
の各上流地方の如きはこれ、柴塔木盆  
地は三千米以下に位するも、河邊・湖畔  
の外、人類の居住に適しない。  
本高原は南に傾くと共に東するに従ひ  
て亦高度を減じ、東經九十度附近の揚子  
江水源地に於ては、四千二百米の高度  
を保つも、更に東方東經百度の黄河水源  
地方に至りては四千米以下となり、恰か  
も屋根の東に傾きたる如く、高原上の河  
川は何れも南東に向ふ。即ち黄河源流  
チウ Machu 鴨鑾江の源流チウチウ、  
chu 金沙江の源流チウチウ、或はメ  
ン河 Mekong の源流ナムチン Nam-ch  
ンサルウイン Salween 河の源流ウルチ  
ウ Ulechu の如き之で、附近の地貌は起  
伏して波狀を呈し、東するに従ひ低下す  
るも、河川の侵蝕極めて著しく、高原は之  
が爲めに切開せられて、北東より南西に  
向ふ數多の山列となり、其の間千米乃至  
五百米の大峽谷が至る處に存するを認め  
れば、是等の侵蝕谷は褶曲山脈と全  
く其の構成を異にする、其の東に向ふ有

### チベット・チベット・コウゲン



名なる北嶺(秦嶺)の如きも、北は渭水に、もとアルブラ河 *Albra* と呼びしも、チベリアス *Tiberias* (アルブラの舊王) 以後今の名に改めた、蓋し同王が本河の排水に努めし功による。本河は源をアルノ河源に近きマジョロ山 *Monte Majorolo* に發し、主として南東流し、下流は南西に向ひ、三角洲を擁してチレニヤ海に注ぐ、流程三百九十四軒に達し、支流にはクラニス *Clanis*、クリチムヌ *Clitumnus* 及びナル *Nar* 諸川あり、本流と共に中部伊太利を灌漑するが河日より四十二軒のローマ市迄汽船の便がある、本河は古來水害甚だしく、黄色チベリア *Yellow Tiber* の名を有し、水害毎に土砂を沈積すること甚だしく、古來小運河を設けて災害の除却に努めて居る。

**チペンベク** *Diapenbe* ベルギー(白耳義)王國リムベルグの都邑で、ハッセルト市の南東五軒に位し、人口が四千餘ある。

**チボド** *Thibodaux* 亞米利加合衆國ルイジアナ州ラフォール市の首府で、バイユー・ラフォール其他の鐵道通六軒に位し、果實、罐詰、砂糖等を産し、マウント・カルメル・アカデミーの所在地に當り、汽船がバイユー市より此の地に通じ、人口が三千餘ある。

**チボラ・ガハ** *Chibora* 河 *Chibora River* 亞米利加合衆國アラバマ州ヘンリーに發源する河川で、南流してフロリダ州に入り、アパラチコラ河に合し、長さが二百十軒に及び、下流は交運に適す。

**チボリ** *Tivoli* イタリア(伊太利)王國チレニヤ海斜面の都邑で、ローマ市の東北東に在る(チウツァリの部を見よ)。

**チボン** *Dihon* アジア(亞細亞)洲の西部に在る死海の東岸に立つ都邑で、ワヂ・モアブ河 *Wadi Moabib* に沿ひ、もとアモリテスの都邑で、現今チバ *Diban* の村落立つ、此の地に一八六八年に紀元前九〇〇年のメシヤ王のモア *Moabite Stone* が發見された。

**チボン・ガハ** *Dihon River* 河 英吉利領印度の大河ブラマポトラ上流の名で、チベット(西藏)の部に在るサンポ *Sambor* 河の別名である(サンボ *Sambor* 河及びブラマポトラ河の部を見よ)。

**チマル** *Timaru* 太平洋南部ニュージーランド、南島の港市で、クライストチャーチ市の南西六十軒に位し、鐵道が連絡し、毛織物、獸脂、皮革、麥粉、穀物凍肉等を輸出し、人口が二萬ある。

**チマン・サンニク** *Timan Mountains* 山脈 露西亞、本國の東部に在るウラル山脈中、北ウラル山脈のコー *Koivun* 山より脈を曳くウヴア *Uvva* 丘陵の東部より北に向ひ、ベチョ *Betchio* 河の西方を走り、チエスカ *Chieska* 灣頭のチモン凍原に至り、スヴァ *Svatoj Nos* に没す、山峯の見るに足るべきものはない。

**チミアオ** *Dimiao* 亞細亞洲の東方、チン *Chin* 國の都邑で、グイ *Guy* 市の東方に位し、一にソ *Sor* 市と呼ぶ(ソ *Sor* 市の部を見よ)。

**チミチレ** *Chimite* イタリア(伊太利)王國カセルタの都邑で、ノ *No* 市の北方一軒に位し、人口が約四千ある。

**チミーツァ** *Dimizana* 或 *Demizana* ギリシヤ(希臘)共和國アルカ *Arka* 地方の都邑に屬し、トリ *Tripoli* 市の西北西二十四軒に位し、中世要塞の遺跡を有し、風景良く、もと土耳其の領有時代には、希臘學術研究の中心たりし處で、公立學校を置いた。人口が六千ある。

**チミノ** *Gimino* イタリア(伊太利)王國の都邑で、グイ *Guy* 市の東方に位し、一にソ *Sor* 市と呼ぶ(ソ *Sor* 市の部を見よ)。

チベリアス *Tiberias* 亞細亞洲の西部、パ *Pal* 都邑で、古代のガ *Gal* 湖に沿ふ(チベリアスの部を見よ)。

**チベリヤス** *Tiberias* 亞細亞洲の西部、パ *Pal* 都邑で、現代のガ *Gal* 湖に沿ふ(チベリアスの部を見よ)。

**チベル・ガハ** *Tiberor River* 河 中部イタリヤ(伊太利)の河川で、

モ *Moche* *Rio Moche* に至るまで二十四軒に及び、其の幅東西十軒乃至十二軒に達し、今尙ほワ *Wacas* 宮殿 *Incass* が残存し、特に水道地・穀倉等を見る時は其の文化の發達せしを知るべく、ワ *Wacas* 宮殿と葬場殿は百八十米の正方形の臺地に立ち、四十六米の高さを有し、最大なる大

細亞洲北部、シベリヤの河川で、イ *Yese* *Yese* 河に合し、ト *Tom* 湖に流す。長さが四百軒ある。

**チムケント** *Chimkent* 中央亞細亞の都邑で、シル *Sir* 河の支流ア *Ar* 河の上流に沿ひ、タ *Tashkent* の北々東百十三軒に位し、グ *Gulistan* 園地を有し、

古來隊商による西亞非利加商業の中心に當る。現今隊商貿易は大に衰へたが、市に近きニ *Nizhny* 河により小蒸氣船が上流のキ *Kilok* 湖に通じ、後來ア *Amu* *Amu* *Darya* 鐵道も此の地に達すべく、有望なる未來を有し、優秀な回教學校もあり、商業地として駝鳥羽毛・護謨等を集散す。此の地は十一世紀に建設せられたが歐洲

見よ)。

**チミムン** *Chimimun* 亞弗利加洲北部に在るサ *Sahara* 沙漠の北部地方名で、グラ *Qurara* (Tua) に位し、北緯二十七度五十分、東經一度四十分位し、大地域を占め、サ *Sahara* 隊商路の中心地に當る。

モ *Moche* *Rio Moche* に至るまで二十四軒に及び、其の幅東西十軒乃至十二軒に達し、今尙ほワ *Wacas* 宮殿 *Incass* が残存し、特に水道地・穀倉等を見る時は其の文化の發達せしを知るべく、ワ *Wacas* 宮殿と葬場殿は百八十米の正方形の臺地に立ち、四十六米の高さを有し、最大なる大

細亞洲北部、シベリヤの河川で、イ *Yese* *Yese* 河に合し、ト *Tom* 湖に流す。長さが四百軒ある。

**チムケント** *Chimkent* 中央亞細亞の都邑で、シル *Sir* 河の支流ア *Ar* 河の上流に沿ひ、タ *Tashkent* の北々東百十三軒に位し、グ *Gulistan* 園地を有し、

古來隊商による西亞非利加商業の中心に當る。現今隊商貿易は大に衰へたが、市に近きニ *Nizhny* 河により小蒸氣船が上流のキ *Kilok* 湖に通じ、後來ア *Amu* *Amu* *Darya* 鐵道も此の地に達すべく、有望なる未來を有し、優秀な回教學校もあり、商業地として駝鳥羽毛・護謨等を集散す。此の地は十一世紀に建設せられたが歐洲







大寺院を有し、鐵道により、コナクリ市と連絡する。

**チムボ Chimbo** 南亞米利加洲西部エクワドル共和國の都邑で、同名の河に沿ひ、チムボ平野に立ち、グワヤキル市の北東五十六軒に位し、チムボラソ山下に立ち、鐵道がグワヤキル市より来る。

**チムボヴィツァガハ(ワ)河 Dinaboa-Vitza River** ルーニヤ(羅馬尼)王國の河川で、源をトランシルヴァニア・アルプスに發し、一にダムボヴィツァ河と呼ぶ(ダムボヴィツァ河の部を見よ)。

**チムボテ Chimbote** 南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國、アンカチス縣 Ancachs の河港で、南緯九度十分、サンタ河 Santa の口に當り、同河に沿ふワラス鐵道の基點を占め、上流平野の門戸に當り、良錨地を有す。附近平野は數多の史蹟を有す。市よりワラス鐵道に沿ひて北進し、海岸山脈を横ぎり、サンタ河の上流ワラス河に沿ひ、中央平野に出て南進すれば、ワラス Huaraz に至る。

**チムボランガハ(ワ)河 Chimbo-Razo River** 南亞米利加洲西部、エクワドル共和國の太平洋斜山に在る河で、コイデレラ山脈の東に發し、同山脈を穿ち來れるもので、グワヤス河の一支流である(グワヤス河の部を見よ)。

**チムボランヤ山 Chimborazo Mount** 南亞米利加洲西部、エクワドル共和國のアンデス山系中に峙つ火山で、

太平洋岸を距る百九十軒、南緯一度二十九分に在つて、エクワドル國最高の山に屬し、現在は活動しない、火口は氷河の爲めに全く侵蝕し去られて之を認むる由もないが、山頂の氷河は遠く太平洋上より望見すべく、一八八〇年ホワイムバ氏 Wajmber が山頂に達した。

**チモチカ Dimotica** ブルガリヤ王國の都邑で、一にデモチカと呼ぶ(デモチカの部を見よ)。

**チモネサン山 Chinone Monte** イタリヤ(伊太利)半島の北部に在るエトラスカアペニン山脈の主峰で、北部伊太利亞半島最高の山に屬し、北緯四十四度十三分、東經十度四十三分に位し、海拔二千六百六十三米に達する。

**チモールカイ海 Timor Or Sava-Sea** マレー(馬來)群島間に横はる一小海灣で、北は小スンダ列島に對し、西はサウー島に、東はチモール島に境し、小スンダ列島を底邊とする三角状の海灣で、最深處はチモール島に近く、三千三百五米に達する。一にサウー海とも呼ぶ。

**チモール島 Timor Island** 太平洋の西部に在るマレー(馬來)群島、小アンチル列島の東部に位し、南緯十度二十四分、東經百二十三度三十二分線が中央を貫ぬき、東北東より西南西に走るものと五百軒、幅最大百軒に達し、屬島を合せて面積七萬五千三百方軒、人口百六十萬千人に達する。

本島は深き海盆地のサウー海 Savu の東に横はり、南は印度洋に面し、附近の海底は極めて深く、南方の印度洋とサウー海とは離岸少許にして三千米以上の海深を有するを以て、本島は地體構造上大に注目し値するものがある。沿岸には珊瑚礁が著しく發達して主島を圍む

島内には二列の並行山脈が島軸に從つて走り、最高點エルメラ山 Ermera or Mirmidon は二千六百二十米に達し、尙ほ千五百米以上に達する新峯がある。火山も亦本島に通じ、高地は氣候が良好であるが、沿海と低地は高温濕潤で、マラリヤ病、脚氣病、熱病が多く流行する。住民はメラネシア族、馬來族を主とし、尙ほアラブ族を混ざるも、漢族の分布も甚だ多い。

産物は玉蜀黍、米、甘蔗、珈琲、胡椒、コブラ、水牛等を産し、香木、パンノ木等も出る。鐵産には石油、金、錫等がある。本島は次の如くオランダとポルトガルに分屬する。

オランダ領 面積六萬三千五百方軒、人口百十五萬。  
ポルトガル領 一萬一千七千方軒、人口四十五萬。  
〔和蘭領〕チモール島の西半部を占めるとセレス島ゴワ王の配下に屬したがポルトガルの爲めに征服せられ、次でオランダ國の勢力下に屬し、現今に至つた。住民は多く農業に従事し、玉蜀黍、米、

甘蔗、バナナ、胡椒、珈琲、コブラ、唐木、眞珠介等を産し、鐵産には石油、金、銀、銅、石炭等を産し、英人が之を採掘する。

〔ホルトガル領〕チモール島の東半部と西部のアムベノと北方の小島カムピンを管し、マカオ政廳が之を管し、産物はオランダ領と大差なく、デリー Dethi を首府とする(デリーの部を見よ)。

**チモールラウトジャ島 Timor Laut Island** マレー(馬來)群島の南東端に近き島で、チモールラウト群島一名ティンバー群島が主島で、チモール島の東北東四百八十八軒に位し、和蘭の領土で、アムボイナ政廳が之を管する(チモールラウト群島の部を見よ)。

**チモールラウト・タンタウ 群島 Timor Laut Islands** アジャ(亞細亞)洲の南東部に群るマレー(馬來)群島の東極を占むる南東群島で、一にティムバー島又はティムバー(タニムバー)とも呼び、南緯六度三十分乃至八度三十分、東經百三十度四十分乃至三十二度に位し、殆ど珊瑚礁より成り、火山脈が通じ、主島チモールラウト東岸のアルキル Arkilin と南岸のオリリット Olijet を主島とする。本群島はオランダ國に屬し、チモールの政廳が之を管轄する。

**チャーヴェス Chaves** 亞米利加合衆國ニューメキシコ州の南東部を占め、東部はヤノ・エスタカドの荒地に屬す、全

土の約二分の一は農耕及び牧場に適すべく、ペコス河によりて灌漑され、面積三萬方軒に近きも、現今利用せる地域狭く、人口は五千に過ぎない。ロスウェルが首府である。

**チャウシー Tehansy** ソヴェエト聯邦露西亞本國の都邑で、モヒレウ市の東南

都邑で、バルセデス市と共にブエノスアイレス市と鐵道を連ね、人口が約四千萬ある。

**チャキジヤ島 Chakhi Island** ギリシャ(希臘)共和國の西方イオニア群島の

中央亞米利加リヴィヤとパラグワイの兩國間に戦が開け今回亦會戰中である。

**チャコヴァ Djakova** ユーゴスラヴィヤ王國、モンテネグロの都邑で、一にジャコヴァと書く(ジャコヴァの部を見よ)。

**チャニス・グンタウ 群島 Chagos Islands** 印度洋のマルヂヴ群島の一部に

露西亞本國の都邑で、モヒレウ市の東南



ドル共和国の太平洋斜山に在る河で、コ  
ーデラ山脈の東に發し、同山脈を穿ち  
來れるもので、グワヤス河の一支流であ  
る(グワヤス河の部を見よ)。  
**チムボラン・ヤマ・山 Chimborazo**  
Mount 南亞米利加洲西部、エクワドル  
共和国のアンデス山系中に峙つ火山で、  
萬千人に達する。

太平洋の西部に在るマレー(馬來)群島、小  
アンチル列島の東部に位し、南緯十度二  
十四分、東經百二十三度三十二分線が中  
央を貫ぬき、東北東より西南西に走るこ  
と五百軒、幅最大百軒に達し、屬島を合  
せて面積七萬五千三百方軒、人口百六十  
萬人に達する。

都邑で、バルセデス市と共にプエノスア  
イレシ市と鐵道を連ね、人口が約四千  
ある。  
**チャキ・ジバ・島 Chichai Island** ギ  
リシャ(希臘)共和国の西方イオニヤ群島  
の二で、セファロニヤ島の東に接し、イタ  
キ(イタカ)島とも呼ぶイタカ島を見よ。  
**チャクヴァル Chakvar** ハンガリー  
(洪牙利)王国、スチュールワイゼニベル  
グ Stulweissenberg の都邑で、ブダペ  
スト市の西南西四十三軒半に位し、美し  
き城と公園とを有し、人口が約五千あ  
る。  
**チャクサム Chaksam** 支那共和国  
(中華民國)の西部、西藏に在る都邑で、拉  
薩より印度に至る要衝に當り、サンポー  
河に沿ひ、嘗て同河に架せし針金橋の址  
が存す、之より南東に向ひ急阪を上り、  
カンバ峠に達すれば、山下にはヤムド湖  
が碧水を湛え、奇形の半島が湖中に出で  
四周の連山が之を圍みて山水の勝比すべ  
きものが無し。  
**チャクナケ・ガハ(ワ)河 Chacnach-**  
**ne River** 中央亞米利加、パナマ共和  
國のダリエン山脈とシエラ・カナサ Sierra  
Canastra の間に横はる河川であ  
る。  
**チャクバル Chakbar** ハンガリー(洪  
牙利)王国スチュールワイゼンベルグの  
都邑で、ブダペスト市の西南西に在るチ  
ャクヴァルの部を見よ)。

中央亞米利加  
リヴィヤとパラグワイの兩國間に戦が開  
け今回亦會戰中である。  
**チャコヴァ Chakova** ユーゴスラ  
ヴィヤ王国、モンテネグロの都邑で、一  
にジャコヴァと書く(ジャコヴァの部を  
見よ)。  
**チャリス・グンタウ・群島 Chagos Is-**  
**lands** 印度洋のマルヂヴ群島の一部に  
屬し、南緯四度四十分乃至八度、東經七十  
一度乃至同七十三度の間に横はる珊瑚島  
群で、土地が低平である。最大島をヂエ  
ゴ・ガルシヤ Diego Garcia と呼び、長  
さが十九軒、幅九軒半に及び、良港を有し、  
人口が五百餘ある。ココナットの生育が  
盛でコブラを輸出する。政事上英領とな  
りモーリシャスの政廳が之を管し、面積  
二百五方軒、人口二千に及ぶ。

通常グラン・チャコ  
El Gran Chaco と呼び、南亞米利加洲  
中部、即ちアルヘンチナ國の北東部ボリ  
ヴィヤ國の南東部、パラグワイ國の北西  
部に亘り、ピルコマヨ河が貫通し、土地  
が低平で、數多の湖沼及び沼澤が並び、  
雨季には一帯に氾濫して海洋の觀を呈  
す。其の一部は砂質の地もあり、又草地  
或は森林地もある。其の面積が五百餘方  
軒に達し、一九三二年境界問題に關しボ  
リヴィヤとパラグワイの兩國間に戦が開  
け今回亦會戰中である。

南亞米利加洲、アルヘンチナ  
地方と境し、西より東はサルタ州、サン  
チャゴ・デル・エステロ州、サンタ・フェ州  
及びコリエンテス州とパラグワイ國とに  
境し、面積が十三方六千六百方軒、人口  
が四萬六千ある。  
土地は踏査不十分であるが、域内に數  
多の湖沼と澤地とを有し、氣候は良好で  
地味肥え、木材を主産物となし、農産物  
が之に次で多い、住民はチャコ印甸族が

土の約二分の一は農耕及び牧場に適すべ  
く、ペコス河によりて灌漑され、面積  
三萬方軒に近きも、現今利用せる地域狭  
く、人口は五千に過ぎない。ロスウェル  
が首府である。  
**チャウシー Tehausy** ソヴェト聯邦  
露西亞本國の都邑で、モヒレウ市の東南  
東四十軒に位し、人口が約六千ある。  
**チャウン・ワン・灣 Chaun Bay** アジ  
ヤ(亞細亞)洲、シベリヤ(西比利亞)の北  
方北氷洋岸の一小灣で、東經百七十度線  
に沿ひ、北緯七十度より南に入り込むこ  
と二百軒に及び、灣頭にアイオン島 Aion  
其他の小島が横つて居る。  
**チャオ・ダ・メイ 昭烏達盟 Chao-da-**  
**mei** 亞細亞洲東部の新興國、滿  
洲熱河省の北部を占め、内蒙古東部四盟  
の一で、敖漢部 Ao-khan 二旗、奈曼部  
Naiman 一旗、巴林部 Barin 二旗、克札  
魯特部 Djardud 二旗、阿魯科爾沁部 Aru  
-khor-chin 一旗、克休克騰部 Keshik-te-  
ng 一旗、喀爾喀 Khor-kho 右翼部一旗、  
翁牛特部 Ongniud 二旗より成り、現今  
支那人の移住多く、次第に發達し、赤峰、  
林西其他の都邑が出來た。  
**チャオ・ナイ・ン・スーメ Chao-Nai-**  
**nan-Su-me** 支那共和国内蒙古の都邑  
で、一にドロンノルと呼ぶ(ドロンノル  
の部を見よ)。  
**チャカブーコ Chacabuco** 南亞米利  
加洲、アルヘンチナ(亞爾然丁)共和国の

中央亞米利加  
リヴィヤとパラグワイの兩國間に戦が開  
け今回亦會戰中である。  
**チャコヴァ Chakova** ユーゴスラ  
ヴィヤ王国、モンテネグロの都邑で、一  
にジャコヴァと書く(ジャコヴァの部を  
見よ)。  
**チャリス・グンタウ・群島 Chagos Is-**  
**lands** 印度洋のマルヂヴ群島の一部に  
屬し、南緯四度四十分乃至八度、東經七十  
一度乃至同七十三度の間に横はる珊瑚島  
群で、土地が低平である。最大島をヂエ  
ゴ・ガルシヤ Diego Garcia と呼び、長  
さが十九軒、幅九軒半に及び、良港を有し、  
人口が五百餘ある。ココナットの生育が  
盛でコブラを輸出する。政事上英領とな  
りモーリシャスの政廳が之を管し、面積  
二百五方軒、人口二千に及ぶ。

通常グラン・チャコ  
El Gran Chaco と呼び、南亞米利加洲  
中部、即ちアルヘンチナ國の北東部ボリ  
ヴィヤ國の南東部、パラグワイ國の北西  
部に亘り、ピルコマヨ河が貫通し、土地  
が低平で、數多の湖沼及び沼澤が並び、  
雨季には一帯に氾濫して海洋の觀を呈  
す。其の一部は砂質の地もあり、又草地  
或は森林地もある。其の面積が五百餘方  
軒に達し、一九三二年境界問題に關しボ  
リヴィヤとパラグワイの兩國間に戦が開  
け今回亦會戰中である。

南亞米利加洲、アルヘンチナ  
地方と境し、西より東はサルタ州、サン  
チャゴ・デル・エステロ州、サンタ・フェ州  
及びコリエンテス州とパラグワイ國とに  
境し、面積が十三方六千六百方軒、人口  
が四萬六千ある。  
土地は踏査不十分であるが、域内に數  
多の湖沼と澤地とを有し、氣候は良好で  
地味肥え、木材を主産物となし、農産物  
が之に次で多い、住民はチャコ印甸族が

土の約二分の一は農耕及び牧場に適すべ  
く、ペコス河によりて灌漑され、面積  
三萬方軒に近きも、現今利用せる地域狭  
く、人口は五千に過ぎない。ロスウェル  
が首府である。  
**チャウシー Tehausy** ソヴェト聯邦  
露西亞本國の都邑で、モヒレウ市の東南  
東四十軒に位し、人口が約六千ある。  
**チャウン・ワン・灣 Chaun Bay** アジ  
ヤ(亞細亞)洲、シベリヤ(西比利亞)の北  
方北氷洋岸の一小灣で、東經百七十度線  
に沿ひ、北緯七十度より南に入り込むこ  
と二百軒に及び、灣頭にアイオン島 Aion  
其他の小島が横つて居る。  
**チャオ・ダ・メイ 昭烏達盟 Chao-da-**  
**mei** 亞細亞洲東部の新興國、滿  
洲熱河省の北部を占め、内蒙古東部四盟  
の一で、敖漢部 Ao-khan 二旗、奈曼部  
Naiman 一旗、巴林部 Barin 二旗、克札  
魯特部 Djardud 二旗、阿魯科爾沁部 Aru  
-khor-chin 一旗、克休克騰部 Keshik-te-  
ng 一旗、喀爾喀 Khor-kho 右翼部一旗、  
翁牛特部 Ongniud 二旗より成り、現今  
支那人の移住多く、次第に發達し、赤峰、  
林西其他の都邑が出來た。  
**チャオ・ナイ・ン・スーメ Chao-Nai-**  
**nan-Su-me** 支那共和国内蒙古の都邑  
で、一にドロンノルと呼ぶ(ドロンノル  
の部を見よ)。  
**チャカブーコ Chacabuco** 南亞米利  
加洲、アルヘンチナ(亞爾然丁)共和国の

チャウシー・チャコ・チハウ



多い。

**チャコバ Djakova** ユーゴスラヴィヤ王国モンテネグロの都邑である(ジヤコヴァの部を見よ)。

**チャスカ Chaska** 亞米利加合衆國ミネソタ州カルヴェルの都邑で、ミネソタ河の北岸に位し、ミネヤポリス・セントルイス及シカゴ・ミルウォーキー・セントポール鐵道に沿ひ、ミネヤポリス市の南西三十三軒に位し、煉瓦の大工場を有し、人口が二千餘ある。

**チャスコムス Chascomus** 南亞米利加洲アルヘンチナ(亞爾然丁)共和國チヤスコムス州の都邑で、ブエノスアイレス市の南々東鐵路百五軒に位し、人口が約四千五百ある。

**チャーターズ・タワース Charters Towers** オーストラリア(濠太刺利)大陸、クインズランド州Oxenfordの一都市で、タウンスヴィル Townsville の南西方百二十九軒に在つて、タワース山中に位し、大金坑業の中心地に當り、我が日本人も之が採掘に従事するものがある。人口一萬五千を有し、附近は甘蔗採掘業が盛である。

**チャタード Chatard** ハンガリー(洪牙利)王国トロンタルの都邑で、詩人レナウ Tenau の出生地に當り、人口が約三千ある。

**チャタヌーガ Chattanooga** アメリカ(亞米利加)合衆國の東部、テネシー

州ハミルトンの都邑で、テネシー河に沿ひ、テネシー河湖航の終點に當り、ナシユヴァイル市の南東二百四十一軒に位し、アラバマ・太南其他の鐵道に沿ひ、チャタラーチー大學・博物館・圖書館・法學カレッジ・神學校等を有す。本市は南北戰役の行はれし地で、當時の戦死者一萬三千人が國民墓地に埋葬せられて居る。市は穀物・木材・鐵・石炭等の取引地に當り、綿布・機械・車輛・鐵鋼器を製出し、人口が十二萬ある。

**チャタラーチーガハ(ワ)河 Chatatahachee River** 亞米利加合衆國、アラ

ラチコラ河 Apalachicola の上流を占め、ジョージヤ州の北部ブルー山脈の南部に發して南西流し、アラバマ州の東境に達して南に向ひ、フロリダ境に至りて左岸にフリント河 Flint を容れ、アラチコラ灣を経て黒西哥灣に注ぐ、フリント河の合流點以下をアラチコラ河と呼ぶ。流程が三百六十軒に達するが、チャタラーチー水源より墨西哥灣口迄は五百七十九軒ある。

**チャタム Chatham** 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケント州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウェー河 Medway の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に位し、西はローチェスター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

ひて延長五軒、面積五百一十一エーカーに達する大造船所を有し、九箇の船渠がある。人口が五萬六千二百ある。

**チャタム Chatham** カナダ(加奈陀)のオンタリオ州ケントの首府で、テムズ河に沿ひ、ロンドン市の南西、鐵路百五軒に位し、加奈陀・太平洋其他の鐵道に沿ひ、ヒューロン湖・イリー湖及びデトロイト湖の汽船によりて連絡し、製鐵・石炭・車輛各工業行はれ、穀物・木材・豚肉等を取引し、人口が一萬一千ある。

**チャタム Chatham or Miramichi** 一にミラミチと呼び、カナダ(加奈陀)ニ

ユーブランスウイックの都邑で、ノーザム

セントローレンス灣岸を距る三十九軒、

ニューカッスルの北東十軒の河港で、良

港に屬し、造船所・製材所・パルプ工場

を有し、木材を輸出し、又漁港に當り、

人口が五千ある。

**チャタム Chatham** 亞米利加合衆國

マサチューセッツ州、バルナターブルの

都邑で、大西洋岸に沿ひ、ケーブコッド半島の南東端に當り、バルスターブル市の東方二十九軒に位し、ニューヨーク市其他と鐵道を連ね、商港と漁港を兼ね、夏季訪問客多く、人口が約二千ある。

**チャタム・グンタウ 群島 Chatham Islands** オセアニア(阿西亞尼亞)洲、

ポリネシア群島に屬し、一にワレカウリ群島 Wairekauri と呼び、ニュージール

ランド南島、リッテルトンの東方八百六十軒に位するも、政治上南島に屬し、其の位置は、南緯四十三度五十分、東經百七十七度に當り、面積九百七十一方軒を占む、此の地は一七七年海軍大尉ブロー

トンによりて發見せられたる處で、面積

八百三十一方軒のチャタムを主島とす、

同島は百、十方軒の鹹湖を有し、主たる

植民地をワイタンギと呼び、屬島は多く

は羊の牧場に利用せられ、其の間、牛・

馬・豚等を飼育し、廣く小麦を耕作す。

氣候は溫和良好で、住民はマオリ族を主とせしも次第に減じ、現今は總住民四百五十人に過ぎないが、其の二百三十五人は歐州人である。

**チャタム群島 Chatham Island** 南亞米利加洲、ガラパゴス群島中に在つて、一名クリストバル Cristobal と呼ば

れる(ガラパゴス島を見よ)。

**チャタム・ジマ Chatham Island**

南亞米利加洲智利共和國の西岸南部に在る小島で、北緯五十度二十分、西經七十四度三十分に在位し、ハノヴァー島 Hano-ver と相對して居る。

**チャタム・ジマ 島 Chatham Island**

nt 南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共

和國の山名で、アレキパ市の北方三十五

軒に位し、高さが約六千四百九十米に達

し、海拔五千四百二十米の地に氣象臺が

あるが、之は一八九四年に置かれた。

**チャチャボヤス Chachapoyas** 南亞米

リ加洲西部、ペルー(秘露)共和國のアマ

ゾンカ川の地方で、イルク河に沿ひ

**チャトカル・サンニャク 山脈 Chakral Mountains** 中央アジアのシル・ダリヤ

河)上流地に在るフェルガナ盆地 Fergana Basin の北に在つて、東西に走るこ

と百軒に及び、東はアレクサンダー山脈

に接し、天山系の一支部に當る。

**チャード・ロ・湖 Chad, Tehad or Tsado Lake** 亞非利加洲の北部、中央



萬五千を有し、附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム・セント・ヘン** (Chatham Island) ハンガリー(洪牙利)王國トロンタルの都邑で、詩人レナウ *Lenau* の出生地に當り、人口が約三千ある。

**チャタヌーガ** (Chattanooga) アメリカ(亞米利加)合衆國の東部、テネシー

州の南東部に在り、人口が約三萬五千ある。附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム** (Chatham) 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケンツ州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウエー河 *Meadway* の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に在り、西はローチエスタター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

て、コネチカット河の東岸に沿ひ、ミッドルタウン市の東方十四軒半に在り、コバルトを産し、商業地に當り、人口が二千三百ある。  
**チャタム** (Chatham) 亞米利加合衆國ニ

在る、コネチカット河の東岸に沿ひ、ミッドルタウン市の東方十四軒半に在り、コバルトを産し、商業地に當り、人口が二千三百ある。  
**チャタム** (Chatham) 亞米利加合衆國ニ在る、コネチカット河の東岸に沿ひ、ミッドルタウン市の東方十四軒半に在り、コバルトを産し、商業地に當り、人口が二千三百ある。

州の南東部に在り、人口が約三萬五千ある。附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム** (Chatham) 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケンツ州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウエー河 *Meadway* の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に在り、西はローチエスタター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

れる(ガラバゴス島を見よ)。  
**チャタム・セント・ヘン** (Chatham Island) ハンガリー(洪牙利)王國トロンタルの都邑で、詩人レナウ *Lenau* の出生地に當り、人口が約三千ある。

**チャタヌーガ** (Chattanooga) アメリカ(亞米利加)合衆國の東部、テネシー

州の南東部に在り、人口が約三萬五千ある。附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム** (Chatham) 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケンツ州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウエー河 *Meadway* の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に在り、西はローチエスタター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

れる(ガラバゴス島を見よ)。  
**チャタム・セント・ヘン** (Chatham Island) ハンガリー(洪牙利)王國トロンタルの都邑で、詩人レナウ *Lenau* の出生地に當り、人口が約三千ある。

**チャタヌーガ** (Chattanooga) アメリカ(亞米利加)合衆國の東部、テネシー

州の南東部に在り、人口が約三萬五千ある。附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム** (Chatham) 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケンツ州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウエー河 *Meadway* の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に在り、西はローチエスタター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

れる(ガラバゴス島を見よ)。  
**チャタム・セント・ヘン** (Chatham Island) ハンガリー(洪牙利)王國トロンタルの都邑で、詩人レナウ *Lenau* の出生地に當り、人口が約三千ある。

**チャタヌーガ** (Chattanooga) アメリカ(亞米利加)合衆國の東部、テネシー

州の南東部に在り、人口が約三萬五千ある。附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム** (Chatham) 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケンツ州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウエー河 *Meadway* の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に在り、西はローチエスタター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

れる(ガラバゴス島を見よ)。  
**チャタム・セント・ヘン** (Chatham Island) ハンガリー(洪牙利)王國トロンタルの都邑で、詩人レナウ *Lenau* の出生地に當り、人口が約三千ある。

**チャタヌーガ** (Chattanooga) アメリカ(亞米利加)合衆國の東部、テネシー

州の南東部に在り、人口が約三萬五千ある。附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム** (Chatham) 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケンツ州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウエー河 *Meadway* の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に在り、西はローチエスタター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

れる(ガラバゴス島を見よ)。  
**チャタム・セント・ヘン** (Chatham Island) ハンガリー(洪牙利)王國トロンタルの都邑で、詩人レナウ *Lenau* の出生地に當り、人口が約三千ある。

**チャタヌーガ** (Chattanooga) アメリカ(亞米利加)合衆國の東部、テネシー

州の南東部に在り、人口が約三萬五千ある。附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム** (Chatham) 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケンツ州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウエー河 *Meadway* の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に在り、西はローチエスタター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

れる(ガラバゴス島を見よ)。  
**チャタム・セント・ヘン** (Chatham Island) ハンガリー(洪牙利)王國トロンタルの都邑で、詩人レナウ *Lenau* の出生地に當り、人口が約三千ある。

**チャタヌーガ** (Chattanooga) アメリカ(亞米利加)合衆國の東部、テネシー

州の南東部に在り、人口が約三萬五千ある。附近は甘蔗採掘業が盛である。  
**チャタム** (Chatham) 英吉利國大ブリテン島、イングランド(英蘭)の南東部に在るケンツ州の港市で、テムズ河口の右岸に注ぐメドウエー河 *Meadway* の南岸に立ち、倫敦市の南東方四十八軒に在り、西はローチエスタター市に隣り、北東はギリンガム市に接し、要塞地で、有名な海軍工廠の所在地に當り、又同河に沿

チャタムジマ―チャード・コ

南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國の山名で、アレキパ市の北方三十五

里に在り、高さが約六千四百九十米に達

し、海拔五千四百二十米の地に氣象臺が

あるが、之は一八九四年に置かれた。

**チャチャボヤス** (Chachapoyas) 南亞米

利加洲西部、ペルー(秘露)共和國のアマ

ゾンカ州に在り、同州の首都に當り、

マラニョン川の支流に沿ひ、農産地の中

に在り、一にサン・フアン・デ・ラ・フロ

ンテラ *San Juan de la Frontera* と

呼び、舊教本山の所在地に當り、人口が

約一萬ある。

**チャーチル・ガハ** (Churchill) 河

北亞米利加洲カナダ(加拿大)のサ

スカチワン州 *Saskatchewan* に在る河

川で、上流をビーヴァー河 *Beaver* と呼

び、數多の湖水を容れ、スネーク湖より

チャーチル河の名を得、河幅増大し、湖

沼の觀を呈し、北方レーンダー湖 *Ray*

*Lake* より排水し來る馴鹿河の水を容れ、

東方マニトバ州に向ひ、南北兩インデヤ

ン湖を容れて北東に向ひ、ハドソン灣の

西側、バトン灣 *Batton B.* に注ぐ。

**チャチル・サン** (Chatur Sang) 山

ソウイェト聯邦、露西亞本國南部クリム

ソウイェト半島の南岸、地中海の沿岸に

屹立する山で、シムフェロポール市の南

東三十二軒に在り、高さが二千五百米あ

る。

**チャチンサ・トウゲ** (Chatusa) 峠

南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國の山名で、アレキパ市の北方三十五里に在り、高さが約六千四百九十米に達し、海拔五千四百二十米の地に氣象臺があるが、之は一八九四年に置かれた。

南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國の山名で、アレキパ市の北方三十五

里に在り、高さが約六千四百九十米に達

し、海拔五千四百二十米の地に氣象臺が

あるが、之は一八九四年に置かれた。

**チャチャボヤス** (Chachapoyas) 南亞米

利加洲西部、ペルー(秘露)共和國のアマ

ゾンカ州に在り、同州の首都に當り、

マラニョン川の支流に沿ひ、農産地の中

に在り、一にサン・フアン・デ・ラ・フロ

ンテラ *San Juan de la Frontera* と

呼び、舊教本山の所在地に當り、人口が

約一萬ある。

**チャーチル・ガハ** (Churchill) 河

北亞米利加洲カナダ(加拿大)のサ

スカチワン州 *Saskatchewan* に在る河

川で、上流をビーヴァー河 *Beaver* と呼

び、數多の湖水を容れ、スネーク湖より

チャーチル河の名を得、河幅増大し、湖

沼の觀を呈し、北方レーンダー湖 *Ray*

*Lake* より排水し來る馴鹿河の水を容れ、

東方マニトバ州に向ひ、南北兩インデヤ

ン湖を容れて北東に向ひ、ハドソン灣の

西側、バトン灣 *Batton B.* に注ぐ。

**チャチル・サン** (Chatur Sang) 山

ソウイェト聯邦、露西亞本國南部クリム

ソウイェト半島の南岸、地中海の沿岸に

屹立する山で、シムフェロポール市の南

東三十二軒に在り、高さが二千五百米あ

る。

**チャチンサ・トウゲ** (Chatusa) 峠

南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國の山名で、アレキパ市の北方三十五里に在り、高さが約六千四百九十米に達し、海拔五千四百二十米の地に氣象臺があるが、之は一八九四年に置かれた。

南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國の山名で、アレキパ市の北方三十五

里に在り、高さが約六千四百九十米に達

し、海拔五千四百二十米の地に氣象臺が

あるが、之は一八九四年に置かれた。

**チャチャボヤス** (Chachapoyas) 南亞米

利加洲西部、ペルー(秘露)共和國のアマ

ゾンカ州に在り、同州の首都に當り、

マラニョン川の支流に沿ひ、農産地の中

に在り、一にサン・フアン・デ・ラ・フロ

ンテラ *San Juan de la Frontera* と

呼び、舊教本山の所在地に當り、人口が

約一萬ある。

**チャーチル・ガハ** (Churchill) 河

北亞米利加洲カナダ(加拿大)のサ

スカチワン州 *Saskatchewan* に在る河

川で、上流をビーヴァー河 *Beaver* と呼

び、數多の湖水を容れ、スネーク湖より

チャーチル河の名を得、河幅増大し、湖

沼の觀を呈し、北方レーンダー湖 *Ray*

*Lake* より排水し來る馴鹿河の水を容れ、

東方マニトバ州に向ひ、南北兩インデヤ

ン湖を容れて北東に向ひ、ハドソン灣の

西側、バトン灣 *Batton B.* に注ぐ。

**チャチル・サン** (Chatur Sang) 山

ソウイェト聯邦、露西亞本國南部クリム

ソウイェト半島の南岸、地中海の沿岸に

屹立する山で、シムフェロポール市の南

東三十二軒に在り、高さが二千五百米あ

る。

**チャチンサ・トウゲ** (Chatusa) 峠

南亞米利加洲西部、ペルー(秘露)共和國の山名で、アレキパ市の北方三十五里に在り、高さが約六千四百九十米に達し、海拔五千四百二十米の地に氣象臺があるが、之は一八九四年に置かれた。



湖畔にはクカヌカ・ボソ Bosso 等の都邑がある(兩都邑を見よ)。

**チャトル** Chatura or Chitra 英吉利領印度の都邑で、一にチャトラと呼ぶ(チャトラの部を見よ)。

**チャナク・カレヅ** Tehanak-Kale-ssi 一にカレ・スールタニー Kale-Sulta-nie と呼ぶ、歐洲名はダグダネルス Dardanelles だ、ダグダネル海峡に面する小亞細の都邑に當り、キリド・パール市 Kirid Bahir と峽水道を隔て、相對し、陶器の産地に當り、人口が二萬ある。

**チャナム** Gsumad or Kemet Gsumad 一にネーメト・チャナードと呼び、ハンガリー(洪牙利)王國トロンタルの都邑で、ドナウ河の南岸に沿ひ、マコ市の南東十六軒に位し、人口が約二千ある。

**チャナル** Chanar or Chinar 英吉利領印度オードの都邑で、ベナレスの南西二十七軒に位し人口が約一萬ある。

**チャニー・ロ** Tschany Lake アジャ(亞細亞)洲の北部に在るシベリヤ(西比利亞)の小湖で、同地の南西に位し、中亞細亞に近く、北緯五十五度、東經七十五度半に位し、平野中に横はり、東よりカルガト河 Karaat R. を容れ、附近には湖沼が極めて多い。

**チャニヤラル** デ・ラス・アニマス Chafaral de las Animas 南亞米利加洲西部、チリ(智利)共和國アタカマ州の港市で、カルデラ市の北方七十九軒に位

し、鐵道によりてコピヤボ市と連絡し、船舶の集中點に當り、人口が三千ある。

**チャニヤルシリ** Chaniyari 南亞米利加洲西部、チリ(智利)共和國の工業市で、アタカマ州に屬し、コピヤボ市の南方五十六軒に位し、鐵道によりて連絡し、人口が約三千ある。

**チャヌート** Chanute 亞米利加合衆國カンサス州ネオシヨの都邑で、ネオシヨ河を距る一軒、アッチソン・トベカ・サンタフェ 其他の鐵道に沿ひ、フォート・スコット市の南西六十四軒に位し、礦物精鍊業に知られ、附近より石油を産し、人口が約三千ある。

**チャノ・マリナ** Diana Marina イタリヤ(伊太利)王國ポルトマウリチヨ州の都邑で、オネグリア市に近く、人口が二千餘ある。

**チャバ** Osaba ハンガリー(洪牙利)王國の都邑で、ブダペスト市の南東二百四十五軒に位し、一にベケスチャバ Bekescsaba と呼び、市民はマジャール族とスラヴ族が多く、人口が四萬九千ある。

**チャバス** Chadas 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國の南東端に在る州名で、南は太平洋に面し、南部は山地多く數多の火山が屹立し、中部は肥沃で珈琲・ココア・砂糖・穀物・煙草等を産し、牧畜も盛に行はれ、鑛産には金・銀・銅・石油等がある。州の北東部に古代都市の遺跡を有す。ツリストラ Tuxtla Gutierrez が首

府で、面積五萬七千五百方軒、人口が四十一萬ある。

**チャバ・デ・ロス・インヂオス** Chiapa de los Indios メキシコ(墨西哥)共和國チャバス州の都邑で、サン・クリストバルの南西六十四軒に位し、人口が約四千ある。

**チャバ(NDjapara)** Japara or Ypura ヲレ(馬來)群島ジャヴァ(瓜哇)島の北岸に在る都邑で、スマラン市の北に在る都邑で、一にジャバラと呼ぶ。(ジャバラの部を見よ)。

**チャバラ** Chapala Lake 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和國第一の大湖で、北緯二十度線の北に横はり長楕圓形を呈し、東西の長經七十二軒、面積三千四百方軒に達し、火山四周せる盆地に位し、東よりレルマ河を容れ、氣候良好風色畫くが如く、良好なる避暑地として知られ、湖岸には農田が發達す、同湖の水はリオ・グランデ・デ・サンチャゴ Rio Grande de Santiago となり、太平洋に注ぐ。

**チャパーラル** Chaparral 南亞米利加洲北部、コロムビヤ(哥倫比亞)共和國トリマ地方の都邑で、ボゴタ市の南西百七十四軒、鑛山地の中心に位し、銅・石炭・鐵及び石油を産し、人口が九千ある。

**チャハルシヨウ** 察哈爾省 Cha-har 內蒙古東部の錫林郭勒盟五部九旗と察哈爾八旗とを含み、近時迄察哈爾特

別行政部として取扱つたが、最近一省となつた。其の位置は滿洲熱河省の西に在つて、南は河北・山西兩省に、南西は綏遠省に、北は外蒙古に接し、次の通り各旗に分れる。

- 烏珠穆沁部 烏珠穆沁左翼旗 右翼旗
- 浩濟特部 浩濟特左翼旗 右翼旗
- 蘇叱特部 蘇叱特左翼旗 右翼旗
- 阿巴噶部 阿巴噶左翼旗 右翼旗
- 阿巴噶那爾 阿巴噶那爾右翼旗 左翼旗
- 察哈爾八旗 察哈爾左翼四旗 右翼四旗

各旗は部落の長たる札薩克が之を統轄し、部内の行政・司法の警察權を握つて居るが、現今省長が之を統治する、此の中次の各地は縣治を設立した。

- 張北 沽澤 多倫 豐鎮 涼城 興和 洮林 商都 其他共十八縣
- 興安嶺が北東より來て、省の東境を限り、其の一支が多倫の北より本省内に入り、南西に進み綏遠省に向ひ、他の土地は高臺となり、河川湖沼は大なるものなく、何れも内陸性である。氣候は大陸的で雨量少なく、農牧地多く、雜穀・亞麻仁・阿片・家畜等を産し、湖沼地より食鹽と天然鹽産を産出する。

都邑は張家口(張北)と多倫(多倫諾爾)とで、多倫が省城地、張家口は開市場である。

ある。

**チャマン・サン** Chapman Mount ニューギネヤ島の龜尾部地方に在る山で、南緯八度、東經百四十七度に位し、海拔三千四百六十七米に達する。

**チャプラ** Chapra 英吉利領印度のピル・オリッサ州北部の都邑で、パトナの

コスタ地方に屬し、サンフランシスコ市の北東六十一軒に位し、海拔千七百七十米に過ぎざる山で、山下の白堊紀層は有名なる石炭を埋藏し、産額が多い。

**チャプロチン・サン** Diablotin Mount 西印度諸島、英領リワード列島のドミニカ島に在る火山で、高さ一、四

花を取引し、人口が一千餘ある。

**チャベル・レース** エーレーモン Chapez-Herlaimont ベルギー(白耳義)王國エーノーの都邑で、シャーローレ

一市の西北西十三軒に位し、人口が六千

に位し、海拔七千二百九十八米に屹立して居る。

**チャマン** Chaman 英吉利領印度の西に在るベルチスタン(皮路直斯坦)の國境に在る都邑で、ケタ市の北西六十軒に

位し、印度より同市を經て來る鐵道の終點に當り、軍事上・交通上の要地に當る。

**チャマンチナ** Diamantina 南亞米利



十五度半に位し、平野中に横はり、東よりカルガト河 Ararat R. を容れ、附近には湖沼が極めて多い。

**チャニヤラル・デ・ラス・アニマス** Chafarai de las Animas 南亞米利加洲西部、チリ(智利)共和国アタカマ州の港市で、カルデラ市の北方七十九九に位

ある。

**チャブマン・サン** Chapman Mountain ニューギネヤ島の龜尾部地方に在る山で、南緯八度、東經百四十七度に位し、海拔三千四百六十七米に達する。

**チャプラ** Chapra 英吉利領印度のビハル・オリッサ州北部の都邑で、パトナの北西五十三軒、ガンジス河の左岸に立ち土地が健康に適するより英吉利人と和蘭人との工場が建設せられて居つた。今でも硝石の取引地として知られ、人口が四萬二千ある。

**チャブール・ガハ(ワ)河** Chabur River 亞細亞洲の西部に在るメソポタミアのエウフラト河に流れ込む(エウフラト河の部を見よ)。

**チャブルテペク** Chapultepec 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和国の村落と岩盤名で、首府メキシコ市の南西三軒に位し、岩盤は大統領の宮殿内に存し、舊王城に當り、一八四七年米國に占領せられたことがある。

**チャブレール・サン** Chablereys Mount スイス(瑞西)共和国のベルネス・アルプスの一山峯で、ベルン地方のベルン市とヴァレーの間に位し、シオンより十軒に在つて、海拔三千二百三十餘米に達する。

**チャープロ・サン** Diablo Mount 亞米利加合衆國、カリフォルニア州に在る圓錐形の孤峰で、海岸山脈中コントラ

北カラライナ大學の所在地に當り、又綿

花を取引し、人口が一千餘ある。

**チャペル・リース・ヘーレーモン** Chapel-les-Herlaimont ベルギー(白耳義)王国エノーの都邑で、シャーローレ市の西北西十三軒に位し、人口が六千ある。

**チャボロウイセ** Chaborovics チェコスロヴァキヤ共和国、ボヘミアの都邑で、一にカルピツと呼ぶ(カルピツの部を見よ)。

**チャボロビゼ** Chaborovics チェコスロヴァキヤ共和国、ボヘミアの都邑である(チャボロウイセの部を見よ)。

**チャマクウエロ** Chamucero 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国グワナフワト州の都邑で、メキシカンシヨナ

鐵道に沿ひ、グワナフワト市の東五十八軒に位し、人口が約五十ある。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャマーラコタ** Chamarakota 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和国グワナフワト州の都邑で、メキシカンシヨナ

鐵道に沿ひ、グワナフワト市の東五十八軒に位し、人口が約五十ある。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

**チャムライ・サン** Chamrai Mountain 支那共和國(中華民國)西部、チベット(西藏)の山名で、一にシュワラリ山と呼ぶ(シュワラリ山の部を見よ)。

に位し、海拔七千二百九十八米に屹立して居る。

**チャブン** Chabun 英吉利領印度の西に在るベルチスタン(皮路直斯坦)の國境に在る都邑で、ケタ市の北西六十軒に位し、印度より同市を經て來る鐵道の終點に當り、軍事・交通上の要地に當る。

**チャマンチナ** Diamantina 南亞米利加洲、ブラジル(伯刺西爾)合衆國、ミナス・ジェラエス州に在る都市で、オウロ・プレト Oura Preto の北々東二百七十四軒、海拔千三百三十二米の高地に立ち、金銅石産地の中心地を占め、工業も盛に行はれ、綿布・煙草・鞣革等を産し、金剛石細工に著はれ、人口が一萬五千ある。

**チャマンチナ・サン** Diamantina Mountains 南亞米利加洲、ブラジル(伯刺西爾)合衆國、マツト・グロソ高原の西方に在つて、一名パリー山脈 Serra de Pary と稱す。

**チャマンチノ・ガハ(ワ)河** Diamantina River 南亞米利加洲、オーストラリア(濠太刺利)大陸中部の内陸大河で、源をカーペンタリヤ灣斜面と内陸斜面との分水嶺に當るキルビー山脈 Kirby に發し、同山脈の内側に沿ひて北東より南東に流走し、次で南西方に向ひ、南流し來るカデル河 Cudell 其他を合せ、南オーストラリア州の乾燥地帯に入るや、エヴエラルド河 Everald の名を得、水量著しく減少し、乾季には沙漠地に吸収せら

チャブマン・サン - チャマンチノ・ガハ



る、も雨季には南流し來れるエーヤ河と合して二分し、右側はカラクバ河 Karabakuh に、左側はワルバートン河 The Warburtun に分れ、北エーヤ湖に注ぐ。流程が五百六十軒ある。

チャムド・察木多 Chando or Chiamdo

支那の西部に在る西藏の小都邑で、上部メコン河に沿ひ、ラッサ市の北東六百四十軒に位し、數多の喇嘛寺を有す。人口七千中喇嘛僧が二千ある。

チャムバ Chamba

英吉利領印度の藩部で、パンジャブ州の北東部に位し、北はカシユミール州に接し、南はガンガラ地方に隣り、丘陵四周し、ラヴィ河及びチナブ河によりて排水せられ、土地が豊沃で米・黍・玉蜀黍を産し、牧牛行はれ、粘板岩・鐵・銅を産し、獸獵も盛に行はれ、森林多く良材を産し、面積八千三百二十九方軒、人口十四萬を有し、ヒンヅール族が殆ど全部を占め、首府をチャムバと呼び、西境に近い。

チャムバ Chumba or Chumba

英吉利領印度の都邑で、ヒマラヤ山麓、ラヴィ河に沿ひ、ラホール市の北東百九十三軒に位し、もと商業上の要地に立ち、人口が約六千ある。

チャムパン・湖 Champayan Lake

北亞米加州メキシコ(墨西哥)共和国に在りて、墨西哥灣岸タムピコ市に接し、タメシ河 Tamesi の下流に排水する小湖である。

チャムパラン Champaran

英吉利領印度のビハル州チルフートの一地方で、北はネパール國に境し、硝石が大産物で之が精製に従事し、首府をモチハリ Motihari と呼び、其の面積九千四百四十五方軒、人口が百九十萬ある。

チャムバル・ガハ(ワ)河 Chumbal River

英吉利領印度の中央印度に在る河川で、ジャムナ河の大支流に屬し、源をデカン高原のムホウに近きマルワに發して、ヴインヂヤ山脈の南斜面を下り、北東流し大平野に出でて南東に向ふ、長さ九百二十軒に及び、エタワリ市の下六十四軒の地に至りてジャムナ河に合する。氾濫の時期には航行不能で、且水量が本流よりも大となる。

チャムビエン Chamption

亞米利加合衆國ニューヨーク州、ジェフアソン郡の都邑で、ブラック河に近く、ウオータータウンの東方二十四軒に位し、人口が約二千五百ある。

チャムベジ・ガハ(ワ)河 Chumbezi River

亞非利加洲西部、白耳義領コンゴ地方に在るコンゴ河の源流で、源をタンガンイカ・北ローデシヤ兩地方の境上南西側に發して南西に向ひ、バングウェウル湖 Bangweulu に至る迄の名稱。同湖を出づるヤルアラ河 Rapula となる(コンゴ河を見よ)。

チャムペリコ Champerico

中央亞米利加、グアテマラ共和国の海港で、太

平洋に面し、サラモ河口に立ち、グアテマラ市の南西六十軒に位し、汽船によりてアカプルコ其他の諸港と連り、珈琲・ゴム及び皮革を輸出す。人口が千五百ある。

チャフ Chava

亞非利加洲の東部、英吉利領亞非利加の都邑で、タナ河に沿ひ同河口を溯ること六軒半の上流に立ち、モンバサ市の北々東百九十三軒に在る。

チャラ・ガハ(ワ)河 Dara River

西亞細亞のメソポタミヤに在る河川で、チグリス河の支流に屬し、ペルシヤ(波斯)王國より來り、バグダードに近く本流に會す(チグリス河の部を見よ)。

チャラ・ザブ・ガハ(ワ)河 Djalal Zab River

西亞細亞に在るメソポタミヤ地方の河川で、ペルシヤ(波斯)王國より來るチグリス本流に會す(チグリス河の部を見よ)。

チャレンナン Chalenango

中央亞米利加のサルヴァドル共和国の都邑で、同名の州の首府に當り、タムラスカ及びコロコ河に沿ひ、重要な都市で、人口が約六千ある。

チャリン Chavala

南亞米利加洲、コロムビヤ(哥倫比亞)共和国サンタンデルの都邑で、ボゴタ市の北東百九十三軒に位し、陶器と綿布製品を産し、人口が一萬一千ある。

チャリトン Chariton

亞米利加合衆國、アイオワ州ルーカスの首府で、チャリトン河とシカゴ・バーリントン・クイン

シー鐵道に沿ひ、デ・モイン市の南東九十軒の地に位し、鐵工場を有し、尙ほ車類・家具・タンク・ポンプ等を産出し、石炭及び建築石材が附近より出る。人口が約四千ある。

チャリトン・ガハ(ワ)河 Chariton River

亞米利加合衆國、アイオワ州の河川で、同州南部に發源し、南流してミズーリ州に入り、グラスゴー市の上流六軒半の地に至り、ミズーリ河に合し、長さが四百軒に及び、チャリトン河口の上流一軒半の地に於て東チャリトン河を容れる、長さが百六十軒ある。

チャリン・湖 Charing or Zarin Kor

支那共和国(中華民國)の青海省に在る高原上に位し、黄海の源流マチュウ河 Machu に貫ぬかれ、東西兩湖より成る水路を連ねて居る。西湖即ち上流に在る湖の海拔は三千四十米に在る。その上流の湖沼を特にノリン湖 Noilyn Nor と呼ぶ(ノリン湖及びツァリン湖の部を見よ)。

チャルヴィル Charleville

オーストラリア(濠太刺利)大陸クインズランド州の都邑で、ブリスベーン市の西方七百七十二軒に位し、鑽井によりて灌漑せらる、牧場地の中心に當り、鑛物の産地である。特に蛋白石に富み、人口が二千ある。

チャルカス Charcas

北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和国、サン・ルイス・ポトシの都邑で、ラレド・メキシコ鐵道

に沿ひ、人口が約四千ある。

チャルザッタ Charsatta

英吉利領印度の都邑で、北西國境州に屬し、スワト河に沿ひ、ベシヤワル市の北東二十二軒半に位し、人口が九千二百あるが、殆ど回教徒である。

チャルジュイ Charjui or Tcharjui

アムド河の右岸に立

の首邑である(ネヴィス島の部を見よ)。

チャールスタウン Charlestown

亞米利加合衆國、イリノイ州コレスの首府で、トベカ・セントルイス及びウエスタール其他の鐵道通じ、麥粉・毛織物・煙草・暖爐等を産し、人口が約六千ある。

チャールストン Charleston

亞米利加合衆國、サウスカロライナ州の首府で、チャールズ河とシカゴ・バーリントン・クイン

十七軒に位し、人口が約八千ある。

チャールビル Charleville

オーストラリア(濠太刺利)大陸、クインズランド州の都邑で、ブリスベーン市の西方遙に在る(チャールヴィルの部を見よ)。

チャルフォント・セント・ジャイルズ Chalfont Saint Giles

英吉利領印度、バッキンガムシャーの村







ベルベキルと呼ぶ(チャルベキルの部を見よ)。

**チャルンウッド・ネリ** Charnwood Forest 英吉利國大ブリテン島、イングリランド(英蘭)リースターシヤの裸地に當り、ルーフバラーの南西八軒に位し、面積五十二方軒の丘陵地で、バルドン丘陵の一部を占め、海拔三百米の地に立ち、花崗岩及び角岩を産出する。

**チャレヴィツァ・ワン** Charevitsa Bay 東海の北東部に在る港市で、一にチエザレヴィツァ灣と呼ぶ(チエザレヴィツァ灣の部を見よ)。

**チャレット** Diaret 亞弗利加洲北部佛蘭西領アルジェリヤの都邑で、オラン市の南東、鐵路百六十九軒に位し、ゲズル山 Jebel Guezul の中腹、海拔千八十米の高地に立ち、チンガルチャの羅馬市街として設立せられしより數多の羅馬廢址存し、三十五軒の郊外に羅馬塔立ち尖塔状を呈す。人口が六千ある。

**チャレビツァ・ワン** Charevitsa Bay 亞細亞洲西部東部の北東部に在る灣名である(チャレヴィツァ灣の部を見よ)。

**チャーレロイ** Charleroi 亞米利加合衆國ペンシルヴァニア州、ウオシントンの都邑で、ペンシルヴァニア鐵道に沿ひ、ピッツバーグ市の南東六十五軒に位し、板硝子及び瓶を産し、人口が約六千ある。

**チャロ** Chero 北亞米利加洲、メキシコ(墨西哥)共和國ミチョカン州の都邑で、古へのマトラチンゴ Matlatzingo に當り、シエラ・オツマトラン(一九七〇米)の山麓に立ち、モレリヤ市の北東十六軒に在り、鐵道によりて連絡し、人口が約七千ある。

**チャロ・サン** Chalo or Chela Mountain 南亞米利加洲西部のチリ(智利)共和國とボリヴィア共和国との境上に立つアンデス山系上に噴起せる火山で、現今活動して居る。

**チャロシツエ** Dzialsowiec ポーランド(波蘭)共和國の都邑で、キエルツエ市の南々西五十八軒に位し、ワルド河に沿ひ、人口が五千五百ある。

**チャンカイ** Chanay 南亞米利加洲西部に在るペルー(秘露)共和國チヤンカイ州の首府に當り、チヤンカイ河口、リマ市の北々西六十九軒に位し、鐵道によりて連絡し、人口が約三千ある。

**チャンガルムルダ** Chandragiri 亞細亞洲西部、アフガニスタン(阿富汗斯坦)の東方、北緯三十四度半、東經六十六度四十分に在り、ヒンヅークシ山脈の南脈に當るコー・イ・ババ山脈 Koh-i-Baba の最高峯で、海拔五千七百七十五米に達する。

**チャンロ** Chanco 南亞米利加洲西部チリ(智利)共和國マウレ州の都邑で、太平洋に面し、カウキネス市の北西三十五軒に位し、人口が約二千二百ある。

に在るシャム(暹羅)王國、チャンタボン地方の都邑で、一にチャンダボンと呼ぶ(チャンタボン部の部を見よ)。

**チャンダ** Chanda 英吉利領印度の中央州チャンド地方の都邑で、ヴィラリ及びビジャルパト河の會合點に立ち、ナグプールの南方百四十五軒に位し、高さ三米、周圍九軒の城壁を繞らし、絹布・綿布・上靴・金物等を産出し、古寺其他の遺跡を有す、人口二萬中六分の五はヒンヅー教徒である。

**チャンタウエル** Chantavet ハンガリー(洪牙利)王國、バチ・ボドログの都邑で、ツェンタ市の北西方二十六軒に位し、人口が約六千ある。

**チャンダウシ** Chandausi 英吉利領印度、合併洲マラタバード地方の都邑で、ソト河に近く、パレリーリの西方七十二軒半に位し、附近より産する砂糖の取引地に當り、石灰岩の大産地に近く、人口二萬六千を有し、其の四分の三はヒンヅー教徒で、残りは回教徒である。

**チャンタボン** Chantabun or Chanta-bon 印度支那半島、シャム(暹羅)王國の同名の地方の首府で、シャム灣の東端を距る二十軒、バンコクの東方二百軒に位し、寶石特に紅寶石及び胡椒を産し、人口五千を有し、一八九三年以來フランス領となつた。

**チャンタベル** Chantavet ハンガリー(洪牙利)王國、バチ・ボドログの都邑である(チャンタウエルの部を見よ)。

に在るシャム(暹羅)王國、チャンタボン地方の都邑で、一にチャンダボンと呼ぶ(チャンタボン部の部を見よ)。

**チャンタン・コウゲン** Chantankougen 高原 支那共和國(中華民國) Tang Plateau チベット(西藏)高原の別名で、北平を意味し、西藏の首府ラササの北に在る義勇名づけたものである(チベット高原の部を見よ)。

**チャンチャナ** Chanchana イタリヤ(伊太利)王國、シチリヤ(シシリ)島の都邑で、ジェルジエンチ市の北西二十四軒に位し、附近に硫黄鑛山を控え、人口が七千三百ある。

**チャンデルコナ** Chandereona 英吉利領印度、ベンゴール省に在る都邑で、一にチャンドラコナ Chandracona と呼ぶ(チャンドラコナの部を見よ)。

**チャンドラガハ** Chandragaha 河 英吉利領印度の大支流ドリマブ河 Trimab R. の本流で、カシュミールの南境に立つバララチヤ越(四、九四四米)に發して南流し、次で北西に屈し、カシュミール地方を貫ぬき、キスタワルより南西に屈して巨流となり、マガヤナの西方に於て、北流し来るジェーラム河を右岸に容れ、アーマドプールの南に於て、西流し來れるラヴィ河を左岸に容れる(トリマブ河とインダス河の部を見よ)。

**チャントリー** Chantree Islands 印度支那

**チャネル** Channel 英吉利國の屬島で、英吉利海 Islands 夾の南部、フランス國のノーマンディー

**チャンネル** Channel 英吉利領印度の都邑で、ヒマラヤ山麓のラヴィ河に沿ひ、ラホール市の北東に在る(チャムバの部を見よ)。

**チャンペリー** Champoree 中央

**チャンペリー** Champoree 中央



灣名である(チャレヴィツァ灣の部を見よ)。

**チャーレロイ** Charleroi 亞米利加合衆國ペンシルヴァニア州、ウォシントン郡の都邑で、ペンシルヴァニア鐵道に沿ひ、ピッツバーグ市の南東六十五軒に位し、板硝子及び瓶を産し、人口が約六千ある。

ニスタン(阿富汗斯坦)の東方、北緯三十四度半、東經六十六度四十分在つて、ヒンズークシ山脈の南脈に當るコーイ・ババ山脈 Koh-i-Baba の最高峯で、海拔五千七百七十五米に達する。

**チャンロ** Chango 南亞米利加洲西部チリ(智利)共和國マウレ州の都邑で、太平洋に面し、カウキネス市の北西三十五

端を距る二十軒、バンコクの東方二百軒に位し、寶石特に紅寶石及び胡椒を産し、人口五千を有し、一八九三年以來フランス領となつた。

**チャンタベル** Chantavet ハンガリー(洪牙利)王国、バチ・ボドログの都邑である(チャンタヴェールの部を見よ)。

**チャンタボン** Chantabon 印度支那

中央プロヴィンスの工業市で、ライン・ルール兩河の間に位し、南方デューセルドルフと二十五軒を隔て、もと寒村であつたが、十九世紀に至り、石炭業勃興の爲に發達し、冶金業の中心地となり、綿布、石鹼の製造も盛で、人口が二十七萬三千に達した。

**チュイラ・マクナ・サン** 山 Tula Ma

チュイラ・マクナ・サン 山 Tula Ma 非洲の北部亞非利加に在る山で、サハラ・アトラス山脈 Saharan Atlas Mts. の北部、アムール山脈 Jebel Amour or Anur の最高點(一、九三四米)に當り、地中海とイガール谷地 Tigharghar Bassin との分水嶺を形成する。

**チュウオウアジヤ** 中央亞細亞

**Chanar** 北亞米利加洲、カナダ(加奈陀)のヒューロン湖東岸の東部に在るソージー半島を距る一軒餘、即ち北緯四十四度二十九分、西經八十一度二十三分に在る小島である。

**チャンネル** Channel 群島 Channel Islands 英吉利國の屬島で、英吉利海峽の南部、フランス國側のノーマンディー半島の西方、北緯四十九度十分乃至四十三分、西經二度乃至二度四十三分の間に散在するジャージー Jersey、ゲルンジー Guernsey、オルダーニー Alderney、サーク Sark、ヘルム Herm 等を含み、總面積百九十四方軒、人口九萬二百三十人を有し、住民はフランス系のケルト族で、舊教を信じ、佛語を使用する。ジャージー島が最大で、牧牛を主産業となし牛は良質を以て知られ、尙トマト・馬鈴薯・果實・葡萄・花卉と花崗岩を産する。

本群島は政治上イングランド其他と別區をなし、ジャージー島と其他の各島の二區に分ち、共に王國の任命せる知事を派し、自治政を行ふ。都邑はジャージー島の首府にセント・ヘリール、ゲルンジー島の首府にセント・ピテル・ポート、オルダーニー島の首府にセントアンヌがある。

**チャンバ** Chamba 英吉利領印度の藩部で、パンジャブ州の北方に位し、北はカシミア州に接し、南はカンガラ地方に隣る(チャンバの部を見よ)。

**チャンバ** Chamba or Chumba 英

吉利領印度の都邑で、ヒマラヤ山麓のラヴィ河に沿ひ、ラホール市の北東に在る(チャンバの部を見よ)。

**チャンバイ** Chumbai 中央亞細亞キルギスの都邑で、アム河の三角洲上に立つ(チャンバイの部を見よ)。

**チャン・バール** Chans Bhaer 英吉利領印度ベンゴール省の藩部で、コタ・ナグプールに在つて、北・西・南の三面はレワ地方に圍まれ、丘陵性の地の一部は藪地に被はれ、野象・虎・豹等の狩獵に適し、土地が瘠せて農産少なく、面積二千三百四十七方軒、人口九千ある。

**チャンパン** Champain 湖 Champain Lake 北亞米利加洲メキシコ(墨西哥)共和國、墨西哥灣岸の湖沼で、タメシ河の支流に排水する。

**チャンパン** Champain 英吉利領印度のビハル州チルフートの一地方である(チャンパンの部を見よ)。

**チャンバル** Chambal 河 Chambal 英吉利領印度の中央に在る河川で、ジャムナ河の大支流に屬す(チャンバル河の部を見よ)。

**チャンピオン** Champion 亞米利加合衆國、ニューヨーク州ジェファソン郡の都邑である(チャンピオンの部を見よ)。

**チャンベシ** Chamba 河 Chamba 亞非利加洲西部白耳義領コンゴ地方、コンゴ河の源流である(チャンベシの部を見よ)。

**チュイ** Tchui 河 Tchui 河 中央亞細亞、ソヴエト聯邦領の河で、アラ河 Aral Tau の支流に屬し、長さが九百三十七軒ある(チュイ河の部を見よ)。

**チュイスブルヒ** Duisburg ドイツ(獨逸)聯邦、プロシヤ共和國、ライ

**チャンペリー** Champesee 中央

**チャンペリー** Champesee 中央

**チュアパ** Chupa 河 Chupa Rive 南亞米利加洲チリ(智利)共和國のアンカゲツ州に在る河で、流程百六十一軒に及び、太平洋に注ぐ。

**チユア** Tchua 山 Tchua Ma 非洲の北部亞非利加に在る山で、サハラ・アトラス山脈 Saharan Atlas Mts. の北部、アムール山脈 Jebel Amour or Anur の最高點(一、九三四米)に當り、地中海とイガール谷地 Tigharghar Bassin との分水嶺を形成する。

**チュウオウアジヤ** 中央亞細亞

中央プロヴィンスの工業市で、ライン・ルール兩河の間に位し、南方デューセルドルフと二十五軒を隔て、もと寒村であつたが、十九世紀に至り、石炭業勃興の爲に發達し、冶金業の中心地となり、綿布、石鹼の製造も盛で、人口が二十七萬三千に達した。

**チュイラ・マクナ・サン** 山 Tula Ma

チュイラ・マクナ・サン 山 Tula Ma 非洲の北部亞非利加に在る山で、サハラ・アトラス山脈 Saharan Atlas Mts. の北部、アムール山脈 Jebel Amour or Anur の最高點(一、九三四米)に當り、地中海とイガール谷地 Tigharghar Bassin との分水嶺を形成する。

**チュウオウアジヤ** 中央亞細亞



チャンネル・グンタウ・チウワウアジヤ



**East Asia** アジア(亞細亞)の一大平原地方で、ソビエト聯邦に屬し、支那共和國(中華民國)の西方、シベリヤ(西伯利亞)の南西、イラン高原の北に位し西方一帯は裏海に接し、東部のみは少く山地であるが、全土ソビエト社會主義共和國聯邦の領土に屬し、一帯に草原地方である。

**チュウオウアメリカ** 中央亞米利加 **Central America** 北亞米利加洲の南部に在る土地で、北は墨西哥によりて境し、南は亞米利加のコロムビヤに接し、太平洋と大西洋のカリブ海(Caribbean Sea)との間に挟まり、次の六共和國と一英領地とを含む。

國名	面積	人口
グアテマラ	一〇九四	二〇〇五
サルヴァドル	三四一	一六八八
ホンデュラス	一一四六	七三三
ニカラグワ	一三三八	六三八
コスタリカ	五九六	四八〇
パナマ	八三九	四四三
英領ホンデュラス	二二三	四九

上に斷片的に挟り、火山岩は主として中軸に從ひて走る、蓋し此の地はコーデレラ山系の主軸でなく、同主軸は墨西哥に於て火山岩に被はれ、又南方に在る南亞米利加洲北部コロムビヤ國の同山軸は却て北走してマラカイボ湖西に向ふより、中央亞米利加に於ては却て同山軸の認むべきものが無い、これ中央亞米利加が第三紀時代に高度が著しく小であつたが、以後著しく隆起すると共にその地に於ける火山の發達著しく、爲めに三紀層と火山岩とにより斷片的に島地を連絡して地峡たらしめたものである。されば壯大な山は悉く火山である、今火山の絶無な英領ホンデュラス以外につき著名の火山を列記する。

國名	面積	人口	チグレ	ベ	オ	モ	サ	ア	モン	マ	イ	チ	ツ	ロ	ピ	チ
グアテマラ	一〇九四	二〇〇五	タホムルコ	ベ	オ	モ	サ	ア	モン	マ	イ	チ	ツ	ロ	ピ	チ
サルヴァドル	三四一	一六八八	アカテナンゴ	ベ	オ	モ	サ	ア	モン	マ	イ	チ	ツ	ロ	ピ	チ
ホンデュラス	一一四六	七三三	アグワ	ベ	オ	モ	サ	ア	モン	マ	イ	チ	ツ	ロ	ピ	チ
ニカラグワ	一三三八	六三八	アチトラン	ベ	オ	モ	サ	ア	モン	マ	イ	チ	ツ	ロ	ピ	チ
コスタリカ	五九六	四八〇	サンタ・マリヤ	ベ	オ	モ	サ	ア	モン	マ	イ	チ	ツ	ロ	ピ	チ
パナマ	八三九	四四三	フエゴ	ベ	オ	モ	サ	ア	モン	マ	イ	チ	ツ	ロ	ピ	チ
英領ホンデュラス	二二三	四九	セロ・クエマド	ベ	オ	モ	サ	ア	モン	マ	イ	チ	ツ	ロ	ピ	チ

〔地勢〕 以上の地域は土地連続し、二條の大古層岩石連り、一はグアテマラよりニカラグワ東部に延びてカリブ海に没し、一はパナマ國に在つてパナマ地峡以西の内地と以東の北岸に横はり、共に東西に長く、中生層岩石はホンデュラス國及ニカラグワ國のカリブ海に面し、太古層

〔水系〕 河川は土地が狭きため發達しない、且分水嶺が太平洋面に近い、ため、カリブ海方面に主要の河がある、即ちニカラグワ湖を排水するサン・フアン河(San Juan)と、ニカラグワ・ホンデュラス兩國の境にあるコロ河(Coco or Wanks)を主とする。

〔生物〕 植物は多種多様で、バナナ・パイナップル・甘蔗・棉花・煙草・珈琲等の耕作植物は勿論、椰子・パイヤ其他の果樹類、或はオーク・マホガニー・ロククウツド其他の硬木類を産し、温帯地方には松柏科植物が生長する。

動物には哺乳動物としてジャグアル・ビローマの如き猛獸より野猪・赤鹿・各種の猿が棲息し、爬虫類には響尾蛇其他の蝮蛇・鱉・鰐魚があり、鳥類には愛すべき蜂雀が山野に飛び、又野生七面鳥も居る。

〔住民〕 人口總數六百萬餘に達し、も近の低地は極めて炎熱で、七月平均気温が二十八度以上に達し、一月平均も二十一度以上、年平均二十六度以上を普通とす、最高三十度に達する處なく、大入して著しく追害を加へ次第に減少し、部は高原で、且高峰が屹立する故高きに同族と白人の雜種たるメスタチ族が次第より氣温を異にし、海拔四百五十米以上に増加し、且西印度諸島より黒人が移住

して前二族と混血し、言語・風俗・習慣等の判別を缺くは勿論、種族上にも亦區別が困難になつた。然し中央亞米利加の古代文化は最も驚嘆するに足り、グアテマラ・ホンデュラス・ユカタン等に於ける數多の遺跡は之を證して餘りがある。此等の印甸は西曆四五世紀頃より第十四五世紀頃まで、西はスウイス國より東はオ

ルネスアルプスは北東にトード支脈を派ルネスアルプスの北東にレポホルン(四、一八二米)・ネストホルン(三、八二〇米)其他の峻峰屹立し、尙ほユンダフラウ山より西に向ひ、數多の山峰が連るが、高度は次第に下り四千米以上に達する山もなく、氷河の現象も少ないが、只バルムホルン(三、七一七米)・ワイルドデユッシスト(三、二五九米)・大シルホルン(三、二九六米)・大ウインドゲール

が屹立するより一にテーザ山脈の名を有し、山勢が約北東より南西に向ひ、高度はベルネス・ペンニン兩アルプスに比して少しく劣るも、テーザ山附近には三千米以上の高峰並び立ち、氷河の發達も亦著るしい。テーザ山の西には



英領ホンチユラス二二三 四九  
セロ・クエマド  
サルヴァドル國  
サンタ・アナ  
サン・ヴィセンテ  
サンミゲル  
イサルコ  
ホンチユラス國  
サカテ・グランド

(三、一八三米) 主とする。  
〔氣候〕 土地が熱帯に在るため海岸附近の低地は極めて炎熱で、七月平均氣温が二十八度以上に達し、一月平均も二十(二、一七四米) 四度以上、年平均二十六度以上を普通とするも、最高三十度に達する處なく、大入して著しく追背を加へ次第に減少し、部は高原で、且高峰が屹立する故高きに同族と白人の雜種たるメヌチリ族が次第より氣温を異にし、海拔四百五十米以上に増加し、且西印度諸島より黒人が移住

して前二族と混血し、言語・風俗・習慣等の判別を缺くは勿論、種族上にも亦區別が困難になつた。然し中央亞米利加の古代文化は最も驚嘆するに足り、グアテマラ・ホンヂユラス・ユカタン等に於ける數多の遺跡は之を證して餘りがある。此等の印甸は西曆四五世紀頃より第十四五世紀に至る間に著しく光彩を放つた。  
〔産業〕 農業が主で珈琲・穀物・エネケン・バナナ其他の果實・煙草・棉花・砂糖・染料或は木材を産出し、鑛物には金・銀・銅・鉛・硫黄等がある。

ルネスアルプスは北東にトーチ支脈を派生出する。ペンニン・アルプスの北東にレポチン・アルプスがあつて、南方チチノ州のチチノ・アルプス *Alps of Tichino* と相對するも、チチノ・アルプスはレポチン・アルプスの一部に過ぎない。レポチン・アルプスの東にはレーシヤン・アルプスがあつて、西はスウィス國より東はオーストリア國に蟠幅し、以東には北に北チロールアルプスが、遙か南方の南チロールアルプスと相應じ、其の間にレックアルプス・オーツタルアルプス・オートラールアルプス各山脈横はり、是等の山峯は一として氷河を有せざるはない。

此等の産業につきては各國の部に詳述す(中央アメリカ各國の部を見よ)。  
**チウオウ(中央)アルプス** *Central Alps* アルプス系の中央部を占め、西は大サンベルナル峠によりて西アルプスと連り、東は北緯四十七度、東經十一度半に位するブレンネル越によりて東アルプスと境し、北はダニューブ・ライン兩河に、西はローヌ河に、南はポー河に排水する。瑞西・伊太利・獨逸・塊地利四國に互るアルプス主要の大山系で、是等諸河の爲めに數多の山塊に切られ、處によりて名を異にする。

〔ベルネス・アルプス *Bernese Alps*〕 本山脈は南はローヌ河谷を隔て、ペンニン・レポチン兩アルプスと境し、西はローヌ河谷に限られ、北は緩傾斜を以てアルル河谷に低下し、東はアルル河に發源するアルル河の源流を隔て、ヴァールワルドスタットアルプスと相對するも、同山脈はベルネスアルプスの延長に過ぎない。  
〔ゲラルネル・アルプス *Garner Alps*〕 ベルネスアルプスの續きで、南はコンスタンヌ湖に注ぐライン河の源流フォルダラインによりて限られ、西はロイス河により、北はチュウリヒ・ワレン兩湖を連ねる一線によりて境する三角形の山塊で、雪線は中央部より南に偏し、約北東より南西に向ひ、山軸に従ひて發達する。中央部に本山脈中最高峰のテージ山 *Tees* (三、一七三米) が屹立するより一にテージ山

モンブラン山脈の東に位して、イタリヤ國とスウィス國との間に在るはペンニンアルプスで、之とローヌ河を挟みて北方に横るはベルネスアルプスである、此の兩山脈は共に雄偉宏大と氷河の大發達とに於て他のアルプス系に傑出する。ベ

〔ヴァーワルドスタットアルプス *Vierwaldstätter Alps*〕 は同名の湖(ルツェルン)の南方に位し、アルル河を以てベルネスアルプスの主山脈と境し、東はルツェルン湖に注ぐロイス河によりてゲラーネルアルプスと相對し、脈中にローヌ河を養ふガレンスツック山(三、五九七米)及びダムマスタック山(三、六三三米)米及びダムマスタック山(三、六三三米)を初め其の北方にサステンホルン(三、五二二米)・スパンノルト(三、二〇二米)等の山峯が屹立し、山勢が約南西より北東に向ふ。  
〔ペンニンアルプス *Pennine Alps*〕 ジェネヴァ湖に注ぐローヌ河を隔て、北方のベルネスアルプスと相並び、北東より南西に走り、南側はイタリヤ國のロンバード平原に低下し、片麻岩より成れるモンテ・ローザ(四、六三八米)・マッテルホルン(四、四八二米)を始めとし、ローザの北東には、スウィス・イタリヤ兩國間の險要として名あるシムプロン越(二、一〇米)がある、マッテルホルンの西方遙かに大コムベン(四、四一七米)・ヴェーラン(三、七六五米)二峰峙ち、西方大ベルナル越の彼方なるモンブラン山脈と對立し、イタリヤ・スウィス兩國境を中心として四千米内外の峻峰天に沖し、彼の

チウオウアルプス



モンブランの圓頂峯なるに反し、本山の諸峰は何れも激烈なる侵蝕作用の結果鋭尖削るが如く、遺憾なく高山性の特徴を發揮し、其の高度と鋭尖とに於て他に比類が少ない。

モンテ・ローザ及びマッテルホルン兩山よりはローヌ河の小支流を境とし、各北東に支脈を曳き、前者より走るものは、アルプベル(四、二〇七米)・ドーム(四、五五四米)及びバルフリン(三、八〇二米)等の諸峰で、後者よりはデットブランチェ(四、三六四米)・モミンゲ(四、二二三米)及びワイブホルン(四、五二七)等の諸峰を連ね、ローヌ河谷に没する。

〔レポントイン・アルプス〕 西はシムロン峠(三、〇一〇米)に發し、東は北緯四十六度三十四分、東經九度十五分に位置するスプリューゲン越に至る迄、弓状を畫きて南西より北東に走り、西半部の北はベルネスアルプスとローヌ河谷によりて境し、南はイタリヤ國のピードモント州に入り、東半部の北はグラルネルアルプスと上ライン河谷によりて境し、南はマジョール湖に注ぐチノ河本支流の排水斜面をなす。西方シムロン峠に近く、レオネ山(三、五六一米)立ち、イタリヤ・スウイスの國境に屹立する。これレポントイン・アルプスの最高山で、之より山勢が北東に向ひ、ヘルゼンホルン(三、二七四米)・オーフェンホルン(三、二四二米)・プリンデンホルン(三、三八四米)等何れも

雪線を抜き、グリース氷河を養へるグリース山(二、四六八米)に達する。同氷河は實にマジョール湖の一水源たるトチエ河の源泉である。本山脈は之よりスウイス國に入りて尙ほ三千米以上の峻峰相並ぶも、チノ河上流の爲めに切開せられ、北にサン・ゴタル St. Gotthard 山、東にアツラ山を分つ。

サンゴタル山は、レポントイン・アルプスの約中央に位し、上ライン及び上ローヌ河の水源を占め、全アルプス山系の大中心たる位置に在る、古來有名なるサン・ゴタル峠(二、一四米)は其の脈中に位す。主要なる山嶺にはサンゴタル山(三、〇〇三米)・ロトンド(三、一九七米)・モンテ・プロサ(二、七四〇米)・ルクマニール(二、七八〇米)等がある。

アツラ山はサン・ゴタル山より東に連るもので、數多の氷河を有し、東部に至りて南に屈し、次第に高く、上ラインの一流流たるヒンテル・ライン河を養ふ。ラインワルドホルン(三、三九八米)・ギユッフェルホルン(三、三九三米)其他三の峻峰を從へ何れも氷河を戴き、南西方達して居る、ヒンテル・ライン河の如きも實に此の氷河を水源とする。

チノ・アルプスもレポントイン・アルプスの一支脈で、サン・ゴタル山脈の南方に位し、チノ河及び均しくマジョール湖に注ぐトチエ河に限られ、約三角形を畫く。

〔ベルニナ・アルプス Bernina Alps〕 アッダ河を隔て、南方ベルガモ・アルプスと相對し、ベルニナ山脈が中央に位し、其の主峰は實に四千五十三米に達し、數多の峻峰を從へ何れも氷河を戴き、南西方ダスグラチャ(三、六九〇米)・チェンガロ(三、三七〇米)其他の峻峰が屹立する。

〔オーツタル・アルプス Oetzthal Alps〕 レーシヤン・アルプスとダニューブ河の大支流たる上部イン河を以て境し、南西より北東に向ひ、其の北半部を特にヌチュール・アルプス Stubay Alps と呼び、其の間に上部イン河の小支流たるオーツタル河が横たはる。此の兩山脈は共に氷河を戴き、スチューバー・アルプスには、チュウケルトル(三、五一一米)・ワイルドフライゲル(三、一六六米)・シュランコグル(三、五〇二米)等の諸峰並び、北西に延長し、上部イン河の南に達す。オーツタルアルプスはイン河の諸支流に切開せられ、北方數多に分裂して上ライン河谷に達し、南はイタリヤ・オーストリヤの國境に至る。ワイルド山(三、七四四米)・シュワルツ山(三、六三三米)其他の諸峰が峙つ。

〔オートラー・アルプス Orler Alps〕 はオートタル・アルプスの南西に位し、アッダ河の支流によりて離隔せらる、其の領域は小さいが、高きに於て傑出す、先づ盟主たるオートラー山(三、九〇二米)及びケーニヒス山(三、八五七米)等があつて、其の南はアダム・アルプス Adammello Alps (三、二九一米)・アダム(三、五五四)等と對す。アダム・アルプスの東に、トリデンタイン・アルプスがあつて、共に南西—北東走す。〔チロール・アルプス Tyrol Alps〕 南北二脈に分れ、北チロールアルプスは Alps of North Tyrol or North Tyrol Limestone Alps イン河の左岸に沿ひ、北東より南西に向ひ、北方はバウアリア平野に没し、南チロール・アルプス Alps of South Tyrol or South Tyrol Dolomite Alps はイタリヤ國のガルダ湖の

東を南流するアヂジュ河の南方に在つて、均しく北東より南西に向ふ。兩山脈は共に著しく低く、峻峯の見えきものがない(アルプスの部を見よ)。

チュウオウ・インド 中央印度 Central India Agency 英吉利領印度半島の北部に在る直轄領の合併州

チュウオウ・オーストラリア・コウゲン 中央濠洲利高原 Central Australia-Viney 英吉利領印度半島の中央部に位し、北は中央印度瀋部に接し、ベラル

チュウオウ・オーストラリア・コウゲン 中央濠洲利高原 Central Australia-Viney 英吉利領印度半島の中央部に位し、北は中央印度瀋部に接し、ベラル

東を南流するアヂジュ河の南方に在つて、均しく北東より南西に向ふ。兩山脈は共に著しく低く、峻峯の見えきものがない(アルプスの部を見よ)。

チュウオウ・インド 中央印度 Central India Agency 英吉利領印度半島の北部に在る直轄領の合併州

チュウオウ・オーストラリア・コウゲン 中央濠洲利高原 Central Australia-Viney 英吉利領印度半島の中央部に位し、北は中央印度瀋部に接し、ベラル

チュウオウ・オーストラリア・コウゲン 中央濠洲利高原 Central Australia-Viney 英吉利領印度半島の中央部に位し、北は中央印度瀋部に接し、ベラル



東を南流するアチジュ河の南方に在つて、均しく北東より南西に向ふ。兩山脈は共に著しく低く、峻峯の見るべきものがない(アルプスの部を見よ)。

チウオウ・インド 中央印度 Central India Agency 英吉利領印度半島の北部に在り、北方に在る直轄領の合併州と南方に在る直轄領の中央州とが南北より突出する爲に東西兩區に切斷せられ、西區は北はラジプタナ藩部に接し、南西は孟買省に隣り、北西は合併州に、南東は中央州に接し、東區は北は合併州に、南は中央州に接す。此の東西兩區には百五十三の藩部を有し、印度執政官が之を總轄し、バゲルカンド・バンドルカンド・ポーバル・南部諸州・マルワ各地に副執政官を置く。總面積七萬九千八百八十七方新、人口二百六萬七千人ある。

藩部の主要なるはグワリオル・インドル・ポーバル及びレワーで、小藩の主たるものはバンドルカンド及びボグバルカンドであつて、此の二藩は東區に在る。此等の地はベトワ Betwa・ケン Ken・トンス Tons・ソーン Son 各河により、ジャムナ河 Jumna 及びガンジス河 Ganges に排水せられ、全土の四分の一は耕作せられてゐる。農産物は穀物が主で土人の當食となり、尙ほ棉花・甘蔗・製油種子等を産出する。

此の地はマルワ高原 Malwa を含み、波狀の玄武岩地で、高起せる山頂も平坦

千米以上の群峰相並び、氷河も著しく發達して居る、ヒンデル・ライン河の如きも實に此の氷河を水源とする。

チチノ・アルプスもレポントイン・アルプスの一支脈で、サン・ゴタール山稜の南方に在り、チチノ河及び均しくマジヨール湖に注ぐトチェ河に限られ、約三角形を畫く。

チチノ・アルプスとダニューブ河の大支流たる上部イン河を以て境し、南西より北東に向ひ、其の北半部を特にスチュール・アルプス Stuba Alps と呼び、其の間に上部イン河の小支流たるオーツ

チウオウ・アルプス Tyrol Alps ] 南北二脈に分れ、北チロールアルプスは Alps of North Tyrol or North Tyrol Limestone Alps イン河の左岸に沿ひ、北東より南西に向ひ、北方はバウアリア平野に没し、南チロールアルプス Alps of South Tyrol or South Tyrol Dolomite Alps はイタリヤ國のガルダ湖の

チウオウ・アルプス Tyrol Alps ] 南北二脈に分れ、北チロールアルプスは Alps of North Tyrol or North Tyrol Limestone Alps イン河の左岸に沿ひ、北東より南西に向ひ、北方はバウアリア平野に没し、南チロールアルプス Alps of South Tyrol or South Tyrol Dolomite Alps はイタリヤ國のガルダ湖の

く、兩區の南部にはヴィンチヤ山脈 Vindhyas Mis. 及びサトプーラ山脈 Satpura Range が横はる。ジャムナ河の南部は低原である。

チラムバル河と其の右岸支流のシンド河 Sindhu は重要な河川で、南部に於てはナルバダ河 Narmada を主とする。雨量は年産九百糎より西に於ては千五百糎に達するが、東區に於ては人工灌溉を必要とする。

住民はドラーヴィダ族を主となし、六分の五は婆羅門教に歸依してゐる。都邑はインドロを主とし、執政官の駐屯地に當り、他にグワリオル・ポーバル・パンナ・レワー・ウジヤイン等が之に次ぐ(各都邑の部を見よ)。

チウオウ・オーストラリヤ 中央濠洲 Central Australia オーストラリヤ(濠洲刺利)大陸中央部の州名で、北は北緯二十度線より北オーストラリヤ州と境し、南は南緯二十六度線より南オーストラリヤ州と隣り、西は東經百二十九度の子午線によりて、西オーストラリヤ州と境し、中央部にマクドネル山脈が東西に横はり、以南にジェームス山脈其他が之に並行して比較的高起し、マクドネル山脈中のホイグリン山 Mt. Higgins は一、四五九米に崛起す。此等の山地よりフィンク河の本支流が出て、南東に向ひ、南オーストラリヤ州に入る。此の地方のみは人類の生活に適し、南北横斷

の鐵道と電線が通ずるが、遠からず之が完成を告げ、南北交通上の要地となる筈である。

チウオウ・オーストラリヤ・コウゲン 中央濠洲刺利高原 Central Australia Plateau 濠洲刺利大陸の中部に在り、名は高原と稱するも實は高原と山脈との連続で、ヴィクトリヤ州の南東に在るエーヤ湖地方及トレンス湖の西部より土地が次第に高起して、南北縦斷鐵道の通ずる最北點に近きウードナダッタに於ては一帶に高原となり、百米以上に高起し、最高點は百二十米に達し、其の脈が北西に延び、北オーストラリヤ州に近づくやマズグレイヴ山脈 Musgrave Range となり、約東西に走り、其のウードナダッタ Mt. Woodroffe は千五百九十米に屹立し、其の西に進むものは四百米乃至九百米の山脈となり、ギブソン沙漠と大ヴィクトリヤ沙漠とを境して西オーストラリヤ州の高原と連り、北に向ふものはフィンク河の盆地を隔て、ジェームス山脈 James Karge 及びバク・ドネル山脈 Mac Donnell Range となり、ホイグリン山 Mt. Higgins を起し、以北には四五百米の高原山地が連つて北方アーヘムランドに延長し、大陸縦斷電信線が此の地帯に通じ、鐵道が亦之に沿ふて布設せられる筈である。これ左右の沙漠地に比して土地高起し、雲を呼び雨を招

く山脈が連り、河川は之に養はれ、淡水の供給も比較的豊かで、土地が肥沃なる爲めである。

チウオウ・オーストラリヤ 中央州 Central Province 英吉利領印度半島の中央部に在り、北は中央印度藩部に接し、ベラール州を合せて中央及ベラール州と呼び、次名 面積 人口

中央及ベラール州	三、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇	一、三、九、三、一、六〇
ベラール州	二、二、六、二、二	一〇、八、七、四、四
中央州	四、六、〇、七	三、〇、七、五、三、六

南はハイダラバード藩部に接し、東はビハール・オリッサ州に、西は孟買省に、南東はマドラス省に接す。

州内に藩部を含み、其の南東部にバスタル、其の北にカンカー、其の北東部にサルグジャ其他一團をなしてビハールに接し、兩者の中間にナンドガオン其他の藩部が一團をなして横はり、藩部の總面積七萬九千方新、人口三百九十九萬人ある。全土がデカン高原の北部を占め、ナルバダ Narmada・タタリ The Godavari 及びヴィンナチ Mahanadi 等の諸河を灌溉し、全面積の四分の三は耕作せられ、米・小麦・豆類・綿花等を産す。

都邑はナグプール・ジャバルプール・チンダ・ピラスプール・エリクプール等で、ナグプールが首府である(各都邑の部を見よ)。

チウオウ(中央)ロッキー・サンケイ

チウオウ・オーストラリヤ・ロッキー・サンケイ



**山系 Central Rocky Mountains** 亞 國の南より、南方テントン山脈 Teton 米利加合衆國の西部山地帯中の東に在る 山系で、東西兩山列に分れる、東列はミズーリ山脈を主とし、西經百十四度附近の加奈陀境より米國に入つて南東に向ひ、イェローストーン公園を過ぎ、ウインドリヴァー山脈 Wind River Mts. に達し、其の間ミズーリ河が之を切開して縦谷を構成し、其の右岸にビッグ・ベルト山脈 Big Belt Mts. を分り、イェローストーン公園の北なるガラチン山脈 Galatin Mts. イェローストーン湖の南東なるシヨーン山脈 Shoshone Mts. の如きは本脈中に屬し、北部國境に近きカイゼル 峯 Kaiser Peak (三、二一〇米)、イェローストーン河岸のヒミグランド峯 Emigrant Peak (三、一四三米)、エレクトリック峯 Electric Peak (三、四〇〇米)、サンダー峯 Thunder Peak (三、一四〇米)、ハムフレース山 Mt. Humphreys (三、三五〇米)、ワシントンキーノードル Washakee Needle (三、七五三米)、ウインドリヴァー山のユニオン峯 Union Peak (三、四三三米) 及びウインドリヴァー峯 (四、一四四米) の如き秀峯が雲を凌いで居る。大ベルト山脈の東なる小ベルト山脈 Little Belt Mts. 及び大ホーン河の東方なる大ホーン山脈の如きは之が前山たる性質を有す。

支那本部 四百萬方料  
新疆省 百四十三萬方料  
青海及西藏省 百二十萬方料

**蒙古** 三百六十方料  
計 千二十三萬方料  
〔沿岸線〕 東海岸の北部には山東半島が突出して渤海灣を圍み、同灣は更に直隸・遼東兩灣に分れて居る。山東半島以南の海岸は、半月形を畫きて突出し、臺灣海峡が約中央部に位し、以北は黃海と東海面に當り、以南は南支那海の領域に屬す、東海沿岸は小出入極めて多く、揚子江口と杭州灣とは喇叭狀に開口し、尙ほ福州灣・温州灣・三門灣等並び、前方に小島が羅列するが、此等は土地が一帶に沈降した爲、其の頂點部のみが水上に露出せるもので、多くは花崗岩より成立す。杭州灣頭の舟山列島の如きは其の著しきものある。南支那海岸も小出入多く、廣東灣東には香港島横はり、以東に海門灣、汕頭灣があり、廣東灣西に澳門島の外二三の島嶼を控え、其の南西には支那第一の大島たる海南島があつて、西方東京灣を擁す。臺灣海峡面には興化灣と廈門灣とがある。

**山脈**  
西部にヒマラヤ(喜馬拉耶)・トランスヒマラヤ・天山・コンロン(崑崙)・アルタイ(阿爾泰)・サヤン等の山脈があつて、各東走し、其の間に高原・平野・盆地等を挟み、一高一低相交る。崑崙山系の東端は北嶺(秦嶺山脈)・南嶺・印度支那等の各山嶺に分れて居る(各山脈の部を見よ)。

〔秦嶺山脈〕 崑崙山系中の珉山々脈以東を含み、東走して一旦丹江の斷層谷に没するも、東方に至りて伏牛山脈・大行山脈・大巴山脈・興安嶺となり、扇狀に開く。大興安嶺も其の一支である。

〔南嶺〕 雲貴高臺・楚西山地・江湖山地・閩浙山地等より成り、一の山脈でなく、各山脈は主として南西より東北に走り、其の各山脈間に數多の平野を挟み、無數の斷層があつて複雑なる地貌を呈して居る(各山地の部を見よ)。

印度支那山脈は主として南北に走り、印度支那に向ふが、その山脈は數多の並行山脈より成り、其の間に峽谷を挟み、支那の東西に通ずる交通上の大障害となつて居る。

〔平野・高原〕 以上の山地によりて平野を區劃するが、其の主要なるものは次

蒙古高原 興安嶺以西、支那本部以北西比利亞以南の大高原で、ゴビ沙漠が横はる。

西藏高原 崑崙山系と喜馬拉耶山系の間に横はる大高原である。

青海高原 西藏高原の北東部に在る珉山々脈以南の地で、四川省の西、甘肅省の西南に在る。

タリム(塔里木)盆地 崑崙山系と天山山系との間に横はる盆地で、塔里木河が是に横はり、東流してロプ湖に注ぐ、全土内地流域に屬す。



が雲を凌いで居る。大ベルト山脈の東なる小ベルト山脈 Little Belt Mts. 及び大ホーン河の東方なる大ホーン山脈の如きは之が前山たる性質を有す。

兩列山脈はカピネット山脈 Cabinet Mts. よりノットター・ルート山脈 Bitter Root Mts. に達す。イ・ホーストーン公

極東 東經 一二二、五一  
極西 東經 七三、〇〇  
極南 北緯 一八、〇〇  
極北 北緯 五三、四〇  
舟山列島 外蒙古  
海南島 新彊省

支那本部 四百萬方紬  
新彊省 百四十三萬方紬  
青海及西藏省 百二十萬方紬

西部にヒマラヤ(喜馬拉耶)・トランスヒマラヤ・天山・コンロン(崑崙)・アルタイ(阿爾泰)・サヤン等の山脈があつて、各東走し、其の間に高原・平野・盆地等を挟み、一高一低相交る。崑崙山系の東端は北嶺(奏嶺山脈)・南嶺・印度支那等の各山嶺に分れて居る(各山脈の部を見よ)。

間に横はる大高原である。青海高原 西藏高原の北東部に在る珉山々脈以南の地で、四川省の西、甘肅省の西南に在る。

タリム(塔里木)盆地 崑崙山系と天山山系との間に横はる盆地で、塔里木河が是に横はり、東流してロブ湖に注ぐ、全土内地流域に屬す。





Mt. Humphreys (三、三三〇米)・ワシヤ  
 キーニードル Washakee Needle (三、七  
 五三米)・ウインドリヴァー山のユニオン  
 峯 Union Peak (三、四三三米)及びウイ  
 ンドリヴァー峯 (四、一一四米)の如き秀峯  
 が雲を凌いで居る。大ベルト山脈の東な  
 る小ベルト山脈 Little Belt Mts. 及び  
 大ホーン河の東方なる大ホーン山脈の如  
 きは之が前山たる性質を有す。  
 兩列山脈はカビネット山脈 Cabinet  
 Mts. よりマッターホルト山脈 Biber  
 Root Mts. に達す。イ・ローストーン公

大國で、北より西は露西亞領の西北利亞  
 及び中央亞細亞に接し、南は印度及び印  
 度支那に境し、東は黄海・東海(東支那海)  
 及び南支那海に面し、北東は滿洲國に境  
 す其の四極は次の通り。  
 極東 東經 一二二、五一 分  
 極西 東經 七三、〇〇  
 極南 北緯 一八、〇〇  
 極北 北緯 五三、四〇  
 新疆省 四百萬方料  
 支那本部 百四十三萬方料  
 青海及西藏省 百二十萬方料

山脈  
 西部にヒマラヤ(喜馬拉耶)・トランス  
 ヒマラヤ・天山・コンロン(崑崙)・アルタ  
 イ(阿爾泰)・サヤン等の山脈があつて、  
 各東走し、其の間に高原・平野・盆地等  
 を挟み、一高一低相交る。崑崙山系の東  
 端は北嶺(秦嶺山脈)・南嶺・印度支那等  
 の各山嶺に分れて居る(各山脈の部を見  
 是に横はり、東流してロブ湖に注ぐ、全  
 土内地流域に屬す。  
 西藏高原 崑崙山系と喜馬拉耶山系の  
 間に横はる大高原である。  
 青海高原 西藏高原の北東部に在る珉  
 山を脈以南の地で、四川省の西、甘肅省の  
 西南に在る。  
 タリム(塔里木)盆地 崑崙山系と天山  
 山系との間に横はる盆地で、塔里木河が  
 是に横はり、東流してロブ湖に注ぐ、全  
 土内地流域に屬す。  
 灣、汕頭灣があり、廣東灣西に澳門島の外  
 野を區劃するが、其の主要なるものは次  
 の通り。  
 蒙古高原 興安嶺以西、支那本部以北  
 西北利亞以南の大高原で、ゴビ沙漠が横  
 はる。  
 二、三の島嶼を控え、其の南西には支那第  
 一の大島たる海南島があつて、西方東京  
 灣を擁す。臺灣海峡面には興化灣と厦門  
 灣とがある。







ツンガリヤ盆地 天山山系と阿爾泰山と楚西山地との間に横はる。  
系との間に在る盆地で、一に天山北路と湖廣平野 古史に在る雲夢澤地を主とし、南北に延長せる低地で、洞庭湖其他  
呼び、内地流域に屬して居る。  
黄河下流平野・北支那の貴土層 北はの湖沼が横はり、同湖の南北に展開して  
河北省より南は浙江省に達し、灤河・白居る。  
河・黄河・淮水等に互る平野で、北半部は鄆陽湖平野 一に彭蠡平野と稱し、鄆  
主として黄河の沖積土より成立し、同河陽湖を中心として同湖の沿岸及び之に注

貫ぬきて南東流し、支那の河北省に入り、  
兩分流となりて渤海に注ぐ。  
黄河 源を青海省に發し、蒙古を貫ぬきて南に向ひ、東に轉じ、北東に向ひて渤海に注ぎ、渭水・洛水等の支流を有し、  
古來變遷の大なると水害激甚なるを以て知られて居る、交運の便は甚だ少いが  
るが、大なるものは無い。西藏、青海の湖沼は極めて海拔高きもの多く、五千米以上の湖面を有するものが少なくないが、之に反し、高地にあるに拘らず、天山北路のポジャイト湖の如く海面下百二十米の水位を保つものもある。  
氣 温  
〔氣候〕 土地が廣大な爲め氣候が處に